はじめに

このたびは、「Vodafone 905SH」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- Vodafone 905SHをご利用の前に、本書をご覧になり、正しくお取り扱いください。
- 本書は日本国内向けです。
- 本書をご覧いただいたあとは、大切に保管してください。
- 本書を万一紛失または損傷したときは、お問い合わせ先（☞P.21-26）までご連絡ください。
- ご契約の内容により、ご利用になれるサービスが限定されます。

905SHは、3G方式に対応しております。

ご注意

- 本書の内容の一部でも無断転載することは禁止されております。
- 本書の内容は将来、予告無しに変更することがございます。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたらお問い合わせ先（☞P.21-26）までご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

Vodafone 905SH　取扱説明書

2006年５月　第１版
ボーダフォン株式会社

※ ご不明な点はお求めになられた
　ボーダフォン携帯電話取扱店にご相談ください。

機種名：Vodafone 905SH
製造元：シャープ株式会社

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するために、お客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器をブランド・メーカーを問わず左記のマークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

※回収した電話機・電池・充電器はリサイクルするためご返却できません。
※プライバシー保護の為、電話機に記憶されているお客様の情報（電話帳・通信履歴・メール等）は事前に消去願います。

この印刷物は、再生紙を使用しています。

古紙配合率100 %再生紙を使用しています

この印刷物は、植物性大豆油インキで印刷しています。

TINSJA180AFZZ
06E 127.5 YM AI452①

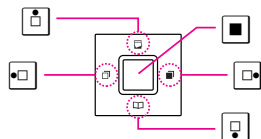
本書の見かた

本書では、ことわりがない限り、Vodafone 905SHをオープンポジション（☞P.1-11）にした状態で待受画面からの操作を中心に説明しています。
また、本書で記載されているイラストや画面は、実際のものとは異なる場合があります。操作の目安としてご利用ください。

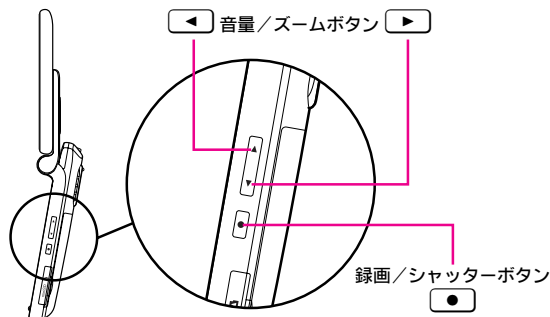
マルチガイドボタン

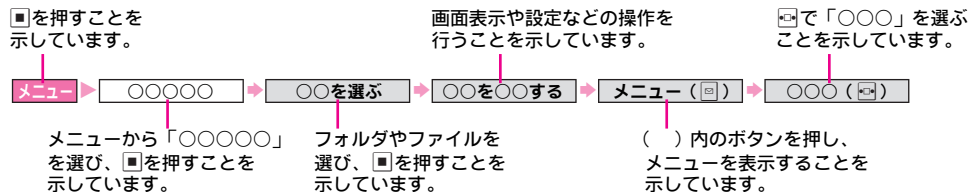
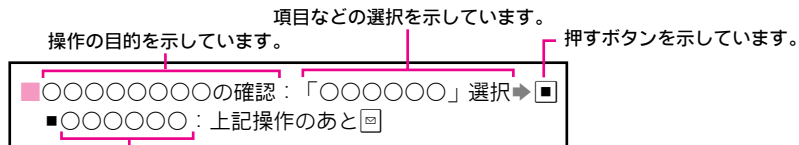
メニュー項目を選択するときやカーソルを移動するとき、画面をスクロールするときなどは、マルチガイドボタンを使用します。

本書では、マルチガイドボタンでの操作を右のように表記しています。

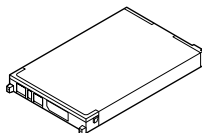
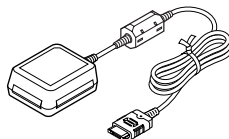
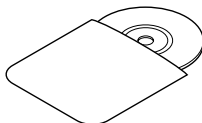
- 使用するボタンによっては、下のように表記していることもあります。
  - ■ やを押すとき ……………………
  - ■ やを押すとき ……………………
  - ■ を押すとき ……………………

サイドボタン

テレビでの音量調節／録画、カメラ撮影などでは、905SH側面のボタンを使用します。
本書では、ボタンでの操作を下のように表記しています。

本書の表記

■メニュー操作

目的の操作に至るまでのメニュー操作（■で始まる操作）は、次のように表記しています。
（白背景の四角はメニューで選択する項目、グレー背景の四角はメニュー選択以外の操作を示しています。）

■補足操作

この「Vodafone 905SH取扱説明書」の本文中においては、「Vodafone 905SH」を「905SH」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。

お買い上げ品の確認

■電池パック（SHBAK1）
（1タイプ　リチウムイオンバッテリー）

■急速充電器（SHCAK1）

■ユーティリティーソフトウェア（CD-ROM）★※

■TVアンテナ付きステレオイヤホンマイク（SHLV01）

※ユーティリティーソフトウェアは、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。なお、ユーティリティーソフトウェアの最新版は、ボーダフォンホームページ「http://www.vodafone.jp」よりダウンロードいただけます。
★試供品です。オプション品としてのお取り扱いはございません。

注意▶ 付属のユーティリティーソフトウェアは、905SH／705SHに対応しています。他の携帯電話では、ご利用になれません。

補足▶
- その他付属品／オプション品につきましては、お問い合わせ先（☞P.21-26）までご連絡ください。
- 905SHは、miniSD™メモリカードを利用することができますが、本製品にはminiSD™メモリカードは付属していません。
  市販のminiSD™メモリカードをお買い求めいただくことにより、miniSD™メモリカードに関する機能をご利用いただくことができます。
- 本書では、「**miniSD™メモリカード**」を、以降「**メモリカード**」と記載いたします。

目次

1 ご利用になる前に

2 基本的な操作のご案内

3 文字の入力方法

4 電話帳

Contents

5 TV コール

6 テレビ

Contents

7 FM ラジオ

8 カメラ

9 メディアプレイヤー

Contents

10 データ管理

11 設定

Contents

12 通信／外部接続

13 ツール

14 オプションサービス

15 メール

16 ウェブ

Contents

Contents

17 Vアプリ

18 エンタテイメント

19 ボーダフォンライブ！FeliCa

20 Abridged English Manual

Contents

21 付録

安全上のご注意

- ご使用の前に、「**安全上のご注意**」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
  また、お読みになったあとは必要なときにご覧になれるよう、大切に保管してください。
- ここに示した説明事項は、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 本製品の故障、誤作動または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

ご使用の前に

■絵表示について

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな絵表示をしています。
その表示を無視し、誤った取り扱いをすることによって生じる内容を次のように区分しています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

 危険 **誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う恐れが高い内容を示しています。**

 警告 **誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。**

 注意 **誤った取り扱いをしたときに、けがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示しています。**

■絵表示の意味

記号は
してはいけないこと（禁止）を表しています。

記号は
しなければならないこと（指示）を表しています。

記号は
気をつける必要があることを表しています。

⚠危険

905SH、電池パック、充電器の取り扱いについて（共通）

905SHに使用する充電器および電池パック、卓上ホルダーは、ボーダフォンが指定したものを使用する（☞P.iii）

指定品以外のものを使用すると、電池パックを漏液・発熱・破裂させる原因となります。また、充電器が発熱したり、故障・感電・火災の原因となります。

充電端子どうしを金属などで接触させない

充電端子を針金などの金属類（金属製のストラップなど）で接触させないでください。また、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。

電池パックの液が漏れたり、発熱・破裂・発火・感電により、やけどやけがの原因となります。専用ケースなどに入れて持ち運んでください。

電池パックの取り扱いについて

電池パックを充電するときや、使用する場合は、必ず次のことを守ってください。
正しく使用しないと、電池パックの液が漏れたり、発熱・破裂・発火により、やけどやけがの原因となります。

- 加熱したり、火の中へは投げ込まないでください。
- 分解・改造・破壊しないでください。
- 釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、ハンダ付けをしないでください。
- 外傷、変形の著しい電池パックは使用しないでください。
- 充電するときは、専用の充電器以外は使用しないでください。（☞P.iii）
- 電池パックを905SHに装着する場合、うまく装着できないときは、無理に装着しないでください。
- 火のそばや、ストーブのそば、炎天下など、高温の場所での充電・使用・放置はしないでください。
- 付属品の電池パックは、905SH専用です。
  他の機器には使用しないでください。

電池パックが漏液して液が目に入ったときは、こすらずに、すぐにきれいな水で十分に洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

目に障害を与える恐れがあります。

⚠警告

905SH、電池パック、充電器の取り扱いについて（共通）

内部に物や水などを入れない

905SHや充電器、卓上ホルダーの開口部から内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子さまのいる家庭ではご注意ください。

風呂場や雨にあたる所などの、湿気の多い所では使用しない

火災・感電の原因となります。

水などの入った容器を近くに置かない

905SHや充電器、卓上ホルダーの近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。
こぼれたり、中に入った場合は、火災・感電の原因となります。

電子レンジや高圧容器に、電池パックや905SH、充電器、卓上ホルダーを入れない

電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させたり、905SHや充電器、卓上ホルダーを発熱・発煙・発火させたり回路部品を破壊させる原因となります。

分解や改造はしない

- 905SHや充電器、卓上ホルダーのキャビネットは、開けないでください。感電やけがの原因となります。
  内部の点検・調整・修理は、ボーダフォンの故障受付窓口にご依頼ください。
- 905SHや充電器、卓上ホルダーを改造しないでください。火災・感電の原因となります。

モバイルライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させない

視力障害の原因となります。また、目がくらんだり、驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

注意事項：
当製品に使用のモバイルライト光源LEDは、指定されてない調整等の操作を意図的に行った場合、眼の安全性を超える光量を放出する可能性がありますので分解しないでください。修理は、指定のサービスステーションに限定されています。

内部に水や異物などが入ったときは

905SHの電源を切って電池パックを取り外したあと、急速充電器はプラグをACコンセントから抜いて、シガーライター充電器はプラグをシガーライターソケットから抜いてボーダフォンの故障受付窓口にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

引火、爆発の恐れがある場所では使用しない

プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。

衝撃を与えない

905SHや充電器、卓上ホルダーを持ち運ぶときは、落としたり、衝撃を与えないようにしてください。けがや故障の原因となります。
万一、905SHや充電器、卓上ホルダーを落とすなどして、キャビネットを破損した場合は、電池パックを外して、ボーダフォンの故障受付窓口にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

⚠警告

905SH、電池パック、充電器の取り扱いについて（共通）

異常が起きたら

万一、異常な音がしたり、煙が出たり、異臭がするなどの異常な状態に気がついたときは、905SHの電源を切って電池パックを取り外し、急速充電器はプラグをACコンセントから抜いて、シガーライター充電器はプラグをシガーライターソケットから抜いてボーダフォンの故障受付窓口に修理をご依頼ください。

異常な状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。

905SHの取り扱いについて

事故防止のために

- 自動車や自転車などの乗物を運転するときは、905SHを絶対にご使用にならないでください。安全走行を損ない事故の原因となります。車などを安全な所に止めてからご使用ください。
  道路交通法により、運転中の携帯電話の使用は罰則の対象となります。（2004年11月1日改正施行）
- 自動車やバイク、自転車などの運転中は、TVアンテナ付きステレオイヤホンマイクなどを絶対に使わないでください。交通事故の原因となります。
- 歩行中は、周囲の音が聞こえなくなるほど、音量を上げすぎないでください。特に、踏切や横断歩道などでは、十分に気をつけてください。
  交通事故の原因となります。

TVアンテナ付きステレオイヤホンマイクやストラップを持って905SHを振り回したり、投げない

本人や他人にあたり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

航空機内では、905SHの電源を切る

電波の影響で航空機の電子精密機器の故障の原因および安全に支障をきたす恐れがあります。

バイブレータや着信音の設定に注意する

心臓の弱い方は、設定にご注意ください。

屋外で使用中に、雷が鳴りだしたら、すぐに電源を切って安全な場所に移動する

落雷・感電の原因となります。

⚠警告

充電器の取り扱いについて

指定以外の電圧では使用しない

指定された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

- **急速充電器**：AC100V～240V
- **シガーライター充電器**：DC12／24V

シガーライター充電器はプラスアース車には使用しない

シガーライター充電器は、マイナスアース車専用です。

プラスアース車には使用しないでください。火災の原因となります。

充電器の取り扱いについて

- ぬれた手でプラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- タコ足配線はしないでください。発熱により火災の原因となります。
- コードを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、加工したりしないでください。また、重い物を乗せたり、加熱したり、引っぱったりすると、コードが破損し、火災・感電の原因となります。

接続コネクターの端子をショートさせない

接続コネクターの端子を金属類でショートさせないでください。

充電器が発熱したり、発火・感電の原因となります。

卓上ホルダーは自動車内で使用しない

卓上ホルダーを自動車内で使用しないでください。

過大な温度と振動により、火災・故障の原因となることがあります。

事故防止のために

シガーライター充電器は、運転に支障のない位置に取り付けてください。

取り付けが不十分な場合、落ちたりして、けがや事故の原因となります。

急速充電器コードやシガーライターコードが傷ついたときは（芯線の露出、断線など）

ボーダフォンの故障受付窓口に交換をご依頼ください。

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

雷が鳴りだしたら

安全のため早めに急速充電器のプラグをACコンセントから抜いておいてください。

火災・感電・故障の原因となります。

充電器や卓上ホルダーは、乳幼児の手の届かない所で使用・保管する

感電・けがの原因となります。

⚠警告

電池パックの取り扱いについて

- 充電の際に所定充電時間を超えても充電が完了しないときには、充電をやめてください。発熱・破裂・発火の原因となります。
- 電池パックが漏液したり、異臭がするときには直ちに火気より遠ざけてください。
  漏液した電解液に引火し、発火・破裂する原因となります。

電池パックの使用中や充電中または保管時に異臭を感じたり、発熱したり、変色・変形など、今までと異なることに気がついたときには、905SHから取り外し、使用しないでください。
そのまま使用すると、電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させる原因となります。

医用電気機器の近くでの取り扱いについて

ここで記載している内容は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会［平成９年４月］）に準拠、ならびに「電波の医用機器等への影響に関する調査研究報告書」（平成13年3月「社団法人　電波産業会」）の内容を参考にしたものです。

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、ペースメーカ等の装着部位から22cm以上離して携行および使用してください。

電波により、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

満員の電車など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、905SHの電源を切るようにしてください。

電波により、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には、905SHを持ち込まない。
- 病棟内では905SHの電源を切る。
- ロビー等であっても、付近に医用電気機器がある場合は、905SHの電源を切る。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止等の場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従う。

自宅療養等医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合は、電波による影響について個別に医用電気機器メーカ等にご確認ください。

⚠注意

905SH、電池パック、充電器の取り扱いについて（共通）

置き場所について

- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたりして、けがや故障の原因となることがあります。
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所に置かないでください。火災・事故の原因となることがあります。
- 冷気が直接吹きつける所へは置かないでください。露がつき、漏電・焼損の原因となることがあります。
- 直射日光が長時間あたる場所（特に密閉した自動車内）や暖房器具の近くには置かないでください。
  キャビネットが変形・変色したり、火災の原因となることがあります。また、電池パックが変形して、使用できなくなることがあります。
- 極端に寒い場所に置かないでください。故障や事故の原因となることがあります。
- 火気の近くに置かないでください。故障や事故の原因となることがあります。

使用場所について

- ほこりの多い所では使用しないでください。放熱が悪くなり、焼損・発火の原因となることがあります。
- 海辺や砂地など内部に砂の入りやすい所で使用しないでください。故障や事故の原因となることがあります。
- キャッシュカード、テレホンカードなどの磁気を利用したカード類を905SHに近づけないでください。カードに記録されているデータが消えることがあります。

905SHの取り扱いについて

905SHの温度（発熱）について

905SHを長時間利用すると、905SHが熱くなることがあります。
また、905SHを長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどになる恐れがあります。
気温や室温が高い場所では、特にご注意ください。

真夏の自動車内など、高温になる場所には置かない

905SHのキャビネットが熱くなり、やけどの原因となることがあります。

音量の設定について

音量の設定については、十分に気をつけてください。
思わぬ大音量が出て、耳を痛める原因となることがあります。
また、耳をあまり刺激しないように適度な音量でお楽しみください。

TVアンテナ付きステレオイヤホンマイクの取り扱いについて

- 抜くときは、必ずプラグを持ってください。コードを持って抜くと、断線や故障の原因となることがあります。
- プラグはいつもきれいにしておいてください。プラグが汚れていると雑音が出たり、誤動作の原因となることがあります。

自動車内でご使用のとき

905SHを自動車内で使用したときは、自動車の車種によって、まれに車両電子機器に影響を及ぼすことがあります。

⚠注意

905SHの取り扱いについて

皮膚に異常が生じた場合は、直ちに使用をやめ医師の診断を受ける

下記の箇所に金属などを使用しています。お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。

使用箇所	使用材料、表面処理
キャビネット（ディスプレイ側）	マグネシウム合金／アクリル系焼付け塗装処理（下地：エポキシ系焼付け塗装）
キャビネット（ディスプレイ背面側）、キャビネット（操作ボタン側、操作背面側）、電池カバー	ABS樹脂／アクリル系ＵＶ硬化塗装処理（下地：アクリル系塗装）
キャビ飾り（ディスプレイ背面側）	ABS樹脂（クロムメッキ／下地：ニッケルメッキ）
ディスプレイ窓、サブディスプレイ窓、カメラ透明窓、モバイルライト窓	アクリル樹脂
背面飾り板（ブルー、ブラック用）	ABS樹脂／アクリル系ＵＶ硬化塗装処理（下地：アクリル系塗装）
背面飾り板（ホワイト用）	ABS樹脂／アクリル系ＵＶ硬化塗装処理（下地：アクリル系ＵＶ硬化塗装、不連続蒸着）
ホイップアンテナ	ABS樹脂／黄銅／PA／エラストマー／SUS
ロゴバッジ	アクリル系UV硬化樹脂／アルミ（ベース）
赤外線ポート窓	ABS樹脂（赤外線グレード）
プロテクター（ディスプレイ両側）	ナイロン
LCD回転止め（開閉当たり部）、接写スイッチ	ABS樹脂
キャビカバー（操作ボタン下部）	エラストマー
マルチガイドボタン（センター部分）	ABS樹脂（クロムメッキ／下地：ニッケルメッキ）
マルチガイドボタン（カーソルキー部分）、開始ボタン、電源／終了ボタン、メールボタン、ボーダフォンライブ! ボタン 、サイドボタン、ショートカット／A/aボタン、クリア／バックボタン、マルチメディア／文字ボタン、テレビ／マルチジョブ機能／マナーボタン、ダイヤルボタン	PC樹脂／塗装
メモリカードスロットカバー、外部機器端子キャップ、VIDEO OUT／イヤホンマイク／光デジタル・ライン入力端子キャップ	ABS樹脂／アクリル系ＵＶ硬化塗装処理(下地：アクリル系塗装)／エラストマー
電池パック	PC樹脂
充電端子	SUS／金メッキ（下地：ニッケル）
ネジ（すべて）	SWCH12A／Niメッキ
USIMピン	銅合金／金メッキ（下地：ニッケル）
USIMガイド	SUS

⚠注意

充電器の取り扱いについて

急速充電器コードやシガーライターコードの取り扱いについて

- プラグを抜くときは、コードを引っぱらないでください。コードを引っぱるとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
  急速充電器やシガーライターのプラグを持って抜いてください。
- コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- ACコンセントやシガーライターソケットへの差し込みがゆるくぐらついていたり、コードやプラグが熱いときは使用を中止してください。
  そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
- シガーライターソケットの中は、きれいにしておいてください。灰などで汚れているときは、プラグを接続しないでください。発熱によりやけどの原因となることがあります。

通電中は卓上ホルダーに長時間触らない

低温やけどの原因となります。

指定以外のヒューズは使用しない

シガーライター充電器のヒューズは、1A（アンペア）のものを使用してください。
指定以外のヒューズを使用したり、針金などで代用すると、火災・故障の原因となります。

風通しの悪い場所では使用しない

充電器や卓上ホルダーは風通しのよい状態でご使用ください。
布や布団で覆ったり、包んだりしないでください。
熱がこもり、キャビネットが変形し、火災の原因となることがあります。

エンジンが切れた状態では使用しない

シガーライター充電器をご使用になるときは、必ずエンジンをかけておいてください。エンジンを切ったまま使用すると、車のバッテリーを消耗させる原因となることがあります。

長期間ご使用にならないときは

安全のため、必ず急速充電器はプラグをACコンセントから抜いて、シガーライター充電器はプラグをシガーライターソケットから抜いて、905SHを取り外してください。

お手入れのときは

安全のため、急速充電器はプラグをACコンセントから抜いて、シガーライター充電器はプラグをシガーライターソケットから抜いて行ってください。感電やけがの原因となることがあります。

シガーライター充電器のケーブル類の配線について

ケーブル類の配線は、運転または車の乗降に支障がないようにご注意ください。けがや事故の原因となることがあります。

⚠注意

電池パックの取り扱いについて

衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。
発熱・破裂・発火の原因となることがあります。

電池パックを直射日光の強い所や炎天下の車内などの高温の場所で使用したり、放置しないでください。
発熱・発火、電池パックの性能や寿命を低下させる原因となることがあります。

水や海水などにつけたり、ぬらさないでください。
電池パックの破損や性能・寿命を低下させる原因となることがあります。

電池パックが漏液して液が皮膚や衣類に付着したときには、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因となることがあります。

不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てないでください。端子にテープなどを貼り、個別回収に出すか、最寄りのボーダフォンショップへお持ちください。
電池を分別している市町村では、その規則に従って処理してください。

電池パックは乳幼児の手の届かない所に保管してください。けがなどの原因となることがあります。また、使用する際にも乳幼児が機器から取り外さないようにご注意ください。

- 電池パックの充電は、周囲温度５℃〜35℃の場所で行ってください。この温度範囲以外で充電すると、漏液や発熱したり、電池パックの性能や寿命を低下させる原因となることがあります。
- 電池パックをお子さまがご使用の場合は、保護者が取扱説明書の内容を教えてください。
  また、使用中においても、取扱説明書のとおりに使用しているかどうかをご注意ください。
- 電池パックをはじめてご使用の際に、異臭・発熱や、その他異常と思われたときは、使用しないで、ボーダフォンの故障受付窓口にご連絡ください。
- 電池パックを使い切った状態で、保管・放置はしないでください。
  また、電池パックを長期間保管・放置されるときは、半年に１回程度、電池パックの補充電を行ってください。そのままにしておくと、電池パックが使用できなくなります。

お願いとご注意

ご利用にあたって

- 事故や故障などにより905SH／メモリカードに登録したデータ（電話帳・画像・サウンドなど）が消失・変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。大切な電話帳などのデータは、控えをとっておかれることをおすすめします。
- 905SHは、電波を利用しているため、特に屋内や地下街、トンネル内などでは電波が届きにくくなり、通話が困難になることがあります。また、通話中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通話が急に途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 905SHを公共の場所でご利用いただくときは、周囲の人たちの迷惑にならないようにご注意ください。
- 905SHは電波法に定められた無線局です。したがって、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。あらかじめご了承ください。
- 一般の電話機やテレビ、ラジオ等をお使いになっている近くで905SHを使用すると、雑音が入るなどの影響を与えることがありますので、ご注意ください。
- **傍受にご注意ください。**
  905SHは、デジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を利用している関係上、通常の手段を超える方法をとられたときには第三者が故意に傍受するケースもまったくないとはいえません。この点をご理解いただいたうえで、ご使用ください。
  傍受（ぼうじゅ）とは
  無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。

自動車内でのご使用にあたって

- 運転中は、905SHを絶対にご使用にならないでください。
- 905SHをご使用になるために、禁止された場所に駐停車しないでください。
- 905SHを車内で使用したときは、自動車の車種によって、まれに車両電子機器に影響を与えることがありますので、ご注意ください。

航空機の機内でのご使用について

- 航空機の機内では、絶対にご使用にならないでください。
  （電源も入れないでください。）
  運航の安全に支障をきたす恐れがあります。

お取り扱いについて

- 905SHの電池パックを長い間外していたり、電池残量のない状態で放置したりすると、お客様が登録・設定した内容が消失または変化してしまうことがありますので、ご注意ください。なお、これらに関しまして発生した損害につきましては、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 905SHは温度：5℃～35℃、湿度：35%～85%の範囲でご使用ください。
  極端な高温や低温環境、直射日光のあたる場所でのご使用、保管は避けてください。
- カメラ部分に、直射日光が長時間あたると、内部のカラーフィルターが変色して、画像が変色することがあります。
- 905SHを落下させたり衝撃を与えたりしないでください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布などでふいてください。
  また、アルコール、シンナー、ベンジンなどを用いると色があせたり、文字が薄くなったりすることがありますので、ご使用にならないでください。
- 雨や雪、湿気の多い場所でご使用になるときは、水にぬらさないよう十分ご注意ください。
- 905SHは精密部品で作られた無線通信装置です。
  絶対に分解、改造はしないでください。
- 905SHのディスプレイを堅い物でこすったり、傷つけないようご注意ください。
- 905SHを閉じるときは、ストラップなどを挟まないでください。ディスプレイが破損する原因となります。
- ステレオヘッドホンの中には開放型のものがあり、音が外にもれることがあります。
  周囲の人たちの迷惑にならないようにご注意ください。
- **905SHは防水仕様にはなっていません。**
  水にぬらしたり、湿度の高い所に置かないでください。
  - ■雨の日にバッグの外のポケットに入れたり、手に持って持ち歩かないでください。
  - ■エアコンの吹き出し口に置かないでください。急激な温度変化により結露し、内部が腐食する原因となります。
  - ■洗面所などでは衣服に入れないでください。ポケットなどに入れて、身体をかがめたりすると、洗面所に落としたり、水でぬらす原因となります。
  - ■海辺などに持ち出すときは、海水がかかったり直射日光があたらないように、バッグなどに入れてください。
  - ■汗をかいた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットに入れないでください。手や身体の汗が905SHの内部に浸透し、故障の原因となることがあります。
- **905SHに無理な力がかかるような場所には置かないでください。故障やけがの原因となります。**
  - ■905SHをズボンやスカートの前、または後ろのポケットに入れたまま、しゃがみこんだり座席や椅子などに座らないでください。特に、厚い生地の衣服のときはご注意ください。
  - ■荷物の詰まったカバンなどに入れるときは、重たい物の下にならないようにご注意ください。
- 905SHのイヤホンマイク端子に指定品以外のものは取り付けないでください。誤動作を起こしたり、905SHが破損することがあります。
- 電池パックを取り外すときは、必ず905SHの電源を切ってから取り外してください。
  データの登録やメールの送信等の動作中に電池パックを取り外さないでください。データの消失・変化・破損などの恐れがあります。

著作権等について

- 音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「**著作権侵害**」「**著作者人格権侵害**」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守のうえ、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、本製品にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

動画の撮影／再生の技術には「MPEG-4」が使われています。

This product is licensed under the MPEG-4 Visual Patent Portfolio License for the personal and non-commercial use of a consumer to (i) encode video in compliance with the MPEG-4 Video Standard ("MPEG-4 Video") and/or (ii) decode MPEG-4 Video that was encoded by a consumer engaged in a personal and non-commercial activity and/or was obtained from a licensed video provider. No license is granted or implied for any other use.

Additional information may be obtained from MPEG LA.
See http://www.mpegla.com.
This product is licensed under the MPEG-4 Systems Patent Portfolio License for encoding in compliance with the MPEG-4 Systems Standard, except that an additional license and payment of royalties are necessary for encoding in connection with (i) data stored or replicated in physical media which is paid for on a title by title basis and/or (ii) data which is paid for on a title by title basis and is transmitted to an end user for permanent storage and/or use. Such additional license may be obtained from MPEG LA, LLC.
See http://www.mpegla.com for additional details.

905SHは、RSA Security Inc.のRSA® BSAFE™ソフトウェアを搭載しています。
RSAはRSA Security Inc.の登録商標です。
BSAFEはRSA Security Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。

この製品では、株式会社アプリックスがJava™アプリケーションの実行速度が速くなるように設計したJBlend™が搭載されています。

Powered by JBlend™, Copyright 1997-2006 Aplix Corporation.

JBlendおよびJBlendに関連する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。
Javaおよびjavaに関連する商標は、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。

miniSD™はSDアソシエーションの商標です。

NetFront®

905SH のBluetooth®機能の周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器や、工場の製造ライン等で使用されている構内無線局、アマチュア無線局など（以下、「**他の無線局**」と略す）が運用されています。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記の事項に注意してご使用ください。

1 Bluetooth®機能を使用する前に、近くで同じ周波数帯を使用する「**他の無線局**」が運用されていないことを目視で確認してください。
2 万一、Bluetooth®機能の使用にあたり、905SHと「**他の無線局**」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、Bluetooth®機能の使用を停止（電波の発射を停止）してください。
3 その他不明な点やお困りのことが起きたときには、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先：ボーダフォン株式会社　お客さまセンター
ボーダフォン携帯電話から　157（無料）
※一般電話からおかけの場合、「**お問い合わせ先**」
（☞P.21-26）を参照してください。

● この無線機器は、2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10m以下です。

2.4FH1

本製品はAdobe Systems Incorporatedが開発したMacromedia® Flash® Lite™テクノロジーを搭載しています。

Macromedia、Flash、Macromedia Flash、Macromedia Flash Lite はAdobe Systems Incorporatedの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

MPEG Layer-3オーディオコーディング技術はFraunhofer IIS及びThomsonから実施許諾されています。

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

Powered by Mascot Capsule®/Micro3D Edition™
Mascot Capsule® is a registered trademark of HI Corporation

着うた®、着うたフル®は、株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

FeliCaはソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
FeliCaはソニー株式会社の登録商標です。
は、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
FeliCa is a contactless IC card technology developed by Sony Corporation.
FeliCa is a trademark of Sony Corporation.

「ComicSurfing®」は、株式会社セルシスの商標または登録商標です。

Vodafone、Vodafone live!（ボーダフォンライブ！）、スピーチマークデバイスおよびMy VodafoneはVodafone Group Plcの登録商標または商標です。

TVコール、Vアプリ、カスタムスクリーン、ムービー写メール、写メール、デルモジ、インプットメモリ、ちかチャットはボーダフォン株式会社の登録商標または商標です。

サイクロイドおよび「Cycloid」はシャープ株式会社の登録商標です。

CP8 PATENT

その他の記載している会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

905SHに搭載のソフトウェアは著作物であり、著作権、著作者人格権などをはじめとする著作者等の権利が含まれており、これらの権利は著作権法により保護されています。ソフトウェアの全部または一部を複製、修正あるいは改変したり、ハードウェアから分離したり、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング等は行わないでください。第三者にこのような行為をさせることも同様です。

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種【905SH】の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。

この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。

この携帯電話機【905SH】のSARは、0.69W/kgです。この値は、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省　電波利用ホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
社団法人電波産業会　くらしの中の電波ホームページ
http://www.arib-emf.org/index02.html
※技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第１４条の2)で規定されています。

「ボーダフォンのボディ SAR　ポリシー」について

＊ボディ (身体) SARとは：携帯電話機本体を身体に装着した状態で、携帯電話機にイヤホンマイク等を装着して連続通話をした場合の最大送信電力時での比吸収率（SAR）のことです。

＊＊比吸収率（SAR）：6分間連続通話状態で測定した値を掲載しています。

ボーダフォングループでは、ボディ SARに関する技術基準として、米国連邦通信委員会（FCC）の基準および欧州における情報を掲載しています。詳細は「米国連邦通信委員会（FCC）の電波ばく露の影響に関する情報」「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」をご参照ください。

＊＊＊身体装着の場合：一般的な携帯電話の装着法として身体から1.5センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。電波ばく露要件を満たすためには、身体から1.5センチの距離に携帯電話を固定出来る装身具を使用し、ベルトクリップやホルスター等には金属部品の含まれていないものを選んでください。

ボーダフォンのホームページからも内容をご確認いただけます。
http://www.vodafone.jp/japanese/information/sar/

「米国連邦通信委員会（FCC）の電波ばく露の影響に関する情報」

米国連邦通信委員会の指針は、独立した科学機関が定期的かつ周到に科学的研究を行った結果策定された基準に基づいています。この許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。

携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）という単位を用いて測定します。FCCで定められているSARの許容値は、1.6W/kgとなっています。

測定試験は機種ごとにFCCが定めた基準で実施され、下記のとおり本取扱説明書の記載に従って身体に装着した場合は0.457W/kgです。

身体装着の場合：この携帯電話機905SHでは、一般的な携帯電話の装着法として身体から1.5センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。FCCの電波ばく露要件を満たすためには、身体から1.5センチの距離に携帯電話を固定出来る装身具を使用し、ベルトクリップやホルスター等には金属部品の含まれていないものを選んでください。

上記の条件に該当しない装身具は、FCCの電波ばく露要件を満たさない場合もあるので使用を避けてください。

比吸収率（SAR）に関するさらに詳しい情報をお知りになりたい方は下記のホームページを参照してください。

Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) のホームページ
http://www.phonefacts.net (英文のみ)

「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」

この携帯電話機905SHは無線送受信機器です。本品は国際指針の推奨する電波の許容値を超えないことを確認しています。この指針は、独立した科学機関である国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が策定したものであり、その許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。

携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）という単位を用いて測定します。携帯機器におけるSAR許容値は2W/kgで、身体に装着した場合のSARの最高値は0.286W/kg*です。

SAR測定の際には、送信電力を最大にして測定するため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。これは、携帯電話機は、通信に必要な最低限の送信電力で基地局との通信を行うように設計されているためです。

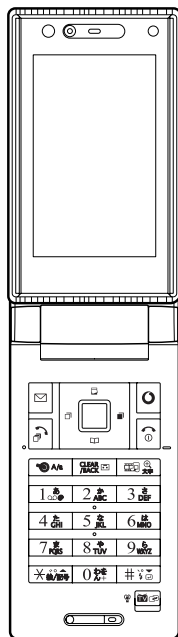
世界保健機関は、モバイル機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。また、電波の影響を抑えたい場合には、通話時間を短くすること、または携帯電話機を頭部や身体から離して使用することが出来るハンズフリー用機器の利用を推奨しています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

（http://www.who.int/emf）(英文のみ)

*身体に装着した場合の測定試験はFCCが定めた基準に従って実施されています。値は欧州の条件に基づいたものです。

ご利用になる前に

代表的な機能

● ■の利用には、市販のメモリカードが必要です。

サイクロイドポジション
ディスプレイを横向きに回転して利用できます。テレビやカメラ、TVコールなどが横画面で楽しめます。
P.1-11

テレビ
905SHだけで、ワンセグや、アナログテレビ放送を見たり録画することができます。
P.6-2

FMラジオ
905SHだけで、FMラジオを聴くことができます。
P.7-2

顔認証
お客様の顔画像を登録し、電源を入れたときなどのセキュリティ（本人確認）に利用できます。
P.11-17

ボーダフォンライブ! キャスト
いろいろな情報が配信され、自動的に受信できます。
P.18-2

ちかチャット
ちかチャット対応端末どうしでメッセージを直接やりとりできます。
P.18-4

USIMカード対応
USIMカード内にお客様の電話番号が登録されており、他のUSIMカード対応機でも利用できます。
P.1-4

電話帳
最大750件（１件の電話帳につき電話番号とE-mailアドレス各３件）まで登録できます。
P.4-2

ボーダフォンアドレスブック
サーバに電話帳を保存したり、905SHとサーバの電話帳を同期させることができます。
P.4-15

TVコール
お客様ご自身と相手の映像を見ながら、通話できます。テレビなど外部機器にも出力できます。
P.5-2

カメラ
内蔵のカメラで、静止画や動画が撮影できます。撮影後の画像はメールで送信できます。
P.8-2

メディアプレイヤー
905SHで録音／撮影したり、ダウンロードした音楽や動画を再生できます。
P.9-2

データフォルダ
静止画や動画、メロディ、アニメーション、テキストメモなど、各種データをまとめて管理できます。
P.10-2

メモリカード
録画したテレビ番組や静止画、動画、音楽などの各種データをメモリカードに保存できます。
P.10-18

ディスプレイ設定
待受画面や着信中などにお好みの画像を表示したり、画面の文字のサイズ／太さを変更できます。
P.11-3

カスタムスクリーン
905SHを利用中に表示される各画面を、お好みの形式に一括して変更できます。
P.11-5

Language／言語選択
メニューや各種メッセージを日本語または英語に切り替えられます。
P.11-5

外部出力
テレビなどで、静止画／動画やゲーム、TVコールの画面などを見ることができます。
P.11-9

Bluetooth®／赤外線通信
Bluetooth®や赤外線通信に対応している他の機器との間で、データをやりとりできます。
P.12-2、P.12-9

カードリーダモード
905SHのメモリカード内のデータを、パソコンから操作（読み書き）することができます。
P.12-14

カレンダー／予定リスト
時間や期限の決まった予定や用件を登録して、スケジュールを管理できます。
P.13-2、P.13-8

ボイスレコーダー
905SHで音声を録音／再生できます。音声をメールで送信したり、着信音として利用できます。
P.13-17

バーコード／文字読み取り
バーコードや文字を読み取ったり、電話帳などからQRコードを作成できます。
P.13-19、P.13-23

ボーダフォンライブ! FeliCa
905SHに搭載されているICカードを利用して、905SHで買い物の支払などができます。
P.19-2

オプションサービス

転送電話サービス
かかってきた電話を指定した電話番号へ転送します。
P.14-2

留守番電話サービス
電話に出られないとき、相手からのメッセージをお預かりします。
P.14-3

着信お知らせ機能
電源を切っているときや圏外時にかかってきた電話を、記憶してお知らせします。
P.14-5

割込通話サービス
通話中にかかってきた電話を受けられます。
P.14-5

多者通話サービス
複数で同時に通話したり、相手を切り替えながら通話できます。
P.14-6

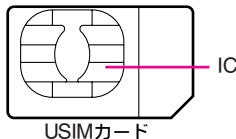
発着信規制サービス
電話をかけたり受けたりすることを制限できます。
P.14-7

発信者番号通知サービス
お客様の電話番号を相手に通知するかどうかを設定できます。
P.14-10

USIMカードのお取り扱い

USIMカードをご利用になる前に

USIM（ユーシム）カード（以下「**USIMカード**」と記載）は、電話番号やお客様情報が入ったICカードです。USIMカード対応のボーダフォン携帯電話に取り付けて使用します。USIMカードが取り付けられていないときは、電話の発着信、メール、ウェブなどの機能が利用できません。

- USIMカードについて詳しくは、USIMカードに付属の説明書を参照してください。
- USIMカードには電話帳を保存できます。（☞P.4-3）
- USIMカードに保存したデータは、他のUSIMカード対応のボーダフォン携帯電話でもご利用いただけます。
- USIMカードの取り付け、および取り外し時には、必要以上に力を入れないようにしてください。
- 他社製品のICカードリーダーなどに、USIMカードを挿入して故障したときは、お客様ご自身の責任となり当社では一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは乾いた柔らかい布などでふいてください。
- USIMカードにラベルなどを貼り付けないでください。故障の原因となります。

USIMカード

注意▶ 解約／機種変更をしたときやUSIMカードを変更したとき、905SHを修理したときは、905SHやメモリカードに保存した着うた®／着うたフル®／メロディ／ムービー／Vアプリ／ICアプリ／ブック／カスタムスクリーンなどのファイルが利用できなくなることがあります。あらかじめご了承ください。

■905SHを落としたり、強い衝撃を与えたとき

USIMカードを正しく認識しなくなることがあります。
そのときは、画面に「**リフレッシュ**」と表示され、リフレッシュ終了後、待受画面に戻りますが、故障ではありません。
また、画面に「**USIMカード未挿入**」とメッセージが表示されているときは、電源を切り、USIMカードが正しく装着されているか確認のうえ、電源を入れ直してください。

USIMカードについてのその他ご注意

- USIMカードの所有権は当社に帰属します。
- 紛失・破損などによるUSIMカードの再発行は有償となります。
- 解約・休止などの際は、USIMカードを当社にご返却ください。
- お客様からご返却いただいたUSIMカードは、環境保全のためリサイクルされています。
- USIMカードの仕様、性能は予告なしに変更する可能性があります。ご了承ください。
- お客様ご自身でUSIMカードに登録された情報内容は、別途、メモなどに控えて保管することをおすすめします。万一、登録された情報内容が消失した場合でも、当社では一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- USIMカードや、ボーダフォン携帯電話（USIMカード装着済）を盗難・紛失された場合は、必ず緊急利用停止の手続きを行ってください。緊急利用停止の手続きについては、お問い合わせ先（☞P.21-26）までご連絡ください。

USIMカードを取り付ける／取り外す

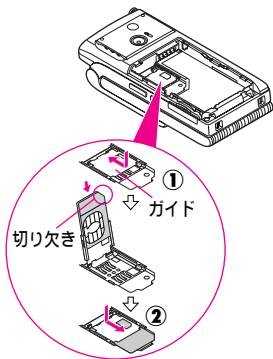
- 電池パックを取り外した状態（☞P.1-16）で行ってください。
- USIMカードを無理に取り付けたり、取り外すと、USIMカードや905SHが破損することがありますので、ご注意ください。
- USIMカードを取り付けたり、取り外すときは、IC部分に不用意に触れたり、傷を付けたりしないでください。IC部分に汚れなどが付着すると、USIMカードを正しく認識しなくなることがあります。（☞P.1-4）
  また、電池パックとの接点部分にも触れないようにしてください。

取り付ける

1 ガイドを下方向に押しながら、①のようにスライドさせて起こす。

2 金色のIC部分を図の向きにして、USIMカードをガイドの奥までゆっくりと押し込む。

3 ガイドを倒し、ガイドを下方向に押しながら②のようにスライドしてロックする。

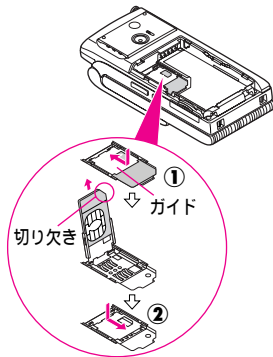
4 電池パックを取り付ける。（☞P.1-16操作３以降）

取り外す

- 取り外したUSIMカードは紛失しないよう、ご注意ください。

1 ガイドを下方向に押しながら、①のようにスライドさせて起こす。

2 ガイドから USIM カードをゆっくりと抜き取る。

3 ガイドを倒し、ガイドを下方向に押しながら②のようにスライドしてロックする。

4 電池パックを取り付ける。（☞P.1-16操作３以降）

PINコード

USIMカードには、「**PIN１コード**」と「**PIN２コード**」の２つの暗証番号があります。

PIN１コード

第三者によるボーダフォン携帯電話の無断使用を防ぐための４～８ケタの暗証番号です。

- PIN１コードは、905SHの操作で変更することができます。（☞P.11-20）
- PIN On／Off設定（☞P.11-20）を「**On**」（照合する）にすると、USIMカードを905SHに取り付けて電源を入れたとき、PIN１コードを入力しないと905SHを使用することができなくなります。
- お買い上げ時には、「**9999**」に設定されています。

PIN２コード

通話料金のリセットや「**通話料金上限設定**」（☞P.2-15）に使用する暗証番号です。

- PIN２コードは、905SHの操作で変更することができます。（☞P.11-20）
- お買い上げ時には、「**9999**」に設定されています。

PINロック解除コード（PUKコード）

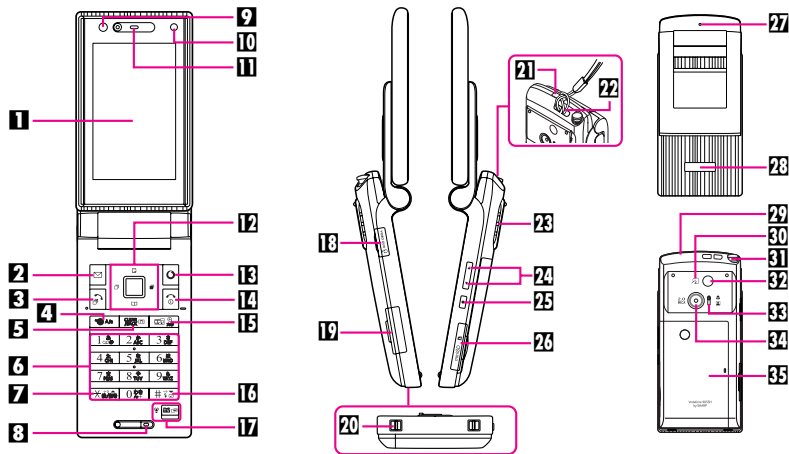
PIN１コードまたはPIN２コードの入力を３回続けて間違えると、「**PIN１ロック**」または「**PIN２ロック**」が設定されます。「**PINロック解除コード（PUKコード）**」は、このPINロックを解除（☞P.11-20）するための暗証番号です。

- PINロック解除コードについては、お問い合わせ先（☞P.21-26）までご連絡ください。

注意▶

- PINロック解除コードの入力を10回続けて間違えると、USIMカードがロックされ、905SHが使用できなくなります。PINロック解除コードはメモに控えるなどして、お忘れにならないようにご注意ください。
- USIMカードがロックされたときは、ロックを解除する方法がなくなります。お問い合わせ先（☞P.21-26）までご連絡ください。
- PIN On／Off設定（☞P.11-20）を「**On**」（照合する）にしているときの「**110**」などの緊急電話発信については、P.2-3を参照してください。

各部の名称と機能

本体

1 ディスプレイ

2 メールボタン
メールを利用するときや、画面左下のソフトキー（☞P.1-23）を利用するときに使用します。

3 開始ボタン
電話をかけるときや受けるとき、全通話履歴を表示するときに使用します。

4 ショートカット／A/aボタン
ショートカットリストを表示するときや、文字入力時に大文字⇔小文字を切り替えるときなどに使用します。

5 クリア／バックボタン
入力した電話番号、文字などを削除するときや、各種メニューをキャンセルするときなどに使用します。

6 ダイヤルボタン
電話番号や文字の入力などを行うときに使用します。

7 ✱ボタン
文字入力画面で、絵文字リストや記号リストなどを表示するときに使用します。

8 マイク（送話口）

補足▶ P.1-7～P.1-9の操作方法は代表的なものを記載しています。

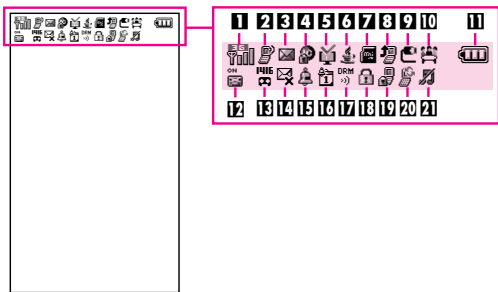
9 インカメラ
TVコール利用時、ここから撮影した画像が相手に送られます。
10 調光センサー
ディスプレイ照明の明るさを自動調整（☞P.6-19、P.11-8）するためのセンサーです。周囲の明るさを検知できないことがありますので、シールなどを貼らないでください。
11 レシーバー（受話口）
相手の声がここから聞こえます。
12 マルチガイド／誤動作防止ボタン
メニュー項目の選択や決定、カーソルの移動、画面をスクロールするときなどに使用します。
また、誤動作防止を設定／解除するときに使用します。（■1秒以上長押し）
13 ボーダフォンライブ! ボタン
ウェブを利用するときや、画面右下のソフトキー（☞P.1-23）を利用するときに使用します。
14 電源／終了ボタン
電源を入れるときや切るときに使用します。
15 マルチメディア／文字ボタン
メディアプレイヤーを起動したり、文字の入力モードを切り替えるときに使用します。
また、でか文字モードを設定／解除するときにも使用します。（1秒以上長押し）
16 #ボタン
文字入力画面で、句読点、改行、スペースなどを入力するときに使用します。
17 テレビ／マルチジョブ機能／マナーボタン
待受画面でテレビを起動するときや、マルチジョブ機能（☞P.1-26）利用中に画面や表示を切り替えるときに使用します。また、マナーモードを設定／解除するときにも使用します。（1秒以上長押し）
18 VIDEO OUT／イヤホンマイク／光デジタル・ライン入力端子
TVアンテナ付きステレオイヤホンマイクや、オプション品のL型ビデオ出力ケーブルなどを接続する端子です。通常は端子キャップを閉じてお使いください。
19 外部機器端子
急速充電器やシガーライター充電器などを接続する端子です。通常は端子キャップを閉じてお使いください。
20 充電端子
21 赤外線ポート
赤外線通信でデータを送受信するときに使用します。
22 ストラップ取り付け穴
市販のストラップを取り付ける穴です。
23 スピーカー
24 音量／ズームボタン
テレビの音量調節やカメラのズームを利用するときに使用します。
25 録画／シャッターボタン
テレビ視聴中に録画／停止したり、カメラで撮影するときに使用します。また、カメラを起動するときや、クローズポジションでスポットライトを点灯するときにも使用します。（1秒以上長押し）
26 メモリカードスロット
メモリカードを挿入する場所です。
27 スモールライト
28 サブディスプレイ
29 内蔵アンテナ
この部分に通信用のアンテナが内蔵されています。
30 マーク
ボーダフォンライブ! FeliCa 対応サービスを利用するためのICカードが内蔵されています。（☞P.19-3）
31 ホイップアンテナ
テレビ／FM受信用のアンテナです。
32 モバイルライト
着信時に点滅します。カメラでは、モバイルライト撮影時に点灯します。また、スポットライトとしても利用できます。
33 接写スイッチ
接写モード（「」）と通常モード（「」）を切り替えるときに使用します。

34 アウトカメラ（レンズカバー）
35 電池カバー

注意▶
- ホイップアンテナ（☞P.1-7 31）は、テレビ／FM受信用です。ホイップアンテナを伸ばしても通話品質は変わりません。

内蔵アンテナ（☞P.1-7 29）について
- 内蔵アンテナ部分は、手で覆ったりすると感度に影響しますのでご注意ください。また、内蔵アンテナ部分にシールなどを貼らないでください。
- ご使用中の体の向きや通話している場所によっては、通話品質が変わることがあります。
- 電波の弱い場所では、クローズポジション（☞P.1-11）での待ち受けをおすすめします。
- 金属性のストラップを取り付けないでください。内蔵アンテナの感度に影響します。

画面表示

ディスプレイ

1 電波状態表示
サービス圏内：
※「」の棒の数が多いほど、電波の状態が良好です。
：強　：中　：弱　：微弱　圏外：圏外

2 着信表示／通信中表示／オフライン表示（☞P.2-18）／パケット通信表示（☞P.16-2）／SSL表示（☞P.16-3）
音声電話着信中：　音声電話通話中：
TVコール通話中：　オフラインモード中：
パケット通信利用可能時：　パケット通信中：
SSL対応の情報画面表示中：

3 メール表示（☞P.15-3）
未読メールあり：　未読配信レポートあり：
メール容量不足時：（赤色）
メール受信中：　メール送信中：

4 ICカードロック表示（☞P.19-4）

5 テレビ視聴／録画予約表示（☞P.6-16）

6 Vアプリ表示（☞P.17-5）／音楽再生中表示（☞P.9-10）／テレビ録画中表示（☞P.6-13）／FMラジオ利用中表示（☞P.7-4）
Vアプリ起動中：　Vアプリ一時停止中：（グレー）
音楽再生中：　テレビ録画中：　FMラジオ利用中：

7 メモリカード状態表示／ウェブ着信表示／キャスト着信表示（☞P.18-2）／ソフトウェア更新表示（☞P.21-9）
取り付け中：　使用中：　フォーマット中：
使用不可能時：
ウェブ着信あり：　キャスト着信あり：
ソフトウェア更新表示：
ソフトウェア更新結果あり：

8 転送表示（☞P.14-2）／マルチジョブ機能表示（☞P.1-26）
転送電話サービス／留守番電話サービス設定時：
※音声通話の「**呼出なし**」設定時に表示されます。
マルチジョブ機能利用中：

9 外部通信表示
USB通信可能： USB通信中：
赤外線通信接続中： 赤外線通信データ送受信中：
Bluetooth®通信可能：※ Bluetooth®通信中：
Bluetooth®通話中：
※デバイスの公開を「Off」にしているときは、グレーで表示されます。

10 モード表示（☞P.11-2）／スピーカーホン表示（☞P.2-11）／マイクミュート表示（☞P.2-11）
ミーティングモード： アクティブモード：
運転中モード： ヘッドセットモード：
マナーモード：
※上記の各モードを設定しているときに表示されます。
スピーカーホン通話中： マイクミュート中：
スピーカーホン通話＋マイクミュート中：

11 電池レベル表示（☞P.1-15）
電池パックの残量（電池レベル）の目安が表示されます。
画面によっては「」で表示されます。

12 簡易留守録表示（☞P.2-9）
簡易留守録設定中：
用件録音時：（簡易留守録解除時：）

13 メッセージお預かり表示（☞P.14-4）
留守番電話センターに伝言メッセージあり：

14 送信失敗表示（☞P.15-9）
送信失敗メールあり：

15 アラーム表示（☞P.13-11）

16 予定表示（☞P.13-3）
アラームON時： アラームOFF時：
※予定が設定されている日に、まだ設定時刻になっていない予定があるときに表示されます。

17 著作権情報表示
コンテンツ・キー受信時：
※コンテンツ・キーの空容量が少なくなってきたときは、「」（10%未満）や「」（5%未満）が表示されます。

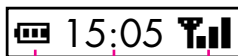
18 シークレットモード表示（☞P.11-21）
シークレットモード設定中：

19 ダイヤル操作禁止表示（☞P.11-21）／誤動作防止表示（☞P.1-21）
ダイヤル操作禁止設定中： 誤動作防止設定中：

20 赤外線通信表示
赤外線通信可能時：（矢印グレー）

21 着信音表示／バイブレータ表示（☞P.11-11、P.11-12）
通常着信音（サイレント）：
通常着信音（ステップトーン）：
バイブレータ設定時：
※サイレントでバイブレータ設定時は「」が表示されます。

サブディスプレイ

- ここでは代表的なものを記載しています。

1 ／（電池レベル表示）
（ICカードロック表示）
2 時刻表示
3（電波状態表示）

■その他の表示

着信などがあったときや905SHの動作によっては、次のマークが表示されます。

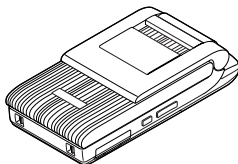
不在着信あり		アラーム動作あり	
簡易留守録用件あり		カレンダーアラーム動作あり	
メール着信あり		予定リストアラーム動作あり	
配信確認あり		ウェブ受信あり	
送信失敗メールあり		Vアプリ開始要求あり	
キャスト要求あり		キャストエラー	
コンテンツキー受信あり		テレビ録画予約時間お知らせ	
テレビ視聴予約時間お知らせ			

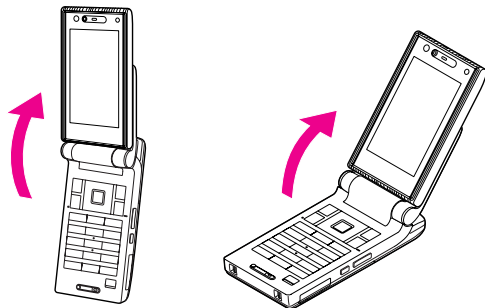
- マークのあとに件数が表示されることもあります。
- 着信などの動作が3種類以上あるときは、◀▶でマークを切り替えられます。

ポジションについて

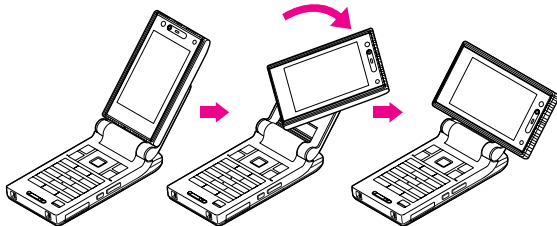
本書では、905SHの状態を「**クローズポジション**」/「**オープンポジション**」/「**サイクロイドポジション**」と表記しています。

■クローズポジション

905SHを2つ折りにした状態です。
携帯するときは、この状態にしてください。

■オープンポジション

905SHを開いた状態です。ボタン操作や通話などを行うときは、この状態にしてください。

■サイクロイドポジション

オープンポジションから、905SHのディスプレイを時計まわりに回転し、画面を横向きにした状態です。横表示に対応している次の機能で利用できます。

- デジタルTV、アナログTV、TVプレイヤー、カメラ、ビデオカメラ、ムービー再生、TVコール、Vアプリ(横表示専用)

注意▶
- サイクロイドポジションのまま携帯しないでください。ディスプレイを破損する恐れがあります。
- ディスプレイを無理に回転しないでください。905SHやディスプレイを破損する恐れがあります。
- サイクロイドポジションで通話するときは、必ずスピーカーホンまたはTVアンテナ付きステレオイヤホンマイクをお使いください。(レシーバーで通話するときは、必ずオープンポジションにしてください。)

補足▶ 待受画面でサイクロイドポジションにすると、テレビが起動します。起動しないように設定することもできます。(☞P.6-21)

電池パックと充電器のお取り扱い

電池パックと充電器をご利用になる前に

はじめてお使いになるときや、長時間ご使用にならなかったときは、必ず充電してお使いください。

電池パックの寿命について

- 極端な低温／高温の状態では、使用／保存しないでください。極端な温度の状態では、劣化が進行し、本来の容量が得られなくなります。
  ※推奨使用温度：5℃～35℃
- 指定品以外の充電器で充電しないでください。指定品以外の充電器を使用すると、充電制御回路が不適だったり、充電制御回路が内蔵されていない場合があり、電池パックを劣化させるばかりか、非常に危険な状態（発火、発熱など）となる可能性があります。また、完全に充電できない、電源が入らないなどの原因となることがあります。
- 電池パックは消耗品です。電池パックを完全に充電しても使用できる時間が極端に短くなったら、交換時期です。新しい電池パックをお買い求めください。

充電を行うときは

- 充電器を905SHの充電以外に使用しないでください。
- 電池パックの金属部分（充電端子）を針金などの金属類でショートさせると大電流が流れて発熱したり、破損しますので、取り扱いにはご注意ください。
- 充電が始まるとスモールライトが赤色点灯します。（電源OFF時に充電する場合は、スモールライトが点灯するまでにしばらく時間がかかることがあります。）
- 充電時間は約140～145分です。
  - ■**常温（電源OFF時）での充電時間の目安です。**
    周囲温度によって充電時間は異なります。
- 充電中、充電器や905SHがあたたかくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- 充電器を使用中、ご家庭でお使いのテレビやラジオなどに雑音が入る場合は、充電器を雑音の入らない場所まで遠ざけてください。

充電時のご注意

- 電池パックや905SH、充電器の金属部分（充電端子）が汚れると、接触が悪くなり、電源が切れたり、充電できないことがあります。汚れたら、乾いたきれいな綿棒で清掃をしてからご使用ください。
- 次のような場所でのご使用は避けてください。
  - ■極端な高温や低温環境
  - ■湿気、ほこり、振動の多い場所
  - ■直射日光のあたる場所
- 電池パックを使い切った状態で、保管・放置はしないでください。また、電池パックを長期間保管・放置されるときは、半年に1回程度、補充電を行ってください。そのままにしておくと、電池パックが使用できなくなることがあります。
- 電池パック単体を持ち運ぶときは、袋などに入れてください。

補足▶
- 電池パック単体で充電することはできません。905SHに電池パックを取り付けた状態で充電してください。
- 電源を入れて、待受状態でも充電することができます。電源を入れて充電したとき、充電中は「▥」が点滅します。充電が完了すると、点灯に変わります。
- 905SHを開いた状態でも充電することができます。

完全に充電したときの利用可能時間

連続通話時間	約180分
連続待受時間	約360時間
連続操作時間	約5.5時間
連続再生時間	約13時間
TVコール連続通話時間	約90分（インカメラ使用時）／約70分（アウトカメラ使用時）
テレビ連続視聴時間	約４時間（デジタルTV）／約1.5時間（アナログTV）
テレビ連続録画時間	約３時間（デジタルTV）／約１時間（アナログTV）

※上記の各利用可能時間は、バックライトが「**自動**」（お買い上げ時）に設定されているときのものです。

- 連続通話時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。
- 連続待受時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、905SHをクローズポジションにした状態で通話や操作をせず、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。電波の届きにくい場所（ビル内、車内、カバンの中など）や、圏外表示の状態での待受では、ご利用時間が約半分以下になることがあります。また、使用環境（充電状態、気温など）によっては、ご利用可能時間が変動することがあります。
- 連続操作時間とは、通話をしないで連続してボタンを押し続けたときの利用可能時間です。
- 連続再生時間とは、905SHをクローズポジションにして、オンラインモード、サウンド効果「**標準**」で連続して音楽を再生し続けたときの利用可能時間です。
（TVアンテナ付きステレオイヤホンマイク使用時）
- テレビ連続視聴時間とは、TV時パネル明るさ調整「**明るさ２**」で連続してテレビを視聴したときの利用可能時間です。
（TVアンテナ付きステレオイヤホンマイク使用時）
- 電池パックの利用可能時間は電波が安定した状態で算出した当社計算値です。

電池パックの持ちについて

次のような使用や操作をされた場合は、電池パックの消耗が早いため、905SHの利用可能時間が短くなります。

- **使用環境**
  - ■極端な低温／高温の状態で使用／保存されているとき（周囲温度５℃〜35℃の場所でお使いください。）
  - ■905SHや電池パック、充電器の充電端子が汚れているとき（充電端子が汚れていると、接触が悪くなり正常に充電できなくなります。）
  - ■電波の弱い場所で通話しているときや圏外で待受状態にしているとき（なるべく電波状態の良い環境でお使いください。）
- **操作**
  - ■テレビ／ラジオを視聴しているとき
  - ■テレビの録画／再生をしているとき
  - ■Vアプリを起動しているとき
  - ■カメラ撮影／バーコード読み取りを多く使用したとき
  - ■モバイルライト撮影を多く使用したとき
  - ■動画を再生したとき
  - ■スポットライトを多く使用したとき
  - ■メール作成などの連続したボタン操作（照明の点灯時間が長くなる）を多くしたとき
  - ■音楽を再生したり、ボイスレコーダーを録音／再生したとき
  - ■Bluetooth®通信を多く使用したとき
  - ■赤外線通信を多く使用したとき
  - ■905SHのポジションを頻繁に変更したとき
- **設定**
  - ■パネル点灯時間やバックライトの点灯時間を長く設定したとき
  - ■パネル照明を明るくなるように調整したとき
  - ■パネル照明を「**自動**」にして、明るい場所で操作したとき
  - ■Bluetooth®機能を「**On**」にしているとき

電池パックの消耗を軽減するには

ディスプレイの照明設定（☞P.11-8）を変更していただくと、電池パックの消耗を軽減できます。

- ディスプレイやバックライトの点灯時間を短くするなど、設定を変更してください。

電池が切れたら

充電のメッセージが表示され、電池アラーム音が「**ピピピ**…」と鳴り、約20秒後に電源が切れます。（20秒以内に充電を開始したときは、電源は切れません。）

電池アラーム音が鳴っているときに を押すと、電池アラーム音は鳴りやみます。電池パックを充電してください。

（マナーモード設定中は、電池アラーム音は鳴りません。）

■音声電話の通話中に電池が切れたとき

- 電池アラーム音「**ピピ**」と、断続音が約５秒間隔で鳴ります。このときは、約20秒後に通話が終了したあと、電源が切れます。905SHを充電してください。

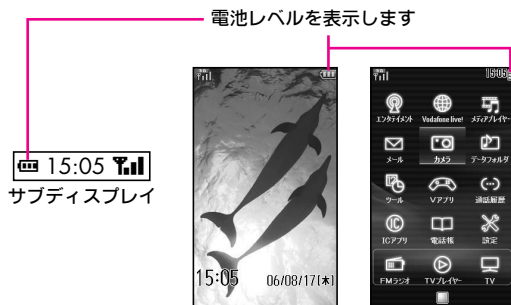
■TVコール通話中に電池が切れたとき

- 充電のメッセージが表示され、電池アラーム音が「**ピピピ**…」と鳴ると同時に通話が終了します。このあと、約20秒後に電源が切れます。

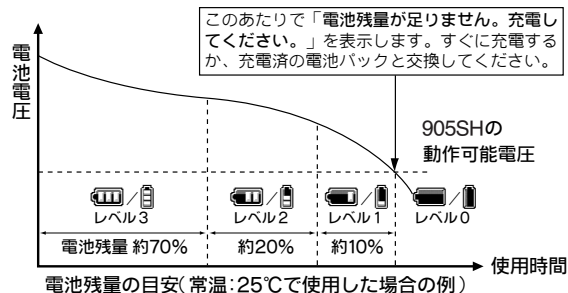
不要になった電池パックは

不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てないでください。

- 端子にテープなどを貼り、個別回収に出すか、最寄りのボーダフォンショップへお持ちください。
- 電池を分別している市町村の場合は、その規則に従って処理してください。

電池レベル表示の確認

- 電池残量が不足すると、電池アラーム音が鳴り、充電することをおすすめするメッセージが表示されます。このときは、約20秒後に電源が切れます。

■電池レベル表示について
電池レベル表示は、ご使用の時間経過とともに次のように変化します。
画面の電池レベル表示とメッセージをご確認のうえ、充電または電池パック交換の目安にしてください。

電池残量の目安（常温：25℃で使用した場合の例）

■ご使用の温度条件によって上図の電池レベル表示は次のように変化します
低温下では、レベル１が早めに表示されます。
高温下では、レベル１が遅めに表示されます。

注意▶
- 上記の電池レベル表示は電池残量の目安です。
- 電池レベル表示がレベル１になると、テレビの視聴、録画、再生、動画の撮影、音楽の再生、ボイスレコーダーの録音など利用できない機能があります。（☞P.6-9、P.6-13、P.6-15、P.8-9、P.9-9、P.13-17）

スモールライト／電池レベル表示

スモールライト（☞P.1-7㉗）や電池レベル表示は、次のような状態をお知らせします。

■電源が入っているとき

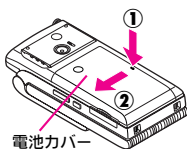
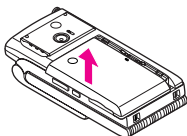
スモールライト	電池レベル表示（／）	状態
消灯	点滅	周囲温度が５℃～35℃以外
赤色点滅	点滅	電池パックの寿命、異常
赤色点灯	点滅	充電中
消灯	点灯	充電完了、待受中

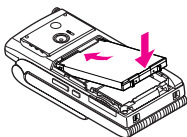
■電源が切れているとき

スモールライト	電池レベル表示（／）	状態
赤色点滅	消灯	電池パックの寿命、異常
赤色点灯	消灯	充電中
消灯	消灯	充電完了

電池パックを取り付ける／取り外す

取り付ける

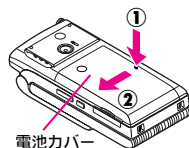
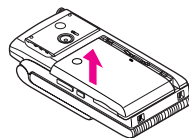
1 電池カバーを押しながら、②の方向にスライドする。

2 電池カバーを矢印の方向に持ち上げ、取り外す。

3 電池パックを取り付ける。

- 印刷面を上にして、本体のくぼみに電池パックの先を合わせて取り付けます。

4 電池カバーを取り付ける。

- 電池カバーを押しながら、電池カバーとキャビネットとのすき間が生じないようにスライドさせます。

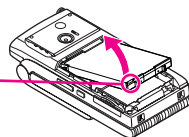
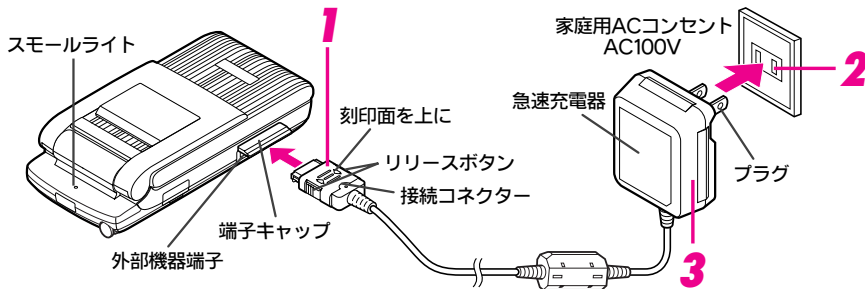
取り外す

- 必ず、905SHの電源を切った状態で行ってください。
- 905SHを操作したすぐあとは、電池パックを取り外さないでください。

1 電池カバーを押しながら、②の方向にスライドする。

2 電池カバーを矢印の方向に持ち上げ、取り外す。

3 電池パックを持ち上げ、取り外す。

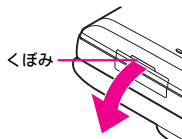
- この部分から電池パックを持ち上げます。

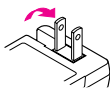
補足▶ 905SHは、リチウムイオン電池を使用しています。
リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。

- リサイクルは、お近くのモバイル・リサイクル・ネットワークのマークのあるお店で行っています。
- リサイクルのときは、次のことにご注意ください。火災・感電の原因となります。
  ■ ショートさせない。　■ 分解しない。

急速充電器を利用して充電する

必ず、付属の急速充電器を使用してください。

1 外部機器端子の端子キャップを開いたあと、引き出してから、急速充電器の接続コネクターを905SHに差し込む。

- 接続コネクターを水平になるようにして、「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込んでください。
- 端子キャップを開くときは、くぼみ部分から矢印の方向に開いてください。

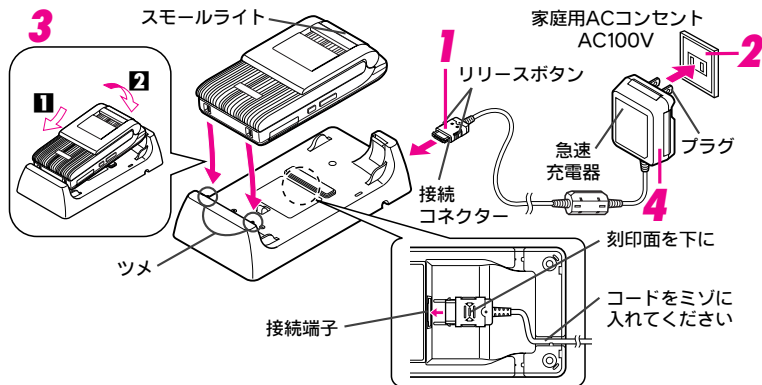
くぼみ

2 プラグを家庭用ACコンセントに差し込む。

- 充電が始まります。［充電時間：約140分］
（スモールライト赤色点灯：☞P.1-15）
- スモールライトが消灯すれば、充電は完了です。
- ACコンセントに差し込む前に、プラグを起こしてください。（ご使用後は、プラグを倒して保管してください。）

3 充電が完了したら…
905SHから接続コネクターを外し、プラグをACコンセントから抜く。

- 接続コネクターを外すときは、両側のリリースボタンを押さえながらまっすぐに引き抜いてください。
- 905SHの端子キャップを元に戻してください。

注意▶
- 急速充電器を携帯するときなどは、コードを強くひっぱったり、折り曲げたり、ねじったりしないでください。断線の原因となります。
- 急速充電器は家庭用AC100～240Vの電源に対応しています。

卓上ホルダーを利用して充電する

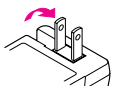
●卓上ホルダーはオプション品です。

必ず、付属の急速充電器を使用してください。

1 急速充電器の接続コネクターを、卓上ホルダーの接続端子に差し込む。

●卓上ホルダーの接続端子は裏側にあります。

●急速充電器の接続コネクターの挿入方向に注意して、「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込んでください。

2 プラグを家庭用ACコンセントに差し込む。

●ACコンセントに差し込む前に、プラグを起こしてください。（ご使用後は、プラグを倒して保管してください。）

3 905SHに電池パックを取り付け、卓上ホルダーに置く。

●1のように905SHを挿入し、2の矢印の方向に「カチッ」と音がするまで押し下げてください。

●充電が始まります。［充電時間：約140分］（スモールライト赤色点灯：☞P.1-15）

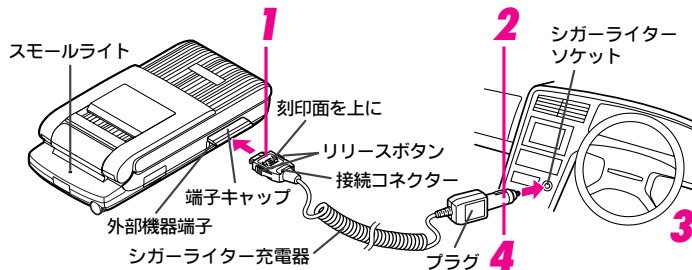
●スモールライトが消灯すれば、充電は完了です。

4 充電が完了したら…

卓上ホルダーから905SHを取り外し、プラグをACコンセントから抜く。

●急速充電器の接続コネクターを外すときは、両側のリリースボタンを押さえながらまっすぐに引き抜いてください。

シガーライター充電器を利用して充電する

●シガーライター充電器はオプション品です。

1 外部機器端子の端子キャップを開いたあと、引き出してから、シガーライター充電器の接続コネクターを905SHに差し込む。

●接続コネクターを水平になるようにして、「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込んでください。

2 シガーライターソケットにプラグを差し込む。

3 車のエンジンをかける。

●充電が始まります。[充電時間:約145分]
(スモールライト赤色点灯:☞P.1-15)

●スモールライトが消灯すれば、充電は完了です。

補足▶
●シガーライター充電器の操作方法などについては、シガーライター充電器の取扱説明書を参照してください。
●シガーライター充電器を使って充電するときは、905SHを固定させるため、車載ホルダーを利用することをおすすめします。

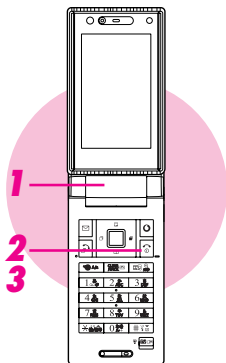
4 充電が完了したら…

905SHから接続コネクターを外し、プラグをシガーライターソケットから抜く。

●接続コネクターを外すときは、両側のリリースボタンを押さえながらまっすぐに引き抜いてください。

●905SHの端子キャップを元に戻してください。

注意▶
●オプション品のシガーライター充電器はマイナスアース車専用です。(12V、24V両用)
プラスアース車では使用しないでください。
●シガーライター充電器の電源は、自動車のキースイッチに連動しますが、自動車の種類によっては連動しないことがあります。自動車から離れるときは、電源が切れていることを確認してください。
●シガーライター充電器を卓上ホルダーに接続しないでください。故障の原因となることがあります。
●炎天下で高温になった自動車内では、充電しないでください。
●自動車を運転するときは、905SHを絶対にお使いにならないでください。

電源を入れる／切る

待受画面

1 905SHをオープンポジションにする。

2 [電源]を長く（「しばらくお待ちください」と表示されるまで）押す。

しばらくすると、起動画面が表示されたあと、「待受画面」が表示されます。

3 電源を切るときは…

[電源]を長く（2秒以上）押す。

終了画面が表示されたあと、ディスプレイが消灯します。

はじめてお使いになるとき

■起動画面が表示されたあと、オーナー情報設定の確認画面が表示されます。次の操作を行ってください。

[メール]（Yes）➡名前（姓）入力➡[■]➡名前（名）入力➡[■]

■お買い上げ後、はじめて[メール]、[O]、[■]を押すと、ネットワーク自動調整を行う確認画面が表示されます。次の操作を行ってください。

[メール]（Yes）

- ネットワーク自動調整を行うと、日付／時刻が設定されます。また、メールやウェブなどネットワークを利用するサービスや、デジタルTV、アナログTV、TVプレイヤーが利用できるようになります。
- ネットワーク自動調整は、手動で行うこともできます。（☞P.12-14）
- 本書では、ことわりがない限り、日付／時刻が設定されている状態での操作を説明しています。

待受画面に戻す

■機能を呼び出したあとやメニューを表示したあとなどに、各画面で[電源]を押すと、待受画面に戻ります。

- 確認画面が表示されたときは、[メール]（Yes）を押すと待受画面に戻ります。

注意▶
- 電源を入れたときにUSIMカードのデータを読み込むため、電波状態が表示されるまで時間がかかることがあります。また、はじめて電源を入れたときは、通常よりも時間がかかります。
- USIMカードが未装着のときは、画面に「**USIMカード未挿入**」と表示されます。詳しくは、P.1-4を参照してください。

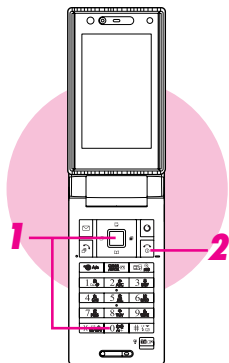
補足▶ 905SHは、通話中や操作をしない状態（クローズポジションを除く）が続くと、電池パックの消耗を抑えるため、自動的に画面表示が消えます。

お客様の電話番号を確認する

1 **■ 0わをん+ の順に押す。**

お客様の電話番号が表示されます。

- このあと、お客様の情報（オーナー情報）の登録／編集も行えます。（☞P.4-18）

2 **電話番号の確認を終わるときは、終話キー を押す。**

誤ってボタンが押されるのを防ぐ（誤動作防止）

カバンの中に入れて持ち運ぶときなどに、誤ってボタンを押さないように設定します。

誤動作防止を設定する

1 **■ を長く（1秒以上）押す。**

「誤動作防止アイコン」が表示され、誤動作防止が設定されます。

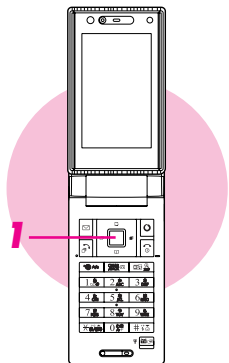
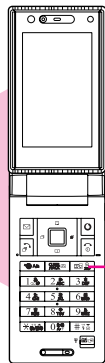
誤動作防止を解除する

1 **誤動作防止が設定されている待受中に、■ を長く（1秒以上）押す。**

「誤動作防止アイコン」が消え、誤動作防止が解除されます。

注意▶ 誤動作防止設定中の「110」などの緊急電話発信については、P.2-3を参照してください。

補足▶ 誤動作防止設定中は

- 電話がかかってきたときは、一時的に誤動作防止が解除され、通話キー を押して電話に出ることができます。［エニーキーアンサーを「On」にしているとき（☞P.11-2）は、エニーキーアンサーの各ボタン（☞P.2-6）を押しても電話に出られます。］
  通話終了後には、再度誤動作防止が設定されます。
- 終話キー を長く（2秒以上）押しても、電源は切れません。

ワンタッチで文字を大きくする（でか文字モード）

ボタン１つで、各画面に表示される文字を大きくすることができます。

1 待受画面で、[文字] を長く（１秒以上）押す。

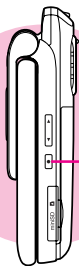
でか文字モードが設定され、以降各画面での文字サイズが次のようになります。

メニュー／リスト表示中	大
文字入力中	最大
メール本文表示中	最大
ウェブ閲覧中	最大

2 でか文字モードを解除するときは、[文字]を長く（１秒以上）押す。

でか文字モードを設定する前の文字サイズに戻ります。

- でか文字モード設定中に文字サイズを一部変更していたときは、変更後のサイズで表示されます。

補足▶ でか文字モード設定中に文字サイズをすべて変更したときは、その時点ででか文字モードは解除されます。（変更後のサイズで表示されます。）

スポットライトを利用する

905SHのモバイルライトを懐中電灯のように利用できます。（クローズポジション時）

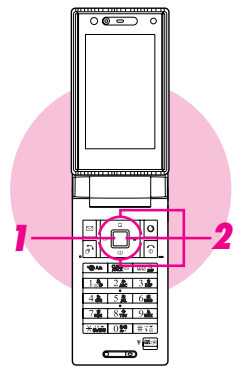
1 [●]を長く（１秒以上）押す。

スポットライトが点灯します。

■ 点灯カラーの変更：点灯中に[◄][►]

2 スポットライトを消すときは、[●]を押す。

注意▶ スポットライトを人の目に近づけて点灯させたり、発光部を直視したりしないでください。また、発光方向を確認してから、ご使用ください。

機能の呼び出し方

メインメニュー

メインメニューから機能を呼び出す

905SHのいろいろな操作は、「**メインメニュー**」から行います。

1 **■を押す。**

メインメニューが表示されます。

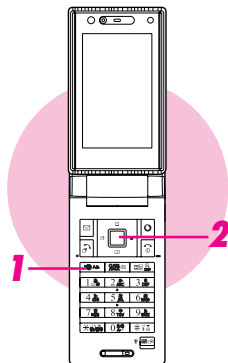
2 **でメニューを選び、■を押す。**

選んだメニュー内のサブメニュー（P.21-2、P.21-3）が表示されます。

ソフトキーの使い方

■各メニュー画面や操作画面では、次のように最下行にボタン操作を示す説明が表示されることがあります。

■メインメニューの項目

エンタテイメント	ボーダフォンライブ! キャスト、ちかチャット、コミックサーフィンが利用できます。
Vodafone live!	ウェブが利用できます。
メディアプレイヤー	動画や音楽を再生するメディアプレイヤーが利用できます。
メール	メールが利用できます。
カメラ	カメラが利用できます。
データフォルダ	データフォルダ内のファイルが利用できます。
ツール	カレンダーやアラームなど便利な機能が利用できます。
Vアプリ	Vアプリが利用できます。
通話履歴	通話の履歴などを確認できます。
ICアプリ	ICアプリが利用できます。
電話帳	電話帳が利用できます。
設定	各種設定が行えます。
FMラジオ	FMラジオが利用できます。
TVプレイヤー	録画したテレビ番組を視聴できます。
TV	テレビが利用できます。

簡単な操作で機能を呼び出す

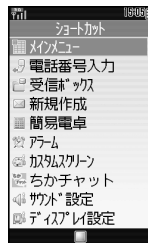
ショートカットを利用する

よく使う機能をショートカットに登録しておけば、簡単な操作で機能を呼び出せます。

- お買い上げ時には、ショートカットに次の機能が登録されています。
  - ■ メインメニュー、電話番号入力、受信ボックス（メール）、新規作成（メール）、簡易電卓、アラーム、カスタムスクリーン、ちかチャット、サウンド設定、ディスプレイ設定、Bluetooth®、Vアプリ、ICアプリ、マネー積算メモ

1 **[A/a]を押す。**

ショートカットに登録されている機能が表示されます。

2 **機能を選び、[■]を押す。**

ショートカットを編集する

●「メインメニュー」、「電話番号入力」は編集できません。

機能の変更	ショートカット画面で表示される機能を変更します。

[A/a]➡上書きする機能選択➡[✉]（メニュー）➡「登録」選択➡[■]➡登録する機能選択➡[✉]（決定）

機能の移動	ショートカット画面で表示される機能の順番を変更します。

[A/a]➡移動する機能選択➡[✉]（メニュー）➡「移動」選択➡[■]➡[↕]（移動先選択）➡[■]

初期値に戻す	ショートカットをお買い上げ時の状態に戻します。

[A/a]➡[✉]（メニュー）➡「設定リセット」選択➡[■]➡[✉]（Yes）

クイックオペレーションを利用する

待受画面で数字を入力すると、音声電話／TVコールの発信に加え、数字のケタ数に応じて利用できる機能が画面に表示されます。この状態で、機能名の前に表示されるボタンを押すと、その機能を操作できます。

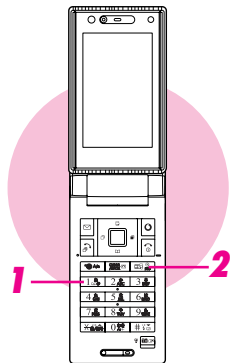
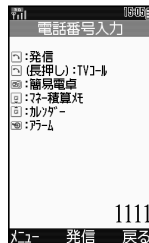
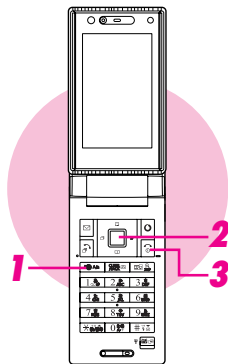
入力した数字のケタ数に応じて、次の機能が利用できます。

機能＼数字のケタ数	1	2	3	4	5～6	7～12	13～32
スピードダイヤル（☞P.4-14）	○※1	×	×	×	×	×	×
簡易電卓（☞P.13-16）	○	○	○	○	○	○	×
マネー積算メモ（☞P.13-26）	○	○	○	○	○	×	×
簡単メール（☞P.15-24）	○※2	×	×	×	×	×	×
カレンダー（☞P.13-2）	×	×	×	○※3	×	×	×
アラーム（☞P.13-11）	×	×	×	○※4	×	×	×
国際発信（☞P.2-5）	×	×	×	×	○	○	○

※1「0」、「1」を入力したときは、表示されません。
※2 ダイヤル後［メール］（**メール**）を押してください。また、あらかじめ簡単メール宛先（☞P.15-24）を設定しておく必要があります。
※3 ダイヤル後［カレンダー］を押してください。当日を含む1年以内で、指定した日を含むカレンダーが表示されます。ただし、存在しない月日［例：「4月31日」(0431)］を入力しても、カレンダーは表示されません。
※4 設定する時刻を24時間制の4ケタで入力してください。

■例：「1111」と入力して簡易電卓を呼び出すとき

1 ［1］［1］［1］［1］**の順に押す。**

2 ［電卓］**を押す。**

操作中に他の機能を呼び出す［マルチジョブ機能（マルチアプリ）］

操作中に他の機能を呼び出して操作することができます。

1 操作中に、[A/a]を押す。

ショートカット画面が表示されます。

- 利用できない機能はグレー表示されています。
- サイクロイドポジションでテレビを視聴しているときや、Vアプリ起動中など、マルチジョブ機能が利用できない状態や機能では、[A/a]は働きません。
- 文字入力画面や電話番号入力画面では、[A/a]を長く（1秒以上）押してください。

2 機能を選び、[■]を押す。

選んだ機能の画面が表示されます。（「[アイコン]」点灯）

- テレビ利用中に操作すると、画面の上下に2つの機能が同時に表示されることがあります。

機能の切替：[TV]

■ 機能の切り替えができない状態や機能では、[TV]は働きません。

3 マルチジョブ機能を終了するときは、[終話]を押す。

もう一方の機能の画面が表示されます。（「[アイコン]」消灯）

確認画面表示時：[メール]（Yes）

マルチジョブ機能利用中に電話がかかってくると

■ [■]を押すと、電話を受けることができます。通話を終えると、通話前に操作していた機能の画面に戻ります。

補足▶ 本書では、「マルチジョブ機能（マルチアプリ）」を、「マルチジョブ機能」と記載しています。

暗証番号

905SHのご使用にあたっては、「**操作用暗証番号**」と「**交換機用暗証番号**」、「**発着信規制用暗証番号**」が必要になります。

操作用暗証番号

「**9999**」もしくはご契約時にお決めいただいた4ケタの番号です。

905SHの各機能を操作するときに使用します。

- 入力した操作用暗証番号は「¥」で表示されます。
- 操作用暗証番号を間違えて入力したときは、番号間違いの確認メッセージが表示されます。操作をやり直してください。
- 操作用暗証番号は905SHの操作で変更できます。（☞P.11-22）

交換機用暗証番号

お客様がご契約時に申し込み書に記入された4ケタの番号です。

オプションサービスを一般電話から操作するときや、「**ウェブの有料情報**」の申し込みに必要な番号です。

- 交換機用暗証番号は905SHの操作では変更できません。交換機用暗証番号を変更するときは、手続きが必要となります。詳しくは、お問い合わせ先（☞P.21-26）までご連絡ください。

発着信規制用暗証番号

ご契約時にお決めいただいた4ケタの暗証番号で、905SHで発着信規制サービス（☞P.14-7）の設定を行うときに使用する番号です。

- 入力を続けて3回間違えると、発着信規制サービスの設定変更ができなくなります。このときは、発着信規制用暗証番号と交換機用暗証番号の変更が必要となりますので、ご注意ください。詳しくは、お問い合わせ先（☞P.21-26）までご連絡ください。
- 発着信規制用暗証番号は905SHの操作で変更できます。（☞P.14-9）

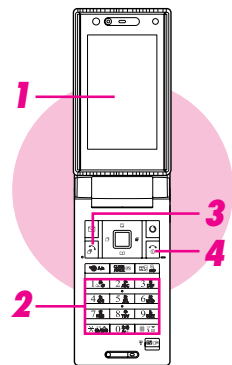
注意▶

- 操作用暗証番号や交換機用暗証番号、発着信規制用暗証番号は、お忘れにならないようご注意ください。いずれの暗証番号も万一お忘れになった場合は、所定の手続きが必要となります。詳しくは、お問い合わせ先（☞P.21-26）までご連絡ください。
- 操作用暗証番号や交換機用暗証番号、発着信規制用暗証番号は、他人に知られないようご注意ください。他人に知られ悪用されたときは、その損害について当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

基本的な操作のご案内

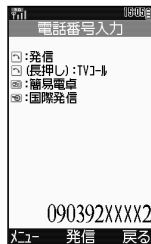
電話をかける

日本国内で音声電話をかける操作を説明します。

●日本国内で国際電話をかける操作はP.2-5、TVコールをかける操作はP.5-3を参照してください。

1 電源が入っていることを確認する。

●電波状態を確認してください。（☞P.1-9 1）

●画面に「圏外」、「」、「」、「」が表示されているときは、ご利用になれません。（☞P.21-4〜P.21-6）

2 市外局番からダイヤルする。

●同一市内への通話でも、必ず市外局番からダイヤルしてください。

■ 電話番号通知／非通知の設定：ダイヤル後 ✉（**メニュー**）➡「**発信者番号通知**」／「**発信者番号非通知**」選択➡■

3 電話番号を確認し、を押す。

電話番号を間違えたとき

●で、カーソル「＿」を移動したあとCLEAR/BACKを押すと、カーソル位置の番号が消えます。

●CLEAR/BACKを長く（1秒以上）押すと、数字がすべて消え、待受画面に戻ります。ただし、カーソルを移動しているときは、カーソル位置より後ろの番号がすべて消えます。

●を押したあとで間違いに気付いたら、を押して電話を切り、かけ直してください。

相手がお話し中のとき

●を押していったん電話を切り、しばらくしてからかけ直してください。

4 通話を終了するときは、を押す。

●905SHをクローズポジションにしても、通話は切れます。

電話帳未登録の電話番号にかけたとき

●通話終了後に、電話帳登録確認画面が表示されます。

■ 登録するとき：✉（Yes）➡P.4-8「**発信履歴／着信履歴の電話番号を登録する**」操作4

■ 登録しないとき：o（No）

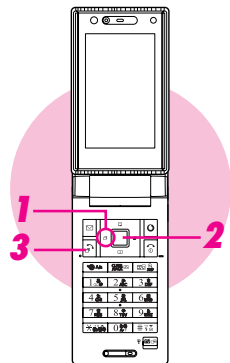
●電話帳登録確認画面が表示されないようにすることもできます。（☞P.4-4）

注意▶
- サイクロイドポジションで通話するときは、必ずスピーカーホンまたはTVアンテナ付きステレオイヤホンマイクをお使いください。
- レシーバー（☞P.1-7 11）で通話するときは、必ずオープンポジションにしてください。
- 通話時にマイク（☞P.1-7 8）をふさいでいると、相手にこちらの声が聞こえなくなります。
- 内蔵アンテナ部分（☞P.1-7 29）には、触れないようにしてください。通話品質が悪くなります。
- 体の向きや通話している場所によっては、通話品質が悪くなることがあります。

補足▶
- 通話時間や通話料金の目安を確認することもできます。（☞P.2-14、P.2-15）
- 通話中の操作については、P.2-11を参照してください。

緊急電話（「110」、「119」、「118」）発信について

905SHの各機能を利用して発信の制限などを設定しているとき、緊急電話の利用は次のようになります。

機能	可否	機能	可否
通話料金上限設定（☞P.2-15）	発信可	簡易ロック（☞P.11-20）	発信可
オフラインモード（☞P.2-18）	発信不可	PIN On／Off設定（☞P.1-6、P.11-20）	発信不可
ダイヤル操作禁止（☞P.11-21）	発信可	発信規制（☞P.14-8）	発信可
誤動作防止（☞P.1-21）	発信可		

以前かけた電話番号にもう一度かける（発信履歴）

以前かけた電話番号を呼び出して簡単に電話をかけられます。
●最新の30件まで記憶しています。

1 ［•□］（［□］）を押す。

記憶している電話番号と日時が、新しいものから順に一覧表示されます。
●905SHの電話帳に登録されているときは、相手の名前が表示されます。
●［▿］を押すと新しいものから、［▵］を押すと古いものから順に表示されます。
●［•□•］を押すと、着信履歴や全通話履歴を確認できます。

2 電話番号を選び、［■］を押す。

3 ［↗］を押す。

表示されている電話番号に発信されます。

■マークについて

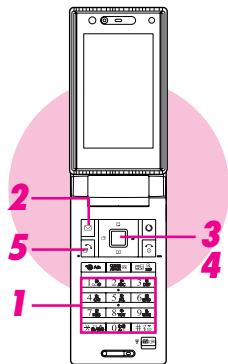
電話番号や名前の行の左端に表示されるマークの意味は、次のとおりです。

⇦	音声電話発信	⇦	TVコール発信

補足▶
●同じ電話番号に２回以上の電話をかけたときは、最後にかけた日時だけが記憶されます。（音声電話とTVコールは、区別されます。）
●電源を切っても発信履歴の記憶は消えません。
●30件を超えたときは、古いものから削除されます。個別に削除することもできます。（☞P.2-13）

国際電話をかける

日本国内で国際電話をかける操作を説明します。

- ボーダフォン携帯電話にかけるときは、相手のいる国にかかわらず、ボーダフォン携帯電話番号だけでかけられます。（905SHは国際ローミング非対応のため、海外ではお使いいただけません。）
- 国際電話の利用には、別途お申し込みが必要です。詳しくは、「**3Gガイドブック**」を参照してください。

1 相手の電話番号をダイヤルする。

- 一般電話にかけるときは、必ず市外局番からダイヤルしてください。

クイックオペレーションを利用するとき

電話番号入力➡［A/a］➡国選択➡［■］➡操作5へ

国番号などを直接ダイヤルするとき

［0］（1秒以上）（「+」表示）➡国番号入力➡電話番号入力（先頭の「0」を除く）➡操作5へ

■イタリア（国番号：39）、ロシア（国番号：7）にかける場合、電話番号の先頭に「0」があるときは、「0」を省かずに入力してください。

2 ［✉］（メニュー）を押す。

3 「国際発信」を選び、［■］を押す。

国名リストが表示されます。

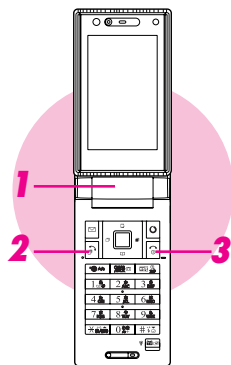
4 相手の国を選び、［■］を押す。

■リスト以外の国にかける：「**国番号入力**」選択➡［■］➡国番号入力➡［■］

5 ［発信］を押す。

補足

- 待受画面で［0］を長く（1秒以上）押すと、「+（**国際コード**）」を自動的に付加することができます。国際コードは、お買い上げ時「0046010」に設定されていますが、変更することもできます。（☞P.11-23）
- よく利用する国番号が国名リストに登録されていないときは、「**国番号リスト**」（☞P.11-23）の操作で追加できます。

電話を受ける

1 着信中に、905SHをオープンポジションにする。

- 相手が電話番号を通知してきたときは、電話番号が表示されます。
- 905SHの電話帳に登録されているときは、相手の名前が表示されます。

■ 着信を拒否する：着信中に[終話]
- ■電話が切れ、着信履歴に記憶されます。

■ TVコール着信時：☞P.5-3

2 [通話]を押す。

エニーキーアンサーを「On」にしているとき（☞P.11-2）

- 次のボタンでも電話が受けられます。
  [0]〜[9]、[＊]、[＃]、[十字]、[ボタン]、[ボタン]

3 通話を終了するときは、[終話]を押す。

- 905SHをクローズポジションにしても、通話は切れます。

電話帳未登録の電話番号からかかってきたとき

- 通話終了後に、電話帳登録確認画面が表示されます。
  - ■ 登録するとき：[メール]（Yes）➡P.4-8「**発信履歴／着信履歴の電話番号を登録する**」操作4
  - ■ 登録しないとき：[クリア]（No）
- 電話帳登録確認画面が表示されないようにすることもできます。（☞P.4-4）

補足▶
- 電話番号を通知してこない相手から着信があったときは、「**非通知設定**」と表示されます。
- 着信内容と日付は30件まで記憶されており、あとで確認できます。（☞P.2-13）
- 簡易留守録に設定していないときは、その着信に限り、簡易留守録で応答することもできます。（☞P.2-10）
- 着信音の音量やパターン、バイブ、ライトは変更できます。（☞P.11-11〜P.11-13）
- テレビ利用中の電話の着信については、P.6-5を参照してください。

TVアンテナ付きステレオイヤホンマイクを利用して電話を受ける

■着信中にスイッチを長く（1秒以上）押すと、電話を受けることができます。
- 電話を切るときは、スイッチを「**ピッ**」と音が鳴るまで長く（1秒以上）押します。

電話に出られないときに便利な機能

■転送電話サービス：☞P.14-2

あらかじめサービスを開始しておけば、着信中に[o]（**転送**）を押して、登録した電話番号に電話を転送できます。

■留守番電話サービス：☞P.14-3

あらかじめサービスを開始しておけば、電波の届かない場所にいるときや、通話中のため電話に出られないときに、留守番電話センターで伝言メッセージをお預かりします。

また、電源を切っているときや圏外時にかかってきた電話を、インフォメーションでお知らせすることもできます。（着信お知らせ機能：☞P.14-5）

■簡易留守録：☞P.2-9

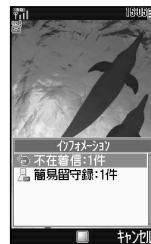
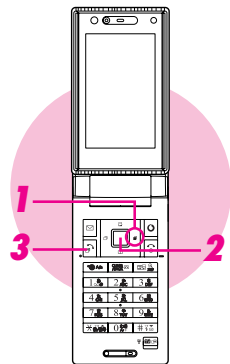
あらかじめ設定しておけば、相手の用件を905SHに録音することができます。

- 設定していないときに、一時的に簡易留守録で応答することもできます。（☞P.2-10）

インフォメーションについて

■かかってきた電話に出なかったときや、簡易留守録で応答したときなどは、インフォメーションが表示されます。

- 「**不在着信**」を選び[■]を押すと、着信履歴（☞P.2-13）が表示されます。
- 「**簡易留守録**」を選び[■]を押すと、用件が再生されます。（☞P.2-10）

■インフォメーションには、不在着信や簡易留守録以外の情報も表示されます。各項目を選び[■]を押すと、それぞれの情報や各機能の画面が表示されます。

かけてきた相手にかけ直す（着信履歴）

相手が番号を通知して電話をかけてきたときは、その番号を表示して電話をかけられます。

- 最新の30件まで記憶しています。

1 □（■）を押す。

記憶している電話番号と日時が、新しいものから順に一覧表示されます。

- 905SHの電話帳に登録されているときは、相手の名前が表示されます。
- □を押すと新しいものから、□を押すと古いものから順に表示されます。
- □を押すと、発信履歴や全通話履歴を確認できます。

2 電話番号を選び、■を押す。

3 □を押す。

表示されている電話番号に発信されます。

■マークについて

電話番号や名前の行の左端に表示されるマークの意味は、次のとおりです。

マーク	意味	マーク	意味
➡	音声電話着信		TVコール着信
	音声電話不在着信		TVコール不在着信
	音声電話着信拒否		TVコール着信拒否
	着信お知らせ		留守番電話サービス転送
	簡易留守録着信		

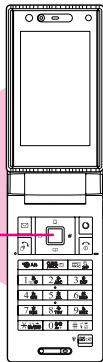
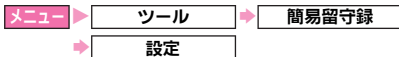
補足▶
- シークレットデータの名前は、シークレットモード以外では表示されません。
- 電源を切っても、着信履歴の記憶は消えません。
- 30件を超えたときは、古いものから削除されます。個別に削除することもできます。（☞P.2-13）

簡易留守録

電話を受けられないとき、相手の用件を録音します。

●簡易留守録は、電源が切れていたり、オフラインモードを設定しているとき、「圏外」の表示が出ているときは使用できません。このときは、オプションサービスの留守番電話サービス（☞P.14-3）をご利用ください。
●簡易留守録で録音できるのは、ボイスメモ（☞P.2-12）と合わせて20件まで、または最長約90秒です。
●お買い上げ時には、「Off」に設定されています。

簡易留守録を設定／解除する

メニュー ▶ ツール ▶ 簡易留守録 ▶ 設定

1 「On／Off設定」を選び、■を押す。

応答文を再生する：「**応答文再生**」選択 ▶ ■
■再生の停止：上記操作のあと CLEAR/BACK

補足▶ 待受画面で CLEAR/BACK を長く（1秒以上）押しても、簡易留守録を設定／解除できます。

2 *簡易留守録を設定する*

1「On」を選び、■を押す。

簡易留守録が設定されます。
●設定完了後、終話キーを押すと待受画面に戻り、「ON」（用件録音時は「ON」）が表示されます。

簡易留守録を解除する

1「Off」を選び、■を押す。

簡易留守録が解除されます。

注意▶
●録音できる時間が12秒以下のときや、すでに20件録音されているときは、簡易留守録に設定できません。不要なメッセージを削除してください。
●TVコール着信時に簡易留守録は利用できません。
●マナーモード中の簡易留守録の設定は、モード設定（☞P.11-2）の「**マナーモード**」の設定内容に従って動作します。

簡易留守録を設定すると

■着信があると、相手に応答文が流れたあと録音が始まります。
●録音中に905SHをクローズポジションにしても、録音は止まりません。
●録音中に電話に出るときは、通話キーを押します。（録音内容は残りません。）
●録音が終わると、「ON」が表示されます。

■録音後、簡易留守録が設定できない状態になったときは、簡易留守録は自動的に解除され、「 」が表示されます。

録音された用件を聞く

メニュー ▶ ツール ▶ 簡易留守録

1 「簡易留守録再生」を選び、■を押す。

録音件数表示後、新しいものから順に再生されます。最後の用件を再生し終わると、自動的に止まります。

- 再生途中の停止：再生中にCLEAR/BACK
- 次の用件を再生：再生中に■（次へ）／□
- 前の用件を再生：再生中に□（２回）
- 再生中の用件を削除：✉（削除）➡✉（Yes）

補足▶
- 待受画面でCLEAR/BACKを押しても、用件が再生できます。
- 再生中に電話がかかってくると、再生は自動的に止まります。電話に出るときは、☎を押してください。

留守録応答や録音中の受話音量を変更する

■簡易留守録で応答中や簡易留守録で録音中の、相手の声の音量を変更します。

■➡「ツール」選択➡■➡「簡易留守録」選択➡■➡「設定」選択➡■➡「音量設定」選択➡■➡「受話音量連動」／「サイレント」選択➡■

- 「受話音量連動」を選ぶと、相手の声は、設定済の受話音量と同じ音量に設定されます。

応答時間を変更する

■電話がかかってきてから簡易留守録が応答するまでの時間を、０～59秒の間で設定できます。

■➡「ツール」選択➡■➡「簡易留守録」選択➡■➡「設定」選択➡■➡「応答時間設定」選択➡■➡設定時間入力（00～59秒）➡■

■ 着信音を鳴らさずに簡易留守録で応答：設定時間入力時に「00」入力➡■

- お買い上げ時には、「９秒」に設定されています。

■簡易留守録をオプションサービスの留守番電話サービス、または転送電話サービスと合わせてご利用になるときは、呼出し時間の設定により、優先順位が変わります。

例：簡易留守録の呼出し時間… 9秒
各サービスの呼出し時間…10秒

と設定すると、簡易留守録が優先されます。（ただし、電波状況により優先順位が変わることがあります。）

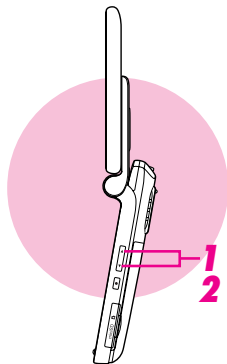
- 簡易留守録を優先していても、録音件数が一杯になると転送電話／留守番電話サービスが優先されます。

簡易留守録を設定していないときの操作

■着信中に次の操作を行うと、応答文が流れたあと、録音できます。

✉（メニュー）➡「簡易留守録」選択➡■

- その着信に限り留守録音します。（簡易留守録の設定は「Off」のままです。）

通話中の操作

受話音量を調節する

受話口から聞こえる相手の声の大きさを、5段階で調節できます。

- 変更した音量は、電源を切っても保持されます。
- 受話音量をあらかじめ設定しておくこともできます。（☞P.11-14）
- お買い上げ時には、「音量3」に設定されています。

1 通話中に、▶または◀を押す。

2 ▶（小さくする）または◀（大きくする）を押す。

音声の出力先や出力方法を設定する

スピーカーホン	スピーカーを使って通話します。

通話中に■

■ スピーカーホン通話の解除：スピーカー通話中に■

マイクミュート	こちらの声を相手に聞こえないようにします。相手の声はこちらに聞こえます。

通話中に◎（ミュート）

■ マイクミュートの解除：マイクミュート通話中に◎（**ミュートオフ**）

保留	双方の声を聞こえないようにします。相手には保留音が流れます。

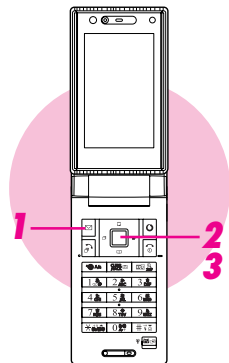
■「**割込通話サービス**」（☞P.14-5）または「**多者通話サービス**」（☞P.14-6）のお申し込みが必要です。

通話中に✉（メニュー）➡「保留」選択➡■

■ 保留の解除：保留中に✉（**メニュー**）➡「**再開**」選択➡■
- ■ ☎を押しても解除できます。

プッシュトーンを送信する

■通話中にダイヤルボタンを押すと、プッシュトーンが送信されます。905SHからポケットベルに文字メッセージを送ったり、自宅の留守番電話を遠隔操作できます。

- 送信できるプッシュトーンは「0」～「9」、「＊」、「#」です。

通話中に相手の声を録音する（ボイスメモ）

●録音できる時間は、簡易留守録（☞P.2-9）と合わせて最長90秒です。

1 通話中に、✉（メニュー）を押す。

2「ボイスメモ録音」を選び、■を押す。

録音が始まります。

3 録音を終了するときは、■を押す。

●電話を切っても、録音は終了します。（録音内容は消去されません。）

録音内容の再生 通話中に録音したボイスメモを、再生します。

メニュー ▶ ツール ▶ 簡易留守録

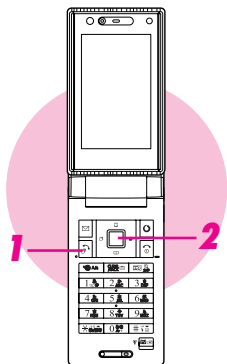
「簡易留守録再生」選択➡■

■ 再生中の操作：☞P.2-10

その他通話中にできること

電話帳確認	905SHに登録済の電話帳やオーナー情報を表示します。
	✉（メニュー）➡「電話帳」選択➡■➡電話帳選択➡■
電話帳登録	通話中の相手の電話番号を電話帳に登録します。
	✉（メニュー）➡「電話帳」選択➡■➡✉（メニュー）➡「新規作成」選択➡■➡P.4-4操作２以降
メール確認	受信ボックス／送信済みボックス／下書き内のメールが確認できます。
	✉（メニュー）➡「メール」選択➡■➡確認項目選択➡■
メール作成	メールを新規作成します。
	✉（メニュー）➡「メール」選択➡■➡「新規作成」選択➡■➡P.15-7操作３以降
通話中発信	第三者に電話をかけます。
	✉（メニュー）➡「発信」選択➡■➡相手の電話番号入力➡📞
トーン送出On／Off	ダイヤルボタンを押したとき、プッシュトーンを発信するかどうかを設定します。
	✉（メニュー）➡「トーン送出Off」／「トーン送出On」選択➡■

補足▶ 上記各操作の他、Bluetooth®を利用してハンズフリー機器などを接続しているときに、音声出力先を切り替えることもできます。（☞P.12-8）

発着信履歴の確認

発着信の履歴を確認します。確認できる内容は、次のとおりです。

全通話履歴	すべての発着信履歴です。
発信履歴	こちらから電話をかけた履歴です。
着信履歴	かかってきた電話の履歴です。

1 **を押す。**

全通話履歴が表示されます。

■ 他の履歴の確認：

2 **履歴を選び、■を押す。**

選んだ履歴の詳細が表示されます。

補足▶ 通話中にを押しても全通話履歴を確認できます。

履歴の削除	履歴を１件ずつ削除します。

➡履歴選択➡（メニュー）➡「削除」選択➡■➡（Yes）

履歴の全件削除	履歴を全件削除します。

➡履歴の種類選択➡（メニュー）➡「全件削除」選択➡■➡（Yes）

補足▶ 履歴を利用して電話帳へ登録することもできます。（☞P.4-8）

発着信履歴を利用する

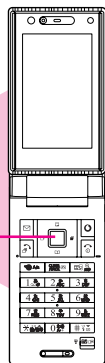
発信	履歴を利用して電話をかけます。

➡履歴選択➡（メニュー）➡「発信」／「TVコール」選択➡■

■ 電話番号を編集して発信：履歴選択後（メニュー）➡「編集して発信」選択➡■➡番号編集➡（音声電話）／（１秒以上：TVコール）

メール作成	新規メールを作成します。

➡履歴選択➡（メニュー）➡「メール作成」選択➡■➡➡P.15-8操作５以降

通話時間／パケット量表示

通話時間を確認する

直前（前回）の通話時間、累積の通話時間の目安を確認します。

- 電話をかけたときの時間（発信履歴）と、かかってきたときの時間（着信履歴）を、個別に確認できます。
- 通話中に、通話時間の目安を表示することもできます。（☞P.11-24）

メニュー ▶ 通話履歴 ➡ 通話時間

1 「発信通話時間」または「着信通話時間」を選び、■を押す。

2 確認を終了するときは、■を押す。

- ☎を押すと、待受画面に戻ります。

補足▶
- 電源を切っても、直前の電話の通話時間や累積の通話時間の記憶は消えません。
- 着信中や相手を呼び出している時間は計算されません。（保留中は計算されます。）

通話時間消去 通話時間の目安を消去します。

メニュー ▶ 通話履歴 ➡ 通話時間

「リセット」選択➡■➡操作用暗証番号（４ケタ）入力➡■➡✉（Yes）

パケット量を確認する

- パケットの料金は確認できません。

メニュー ▶ 通話履歴 ➡ データ通信

1 「前回パケット」または「累積パケット」を選び、■を押す。

2 確認を終了するときは、■を押す。

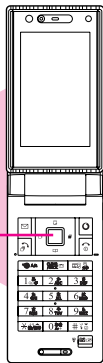
- ☎を押すと、待受画面に戻ります。

パケット量消去 パケット量の目安を消去します。

メニュー ▶ 通話履歴 ➡ データ通信

「リセット」選択➡■➡✉（Yes）

通話料金表示

直前（前回）の通話料金の目安や、累積の通話料金の目安を確認します。
●通話後、自動的に通話料金の目安を表示することもできます。（☞P.11-24）

メニュー ▶ 通話履歴 ➡ 通話料金

1 **「前回通話料金」または「累積通話料金」を選び、■を押す。**

2 **確認を終了するときは、■を押す。**
●☎を押すと、待受画面に戻ります。

補足▶
●電源を切っても、直前の電話の通話料金や累積の通話料金の記憶は消えません。
●オプションサービスの多者通話サービスを利用したときは、合算した通話料金を表示します。

通話料金消去 通話料金の目安を消去します。

メニュー ▶ 通話履歴 ➡ 通話料金
「リセット」選択➡■➡PIN2コード入力➡■➡✉（Yes）

料金単位設定 通話時間と通話料金の換算単位を設定します。

お買い上げ時 1円

メニュー ▶ 通話履歴 ➡ 通話料金 ➡ 料金単位
「料金単位設定」選択➡■➡PIN2コード入力➡■➡通貨入力➡■➡料金単位入力➡■➡■
■ 単位の確認：「**料金設定確認**」選択➡■

通話料金の上限を設定する

通話料金上限設定 通話料金の上限（限度額）を設定します。設定した限度額を超えると、発信できなくなります。

メニュー ▶ 通話履歴 ➡ 通話料金
「通話料金上限設定」選択➡■➡「通話料金設定」選択➡■➡PIN2コード入力➡■➡限度額入力➡■
■ 限度額の確認：「**通話料金上限設定**」選択➡■➡「**料金設定確認**」選択➡■
■ 残額の確認：「**残り度数**」選択➡■

注意▶ 通話料金上限設定中、限度額を超えたときの「110」などの緊急電話発信については、P.2-3を参照してください。

マナーモード

マナーについて

携帯電話をお使いになるときは、周囲への気配りを忘れないようにしましょう。

- 劇場や映画館、美術館などでは、周囲の人たちの迷惑にならないように電源を切っておきましょう。
- レストランやホテルのロビーなど、静かな場所では周囲の人たちの迷惑にならないように気をつけましょう。
- 新幹線や電車の中などでは、車内のアナウンスや掲示に従いましょう。
- 街の中では、通行の妨げにならない場所で使いましょう。

マナーを守るための機能

■マナーモード：☞P.2-17

着信音やボタン確認音を鳴らさないよう、簡単な操作で設定できます。また、簡易留守録を同時に設定できます。

電話がかかってくると振動でお知らせします。（マナーモード設定中の動作は変更できます。）

■バイブ設定：☞P.11-12

電話がかかってきたときやメールを受信したときなどに、振動でお知らせします。

■音量調節：☞P.11-11

「**サイレント**」にすると、電話がかかってきたときの音などを鳴らさないようにできます。また、ウェブの情報画面表示中やVアプリ実行中の音も鳴らさないようにできます。

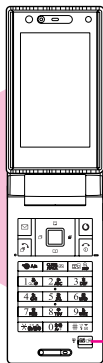
■メール着信音の音量設定：☞P.11-11

「**サイレント**」にすると、メールが届いたときの音を鳴らさないようにできます。

■オフラインモード：☞P.2-18

電源を入れたままで電波の送受信を停止して、電話をかけたり、受けたりできないようにします。メールの送受信やウェブの利用などもできなくなります。

■簡易留守録：☞P.2-9

電話に出られないときに、相手の用件を905SHに録音できます。

マナーモードを設定／解除する

●待受画面や情報画面、メディアプレイヤー、テレビ、FMラジオ、Vアプリ利用中に操作できます。

マナーモードを設定する

1 **TVを長く（1秒以上）押す。**

「」が表示され、マナーモードが設定されます。

●モード設定（P.11-2）の「**マナーモード**」の設定内容に応じて、「」（簡易留守録）、「」（バイブレータ）、「」（サイレント）、「」（ステップ）も表示されます。

マナーモードを解除する

1 **TVを長く（1秒以上）押す。**

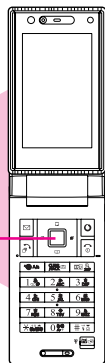
「」が消え、マナーモードが解除されます。

マナーモードに設定すると

■ボタン確認音／エラー音／パワーOn／パワーOffのサウンドや警告音が鳴らなくなります。
ただし、切替通話の警告音（P.14-6）は鳴ります。
●TVアンテナ付きステレオイヤホンマイクを使用しているとき、イヤホンからは「**音量1**」で着信音が鳴ります。

■マナーモードを設定しても、カメラ撮影時のシャッター音は鳴ります。

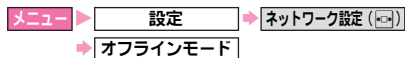
■簡易留守録、着信音量、バイブレータ、モバイルライトなどは、モード設定（P.11-2）の「**マナーモード**」の設定内容に従って動作します。

補足▶
●簡易留守録の録音中は、相手の声が受話口から聞こえます。
●マナーモード設定中の動作は、モード設定（P.11-2）の「**マナーモード**」で変更できます。

オフラインモードを設定／解除する

電源を切らずに、電波の送受信を停止できます。

- オフラインモードを設定すると、電話の発着信、メールの送受信、ウェブなど、電波のやりとりを行う機能は利用できなくなります。
- お買い上げ時には、「Off」に設定されています。

オフラインモードを設定する

メニュー ▶ 設定 ➡ ネットワーク設定（□）➡ オフラインモード

1 「On」を選び、■を押す。

「▨」が表示され、オフラインモードが設定されます。

オフラインモードを解除する

メニュー ▶ 設定 ➡ ネットワーク設定（□）➡ オフラインモード

1 「Off」を選び、■を押す。

「▨」が消え、オフラインモードが解除されます。

補足▶
- Vアプリ（☞P.17-2）を一時停止しているときにオフラインモードを設定すると、ネットワーク接続不可の確認画面が表示されます。確認画面で、✉（Yes）を押すと、オフラインモードが設定されます。（オフラインモードを解除するまで、ネットワークには接続できません。）
- オフラインモード設定中の「110」などの緊急電話発信については、P.2-3を参照してください。

文字の入力方法

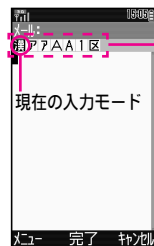
文字入力について

ひらがな、漢字、カタカナ（全角／半角）、英数字（全角／半角）、記号（全角／半角）、絵文字が入力できます。
また、文字の入力方法には、かな入力方式とポケベル入力方式があります。

- ここでは、「**ポケベル入力方式で入力する**」（☞P.3-8）を除き、かな入力方式での操作を中心に説明します。
  また、ことわりがない限り、文字入力画面での操作を説明しています。

文字入力モード

文字入力モードは、文字入力画面で[文字]を押して切り替えます。このあと[文字]を押すたびに、入力できる文字（入力モード）が次のように切り替わります。

漢→ア→ｱ→Ａ→A→1→区→漢…

選択できる入力モード

漢	漢字（ひらがな）
ア	全角カタカナ
ｱ	半角カタカナ
Ａ	全角英数字（大／小文字）
ａ	全角英数字（小／大文字）
A	半角英数字（大／小文字）
a	半角英数字（小／大文字）
1	半角数字
区	区点コード

- 入力モード切替中は、[●]を押しても切り替わります。
- 「ａ」、「a」は、大文字⇔小文字を切り替えると表示されます。（☞右記）

大文字⇔小文字を切り替える

■かな入力方式では、全角英数字入力モード、半角英数字入力モードで[A/a]を押すと、大文字⇔小文字が切り替わります。
また、ポケベル入力方式（☞P.3-8）では全角入力モード、半角入力モードで[A/a]を押すと大文字⇔小文字が切り替わります。

全角英数字入力モード（大文字）　　全角英数字入力モード（小文字）

補足▶
- 変換できる漢字は、区点全文字（6355文字）です。
- 電話帳のE-mailアドレス入力のときなどは、入力できる文字（入力モード）が制限されます。

ダイヤルボタンの割り当て

1つのボタンには複数の文字が割り当てられており、ボタンを押す回数によって表示される文字が切り替わります。
例：カタカナ入力モードで[1]を3回押すと、「ウ」が表示されます。

- 文字入力中に[ ]を押すと、表示される文字を逆順に切り替えられます。（半角数字入力モード、区点コード入力モードを除く）
  例：「い」を表示しているときに[ ]を押すと、「あ」が表示されます。

■ダイヤルボタンの割り当て表

ボタン	漢字（ひらがな）［全角］	カタカナ［全角／半角］	英数字［全角／半角］	数字［半角］	区点コード
1	あいうえお ぁぃぅぇぉ	アイウエオ ァィゥェォ	@. ／_―1	1	1
2	かきくけこ	カキクケコ	ABCabc2	2	2
3	さしすせそ	サシスセソ	DEFdef3	3	3
4	たちつてとっ	タチツテトッ	GHIghi4	4	4
5	なにぬねの	ナニヌネノ	JKLjkl5	5	5
6	はひふへほ	ハヒフヘホ	MNOmno6	6	6
7	まみむめも	マミムメモ	PQRSpqrs7	7	7
8	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ	TUVtuv8	8	8
9	らりるれろ	ラリルレロ	WXYZwxyz9	9	9
0	わをんー	ワヲンー	0	0 +※1	0
＊	゛ ゜ 履歴／絵文字入力（全角）／記号入力	゛ ゜ -※2 履歴／絵文字入力（全角）／記号入力※3	履歴／絵文字入力（全角）／記号入力※3	＊ P（ポーズ）？-※4 履歴／記号入力（半角）／絵文字入力（全角）	――――
＃	、。↲（改行）？！□（スペース）		,. ↲（改行）?!□（スペース）	＃	――――

※1「+」は電話番号入力時だけ、長く（1秒以上）押すと入力できます。
※2「-」は半角カタカナ入力モード選択時だけ入力できます。
※3 入力モードに応じて全角または半角で入力されます。
※4「P（ポーズ）」、「?」、「-」は、電話番号入力時だけ入力できます。

■ダイヤルボタンの割り当て表（続き）

ボタン	漢字（ひらがな）［全角］	カタカナ［全角／半角］	英数字［全角／半角］	数字［半角］	区点コード
	変換（前候補）※5	カーソル上移動			
	変換（後候補）※6	カーソル下移動↲（改行）			
	カーソル左移動				
	カーソル右移動				
文字	文字入力モードの切り替え				
A/a	小文字／大文字変換（変換できる文字で有効）		小文字／大文字変換、大文字／小文字入力モードの切り替え	―――――	―――――
CLEAR/BACK 短押し	1文字消去／変換中止	1文字消去			入力済コード消去／1文字消去
CLEAR/BACK 長押し	カーソル後消去（カーソルが文字の上にあるとき）／カーソル前消去（カーソルが文字の上にない［文末にある］とき）				
	最大64文字まで復元※7				
■	決定				
	音訓変換	―――――			―――――
	カナ英数字変換	―――――			―――――

※5 文字変換中以外は、カーソルが上に移動します。

※6 文字変換中以外は、カーソルが下に移動します。

※7 CLEAR/BACK（短押し）で消去した文字は、直後に を連続して押すと、最大64文字まで復元できます。

文字の入力方法

漢字／ひらがな／カタカナを入力する

ここでは、漢字（ひらがな）入力モードで「**鈴木**」と入力するときを例に説明します。

1 漢字（ひらがな）入力モードで、[3さDEF]を3回押す。

ひらがなを1文字入力するたびに、変換候補が表示されます。

2 [□•]を押す。

- 同じボタンを使って次の文字を入力するときは、必ず[□•]を押します。

> **カタカナを入力する**
>
> ■カタカナ入力モード（全角／半角）で入力します。また、漢字（ひらがな）入力モードでひらがなを入力し、変換候補から選んで入力することもできます。
>
> ■カナ英数字変換（☞P.3-10）でもカタカナを入力できます。

3 [3さDEF]を3回押したあと、[＊絵/記号]を押す。

4 [2かABC]を2回押す。

- ひらがなをそのまま入力するときは、このあと操作6へ進みます。

5 [□]（変換）を押したあと、[▯]で文字を選ぶ。

- 漢字変換では、最後に変換した漢字が優先してリストに表示されます。（学習機能）

■ 他の変換候補画面：[✉]（前項）／[○]（次項）

■ 変換の中止：[CLEAR/BACK]

■ 目的の漢字に変換できないとき：☞P.3-6

6 [■]を押す。

3 文字の入力方法

近似予測変換と連携予測変換について

■漢字変換では、次の便利な変換機能が利用できます。

近似予測変換	ひらがなを1～5文字入力するたびに、入力した文字で始まる変換候補が表示されます。専用の辞書を持っており、一般的によく使われる単語が登録されています。
連携予測変換	文字を確定すると、これまでの文字入力／変換履歴から推測して、確定した文字に続くと思われる文字の候補を自動的に表示します。

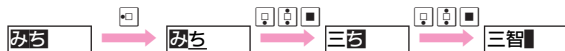
- お買い上げ時には、両方の変換機能が利用できるように設定されています。個別に利用を停止することもできます。(☞P.3-12)
- 予測変換で優先度を下げたい候補の種類(人名や地名など)を設定することもできます。(☞P.3-12)

ユーザー辞書について

■よく使う単語は、ユーザー辞書に登録しておくと、変換候補に表示できるようになります。(☞P.11-16)

■目的の漢字に変換できないとき

P.3-5操作5のあと、[CLEAR/BACK]を押し、[•□]で変換する文字(反転している文字)の区切りを変えて変換し直します。

例:「み」と「ち」の区切りを変えて変換し直すとき

■複数の変換の対象を一度に採用するとき

[文字]を押します。

例:「西山大輔」と変換するとき

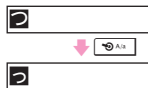
西山大輔
西山大輔

小文字(っ、ッなど)を入力する

ひらがなやカタカナの「**あいうえおつやゆよ**」を小文字に変換します。

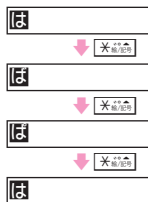
1 文字を入力し、[A/a]を押す。

- 小文字にできない文字では、[A/a]を押しても変わりません。

つ → [A/a] → っ

だく点(゛)/半だく点(゜)を入力する

1 文字を入力し、[*絵/記号]を押す。

- 漢字(ひらがな)入力モードや全角カタカナ入力モードでは、「**か行**」、「**さ行**」、「**た行**」は1回押すとだく点が付き、2回押すと元に戻ります。
  また、「**は行**」は1回押すとだく点、2回押すと半だく点がつき、3回押すと元に戻ります。
- だく点や半だく点を付けられない文字では、[*絵/記号]を押しても変わりません。

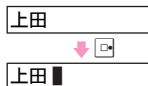
は → [*] → ば → [*] → ぱ → [*] → は

補足▶ 半角カタカナ入力モードのとき

- 1回押すとだく点が、2回押すと半だく点が半角1文字分で入力されます。
- だく点や半だく点を消去するときは、[CLEAR/BACK]を押します。

スペースを入力する

1 [□•]を押す。

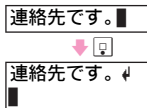
- 漢字(ひらがな)入力モードやカタカナ入力モード、英数字入力モードでは、[#]を6回押してスペースを入力することもできます。

上田 → [□•] → 上田 ▌

改行する

●メールやテキストメモ入力時などで有効となります。

1 文末で[⎕]を押す。

●文の途中で改行するときは、改行する位置で[#]を押して「↲」を表示したあと、[■]を押します。

連絡先です。▌
↓[⎕]
連絡先です。↲
▌

英数字を入力する

全角英数字入力モード（大文字／小文字）または半角英数字入力モード（大文字／小文字）で、英数字を入力します。半角数字は、半角数字入力モードでも入力できます。

[3 DEF] →
●同じボタンを使って、次の文字を入力するとき（例：「ＡＢ」）は、必ず[□]でカーソルを移動させてから入力してください。
●全角英数字入力モード、半角英数字入力モードで[A/a]を押すと、大文字⇔小文字が切り替わります。
●カナ英数字変換（☞P.3-10）でも英数字を入力できます。

記号／絵文字／顔文字などを入力する

記号／絵文字を入力する

●絵文字非対応のボーダフォン携帯電話や、E-mailでは表示されません。

1 記号／絵文字の入力が可能なモード（☞P.3-3）で、[＊絵/記号]を押す。

これまで入力した記号／絵文字が、新しいものから順に一覧表示されます。（履歴リスト）

●お買い上げ時または記号／絵文字の履歴を消去したときは、履歴リストは「－」で表示されます。

2 [◈]で記号／絵文字を選び、[■]を押す。

●1つの記号／絵文字を入力したあとも、続けて他の記号／絵文字を入力できます。

■ 他の記号の入力：[⊙]
（押すたびに記号リスト→履歴リスト切替）
■ 絵文字の入力：[✉]
（押すたびに絵文字リスト→履歴リスト切替）
■ [⎕]をくり返し押して、リストを切り替えることもできます。

3 記号／絵文字の入力を解除し、文字を入力するときは、[0 わを ん＋]～[9 ら WXYZ]のいずれかを押す。

押したボタンに割り当てられている文字が、入力されます。

●[CLEAR/BACK]を押しても、記号／絵文字の入力を解除できます。

補足▶
●全角のモードで操作したときは全角記号／半角記号が、半角のモードで操作したときは半角記号が入力されます。（絵文字はモードにかかわらず、すべて全角です。）
●半角記号を入力したときは、履歴リストには残りません。
●漢字（ひらがな）入力モードで、「**きごう**」と入力し[⎕]（**変換**）を押すと、一部の記号を入力できます。
●利用できる絵文字については、「**絵文字一覧**」（☞P.21-16）を参照してください。
●漢字（ひらがな）入力モードで、「**はーと**」や「**はな**」などの言葉を入力し[⎕]（**変換**）を押すと、関連する絵文字が変換候補として表示されることがあります。（絵文字変換）

記号／絵文字の履歴を消去する

■文字入力画面で、次の操作を行います。

[✉]（**メニュー**）➡「**入力／変換設定**」選択➡[■]➡「**絵／記号履歴リセット**」選択➡[■]➡[✉]（Yes）

■ 文字入力画面に戻る：上記操作のあと[CLEAR/BACK]➡[CLEAR/BACK]

顔文字を入力する

1 ✉（メニュー）を押す。

2「顔文字」を選び、■を押す。

- このあと、２ケタの数字（01〜50）を入力すると、入力した番号の顔文字が確認できます。

3 顔文字を選び、■を押す。

補足▶
- 漢字（ひらがな）入力モードで、「**かお**」と入力し（**変換**）を押すと、上記の操作で入力できる（表示される）顔文字以外の顔文字も入力できます。
また、「**わーい**」や「**うーん**」などの顔の表情を表す言葉を入力し（**変換**）を押しても、顔文字が入力できます。
- 「**嬉しい**」や「**悲しい**」など、感情を示す言葉を入力／採用すると、関連する顔文字が変換候補として表示されることがあります。（顔文字連携）
この顔文字連携が働かないように設定することもできます。（☞P.3-12）

E-mailアドレス／URLの一部を簡単に入力する

1 ✉（メニュー）を押す。

2「簡単アドレス入力」を選び、■を押す。

3 文字を選び、■を押す。

- 全角／半角モードにかかわらず、E-mailアドレス、URLは半角で入力されます。

区点コードで入力する

1 区点コード入力モードで、区点コード（４ケタ：☞P.21-10）を入力する。

ポケベル入力方式で入力する

1 ✉（メニュー）を押す。

2「入力／変換設定」を選び、■を押す。

3「入力方式」を選び、■を押す。

4「ポケベル」を選び、■を押す。

ポケベルコードで入力できる状態に切り替わります。

■ かな入力方式に戻す：「**かな**」選択➡■

5 ポケベルコード（２ケタ：☞P.3-9）を入力する。

- ポケベル入力方式は、かな入力方式に切り替えるまで継続します。

ポケベル入力方式の文字入力モードを切り替える

■ポケベル入力方式では、文字入力画面で［文字］を押すたびに、次のように切り替わります。

半角大文字（「Ｐ」反転）→ 区点コード（「区」反転）→ 全角大文字（「Ｐ」反転）

■全角入力モード、半角入力モードで［A/a］を押すと、大文字⇔小文字が切り替わります。

- 大文字⇔小文字は、モード選択時にだけ、切り替えられます。

補足▶
- ポケベル入力方式では、カナ英数字変換はできません。
- だく点、半だく点の入力は、ポケベルコード一覧（☞P.3-9）を参照してください。

■ポケベルコード一覧

- 空欄は、空白を示します。（何も入力されません。）
- ■部分は、文字入力後[A/a]を押すたびに、大文字⇔小文字が切り替わります。

全角大文字モード

1ケタ目（最初に押すボタン） \ 2ケタ目（次に押すボタン）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	あ	い	う	え	お	A	B	C	D	E
2	か	き	く	け	こ	F	G	H	I	J
3	さ	し	す	せ	そ	K	L	M	N	O
4	た	ち	つ	て	と	P	Q	R	S	T
5	な	に	ぬ	ね	の	U	V	W	X	Y
6	は	ひ	ふ	へ	ほ	Z	？	！	ー	／
7	ま	み	む	め	も	￥	＆		☎	※1
8	や	（	ゆ	）	よ	＊	＃	スペ	❤	※2
9	ら	り	る	れ	ろ	1	2	3	4	5
0	わ	を	ん	゛	゜	6	7	8	9	0

半角大文字モード

1ケタ目（最初に押すボタン） \ 2ケタ目（次に押すボタン）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	ｱ	ｲ	ｳ	ｴ	ｵ	A	B	C	D	E
2	ｶ	ｷ	ｸ	ｹ	ｺ	F	G	H	I	J
3	ｻ	ｼ	ｽ	ｾ	ｿ	K	L	M	N	O
4	ﾀ	ﾁ	ﾂ	ﾃ	ﾄ	P	Q	R	S	T
5	ﾅ	ﾆ	ﾇ	ﾈ	ﾉ	U	V	W	X	Y
6	ﾊ	ﾋ	ﾌ	ﾍ	ﾎ	Z	?	!	-	/
7	ﾏ	ﾐ	ﾑ	ﾒ	ﾓ	¥	&		☎	※1
8	ﾔ	(	ﾕ	)	ﾖ	*	#	スペ	❤	※2
9	ﾗ	ﾘ	ﾙ	ﾚ	ﾛ	1	2	3	4	5
0	ﾜ	ｦ	ﾝ	ﾞ	ﾟ	6	7	8	9	0

全角小文字モード

1ケタ目（最初に押すボタン） \ 2ケタ目（次に押すボタン）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ	a	b	c	d	e
2						f	g	h	i	j
3						k	l	m	n	o
4			っ			p	q	r	s	t
5						u	v	w	x	y
6						z				
7										※1
8	ゃ		ゅ		ょ					※2
9										
0				、	。					

半角小文字モード

1ケタ目（最初に押すボタン） \ 2ケタ目（次に押すボタン）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	ｧ	ｨ	ｩ	ｪ	ｫ	a	b	c	d	e
2						f	g	h	i	j
3						k	l	m	n	o
4			ｯ			p	q	r	s	t
5						u	v	w	x	y
6						z				
7										※1
8	ｬ		ｭ		ｮ					※2
9										
0				､	｡					

※1 [7][0]の順に押すと、改行が入力されます。（改行は、メールの本文、テキストメモ入力時などで有効となります。）

※2 [8][0]の順に押すと、大文字モードと小文字モードが切り替わります。

- 「❤」、「☎」は半角２文字分となります。

文字の変換機能

音訓変換を利用する

通常の漢字変換で入力する漢字が見つからないときは、漢字の読みを入力して1文字ずつ変換します。

1 漢字(ひらがな)入力モードで、ひらがなを入力する。

2 ✉(音訓)を押す。

3 漢字を選び、■を押す。

一度入力した文字を利用する(1文字変換)

一度、通常の変換方法で入力した漢字は、次回入力するときに最初の1文字を入力するだけで、漢字に変換できます。

例:以前に「鈴木」を変換したとき

- 1文字変換で記憶される件数は、同じ読み(1文字)に対して、最大20件です。記憶可能な件数を超えると、古い1文字変換の記憶から順に消去されます。

カナ英数字変換を利用する

漢字(ひらがな)入力モードのまま、カタカナや英字、数字が入力できます。

1 ひらがなを入力し、0(カナ英数)を押す。

- 「AM」と入れるときは、2 6 の順に押したあと、0(カナ英数)を押します。

2 ◆で文字を選び、■を押す。

- 英字は次のように変換されます。(小文字やだく点、半だく点付きも同様です。)

あ	@	い	.	う	/	え	_	お	ｽﾍﾟｰｽ
か	A	き	B	く	C	け	ｽﾍﾟｰｽ	こ	ｽﾍﾟｰｽ
さ	D	し	E	す	F	せ	ｽﾍﾟｰｽ	そ	ｽﾍﾟｰｽ
た	G	ち	H	つ	I	て	ｽﾍﾟｰｽ	と	ｽﾍﾟｰｽ
な	J	に	K	ぬ	L	ね	ｽﾍﾟｰｽ	の	ｽﾍﾟｰｽ
は	M	ひ	N	ふ	O	へ	ｽﾍﾟｰｽ	ほ	ｽﾍﾟｰｽ
ま	P	み	Q	む	R	め	S	も	ｽﾍﾟｰｽ
や	T	ゆ	U	よ	V	—	—	—	—
ら	W	り	X	る	Y	れ	Z	ろ	ｽﾍﾟｰｽ
わ	,	を	.	ん	ｽﾍﾟｰｽ	ー(長音)			ｽﾍﾟｰｽ

- 数字は次のように変換されます。(小文字やだく点、半だく点付きも同様です。)

■あ行…1　■か行…2　■さ行…3　■た行…4
■な行…5　■は行…6　■ま行…7　■や行…8
■ら行…9　■わ/を/ん/ー(長音)…0

ワンタッチ変換を利用する

押したボタンに割り当てられている、すべてのひらがなの組み合わせを利用して、漢字に変換できます。
目的のひらがなを入力するために、何度も同じボタンを押す必要がなくなります。

例：「微妙」を入力するとき

通常の変換	6 6 ＊（び） 7 7（み） 8 8 8 8 8 8（ょ） 1 1 1（う） 変換（変換）
ワンタッチ変換	6 ＊（ば） 7（ま） 8（や） 1（あ） （ワンタッチ変換）

1 ひらがなを入力し、を押す。

カーソルが緑色に変わります。

- ワンタッチ変換状態（緑色のカーソル）でを押すと、変換の対象となる文字の区切りを変えることができます。このときも以降の変換はワンタッチ変換となります。

■通常変換に戻す：CLEAR/BACK ➡（通常変換）

2 で文字を選び、を押す。

注意▶ ひらがな以外を入力しているときは、ワンタッチ変換は利用できません。

補足▶ ワンタッチ変換では、これまでによく変換した文字列が優先してリストに表示されます。（主に名詞に対応しています。）

推測頭出し変換

1文字だけ入力してワンタッチ変換すると、その行の文字（「**あ**」を入力したときは「**あ**」「**い**」「**う**」「**え**」「**お**」）で始まる言葉が、操作した時間帯に応じて表示されます。

例：「あ」を入力したとき

5:00～10:59	11:00～16:59	17:00～22:59	23:00～4:59
朝一番 朝帰り 行ってきます いってらっしゃい ：	あちぃ～ 後でね いただきま～す♪ 移動中 ：	遊ぼう 明日 急いで行くよ 今どこ？ ：	アウチ！！ ありがとう いえーい！！！ 行こうね ：

- 表示される言葉は、時間帯ごとにあらかじめ登録されています。
- 時刻が設定されていないときは、操作した時間帯にかかわらず11:00～16:59の内容が表示されます。

ワンタッチ1文字学習

以前にワンタッチ変換した文字列の先頭の1文字を入力してワンタッチ変換すると、以前の変換結果が最初に表示されます。

例：以前に「あたあさわ」でワンタッチ変換し、「お父さん」を採用していたとき

その他の変換関連機能

変換方法の設定	近似予測変換、連携予測変換、顔文字連携を利用するかどうかを設定します。

お買い上げ時すべてOn（利用する）

■（メニュー）➡「入力／変換設定」選択➡■➡「近似予測」／「連携予測」／「顔文字連携」選択➡■➡「On」（利用する）／「Off」（利用しない）選択➡■

予測候補優先度低	予測変換で優先度を下げたい候補の種類を設定します。

■（メニュー）➡「入力／変換設定」選択➡■➡「予測候補優先度低」選択➡■➡種類選択➡■➡◎（OK）

- 複数の種類を選択するときは、◎（OK）を押す前に、種類を選び■を押す操作をくり返します。

学習辞書リセット	これまでによく変換した文字列の変換履歴を消去します。

■（メニュー）➡「入力／変換設定」選択➡■➡「学習辞書リセット」選択➡■➡■（Yes）

- ユーザー辞書に登録している単語は消去されません。

文字の編集

入力した文字を消去／修正する

1 ◎で消去する文字を選び、CLEAR/BACKを押す。

- カーソル上の1文字が消えます。
- CLEAR/BACKを長く（1秒以上）押すと、カーソルが文字の上にあるときはカーソルから後ろの文字が消えます。カーソルが文字の上にない（文末にある）ときは、カーソルから前の文字が消えます。

2 正しい文字を入力する。

コピー／カット（切り取り）／ペースト（貼り付け）を行う

連続した文字列を、コピー／カットして他の場所へペーストします。

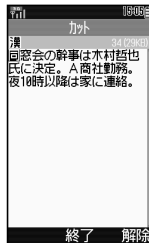
- 同じ画面内にも他の画面にもペーストできます。（「**メニュー**」が表示されない画面へは、ペーストできません。）

1 ■（メニュー）を押す。

2「コピー」または「カット」を選び、■を押す。

3 ◎で、コピー／カットする文字列の最初の文字を選び、■を押す。

文字列の開始位置が指定されます。

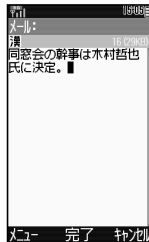
■開始位置の再指定：◎（解除）

4 コピー／カットする文字列の最後の文字を選び、■を押す。

●カットすると、指定した文字列が元の画面から消去されます。

切り取り例

5 ペースト先を表示する。

6 ✉（メニュー）を押す。

7「ペースト」を選び、■を押す。

カーソル後の文字をまとめて消去する

1 消去する最初の文字を選ぶ。

2 ✉（メニュー）を押す。

3「カーソル後消去」を選び、■を押す。

その他の機能

電話帳の登録内容を利用して入力する

文字入力中に電話帳を呼び出し、登録している電話番号などの文字列を作成中の文章に挿入します。

●利用できる項目は、「名前（姓／名）」、「電話番号1～3」、「Eメールアドレス1～3」、「グループ名」、「住所」（郵便番号、国、都道府県、市町村、番地）、「ホームページ」、「メモ」、「誕生日」です。

1 ✉（メニュー）を押す。

●文字を挿入する場所で✉（メニュー）を押してください。

2「その他」を選び、■を押す。

3「電話帳引用」を選び、■を押す。

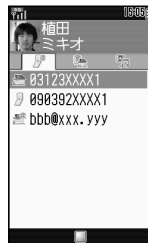
4 利用する電話帳を呼び出す。

●オーナー情報もここで呼び出せます。

5 ◎で項目を選び、■を押す。

選んだ項目の内容の前に、相手の名前（姓／名）と「，」が付いて挿入されます。

3

文字の入力方法

テキストメモを利用する

- あらかじめ、よく使う文章をテキスト メモとして登録しておいてください。（☞P.10-17）
文字入力中に登録することもできます。（☞下記）

1 **[✉]（メニュー）を押す。**

2 **「テキストメモ」を選び、[■]を押す。**

3 **「テキストメモ読み出し」を選び、[■]を押す。**

4 **テキストメモを選び、[■]を押す。**
テキスト メモの内容が挿入されます。

文字入力中にテキストメモを登録する

■入力済の内容を、新しいテキスト メモとして登録できます。
テキスト メモを新しく登録するときは、メール／電話帳などの文字入力画面で、次の操作を行います。
[✉]（メニュー）➡「テキスト メモ」選択➡[■]➡「テキスト メモ登録」選択➡[■]➡最初の文字選択➡[■]➡最後の文字選択➡[■]
- 最大256文字まで入力できます。

文字サイズを変更する

1 **[✉]（メニュー）を押す。**

2 **「その他」を選び、[■]を押す。**

3 **「文字サイズ」を選び、[■]を押す。**

4 **サイズを選び、[■]を押す。**

補足▶ 文字サイズは、ディスプレイ設定の「**文字サイズ**」（☞P.11-4）と連動しています。

電話帳について

よく電話をかけたり、メールをやりとりする相手の名前や電話番号、E-mailアドレスなどを電話帳に登録しておくと、簡単な操作で発信／送信できます。

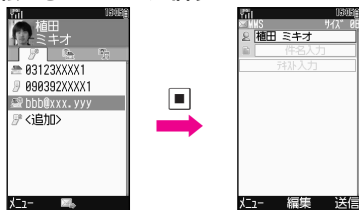
- 電話帳に登録している相手から電話があったときには、相手の名前や写真などが表示されます。
- 下記以外にも相手別に着信音を指定したり、グループ別に管理するなどいろいろな項目を登録できます。（☞P.4-3）

■電話帳から電話をかける

■電話帳からメールを送信する

補足▶

- 電話帳を誤って削除したり、他人が使用できないように設定することができます。（電話帳使用禁止：☞P.11-21）
- Bluetooth®（☞P.12-2）や赤外線通信（☞P.12-9）を利用して、他の機器との間で、電話帳をやりとりできます。
- ボーダフォンアドレスブック（☞P.4-15）を利用すれば、サーバとの間で電話帳をやりとりできます。

■電話などの着信があると

サービスダイヤルを利用する

■あらかじめUSIMカードに登録されているサービスダイヤル番号に発信することにより、各種サービスを利用できます。

「電話帳」選択➡■➡「サービスダイヤル」選択➡■➡サービス選択➡■

- サービスダイヤルについて詳しくは、サービス提供事業者にお問い合わせください。

注意▶ **大切なデータを失わないために**

電話帳に登録した電話番号や名前は、電池パックを長い間外していたり、電池残量のない状態で放置したりすると、消失または変化してしまうことがあります。また、事故や故障でも同様の可能性があります。大切な電話帳などは、控えをとっておくことをおすすめします。なお、電話帳が消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

電話帳登録

電話帳に登録できる項目

905SHの電話帳には、905SHの「**本体**」のメモリを使用する電話帳と、「**USIMカード**」のメモリを使用する電話帳の２種類があります。

- 905SH（本体）には最大750件の電話帳が登録できます。USIMカードに登録できる件数は、USIMカードによって異なります。
- 登録できる項目や内容は、次のとおりです。

項目	内容
名前／姓：	最大32文字まで入力できます。（USIMカードへの登録は、「**名前：**」となります。）
名前／名：	
ヨミ：	最大64文字まで入力できます。
電話番号：	電話帳１件あたりに登録できる電話番号は、本体：最大３件、USIMカード：最大２件です。それぞれ最大32ケタまで入力できます。
Eメールアドレス：	電話帳１件あたりに登録できるE-mailアドレスは、本体：最大３件、USIMカード：最大１件です。最大128文字まで入力できます。
グループ：	本体は16グループ、USIMカードは11グループ（USIMカードによっては最大16グループ）に分けて管理でき、グループ名も変更できます。また、本体は、グループごとに着信音やライト、バイブレータを設定できます。
住所：※	郵便番号（最大20文字）、国（最大32文字）、都道府県（最大64文字）、市町村（最大64文字）、番地（最大64文字）が入力できます。
ホームページ：※	ホームページのURLを、最大1024バイトまで入力できます。
メモ：※	相手の個人情報などを、最大256文字まで入力できます。
誕生日：※	相手の誕生日を登録できます。
フォト：※	電話がかかってきたときやメールが届いたとき、登録した静止画を表示します。
音声着信音：※	登録した相手から電話がかかってきたときの着信パターンやムービー、着信ライト、バイブを設定できます。
TVコール着信音：※	
メール着信音：※	
ライト（音声着信）：※	
ライト（TVコール着信）：※	
ライト（メール着信）：※	
バイブ（音声／TVコール着信）：※	
バイブ（メール着信）：※	
シークレット設定：※	他人に見られたくない電話帳を、秘密の電話帳として登録できます。

※USIMカードには、登録できません。

注意▶
- ご使用のUSIMカードによっては、登録できない項目があったり、文字数やグループ数が制限されることがあります。
  また、電話帳１件あたりに登録できる電話番号やE-mailアドレスの件数が少なくなるなど、利用項目が制限されることがあります。
- USIMカードの電話帳だけに登録されているE-mailアドレスは、メールの送受信ボックスには表示されません。

電話帳の基本的な登録方法

ここでは、新規作成を例に、相手の「姓」、「名」、「電話番号」、「Eメールアドレス」の登録を順に説明します。その他の項目を入力／設定するときは、P.4-5～P.4-7を参照してください。

- お買い上げ時、電話帳の登録先は、「本体」に設定されています。

メニュー ▶ 電話帳

1 「電話帳新規作成」を選び、■を押す。

電話帳登録の画面が表示されます。

■登録先の選択画面表示時：「本体」／「USIM」選択➡■

電話帳登録の画面

2 「名前／姓：」を選び、■を押す。

3 相手の名字を入力し、■を押す。

4 「名前／名：」を選び、■を押す。

5 相手の名前を入力し、■を押す。

ヨミが自動的に入力されます。

- 入力されたヨミを修正するときは、P.4-7を参照してください。

6 「電話番号：」を選び、■を押す。

7 電話番号を入力し、■を押す。

- 一般電話は、市外局番も必ず入力してください。

8 マーク（アイコン）を選び、■を押す。

- 続けて他の電話番号を登録するときは、操作6～8をくり返します。

9 「Eメールアドレス：」を選び、■を押す。

10 E-mailアドレスを入力し、■を押す。

11 マーク（アイコン）を選び、■を押す。

- 続けて他のE-mailアドレスを登録するときは、操作9～11をくり返します。

12 ⊙（保存）を押す。

注意▶ 必ず、「姓」、「名」、「電話番号」、「Eメールアドレス」のいずれかを入力してください。入力しないと電話帳を登録できません。

電話帳入力中に着信があると

■入力中の内容は一時的に記憶（保護）されています。通話などを終わると、入力を継続できます。通話中に[TV]を押して入力を継続することもできます。

登録先を変更する

■次の操作を行うと、電話帳を新規作成するときの登録先をあらかじめ設定できます。

■➡「電話帳」選択➡■➡「設定」選択➡■➡「登録先設定」選択➡■➡「本体」／「USIM」／「毎回確認」選択➡■

- お買い上げ時には、「本体」に設定されています。
- 「毎回確認」を選ぶと、新規作成のたびに、登録先の選択画面が表示されるようになります。

通話後の未登録電話番号の電話帳登録を設定する

■次の操作を行うと、電話帳未登録電話番号の相手との通話後に、電話帳登録確認画面を表示するかどうかを設定できます。

■➡「電話帳」選択➡■➡「設定」選択➡■➡「未登録番号追加」選択➡■➡「着信時」／「発信時」選択➡■➡「On」／「Off」選択➡■

- お買い上げ時には、どちらも「On」に設定されています。

個別に着信音などを設定する

電話帳に登録した相手から電話がかかってきたときや、メールを受信したとき、個別の着信音を鳴らしたり、動画を流すことができます。

- あらかじめ登録されているパターンの他に、データフォルダ内の次のサウンド／動画が設定できます。
  - ■着うた・メロディフォルダ／ミュージックフォルダ内の、ファイル名が拡張子を含めて55文字以内のサウンド
  - ■ムービーフォルダ内の、ファイル名が拡張子を含めて55文字以内の動画
- 動画を設定するときは、あらかじめ、動画を撮影するなどして、データフォルダ（ムービー）内に動画を登録しておいてください。
- 以下の操作は、電話帳登録の画面（☞P.4-4）で行います。操作後、電話帳登録の画面に戻りますので、他の項目を入力し、電話帳の登録を完了してください。

1 「音声着信音：」、「TVコール着信音：」、「メール着信音：」のいずれかを選び、■を押す。

2 *着信音を設定する*

1「着信音選択」を選び、■を押す。

設定の解除：「**設定解除**」選択➡■➡✉（Yes）

2「固定データ」、「着うた・メロディ」、「ミュージック」のいずれかを選び、■を押す。

動画を設定する

1「ムービー選択」を選び、■を押す。

設定の解除：「**設定解除**」選択➡■➡✉（Yes）

3 着信音または動画（ムービー）を選び、■を押す。

固定の着信音選択時：着信音選択➡■

> **メール着信時の鳴動時間を設定する**
>
> ■操作２～３でメール着信音を設定したあと、次の操作を行います。
>
> **「メール着信音」選択➡■➡「鳴動時間」選択➡■➡時間入力➡■**

注意▶

- データフォルダ内のサウンドや動画を設定しているときに、設定しているファイルに対して以下の操作を行うと、着信時には、サウンド設定の「**着信音／ムービー**」（☞P.11-11）で設定されている内容で再生されます。（著作権保護されたファイルの有効期限切れのときも、同様の着信音が再生されます。）
  - ■ファイルの削除／ファイル名の変更／別のフォルダへ移動／メモリカードへ移動
- 設定した電話帳がシークレットデータの場合は、シークレットモードを「**表示する**」にしているときだけ、ここでの設定が有効となります。

個別に着信ライトを設定する

電話帳に登録した相手から電話がかかってきたときや、メールを受信したときの、着信ライトの動作を設定できます。

- 以下の操作は、電話帳登録の画面（☞P.4-4）で行います。操作後、電話帳登録の画面に戻りますので、他の項目を入力し、電話帳の登録を完了してください。

1 「ライト（音声着信）:」、「ライト（TVコール着信）:」、「ライト（メール着信）:」のいずれかを選び、■を押す。

2 *ライトの点滅を設定する*

1「On／Off設定」を選び、■を押す。

2「On」、「音連動」、「Off」のいずれかを選び、■を押す。

●「音連動」は、着信音に設定したメロディ（SMAFファイル）にライトが設定されている場合、メロディ内のライト設定に従って動作させるときに選びます。ライトが設定されていないメロディ（SMAFファイル）には無効となります。

ライトの色を設定する

1「ライト色設定」を選び、■を押す。

2 色を選び、■を押す。

■ 色の確認：色選択後✉（確認）

■ 確認の終了：上記操作のあと✉（停止）

個別にバイブレータを設定する

電話帳に登録した相手から電話がかかってきたときや、メールを受信したときの、バイブレータの動作を設定できます。

●以下の操作は、電話帳登録の画面（☞P.4-4）で行います。操作後、電話帳登録の画面に戻りますので、他の項目を入力し、電話帳の登録を完了してください。

1「バイブ（音声／TVコール着信）：」または「バイブ（メール着信）：」を選び、■を押す。

2「On／Off設定」を選び、■を押す。

3「On」、「音連動」、「Off」のいずれかを選び、■を押す。

●「音連動」は、着信音に設定したメロディ（SMAFファイル）にバイブレータが設定されている場合、メロディ内のバイブレータ設定に従って動作させるときに選びます。バイブレータが設定されていないメロディ（SMAFファイル）には無効となります。

4「バイブパターン」を選び、■を押す。

5 バイブパターンを選び、■を押す。

画像を着信時に表示する

電話帳に登録した相手から電話がかかってきたときや、メールが送られてきたとき、設定している画像を表示できます。

●以下の操作は、電話帳登録の画面（☞P.4-4）で行います。操作後、電話帳登録の画面に戻りますので、他の項目を入力し、電話帳の登録を完了してください。

1「フォト：」を選び、■を押す。

■ フォト設定の解除：上記操作のあと「**フォト解除**」選択➡■➡✉（Yes）

2 *データフォルダの画像を登録する*

1「フォト選択」を選び、■を押す。

2 画像を選び、■を押す。

静止画を撮影して登録する

1「撮影」を選び、■を押す。

2 画像を表示し、■を押す。

静止画が撮影されます。

3 ■を押す。

注意▶
- 設定したデータフォルダ内の元の画像に対して以下の操作を行うと、着信時に画像は表示されなくなります。
  - ■ ファイルの削除／ファイル名の変更／メモリカードへ移動
- 設定した電話帳がシークレットデータの場合、シークレットモードを「**表示する**」にしているときだけ、ここでの設定が有効となります。

シークレットを設定する

他の人に見られたくない電話帳をシークレットデータとして設定します。

- 以下の操作は、電話帳登録の画面（☞P.4-4）で行います。操作後、電話帳登録の画面に戻りますので、他の項目を入力し、電話帳の登録を完了してください。

1「シークレット設定：」を選び、■を押す。

2「On」を選び、■を押す。

注意▶
- シークレットデータを確認するときは、シークレットモード（☞P.11-21）を「**表示する**」にしてください。
- シークレット設定を解除するときは、シークレットモード（☞P.11-21）を「**表示する**」にしたあと、電話帳の修正（☞P.4-10）を行います。（上記操作２の「On」の代わりに「Off」を選びます。）

その他の項目を登録する

- 登録内容や入力できる文字数など詳しくは、「**電話帳に登録できる項目**」（☞P.4-3）を参照してください。
- 以下の操作は、電話帳登録の画面（☞P.4-4）で行います。操作後、電話帳登録の画面に戻りますので、電話帳の登録を完了してください。

ヨミ	「**ヨミ：**」選択➡■➡よみがな入力➡■
グループ	「**グループ：**」選択➡■➡グループ選択➡■
住所	「**郵便番号：**」選択➡■➡郵便番号入力➡■➡「**国：**」選択➡■➡国名入力➡■➡「**都道府県：**」選択➡■➡都道府県名入力➡■➡「**市町村：**」選択➡■➡市町村名入力➡■➡「**番地：**」選択➡■➡番地入力➡■➡◎（OK）
ホームページ	「**ホームページ：**」選択➡■➡URL入力➡■
メモ	「**メモ：**」選択➡■➡内容入力➡■
誕生日	「**誕生日：**」選択➡■➡年／月／日入力➡■

発信履歴／着信履歴の電話番号を登録する

1 ◉で発信履歴または着信履歴を表示する。

2 ◉で履歴を選び、✉（メニュー）を押す。

3 「電話帳登録」を選び、■を押す。

4 *新しい電話帳に登録する*

1「新規作成」を選び、■を押す。

自動的に電話番号が入力され、電話帳登録の画面（☞P.4-4）が表示されます。他の項目を入力し、電話帳の登録を完了してください。

登録済の電話帳に追加登録する

1 追加登録する相手の電話帳を選び、■を押す。

自動的に電話番号が入力され、電話帳登録の画面（☞P.4-4）が表示されます。他の項目を入力し、電話帳の登録を完了してください。

注意▶ 発信者番号が通知されていないときは、電話帳に登録できません。
また、追加登録する場合、追加する電話帳にすでに電話番号が最大件数（本体：３件、USIM：２件）登録されているときも、電話帳に登録できません。

電話帳の登録件数を確認する

メニュー ▶ 電話帳 ➡ 電話帳管理

1 「メモリ確認」を選び、■を押す。

905SH／USIMカードに登録されている電話帳の件数が表示されます。

■ 確認の終了：■

電話帳の利用

電話帳から電話をかける

ここでは、お買い上げ時の設定である「**あかさたな別**」検索を利用した電話帳の使い方を説明します。

- シークレットデータを利用して電話をかけるときは、あらかじめシークレットモード（☞P.11-21）を「**表示する**」にしておいてください。
- 他の検索方法を利用するときは、P.4-9を参照してください。

1 ◉を押す。

2 ◉で相手のよみがなの行を選ぶ。

- 登録したヨミを入力して、該当する電話帳を検索することもできます。

3 ◉で電話帳を選び、■を押す。

電話帳の内容が表示されます。
（電話帳詳細画面：☞P.4-9）

■ 電話番号が複数登録されている電話帳選択時：◉（電話番号選択）

4 ⌂を押す。

発信されます。

電話帳を切り替える（本体／USIM カード）

■次の操作を行います。

□➡□（メニュー）➡「設定」選択➡■➡「メモリ切替」選択➡■➡「本体」／「USIM」／「本体とUSIM」選択➡■

- お買い上げ時には、「本体」に設定されています。
- 「本体とUSIM」にしたときは、本体とUSIMカードの電話帳がまとめて表示されます。

電話帳の検索方法を切り替える

電話帳は、次の３つの方法で検索できます。

ヨミ	登録したよみがなの順で電話帳を表示します。
グループ	指定したグループ内の電話帳を表示します。
あかさたな別	指定したよみがなの行の電話帳を表示します。

- お買い上げ時には、「あかさたな別」に設定されています。

メニュー ▶ 電話帳 ➡ 設定 ➡ 検索方法切替

1 「ヨミ」、「グループ」、「あかさたな別」のいずれかを選び、■を押す。

- このあと、次の各検索方法の操作を行い、電話をかけます。

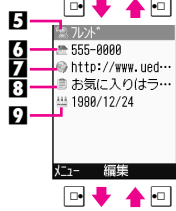
ヨミ	よみがな入力➡電話帳選択➡■➡□
グループ	グループ選択➡■➡電話帳選択➡■➡□
あかさたな別	□でよみがなの行選択➡電話帳選択➡■➡□

※電話番号が複数登録されているときは、□を押す前に、電話番号を選びます。

補足▶ 待受画面から各検索方法を利用して電話をかけるときは、□を押したあと、上記表内の操作を行います。

電話帳詳細画面

1 相手の名前
2 フォトに設定している画像
3 電話番号
4 E-mailアドレス
5 グループ名
6 住所
7 ホームページ
8 メモ
9 誕生日
10 フォトに設定している画像のファイル名
11 着信音設定
12 着信ライト設定
13 着信バイブ設定
14 シークレット

補足▶ 各項目を選び■を押すと、登録内容が表示されたり、発信などの機能を利用することができます。また、<追加>など、< >の付いた項目を選び■を押すと、内容の追加入力ができます。

電話帳の編集

●シークレットデータを編集するときは、あらかじめシークレットモード（☞P.11-21）を「表示する」にしておいてください。

電話帳を修正する

1 **□を押したあと、電話帳を選ぶ。**

2 **□（メニュー）を押す。**

3 **「編集」を選び、■を押す。**

4 **項目を選び、■を押す。**

選んだ項目が修正できる状態になります。

●このあと、電話帳登録時と同様の操作（☞P.4-4〜P.4-7）で修正します。

●名前（姓／名）を修正したとき、ヨミは自動的に修正されません。必要に応じて、ヨミも修正してください。

5 **修正が終われば、■を押す。**

●続けて他の項目を修正するときは、操作4〜5をくり返します。

■操作の中止：□➡□（Yes）

6 **□（保存）を押す。**

電話帳が上書き保存されます。

電話帳をコピーする

本体とUSIMカードの間で、電話帳を1件または全件まとめてコピーできます。

●本体とUSIMカードでは、電話帳に登録できる項目が異なります。（☞P.4-3）

そのため、本体からUSIMカードに電話帳をコピーすると、USIMカードに登録できない項目は削除されます。

1件ずつコピーする

1 **□を押したあと、電話帳を選ぶ。**

2 **□（メニュー）を押す。**

3 **「電話帳管理」を選び、■を押す。**

4 ***本体からUSIMカードにコピーする***

1「USIMカードにコピー」を選び、■を押す。

2 □（Yes）を押す。

USIMカードから本体にコピーする

1「本体にコピー」を選び、■を押す。

全件コピーする

●すべての電話帳をコピーするための空き容量が足りないときは、コピーできる件数までコピーします。

1 **「USIM→本体」または「本体→USIM」を選び、■を押す。**

2 **□（Yes）を押す。**

電話帳を削除する

1件ずつ削除する

1. を押したあと、電話帳を選ぶ。
2. （メニュー）を押す。
3. 「削除」を選び、■を押す。
4. （Yes）を押す。

補足▶ 個別に着信音やムービー、フォトが設定されている電話帳を削除しても、データフォルダ内のサウンドや画像は削除されません。

全件削除する

メニュー ▶ 電話帳 ➡ 電話帳管理 ➡ 全件削除

1. 「本体」、「USIM」、「本体とUSIM」のいずれかを選び、■を押す。
2. （Yes）を押す。
3. 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。
4. ■を押す。

グループ設定

電話帳で使用するグループ名を変更したり、グループごとに着信音や動画、ライト、バイブレータを設定します。

グループ名を変更する

メニュー ▶ 電話帳 ➡ グループ設定

1. で「」または「」を選ぶ。
2. グループを選び、（メニュー）を押す。
   - 本体の「未設定」は、変更できません。
3. 「編集」を選び、■を押す。
   - マーク（アイコン）の選択：「アイコン変更」選択➡■➡マーク（アイコン）選択➡■（操作完了）
4. 新しいグループ名を入力する。
   - 最大16文字まで入力できます。（USIMカードによっては、文字数が異なることがあります。）
5. ■を押す。
   - 続けて他のグループ名を変更するときは、操作1～5をくり返します。

着信時の動作を設定する

グループ別に着信時の動作（着信音、ムービー、ライト、バイブ）を設定することができます。
●USIMカードのグループには、着信時の動作は設定できません。

メニュー ▶ 電話帳 ➡ グループ設定

1 ◎で「本体」を選ぶ。

2 グループを選び、☑（メニュー）を押す。

3「着信音／ムービー」、「ライト設定」、「バイブ設定」のいずれかを選び、■を押す。

4 着信の種類を選び、■を押す。

●以降の操作は、個別の着信時の動作の設定と同様です。
- ■着信音／ムービー：☞P.4-5「個別に着信音などを設定する」操作２以降
- ■ライト設定：☞P.4-6「個別に着信ライトを設定する」操作２
- ■バイブ設定：☞P.4-6「個別にバイブレータを設定する」操作２以降

注意▶ 個別に着信時の動作を設定しているとき（☞P.4-5～P.4-6）は、ここでの設定より個別の着信時の動作の設定が優先されます。

メールグループ登録

メールグループを登録すると、同じメールグループに登録した複数の宛先に、同じメールを一括で送信できます。（☞P.15-7）

メールグループを作成する

● メールグループは、５グループまで作成できます。

メニュー ▶ 電話帳 ➡ メールグループ登録 ➡ 新規グループ

1 グループ名を入力し、■を押す。

メールグループにメンバーを登録する

● １グループには、20件まで登録できます。

メニュー ▶ 電話帳 ➡ メールグループ登録

1 メールグループを選び、■を押す。

2「メンバー登録」を選び、■を押す。

3 電話帳を選び、■を押す。

■ 宛先が複数登録されている電話帳選択時：◎（電話番号／E-mailアドレス選択）➡■

●続けて他のE-mailアドレス／電話番号を登録するときは、操作２～３をくり返します。

メールグループを編集する

メールグループの名前を変更する

メニュー ▶ 電話帳 ➡ メールグループ登録

1 メールグループを選び、☒（メニュー）を押す。

2「グループ名編集」を選び、■を押す。

3 グループ名を入力し、■を押す。

●最大16文字まで入力できます。

4 ☒（Yes）を押す。

メールグループを削除する

メニュー ▶ 電話帳 ➡ メールグループ登録

1 メールグループを選び、☒（メニュー）を押す。

2「削除」を選び、■を押す。

3 ☒（Yes）を押す。

4 操作用暗証番号（4ケタ）を入力し、■を押す。

メールグループのメンバーを編集する

メンバーを削除する

メニュー ▶ 電話帳 ➡ メールグループ登録 ➡ メールグループを選ぶ

1 メンバーを選び、☒（メニュー）を押す。

2「削除」を選び、■を押す。

3 ☒（Yes）を押す。

補足▶ メンバーを削除しても、元の電話帳は削除されません。

メンバーを変更する

メニュー ▶ 電話帳 ➡ メールグループ登録 ➡ メールグループを選ぶ

1 メンバーを選び、☒（メニュー）を押す。

2「変更」を選び、■を押す。

3 新しいメンバーの電話帳を選び、■を押す。

■ 宛先が複数登録されている電話帳選択時：◆（電話番号／E-mailアドレス選択）➡■

4 ☒（Yes）を押す。

スピードダイヤル設定

スピードダイヤルに設定する

スピードダイヤルに設定しておくと、通常の電話帳より簡単な操作で電話がかけられます。

- スピードダイヤルの 1 には、あらかじめ留守番電話サービスセンターへ接続する番号が登録されています。変更することはできません。

メニュー ▶ 電話帳 ➡ スピードダイヤル設定

1 **2～9のいずれかを選び、■を押す。**

2 **電話帳を選び、■を押す。**

■電話番号が複数登録されている電話帳選択時：（電話番号選択）➡■

■上書き登録時：上記操作のあと（Yes）

電話帳からスピードダイヤルに設定する

■相手の電話帳の詳細を表示している状態からでも、スピードダイヤルに設定できます。このときは、次の操作を行います。

電話番号選択➡（メニュー）➡「スピードダイヤル追加」選択➡■➡2～9選択➡■

■上書き登録時：上記操作のあと（Yes）

注意▶ スピードダイヤルに設定した相手の電話帳を削除したり、電話番号を編集したときは、設定した電話番号はスピードダイヤルから削除されます。

補足▶ 2に登録した相手には、TVアンテナ付きステレオイヤホンマイクを利用して、電話をかけられます。

スピードダイヤルで電話をかける

- シークレットデータを利用して電話をかけるときは、あらかじめシークレットモード（☞P.11-21）を「**表示する**」にしておいてください。

1 **スピードダイヤルに登録済の2～9のいずれかを長く（1秒以上）押す。**

相手の名前または電話番号が表示され、発信されます。

- スピードダイヤルリストから相手を選び、を押しても電話をかけられます。

1件削除	スピードダイヤルを1件ずつ削除します。

メニュー ▶ 電話帳 ➡ スピードダイヤル設定

削除する番号選択➡（メニュー）➡「削除」選択➡■➡（Yes）

補足▶ スピードダイヤルを削除しても、元の電話帳は削除されません。

設定リセット	すべてのスピードダイヤル設定を、お買い上げ時の状態に戻します。

■「留守番電話」にカーソルがない状態で操作します。

メニュー ▶ 電話帳 ➡ スピードダイヤル設定

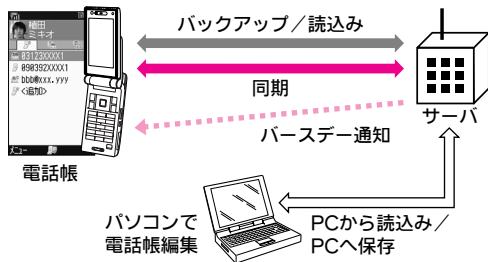
（メニュー）➡「設定リセット」選択➡■➡（Yes）

TVアンテナ付きステレオイヤホンマイクを利用して電話をかける

■待受中にスイッチを「**ピピッ**」と音が鳴るまで長く（1秒以上）押すと、スピードダイヤルの2に登録した相手に電話をかけることができます。

- 電話を切るときは、スイッチを「**ピッ**」と音が鳴るまで長く（1秒以上）押します。

ボーダフォンアドレスブック

ボーダフォンアドレスブックとは、905SHの電話帳をサーバにバックアップしたり、905SHの電話帳とサーバ内の電話帳の同期をとる（同じ状態にする）ことができるサービスです。905SHの破損時や紛失時の備えとして、便利にお使いいただけます。

- ボーダフォンアドレスブックの利用には、別途お申し込みが必要です。（有料）
- 機種変更時に他のボーダフォン携帯電話で電話帳を引き継ぐこともできます。（☞P.4-16）
- パソコンで電話帳を編集してサーバに保存し、905SHで読込むこともできます。パソコンでの操作については、下記を参照してください。
  - ■ http://www.vodafone.jp/VAB/
- サーバ内の電話帳に誕生日を登録すると、メールでお知らせします。（バースデー通知機能）
  - ■ この機能は、パソコンから設定できます。

注意▶ ボーダフォンアドレスブックのご利用時（バックアップ／読込み、同期）には、パケット通信料がかかります。

ボーダフォンアドレスブックでできること

ボーダフォンアドレスブックを利用すると、次のことができます。

バックアップ／読込み	サーバへバックアップ	905SHの電話帳をサーバにバックアップします。※1
	サーバから読込み	サーバ内の電話帳を905SHに読込みます。※2
同期	通常同期	905SHの電話帳とサーバ内の電話帳を比較し、最新の状態で同じ内容にします。※3
	本体片方向同期	905SHの電話帳更新情報をバックアップ（サーバへ反映）します。※4
	サーバ片方向同期	サーバの電話帳更新情報を読込み（905SHへ反映）ます。※5
パソコンで編集	PCから読込み	パソコンの電話帳をサーバにアップロードします。
	PCへ保存	サーバ内の電話帳をパソコンにダウンロードします。
メール通知	バースデー通知機能	サーバ内の電話帳に誕生日の登録があると、メールでお知らせします。

※1 バックアップ前のサーバ内の電話帳はすべて削除されます。
※2 読込み前の905SHの電話帳はすべて削除されます。
※3 前回の同期後に、905SHとサーバ内の同じ電話帳データ内の同じ項目を両方とも更新していたときは、サーバ内の電話帳が優先されます。
※4 前回の同期後にサーバ内の電話帳を更新していても、905SHの電話帳には反映されません。
※5 前回の同期後に905SHの電話帳を更新していても、サーバ内の電話帳には反映されません。

ボーダフォンアドレスブック利用の流れ

ボーダフォンアドレスブックのお申し込み

ボーダフォンアドレスブックは、ボーダフォンショップ店頭、またはお客様センター（157）でお申し込みいただけます。

ユーザーID／パスワードの確認

ボーダフォンアドレスブックのお申し込みが完了すると、ユーザーIDとパスワードの通知メール（SMS）が送られてきます。

● ユーザーIDは、お客様のボーダフォン携帯電話番号です。

ユーザーID／パスワードの設定

ユーザーIDとパスワードを設定します。（☞P.4-17）

利用開始

ボーダフォンアドレスブックをご利用ください。

● ボーダフォンアドレスブックのご利用時（バックアップ／読込み、同期）には、パケット通信料がかかります。

補足▶ ユーザーIDとパスワードの通知メールが届かないときは、お客様センター（157）へお問い合わせください。
また、905SHから、次の方法で確認することもできます。
[O]➡「My Vodafone」選択➡[■]➡「利用状況の確認」選択➡[■]➡「ボーダフォンアドレスブック編集用パスワード確認」選択➡[■]➡「オリジナルメール設定・各種メール設定へ」選択➡[■]➡暗証番号入力欄選択➡[■]➡交換機用暗証番号（4ケタ）入力➡[■]➡「OK」選択➡[■]➡「パスワード確認」選択➡[■]➡画面の指示に従って操作

ボーダフォンアドレスブック利用時のご注意

■ボーダフォンアドレスブックで同期できない項目があります

● 次の項目は、同期できません。「**サーバから読込み**」を行うと、905SHの電話帳の設定が失われますので、ご注意ください。
- ■ グループ、フォト、着信音（音声着信／TVコール着信／メール着信）、ライト（音声着信／TVコール着信／メール着信）、バイブ（音声着信／TVコール着信／メール着信）

■バックアップ／読込みのタイミングや同期の方向にご注意ください

● 905SHの電話帳をすべて削除したあと「**通常同期**」、「**本体片方向同期**」、「**サーバへバックアップ**」を行うと、サーバ内の電話帳もすべて削除されます。

● サーバ内の電話帳をすべて削除したあと「**通常同期**」、「**サーバ片方向同期**」、「**サーバから読込み**」を行うと、905SHの電話帳もすべて削除されます。

■複数登録できる項目は少ない方の件数に統一されます

● 電話番号など、複数登録できる項目の登録可能件数が、905SH（または機種変更後の機種）とサーバとで異なる場合に、同期を行うと、両方とも少ない方の件数に統一されます。

■機種変更時のサービスの継続について

● **ボーダフォン3Gシリーズ（ボーダフォンアドレスブック対応）**
サーバ内の電話帳は保持され、そのままお使いいただけます。

● **ボーダフォン3Gシリーズ（ボーダフォンアドレスブック非対応）**
ボーダフォンアドレスブックの契約は継続され、サーバ内の電話帳は保持されます。ただし、携帯電話からの操作はできません。（パソコンからの操作だけになります。）

● **ボーダフォンV3、V4、V5、V6、V8シリーズ**
ボーダフォンアドレスブックは自動的に解約され、サーバ内の電話帳は削除されます。

■サービスの解約について

●ボーダフォンアドレスブックを解約すると、サーバ内の電話帳は削除されます。

ユーザーID／パスワードを設定する

ボーダフォンアドレスブックのお申し込み後にメールで通知されてきたユーザーIDとパスワードを、905SHに設定します。

メニュー ▶ 電話帳 ➡ VFアドレスブック

1 「同期設定」を選び、■を押す。

2 *ユーザーIDを登録する*

　1「ユーザーID」を選び、■を押す。

　2 ユーザーIDを入力し、■を押す。

パスワードを登録する

　1「パスワード」を選び、■を押す。

　2 パスワードを入力し、■を押す。

3 ⊙（保存）を押す。

電話帳をバックアップする

905SHの電話帳をサーバにバックアップする

メニュー ▶ 電話帳 ➡ VFアドレスブック

1 「サーバへバックアップ」を選び、■を押す。

2 ✉（Yes）を押す。

3 操作用暗証番号（４ケタ）を入力し、■を押す。

サーバに接続され、バックアップが始まります。

●バックアップが終わると、バックアップの詳細が表示されます。

■ バックアップの中止：⊙（キャンセル）➡✉（Yes）

4 確認を終了するときは、■を押す。

サーバ内の電話帳を905SHに読込む

メニュー ▶ 電話帳 ➡ VFアドレスブック

1 「サーバから読込み」を選び、■を押す。

2 ✉（Yes）を押す。

3 操作用暗証番号（４ケタ）を入力し、■を押す。

サーバに接続され、読込みが始まります。

●読込みが終わると、読込みの詳細が表示されます。

■ 読込みの中止：⊙（キャンセル）➡✉（Yes）

4 確認を終了するときは、■を押す。

電話帳を同期させる

●同期方法について詳しくは、P.4-15の表を参照してください。

メニュー ▶ 電話帳 ➡ VFアドレスブック

1 「通常同期」、「本体片方向同期」、「サーバ片方向同期」のいずれかを選び、■を押す。

●はじめてボーダフォンアドレスブックを利用するときや、機種変更後最初にボーダフォンアドレスブックを利用するときは、選んだ同期方法にかかわらず、「**通常同期**」になります。

2 ✉（Yes）を押す。

3 操作用暗証番号（4ケタ）を入力し、■を押す。

サーバに接続され、同期が始まります。

●同期が終わると、同期の詳細が表示されます。

■同期の中止：◎（**キャンセル**）➡✉（Yes）

4 確認を終了するときは、■を押す。

ボーダフォンアドレスブックの履歴を確認する

バックアップ／読込み、同期の履歴を確認することができます。

メニュー ▶ 電話帳 ➡ VFアドレスブック

1 「同期ログ」を選び、■を押す。

■確認の終了：■

オーナー情報

オーナー情報を確認する

USIMカードに登録されている電話番号を確認します。

●オーナー情報（名前、電話番号、E-mailアドレス、住所など）を登録することもできます。

メニュー ▶ 電話帳

1 「オーナー情報」を選び、■を押す。

オーナー情報が表示されます。

●オーナー情報画面の見かたは、電話帳詳細画面（☞P.4-9）と同様です。

2 確認を終了するときは、☎を押す。

補足 ▶ Bluetooth®（☞P.12-2）や赤外線通信（☞P.12-9）を利用して、他の機器との間で、オーナー情報をやりとりできます。

オーナー情報の登録	オーナー情報を登録します。

メニュー ▶ 電話帳 ➡ オーナー情報

✉（メニュー）➡「編集」選択➡■➡編集項目選択➡■

●入力方法は、電話帳の登録と同様です。（☞P.4-4）

注意 ▶「電話番号1」は、変更できません。

オーナー情報の削除	登録したオーナー情報を削除します。

メニュー ▶ 電話帳 ➡ オーナー情報

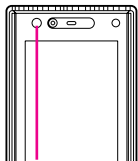
✉（メニュー）➡「1件削除」選択➡■➡✉（Yes）

注意 ▶「電話番号1」は、削除できません。

TVコール

TVコールをご利用になる前に

お客様と相手の画像（映像）を見ながら、通話できます。

- TVコールに対応している携帯電話との間で利用できます。
- 相手には、インカメラで撮影したお客様の画像が送信されます。
- アウトカメラを利用することもできます。きれいな画像を送りたいときなどに便利です。

注意▶ サイクロイドポジションで通話するときは、必ずスピーカーホンまたはTVアンテナ付きステレオイヤホンマイクをお使いください。（レシーバーで通話するときは、必ずオープンポジションにしてください。）

TVコール画面表示

オープンポジション

サイクロイドポジション（横画面表示サイズ「拡大」のとき）

※1 相手の画像とお客様の画像を入れ替えるなど、画面の表示方法を変更できます。（TVコール画面設定：☞P.5-5）

※2 相手の名前は、905SHの電話帳に登録されているときに表示されます。

TVコール利用時のご注意

- テレビ視聴／録画中は、TVコールをかけることはできません。TVコールをかけるときは、視聴／録画をいったん終了してください。
- ボーダフォンのTVコールと異なる方式の携帯電話と接続したときは、通話が切れることがあります。このときは、通話が切れるまでの通話料金が課金されます。
- 相手の携帯電話によっては、相手の画像が小さく表示されることがあります。また、相手の設定によっては、相手の画像が送信されないことがあります。
- 背景に動きがあると、相手に送信する画像がコマ送りになったり、画像が乱れることがあります。
- 周囲の騒音がひどい場所では、音声が途切れるなど、正しく通話ができないことがあります。このときは、TVアンテナ付きステレオイヤホンマイクを利用して通話することをおすすめします。
- スピーカーホン（☞P.5-6、P.5-7）を利用しているときは、受話音量を上げると会話しづらくなることがあります。このときは、音量を下げて通話するか、TVアンテナ付きステレオイヤホンマイクを利用して通話することをおすすめします。
- TVコール通話中は、ボタン操作部や電池カバーおよびカメラ周辺部の温度が上がりますが、故障ではありません。

補足▶ サイクロイドポジションでTVコールを利用すると、お客様の画像は自動的に2倍にズームされます。机に置くなど距離をおいてご利用ください。

TVコールをかける

1 電話番号をダイヤルする。

- 電話帳（☞P.4-8）や発信履歴（☞P.2-4）、着信履歴（☞P.2-8）を利用することもできます。

2 ✉（メニュー）を押す。

3「TVコール」を選び、■を押す。

相手がTVコールを受けると、相手の画像が表示されます。

- 相手の設定によっては、相手の画像が表示されないことがありますが、TVコール料金はかかります。

■通話中の操作：☞P.5-4

4 通話を終了するときは、☎を押す。

- 905SHをクローズポジションにしても通話は切れます。（Bluetooth®機器やTVアンテナ付きステレオイヤホンマイクなどを利用して通話しているときは、クローズポジションにしても通話は切れません。）

補足▶ 電話番号をダイヤル（発信履歴／着信履歴を選択）したあと、☎を長く（1秒以上）押してもTVコールをかけられます。

TVコールを受ける

1 TVコール着信中に、905SHをオープンポジションにする。

TVコール着信時は、TVコール着信のグラフィックが表示されます。

2 *お客様の画像を送信する*

1 ☎を押す。

インカメラからの画像が相手に送信されます。

■通話中の操作：☞P.5-4

お客様の画像を送信しない

1 ✉（メニュー）を押す。

2「自画像非送信」を選び、■を押す。

- お客様の画像は送信されませんが、相手にTVコール料金はかかります。

■通話中の操作：☞P.5-4

3 通話を終了するときは、☎を押す。

- 905SHをクローズポジションにしても通話は切れます。（Bluetooth®機器やTVアンテナ付きステレオイヤホンマイクなどを利用して通話しているときは、クローズポジションにしても通話は切れません。）

注意▶ マナーモード設定中にTVコールを受けると、スピーカーホンの設定（☞P.5-6、P.5-7）にかかわらず、スピーカーから音は出ません。音を出すときは、再度スピーカーホンを「**スピーカーホンOn**」にしてください。

着信を拒否／転送する

■TVコール着信中に次の操作を行うと、着信を拒否／転送できます。
✉（メニュー）➡「着信拒否」／「着信転送」選択➡■

TVコール通話中の操作

- TVコール通話中の✉（**メニュー**）を押す一連の操作は、オープンポジションで利用できます。（サイクロイドポジションでは、利用できません。）

送信画像切替	相手に送信する画像（インカメラ／アウトカメラ／代替画像）を切り替えます。

お買い上げ時 インカメラ

通話中に□•

- □•を押すたびに、アウトカメラからの画像送信→代替画像送信→インカメラからの画像送信…の順に切り替わります。
- •□を押すと逆順に切り替わります。
- 代替画像の設定については、「**送信画像切替**」（☞P.5-7）を参照してください。

受話音量調節	相手の声の大きさを5段階（1～5）で調節します。

お買い上げ時 音量3

通話中に▶／◀➡▶（小さくする）／◀（大きくする）

- 押すたびに受話音量が調節できます。
- 一度変更した音量は、電源を切っても保持されます。

ミュート	相手にこちらの声を送信しないようにします。

通話中に◎（ミュート）

■ミュートの解除：上記操作のあと◎（**ミュートオフ**）

外部出力	TVコールの画像をテレビなどの外部機器に表示します。

■あらかじめ、外部出力（☞P.11-10）を「On」にし、L型ビデオ出力ケーブルで外部機器と接続しておいてください。

通話中に[TV/文字]

- TVコールを開始すると、自動的に外部機器に表示されます。
- [TV/文字]を押すたびに、外部機器での表示と905SHでの表示が切り替わります。
- 外部機器に表示されるのは、自画像と相手画像だけです。（905SHの画面にはこれらは表示されません。）
- 画像の表示サイズは変更することができます。（表示サイズ：☞P.11-10）

注意▶
- 外部出力中のTVコールの音声は、外部機器からではなく905SHから聞こえます。
- 外部出力中にメニュー操作などを行うと、一時的に外部出力が中断されることがあります。このときは、操作終了後に自動的に外部出力状態へ戻ります。

TVコール画面設定

TVコール中の画面表示を切り替えます。

通話中に■

- TVコールを開始すると、常に「**相手画像優先**」となります。
- オープンポジションでは、■を押すたびに次のように画面が切り替わります。

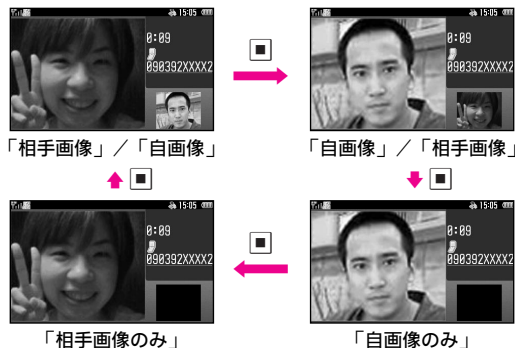
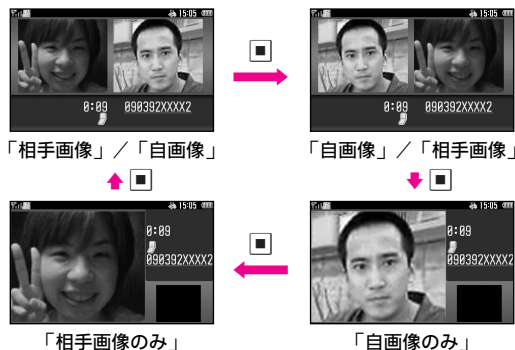
「相手画像優先」→■→「自画像優先」→■→「自画像のみ」→■→「相手画像のみ」→■→「相手画像優先」

- サイクロイドポジションでは、■を押すたびに右のように画面が切り替わります。

■横画面表示サイズ「拡大」のとき

「相手画像」／「自画像」→■→「自画像」／「相手画像」→■→「自画像のみ」→■→「相手画像のみ」→■→「相手画像」／「自画像」

■横画面表示サイズ「等倍」のとき

「相手画像」／「自画像」→■→「自画像」／「相手画像」→■→「自画像のみ」→■→「相手画像のみ」→■→「相手画像」／「自画像」

注意▶「**相手画像のみ**」にしているときでも、お客様の画像は相手に送信されています。

横画面表示サイズ	サイクロイドポジションのときの画面の表示サイズを設定します。

お買い上げ時 拡大

通話中に✉（メニュー）➡「横画面表示サイズ」選択➡■➡「等倍」／「拡大」選択➡■

スピーカーホン	スピーカーホンを利用するかどうかを切り替えます。

通話中に✉（メニュー）➡「スピーカーホンOff」（利用しない）／「スピーカーホンOn」（利用する）選択➡■

電話帳	905SHに登録済の電話帳やオーナー情報を表示します。電話帳登録も行えます。

電話帳やオーナー情報を表示する

通話中に✉（メニュー）➡「電話帳」選択➡■➡電話帳（オーナー情報）選択➡■

● オーナー情報は、電話帳の検索方法が「ヨミ」または「グループ」のときだけ表示できます。

相手の電話番号を電話帳に登録する

通話中に✉（メニュー）➡「電話帳」選択➡■➡✉（メニュー）➡「新規作成」選択➡■➡P.4-4操作２以降

音声切替	ハンズフリー機器などを利用しているときの音声出力先を切り替えます。

通話中に✉（メニュー）➡「TVコール設定」選択➡■➡「音声切替」選択➡■➡「本体」／「Bluetooth」選択➡■

通話の保留	送話（音声／発信画像）と受話（音声）を停止します。（相手には保留画像が送信されます。）

通話中に✉（メニュー）➡「保留」選択➡■

■ 通話の再開：上記操作のあと⊙（再開）

自画像反転	インカメラ利用中のお客様の画像を、左右に反転して表示するかどうかを設定します。

通話中に✉（メニュー）➡「TVコール設定」選択➡■➡「自画像反転」選択➡■➡「On」／「Off」選択➡■

● アウトカメラの画像、代替画像、相手の画像は反転できません。
● TVコールを開始すると、常に「On」となります。

明るさ調整	発信画像の明るさを５段階（-2～+2）で調整します。

通話中に✉（メニュー）➡「TVコール設定」選択➡■➡「明るさ調整」選択➡■➡⇕（明るさ選択）➡■

● 代替画像の明るさは、調整できません。
● TVコールを開始すると、常に「明るさ０」となります。

ヘルプ	TVコール利用中の操作方法を表示します。

通話中に✉（メニュー）➡「ヘルプ」選択➡■

■ 確認の終了：上記操作のあと■

その他通話中にできること

■モバイルライトの利用

#（長押し）

● アウトカメラで利用できます。

■ズームの利用

⇡（ズームイン）／⇣（ズームアウト）

● 代替画像では利用できません。
● サイクロイドポジションでTVコールを利用しているとき、インカメラで撮影された画像は、常にズームイン状態となります。

■✉（メニュー）を押したあと、「TVコール設定」を選び■を押すと、TVコール設定（☞P.5-7）の各項目も設定できます。

● ✉（メニュー）を押す一連の操作は、オープンポジションで利用できます。（サイクロイドポジションでは、利用できません。）

TVコール設定

●以下の設定は、通話中に変更することもできます。

送信画像切替 TVコール開始時にカメラ（インカメラ）からの画像を送信するか、代替画像を送信するかを設定します。

お買い上げ時 インカメラ

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話/TVコール設定（ ）➡ TVコール設定 ➡ 送信画像切替

「カメラ選択」選択➡■➡「インカメラ」／「代替画像選択」選択➡■

■ 代替画像の変更：「代替画像選択」選択➡■➡「固定データ」／「データフォルダ」選択➡■➡画像選択➡■➡■

■ カスタムスクリーンの利用：「代替画像選択」選択➡■➡「カスタムスクリーン」選択➡■➡■

●通話中は「アウトカメラ」に変更することもできます。

横画面表示サイズ TVコール中にサイクロイドポジションにしているときの画面の表示サイズを設定します。

お買い上げ時 拡大

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話/TVコール設定（ ）➡ TVコール設定 ➡ 横画面表示サイズ

「等倍」／「拡大」選択➡■

スピーカーホン TVコール開始時にスピーカーホンを利用するかどうかを設定します。

お買い上げ時 On（スピーカーホンにする）

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話/TVコール設定（ ）➡ TVコール設定 ➡ スピーカーホン

「On」（スピーカーホンにする）／「Off」（スピーカーホンにしない）選択➡■

受信画質設定 相手から受信する画像の品質を設定します。

お買い上げ時 標準

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話/TVコール設定（ ）➡ TVコール設定 ➡ 受信画質設定

「標準」／「画質優先」／「フレームレート優先」選択➡■

●「フレームレート優先」にすると、動きはなめらかになりますが、画質は「標準」より悪くなります。

●「画質優先」にすると、画質は向上しますが、動きは「標準」より悪くなります。

送信画質設定 相手に送信する画像の品質を設定します。

お買い上げ時 標準

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話/TVコール設定（ ）➡ TVコール設定 ➡ 送信画質設定

「標準」／「画質優先」／「フレームレート優先」選択➡■

●設定内容は、「受信画質設定」（☞上記）と同様です。

バックライト TVコール中の画面照明の点灯方法を設定します。

お買い上げ時 常にOn

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話/TVコール設定（ ）➡ TVコール設定 ➡ バックライト

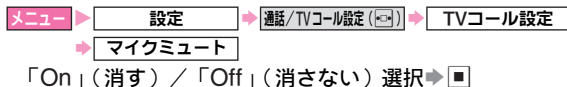
「常にOn」／「常にOff」／「通常設定に従う」選択➡■

●「通常設定に従う」にすると、バックライト（☞P.11-8）の設定内容に従って動作します。

マイクミュート	TVコール開始時にこちらの音声を消すかどうかを設定します。

お買い上げ時 Off（消さない）

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話/TVコール設定（▣）➡ TVコール設定 ➡ マイクミュート

「On」（消す）／「Off」（消さない）選択➡■

保留中ガイダンス表示	TVコールの保留中に送信する画像を設定します。

お買い上げ時 固定データ1

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話/TVコール設定（▣）➡ TVコール設定 ➡ 保留中ガイダンス表示

固定データを利用する

「固定データ」選択➡■➡画像選択➡■➡■

データフォルダ内のデータを利用する

「データフォルダ」選択➡■➡画像選択➡■➡■

カスタムスクリーンを利用する

「カスタムスクリーン」選択➡■➡■

テレビについて

■ワンセグ（デジタルTV）に対応

地上デジタルテレビ放送の携帯・移動体向けサービス「**ワンセグ**」が視聴できます。

- お使いの場所に合わせて簡単にチャンネル設定が行えます。また、電子番組表を利用することもできます。
- 番組に関連した情報を入手したり、投票などで番組に参加できる「**データ放送**」も利用できます。
- 視聴中の番組を録画したり、事前に録画や視聴を予約しておくことができます。
- 従来のアナログテレビ放送（アナログTV）も視聴できます。

■サイクロイドスタイルだからできること

画面を横にすると、ワイド画面でテレビを楽しむことができます。また、画面を縦にすると、映像とデータ放送を切り替えて見ることができます。

- 待受画面でサイクロイドポジションにすると、テレビを起動できます。また、サイクロイドポジションでメールを受信したときは、オープンポジションにすると、テレビを見ながら受信メールを確認することができます。

テレビを見る：☞P.6-9

待受画面でサイクロイドポジションにするだけでテレビが起動します。お使いの場所に応じたチャンネル設定も簡単に行え、すぐにテレビを見ることができます。

テレビを見ながらメールする：☞P.6-6

テレビを見ながら画面の下半分で、メールの作成や受信メールの確認が行えます。また、メール受信時にサイクロイドポジションからオープンポジションにすると、画面の下半分にメール画面が表示されます。

テレビを見ながら通話する：☞P.6-5

着信中にサイクロイドポジションからオープンポジションにすると、テレビを一時停止して電話に出ることができます。また、あらかじめ設定しておくと、サイクロイドポジションでテレビを見ながら電話に出ることもできます。

電子番組表を利用する：☞P.6-10

テレビの番組表をダウンロードして見ることができます。電子番組表を利用して、視聴／録画予約も簡単に行えます。

データ放送を見る：☞P.6-11

映像や音声だけでなく、番組に関連した情報などが入手できる、データ放送を見ることができます。

番組を録画／再生する：☞P.6-13

視聴中の番組をメモリカードに録画して、あとで再生することができます。

視聴／録画予約する：☞P.6-16

視聴／録画したい番組を事前に予約しておくことができます。電子番組表を利用して予約することもできます。

テレビをご利用になる前に

テレビ利用時のご注意

テレビをご利用になる前に、次のことをご確認ください。

- テレビをご利用中は、ボタン操作部や電池カバーの温度が上がるため、長時間直接肌に触れさせたり、紙／布／布団などをかぶせたりしないでください。やけどや故障の原因となります。
- 905SHのテレビは日本国内の地上波テレビ放送を利用できます。海外では、放送方式や放送の周波数が異なるため利用できません。
- 自転車やバイク、自動車などの運転中は、テレビを利用しないでください。周囲の音が聞こえにくく、映像や音声に気をとられるため、交通事故の原因となります。
  [道路交通法により、運転中の携帯電話の使用は罰則の対象となります。(2004年11月1日改正施行)]
  また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。踏切や横断歩道などでは特にご注意ください。
- テレビ利用中に音声電話で通話したり、メールを受信すると、テレビの映像や音声に影響を与えることがあります。また、テレビ利用中に他の携帯電話を近づけると、テレビの映像や音声に影響を与えることがあります。

注意▶ 事故や故障、修理などにより905SH／メモリカードに保存されている情報が消失・変化した場合の損害については、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。なお、機種変更や故障修理の際に、905SH内に保存した情報（テレビリンク、放送局メモリ内の情報など）は移し替えできませんので、あらかじめご了承ください。
また、機種変更などでご利用にならなくなった携帯電話については、携帯電話内のメモリを完全に消去することをおすすめします。

注意▶
- USIMカードが取り付けられていないときや、ボーダフォンのご契約を解約されているときは、テレビを視聴することはできません。
- 905SHでしばらく通信を行っていなかったときは、テレビを視聴できないことがあります。このときは、ネットワーク自動調整（☞P.12-14）を行ってください。

ワンセグのデータ放送を利用しているとき

- 通信発生時に表示される警告は、テレビ起動後最初の通信発生時に限って表示されます。了解すれば、以降チャンネルを変えるまで、通信が発生しても警告は表示されません。十分ご注意ください。

電波について

電波の受信状況が悪い次のような場所では、テレビが正しく利用できないことがあります。また、電波の状態によっては、録画が正しく動作しないことがあります。

- 放送局から遠い地域または放送局から極端に近い地域
- 山間部やビルの陰
- 移動中の電車や自動車の中
- 高圧線、ネオン、無線局の近くなど
- 線路や高速道路の近くなど
- 地下街、トンネルの中など
- その他、妨害電波が多かったり、電波が遮断されたりする場所

注意▶ ワンセグは、電波状態によってはブロック形の画像の乱れが発生したり、無音となるなどデジタル特有の現象が発生することがあります。

電池残量について

電池レベル表示が「▭」のときは、テレビは起動できません。

- 視聴中に電池残量が不足すると、テレビは自動的に終了します。

充電について

充電しながらテレビを利用することができます。

- 充電しながらテレビを利用するときは、付属の急速充電器をご使用ください。
- 充電中でも電池レベルが「」のときは、アナログTVは利用できません。（デジタルTVは利用できます。）
- 充電中に急速充電器のコードをアンテナに近づけると、映像が乱れることがあります。
- テレビを利用しながら充電すると、充電が完了するまでに時間がかかります。

地上デジタル放送とワンセグについて

■ワンセグは地上デジタル放送の携帯・移動体向けサービスです

ワンセグとは、地上デジタル放送の電波の一部を使用して、携帯電話などの小型機器でもご家庭と同じようにテレビやデータ放送の視聴を可能にした、携帯・移動体向けの地上デジタルテレビサービスです。

地上デジタル放送の６MHzの帯域を13分割して送る日本独自の放送方式によって実現したサービスで、13分割された１つの部分（セグメント）だけで放送されるため「**ワンセグ**」と呼ばれるようになりました。

- ワンセグは、2006年４月１日から三大広域圏（都市圏）と13の県の放送局で開始されているサービスです。
  受信料などについて詳しくは、下記のホームページなどを参照してください。
  ■社団法人 地上デジタル放送推進協会
  http://www.d-pa.org（パソコン用）
  http://www.d-pa.org/1seg/k/（携帯電話用）

■ワンセグは905SHで利用できます

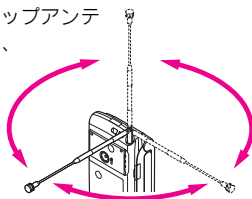
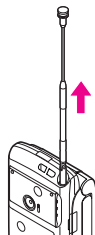
905SHでは、デジタルTV受信機能を利用して、ワンセグを見ることができます。

補足▶
- 地上デジタル放送およびワンセグは、地上波のUHF帯の電波を利用して放送されています。
- 本書では、ことわりがない限り、「**ワンセグ**」を「**デジタルTV**」、「**地上アナログ放送**」を「**アナログTV**」と記載しています。

アンテナについて

デジタルTV利用時のアンテナについて

ホイップアンテナまたはオプション品のTVアンテナ接続ケーブルをお使いください。

- ホイップアンテナは、３段式になっています。「**カチッ**」と音がして固定されるまで十分に引き出してください。
- 収納するときは、ホイップアンテナの下の方を持って行ってください。上の方を持って無理に押し込むと、破損の原因となります。先端が収納されるまで、完全に収納してください。
- ホイップアンテナは折り曲げると360°回転します。受信感度のよい方向に向けてお使いください。
- まっすぐ引き出した状態のホイップアンテナは、折り曲げやすくするため、一直線状にならない構造です。これにより、まれにまっすぐ引き出せないことがありますが、故障ではありません。

アナログTV利用時のアンテナ

ホイップアンテナやTVアンテナ付きステレオイヤホンマイク、オプション品のTVアンテナ接続ケーブルを利用できます。アンテナ入力は接続内容によって、下表のとおり自動で切り替わります。

接続内容	VHF	UHF	CATV※
接続なし	ホイップアンテナ		―
TVアンテナ付きステレオイヤホンマイク	TVアンテナ付きステレオイヤホンマイク	ホイップアンテナ	―
TVアンテナ接続ケーブル	TVアンテナ接続ケーブル		

※CATVの受信ができるのは、TVアンテナ接続ケーブルを接続しているときだけです。

- ホイップアンテナをご使用になるときは、十分引き出してください。ただし、放送局が極端に近いときは、ホイップアンテナを縮めたほうがテレビがきれいに映ることがあります。
- TVアンテナ付きステレオイヤホンマイクをご使用になるときは、コードを伸ばすことをおすすめします。コードを伸ばしていないと、テレビの電波を十分に受信できないことがあります。ただし、放送局が極端に近いときは、画質や音質が劣化することがあります。

テレビ利用中の着信について

テレビ利用中に電話の着信があると

着信画面が表示されます。[通話キー]を押すと、電話を受けることができます。通話終了後は、自動的にテレビ画面に戻ります。（TVコール終了後は、テレビは終了し、待受画面に戻ります。）

- テレビ画面のまま着信通知を表示したり、通話できるよう設定しておくこともできます。（着信時優先動作：☞P.6-20）
- 録画中に着信があっても、録画は継続します。
  ただし、TVコール着信を受けたときは、録画は終了します。
- 電池残量不足などの理由で、通話中にテレビが終了したときは、通話終了後は待受画面に戻ります。また、他の機能も同時に動作していたときは、その機能の画面になります。

注意▶
- サイクロイドポジションでは、必ずTVアンテナ付きステレオイヤホンマイクを利用するか、スピーカーホンで通話してください。レシーバーで通話するときは、オープンポジションにしてください。
- 通話中に[■]を押すと、「**イヤホン通話**」⇔「**スピーカーホン通話**」を切り替えることができます。
- アナログTV視聴中に着信があったり、音声電話で通話すると、映像が乱れたり、雑音が入ることがあります。

補足▶ 着信中にサイクロイドポジションからオープンポジションにすると、自動的に電話を受けるように設定することもできます。（画面回転動作設定：☞P.6-21）

テレビを見ながら通話する（サイクロイドポジション）

■テレビ画面のまま着信通知を表示したり、通話できるよう設定しておくことができます。（着信時優先動作：☞P.6-20）

■サイクロイドポジションでは、着信中に[開始]を押すと、テレビを見ながら通話することができます。
- 必ずTVアンテナ付きステレオイヤホンマイクを利用するか、スピーカーホンで通話してください。レシーバーで通話するときは、オープンポジションにしてください。（オープンポジションにすると、テレビは一時停止します。）
- 通話中は、テレビの音は出なくなります。
- 通話中に[■]を押すと、「**イヤホン通話**」⇔「**スピーカーホン通話**」を切り替えることができます。

■サイクロイドポジションで通話中にオープンポジションにすると、通話画面になります。
- [TV]を押すと、テレビ画面と通話画面を切り替えることができます。

■通話を終了するときは、[終了]を押します。
（テレビ画面に戻ります。）

テレビ利用中にメールを受信すると

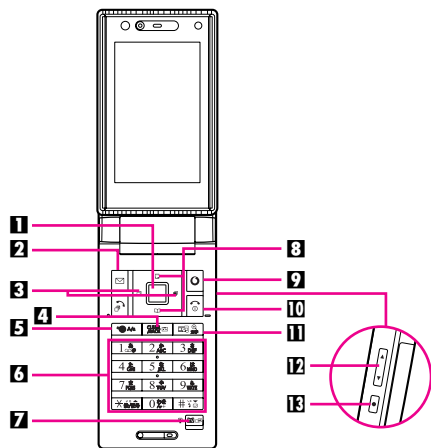
メール着信音が鳴り、画面の1行目に受信した旨のメッセージが表示されます。（お買い上げ時には、相手の名前が表示されるように設定されています。）

- サイクロイドポジションでのメール受信中に、オープンポジションにすると、自動的に受信ボックスが画面の下半分に表示されます。（すでにメールや他のアプリケーションを起動しているとき、メールお知らせ設定［☞P.15-27］を「Off」にしているときは表示されません。）
  このあと[TV]を押すと、画面を切り替えることができます。（☞P.6-10）
- 待受画面に戻ると、インフォメーションが表示されます。
- 画面の1行目にメッセージを表示しないようにしたり、表示内容や通知音を設定することができます。（メールお知らせ設定：☞P.15-27）

注意▶ アナログTV視聴中にメールの着信があると、映像が乱れたり、雑音が入ることがあります。

TVアンテナ付きステレオイヤホンマイク利用時のご注意

■TVアンテナ付きステレオイヤホンマイクを利用してテレビを視聴しているとき、音声着信やメール受信、アラーム動作があると、イヤホンとスピーカーから着信音などが鳴ります。
- イヤホンからだけ、着信音などが鳴るように設定することもできます。（着信音出力切替：☞P.11-14）

テレビで使用するボタン

1 データ放送項目決定

2 メニュー表示

3 チャンネル切替

□（前へ）／□（次へ）

- 長く（1秒以上）押すと、感度のよいチャンネルを自動的に検索できます。（自動検索：☞P.6-9、P.6-21）

4 データ放送前画面へ移動

5 マルチジョブ機能起動

6 チャンネルのダイレクト選局

- 長く（1秒以上）押すと、現在見ているチャンネルを、押したボタンのチャンネルに上書き登録できます。
- データ放送利用中は、データ放送側で指定されている動作が行われることもあります。

7 テレビ起動／機能切替（マルチジョブ機能利用時）

- 待受画面で押すと、テレビを起動できます。（最後に視聴したモードが起動します。）
- テレビ起動中にマルチジョブ機能を利用しているときは、押すたびに表示を切り替えられます。
- 長く（1秒以上）押すと、マナーモードを設定／解除できます。

8 データ放送項目選択

9 パネル表示On／Off

- 長く（1秒以上）押すと、番組表を表示できます。

10 テレビ終了

11 チャンネルリスト切替

- 長く（1秒以上）押すと、デジタルTV⇔アナログTVが切り替えられます。

12 音量調節

▶（上げる）／◀（下げる）

- ◀を長く（1秒以上）押すと、音声を消すことができます。再び音声を出すときは、▶を押します。（音量1になります。）

13 録画

- 長く（1秒以上）押すと、番組を録画できます。

ヘルプ機能について

■テレビ画面で次の操作を行うと、テレビでのボタン操作を確認することができます。

✉（メニュー）➡「ヘルプ」選択➡■

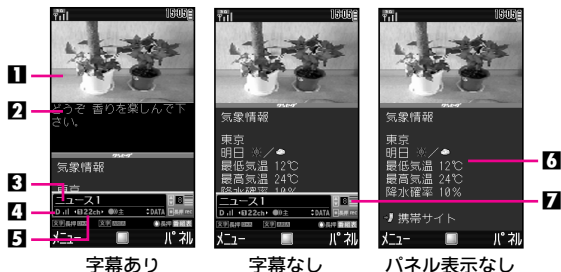
■ テレビ画面に戻る：上記操作のあと■

テレビ画面について

デジタルTV

字幕あり

字幕なし

パネル表示なし

1 映像
2 字幕表示
3 番組名／放送局名表示（パネル表示）
4 受信状態表示
5 チャンネル表示
6 データ放送表示
7 音量表示

アナログTV

1 映像
2 チャンネル表示
3 音量表示

はじめてテレビをお使いになるとき（チャンネルリスト設定）

905SHには、あらかじめ各地域のチャンネル情報が登録されています。はじめてテレビをお使いになるときは、地域を指定して、チャンネルリストを設定してください。

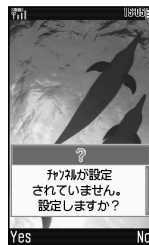
- テレビを利用する前に、あらかじめネットワーク自動調整を行ってください。（☞P.12-14）

1 **[TV]を押す。**
チャンネル設定を行うかどうかの確認画面が表示されます。

2 **[✉]（Yes）を押す。**

3 **エリアを選び、[■]を押す。**

4 **都道府県を選び、[■]を押す。**

5 **地区を選び、[■]を押す。**
チャンネルリスト設定が始まります。

- 設定が終了すれば、デジタルTVのチャンネル一覧が表示されます。（設定には約60秒かかります。）

地域を指定せずにデジタルTVのチャンネルを設定：「**エリア選択しない**」選択➡[■]
- アナログTVのチャンネルは、アナログTV視聴時にチャンネルリスト更新を行って設定してください。

6 **[■]を押す。**
アナログTVのチャンネル一覧が表示されます。

7 **[■]を押す。**
- このあとテレビを見るときは、「**デジタルTV**」または「**アナログTV**」を選び、[■]を押します。

補足▶
- チャンネルリストは、地域や放送開始時期などにより、正しく設定できないことがあります。
- あとでチャンネルリストを変更したり、別のチャンネルリストを作成することもできます。（☞P.6-18）

デジタルTVの利用

デジタルTVを見る

メニュー ▶ ＴＶ

1 「デジタルTV」を選び、■を押す。

テレビ画面が表示されます。

- テレビで使用するボタン：☞P.6-7
- データ放送を利用する：☞P.6-11
- 字幕／音声を設定する：☞P.6-10

2 ダイヤルボタンでチャンネルを選ぶ。

- 次の方法で、チャンネルを選ぶこともできます。

チャンネルを１つずつ変更	◉※1
感度のよいチャンネルを自動的に検索（自動検索）	◉（１秒以上）※2
別のチャンネルリストを使用	[文字] ➡ [↕]（チャンネルリスト選択）➡ ■

※1 チャンネルリストに設定されているチャンネルだけ表示されます。設定されていないチャンネルも表示されるように設定することができます。（左右キー設定：☞P.6-19）

※2 感度のよい放送局を検索すると、自動的に止まります。

- ダイヤルボタンを長く（１秒以上）押すと、聴いている放送局をチャンネルリストに登録することができます。（☞P.6-19）

- 音量の調節：[▶]（上げる）／[◀]（下げる）
- 音声ミュート：[◀]（１秒以上）
  - 音声ミュートの解除：上記操作のあと[▶]
- デジタルTV⇔アナログTVの切替：[文字]（１秒以上）

3 テレビを終了するときは、[電源]を押したあと、[✉]（Yes）を押す。

サイクロイドポジションでテレビを見る

■テレビ画面で905SHをサイクロイドポジションにすると、テレビ画面が横画面になります。

➡

- お買い上げ時は、待受画面で905SHをサイクロイドポジションにすると、デジタルTVが起動するようになっています。このときは、テレビ起動時から横画面になっています。
- パネル表示は約３秒で消えます。[o]（**パネル**）を押すと、表示⇔非表示を切り替えることができます。

■サイクロイドポジションでは、次の機能は利用できません。

- データ放送／番組表／ヘルプ機能／一部のメニュー操作

テレビ視聴中に他の機能を利用する

テレビ視聴中に他の機能を呼び出して、利用することができます。

- メール画面は画面の下半分に表示されるため、テレビを見ながらメールを利用することができます。
- 以下の操作は、P.6-9操作２のあとのテレビ画面で行います。
- サイクロイドポジションでは操作できません。

1 **[A/a]を押す。**
利用できる機能が表示されます。

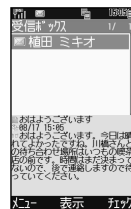
2 **利用する機能を選び、[■]を押す。**
選んだ機能の画面が表示されます。

- メモリカードへのファイル保存はできないことがあります。
- 他の機能を終了すると、テレビ画面に戻ります。

機能を切り替える

■機能を切り替えるときは、次の操作を行います。
[TV]（押すたびに機能が切替）

■メールを呼び出したときは、[TV]を押すたびに次のように切り替わります。

メール半画面表示

メール全画面表示

テレビ画面表示

番組表を利用する

メニュー ▶ TV

1 **「番組表」を選び、[■]を押す。**
番組表が表示されます。

- このあと、選んだ番組を録画／視聴予約したり、情報を確認することができます。詳しくは、番組表のヘルプを参照してください。

■ テレビ画面からの操作：[○]（１秒以上）

字幕／音声を設定する

- 以下の操作は、P.6-9操作２のあとのテレビ画面で行います。

字幕表示	字幕を表示するかどうかを設定します。

お買い上げ時 On（通話中／マナー中）

[✉]（メニュー）➡「字幕表示」選択➡[■]➡「On」／「On（通話中／マナー中）」／「Off」選択➡[■]

- 「On（通話中／マナー中）」に設定すると、通話中やマナーモードを設定しているときだけ、字幕が表示されます。

字幕位置	サイクロイドポジションでの字幕の表示位置を設定します。

■サイクロイドポジションのときだけ操作できます。

お買い上げ時 下

[✉]（メニュー）➡「字幕位置」選択➡[■]➡「上」／「下」選択➡[■]

字幕言語	字幕の言語を設定します。

■字幕に複数の言語が利用できるときだけ操作できます。

お買い上げ時 言語１

✉（メニュー）➡「字幕言語」選択➡■➡「言語１」／「言語２」選択➡■

音声切替	音声の再生方法を設定します。

お買い上げ時 主

✉（メニュー）➡「音声切替」選択➡■➡「主」／「副」／「主＋副」選択➡■

● 複数の音声が利用できるときは、上記に加え「音声２（主）」、「音声２（副）」、「音声２（主＋副）」が選べます。

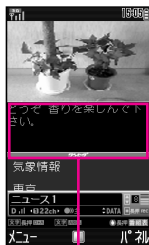
字幕表示について

■字幕表示を「On」（または「On（通話中／マナー）」）にすると、字幕付きの番組では、字幕が表示されるようになります。

● オープンポジションでは、字幕表示エリアに字幕が表示されます。

● サイクロイドポジションでは、画面（映像）内に字幕が表示されます。

● 字幕なしの番組では、字幕表示の設定にかかわらず、字幕は表示されません。

● 字幕付きの番組でも、字幕が表示されていない間は、字幕エリアだけが表示されます。

字幕表示エリア

データ放送を利用する

デジタルTVでは、映像／音声に加えてデータ放送を利用できます。データ放送では、画面に表示される説明にしたがって操作することで、番組に関連した情報を入手したり、投票などで番組に参加するなど、いろいろな情報を利用できます。

● サイクロイドポジションでは、利用できません。

● データ放送、放送局サーバによっては、ウェブに接続するかどうかの確認画面が表示されます。データ放送を見る（放送で情報を受信する）ときは、通信料はかかりません。ただし、データ放送サイトなど、ウェブを利用したサービスを利用するときは、通信料がかかります。

データ放送

データ放送での基本操作

お買い上げ時には、データ放送は自動的に画面下部に表示されるようになっています。データ放送の利用方法は、番組によって異なります。ここでは、項目選択や画面表示など基本的な操作を説明します。

● 以下の操作は、P.6-9操作２のあとのテレビ画面で行います。

項目選択／決定	データ内の項目を選択して決定します。

（項目選択）➡■

トップ画面へ戻る	データ放送の最初の画面に戻ります。

CLEAR/BACK

● データ放送によっては、最初の画面に戻らないことがあります。

データ放送に関する設定

●以下の操作は、P.6-9操作2のあとのテレビ画面で行います。

データ放送全画面表示	テレビの映像を消し、データ部分だけを画面に表示します。

(メニュー)➡「データ放送全画面表示」選択➡■

● 全画面表示を解除するときは、全画面表示状態で(TV画面)を押します。

画像保存先設定	データ内の画像の保存先を設定します。

(メニュー)➡「詳細設定」選択➡■➡「データ放送」選択➡■➡「画像保存先設定」選択➡■➡「本体メモリ」/「メモリカード」選択➡■

放送局メモリ削除	データ放送を通じて905SH内に保存された放送局からの情報や、個人情報などを削除します。

放送局ごとに削除する

(メニュー)➡「詳細設定」選択➡■➡「データ放送」選択➡■➡「放送局メモリ削除」選択➡■➡放送局選択➡(メニュー)➡「削除」選択➡■➡(Yes)

すべての放送局のメモリを削除する

(メニュー)➡「詳細設定」選択➡■➡「データ放送」選択➡■➡「放送局メモリ削除」選択➡■➡(メニュー)➡「全件削除」選択➡■➡操作用暗証番号(4ケタ)入力➡■➡(Yes)

データ放送通知設定	データ放送通知の有無を設定します。

お買い上げ時 通信接続時確認設定:On、位置情報利用設定:毎回確認、製造番号利用設定:Off

(メニュー)➡「詳細設定」選択➡■➡「データ放送」選択➡■➡「通信接続時確認設定」/「位置情報利用設定」/「製造番号利用設定」選択➡■➡「On」/「Off」選択➡■

●「位置情報利用設定」では、「毎回確認」を選ぶこともできます。

テレビリンクを利用する

データ放送の情報や、関連する情報画面へのリンクを保存し、あとで確認することができます。

● テレビリンクには、次の種類があります。

アイコン	種類	内容
[メモ]	メモ	データ放送の情報
[リンク]	リンクコンテンツ	放送局サーバに接続するURL
[NW]	携帯コンテンツ	携帯サイトに接続するURL

● テレビリンクを利用すると、通信料がかかることがあります。

テレビリンクを登録する

● 以下の操作は、P.6-9操作2のあとのテレビ画面で行います。

1 データ放送を行っている番組で、「テレビリンク登録」などの項目を選び、■を押す。

● テレビリンク登録の操作は番組によって異なります。詳しくは、データ放送内の情報を参照してください。

登録したテレビリンクを表示する

メニュー ▶ TV

1 「TVリンク」を選び、■を押す。

登録されているテレビリンクのリストが表示されます。

- テレビリンクの情報確認：上記操作のあと、テレビリンク選択➡✉（**メニュー**）➡「**プロパティ**」選択➡■
  - ■ 確認の終了：上記操作のあと■
- テレビリンクの1件削除：上記操作のあと、テレビリンク選択➡✉（**メニュー**）➡「**1件削除**」選択➡■➡✉（Yes）
- テレビリンクの全件削除：上記操作のあと✉（**メニュー**）➡「**全件削除**」選択➡■➡操作用暗証番号（4ケタ）入力➡■➡✉（Yes）

2 テレビリンクを選び、■を押す。

登録されている内容が表示されます。

- テレビリンクの有効期限が切れているときは、確認画面が表示されます。■を押すと、テレビリンクのリストに戻ります。

番組を録画／再生する

放送中の番組を録画する

放送中の番組を、メモリカードに録画できます。

- あらかじめ、905SHでフォーマット（初期化）したメモリカードを取り付けておいてください。
- 録画中は、絶対にメモリカードを取り外さないでください。録画したデータが消えたり、メモリカードが破損する原因となります。
- メモリカードの空き容量が少ないときは、録画できません。
- 録画中に電池残量が不足すると、録画は終了します。充電しながら録画することをおすすめします。
- 録画した映像は、コピー／転送、メール添付送信、外部出力などを行うことはできません。
- データが何も保存されていない256Mバイトのメモリカードに録画できる時間の目安は、次のとおりです。
  - ■ デジタルTV：約80分／アナログTV：約72分
- デジタルTVは、1枚のメモリカードに最大100件まで録画できます。
- 以下の操作は、P.6-9操作2のあとのテレビ画面で行います。

1 ●を長く（1秒以上）押す。

録画が始まります。

- 録画中は、アナログTVに切替、チャンネルリスト切替、チャンネル選択／編集／保存は行えません。
- データ放送があるときは、映像とデータ放送の両方が録画されます。映像だけ録画するように設定しておくこともできます。（☞P.6-14）
- 音量の調節／音声ミュート：☞P.6-9
  - ■ 録画中に音量を変更しても、録画音量には反映されません。

6 テレビ

2 録画を終了するときは、[●]を長く（１秒以上）押す。

●録画した映像を保存して、終了します。

■録画した映像を削除して終了：[☎]➡[⊙]（No）

■ [⊙]（No）のかわりに[✉]（Yes）を押すと、録画した映像を保存して終了します。

注意▶
- ●録画中にメモリカード残量や電池残量が不足したり、TVコール着信を受けて通話すると、録画は終了します。このとき、終了するまでに録画していた映像は保存されます。
- ●アナログTV録画中に着信があったり、音声電話で通話すると、録画した映像が乱れたり、雑音が入ることがあります。
- ●メモリカード内のサウンドなどを着信音に設定している場合、テレビ録画中に着信があると、お買い上げ時の着信音が鳴ります。
- ●お客様が録画したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- ●録画した内容は、事故や故障によって、消失または変化してしまうことがあります。なお、データが消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ●録画したデータを、別のメモリカードなど他のメディアにデジタル録画（コピー）することはできません。

録画中に録画予約の時刻になると

■アプリケーション終了の確認画面が表示されます。次の操作を行い、現在の録画を停止して、テレビを終了するまで、予約している番組は録画されません。

[■]➡[●]（１秒以上：録画終了）➡[☎]

■ デジタルTV録画時：上記操作のあと[✉]（Yes）

著作権保護について

■デジタルTVの録画時

905SHには、著作権保護のための暗号化技術が組み込まれており、データを記録する際に、メモリカードとの間でデータの暗号化／認証処理を行っています。

SD-Video規格「ISDB-T mobile Video profile」に対応した機器以外では、この暗号化されたデータは再生できません。

■アナログTVの録画時

905SHには、著作権保護のための暗号化技術が組み込まれており、データを記録する際に、ボーダフォン携帯電話番号との間でデータの暗号化／認証処理を行っています。

録画処理を行ったボーダフォン携帯電話番号の携帯電話以外では、この暗号化されたデータは再生できません。

■データ放送の録画に関する設定

- ●以下の操作は、P.6-9操作２のあとのテレビ画面で行います。
- ●サイクロイドポジションでは操作できません。

録画設定	映像とデータ放送の両方を録画するか、映像だけを録画するかを設定します。

お買い上げ時 映像＋データ放送

[✉]（メニュー）➡「詳細設定」選択➡[■]➡「データ放送」選択➡[■]➡「録画設定」選択➡[■]➡「映像＋データ放送」／「映像のみ」選択➡[■]

録画した映像を再生する

メニュー ▶ TVプレイヤー

1 ◉で「D」(デジタル)を選ぶ。

録画ファイルリスト画面が表示されます。

●保存されている映像のリストが表示されます。

●アナログTVで録画した映像を再生するときは、「A」(アナログ)を選びます。

2 映像を選び、■を押す。

再生が始まります。(前回の再生時に途中で停止していたときは、続きから再生されます。)

●再生が終了すれば、録画ファイルリスト画面に戻ります。

■音量の調節/音声ミュート:☞P.6-9

■アナログ映像のときは、◉でも調節できます。

■再生の一時停止:◉(デジタル)/■(アナログ)

■通常の再生に戻る:上記操作のあと◉(デジタル)/■(アナログ)

■早送り/早戻し:◉(早送り)/◉(早戻し)

■デジタルTVの映像のときは、押すたびに速度が速くなります。(早送り:1.33倍~120倍の5段階、早戻し:2倍~120倍の4段階)
また、1.33倍の早送り時には、音声も速く再生されます。

■通常の再生に戻る:上記操作のあと◉

3 再生を終了するときは、◉を長く(1秒以上)押す。

●アナログ映像のときは、CLEAR/BACKを押します。

補足▶ 再生中に◉(メニュー)を押すと、テレビ視聴時と同様に、次の操作などが行えます。

■字幕/音声設定(☞P.6-10)

■データ放送利用(☞P.6-11)

■TV時パネル明るさ調整/サウンド効果(☞P.6-19、P.6-20)

■録画ファイルリスト画面での操作

●以下の操作は、左記操作1のあとの録画ファイルリスト画面で行います。

ファイル名変更	映像のファイル名を変更します。

映像選択➡◉(メニュー)➡「ファイル名変更」選択➡■➡ファイル名入力➡■

プロパティ	映像の詳細情報を確認します。

映像選択➡◉(メニュー)➡「プロパティ」選択➡■

■確認の終了:上記操作のあと■

削除	録画した映像(ファイル)を削除します。

1件ずつ削除する

録画ファイル選択➡◉(メニュー)➡「削除」選択➡■➡◉(Yes)

すべて削除する

◉(メニュー)➡「全件削除」選択➡■➡操作用暗証番号(4ケタ)入力➡■➡◉(Yes)

視聴／録画を予約する

最大５件まで、視聴／録画予約を登録できます。

- １件あたりに設定可能な録画時間は、最大４時間です。ただし、メモリカードの容量によっては、録画可能時間が少なくなることがあります。（４時間の録画を行うには、１Ｇバイト以上のメモリカードが必要です。）
- 録画中に電池残量が不足すると、録画は終了します。充電しながら録画することをおすすめします。

番組表を利用して予約する

メニュー ▶ ＴＶ

1 「視聴／録画予約リスト」を選び、■を押す。

視聴／録画予約リストが表示されます。

2 ✉（メニュー）を押す。

3 「新規作成」を選び、■を押す。

4 「番組表から」を選び、■を押す。

番組表が表示されます。

- 以降の操作については、番組表のヘルプを参照してください。

日時やチャンネルを指定して予約する

■新規予約を登録する

メニュー ▶ ＴＶ

1 「視聴／録画予約リスト」を選び、■を押す。

視聴／録画予約リストが表示されます。

2 ✉（メニュー）を押す。

3 「新規作成」を選び、■を押す。

4 「マニュアル」を選び、■を押す。

5 「視聴予約」または「録画予約」を選び、■を押す。

6 開始日時を入力し、■を押す。

7 終了日時を入力し、■を押す。

「チャンネル：」欄に、前回起動時に見ていたチャンネルが入力されます。このままでよいときは、操作９へ進みます。

8 必要に応じて、他の項目を入力する。

- 次の項目が入力できます。項目を選び■を押したあと、それぞれの項目を選択／入力して■を押してください。

デジタル／アナログ	「デジタル」／「アナログ」選択
チャンネル：	リストからチャンネル選択
テレビ局名：	テレビ局名を入力
番組名：	番組名を入力
データ放送録画：	「映像＋データ放送」／「映像のみ」選択

- 開始日時、終了日時、予約種別（視聴予約／録画予約）を変更することもできます。

9 ⊙（保存）を押す。

１件分の予約が完了します。

録画予約時のご注意

■録画予約をしたときは、録画が開始される前に次のことを確認しておいてください。

- 他の機能を終了させておいてください。
- アンテナを調整し、テレビが良好に受信できているかを確認してください。
- 電池残量が不足していないかを確認してください。（充電しながら録画することをおすすめします。）
- メモリカード残量が不足していないかを確認してください。

予約完了時の表示について（予約できていません）

■次のような内容が表示されたときは、開始日時／終了日時、チャンネルに問題があり、予約が完了していません。

- ■ 不正な終了日時のため登録できません
- ■ 予約時刻が重複しています。
- ■ 録画時間は最大４時間までです

予約完了時の表示について（正しく録画できない可能性があります）

■次のような内容が表示されたときは、予約は完了していますが、正しく録画できない可能性があります。

- ■ 開始時刻を過ぎています。途中から録画します。
- ■ 予約時刻が一部重複しています
- ■ メモリカードが挿入されていません。予約は登録しました。
- ■ メモリカードの残量が少なくなっています。別のメモリカードを挿入してください。
- ■ 録画前に電池を充電してください
- ■ 長時間の録画は温度上昇のため途中で終了する場合があります

録画開始時刻について

■デジタルTVでは、実際の番組開始時刻よりも、少し遅れて番組が受信されます。そのため、予約した番組が始まる少し前から録画が始まることがあります。

●録画終了時刻は、番組の最後が切れないよう、設定した時刻よりも数秒間遅くなります。

■予約を編集／削除する

予約編集	登録した予約の内容を編集します。

メニュー ▶ TV ▶ 視聴／録画予約リスト

予約選択➡✉（メニュー）➡「編集」選択➡■➡予約編集（☞P.6-16操作８）➡◎（保存）

予約削除	登録した予約を削除します。

メニュー ▶ TV ▶ 視聴／録画予約リスト

予約選択➡✉（メニュー）➡「削除」選択➡■➡✉（Yes）

予約時刻の動作を設定する

●以下の操作は、P.6-9操作２のあとのテレビ画面で行います。

予約時間お知らせ	予約時刻のアラーム音やバイブ、ライトの動作や、通知／鳴動時間を設定します。

お買い上げ時 アラーム音／バイブ／ライト：On、アラーム通知時間：１分前、アラーム鳴動時間：10秒

アラーム音／バイブ／ライトを設定する

✉（メニュー）➡「詳細設定」選択➡■➡「予約時間お知らせ」選択➡■➡「アラーム音」／「バイブ」／「ライト」選択➡■➡「On」／「Off」選択➡■

アラーム通知時間を設定する

✉（メニュー）➡「詳細設定」選択➡■➡「予約時間お知らせ」選択➡■➡「アラーム通知時間」選択➡■➡「１分前」／「３分前」／「５分前」選択➡■

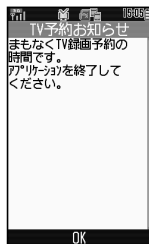
アラーム鳴動時間を設定する

✉（メニュー）➡「詳細設定」選択➡■➡「予約時間お知らせ」選択➡■➡「アラーム鳴動時間」選択➡■➡「10秒」／「20秒」／「30秒」選択➡■

予約時刻になると

視聴／録画予約の時刻が近づく（アラーム通知時間になる）と、予約時刻が近づいていることを、画面表示とアラームでお知らせします。
設定しているアラーム鳴動時間が経過したあと、予約内容が実行されます。

TV予約お知らせ
まもなくTV録画予約の時間です。
アプリケーションを終了してください。
OK

- 905SHをクローズポジションにしているときでも、予約は動作します。
- テレビが同時に起動できない機能を使用しているときは、使用中の機能の終了確認画面が表示されます。このときは、■を押し使用中の機能を終了しないと、予約は動作しません。

録画開始時の表示について

■次の内容が表示されたときは、録画は実行されますが、正しく録画できないことがあります。
- **メモリカードの残量が少なくなっています　別のメモリカードを装着してください**

■次の内容が表示されたときは、録画は実行されません。
- **メモリカードが挿入されていないため録画できません**

予約録画結果の表示について

■「**録画開始できませんでした**」と表示されているときは、次のような理由で録画ができていません。
- 電池残量が不足していた／メモリカードが取り付けられていなかった／メモリカードの空き容量が不足していた／他の機能が起動していた　など

■「**録画が途中で終了しました**」と表示されているときは、次のような理由で録画が途中で終了しています。
- メモリカードの空き容量が少なくなった／メモリカードを取り外した　など

チャンネルを設定する

チャンネルリスト（☞P.6-8）を変更したり、別のチャンネルリストを作成することができます。

- チャンネルリストは10件（「**チャンネルリスト１**」～「**チャンネルリスト９**」、「**チャンネルリスト０**」）まで登録できます。
- チャンネルリストは、地域や放送開始時期などにより、正しく設定できないことがあります。このときは、更新（全更新／追加更新）を行ってください。

チャンネルリストを追加／編集する

- 以下の操作は、P.6-9操作２のあとのテレビ画面で行います。

チャンネルリスト追加	新しいチャンネルリストを追加します。

✉（メニュー）➡「チャンネルリスト切替」選択➡■➡チャンネルリスト選択➡✉（メニュー）➡「エリア情報設定」選択➡■➡エリア選択➡■➡都道府県選択➡■➡地区選択➡■

- このあと、自動的にチャンネル設定が始まります。（☞P.6-8）

チャンネルリスト更新	チャンネルリストの登録内容を更新します。

✉（メニュー）➡「チャンネルリスト切替」選択➡■➡チャンネルリスト選択➡✉（メニュー）➡「チャンネル設定」選択➡■➡「全更新」／「追加更新」選択➡■

- このあと、自動的にチャンネル設定が始まります。（☞P.6-8）
  「全更新」選択時：上記操作のあと✉（Yes）

補足▶
- 「**全更新**」を行うと、チャンネルリスト内のすべてのチャンネルを消去して更新します。
- 「**追加更新**」を行うと、登録されているチャンネルはそのままで、受信したチャンネルを追加します。（デジタルTVでチャンネル番号が重複しているときは、登録済のチャンネルに上書きされます。）

チャンネルリスト名変更	チャンネルリスト名を変更します。

□（メニュー）➡「チャンネルリスト切替」選択➡■➡チャンネルリスト選択➡□（メニュー）➡「チャンネルリスト名変更」選択➡■➡チャンネル名入力➡■

設定リセット	選択したチャンネルリスト内の登録内容をすべて消去します。

□（メニュー）➡「チャンネルリスト切替」選択➡■➡チャンネルリスト選択➡□（メニュー）➡「設定リセット」選択➡■➡□（Yes）

チャンネルを個別に編集する

●以下の操作は、P.6-9操作２のあとのテレビ画面で行います。

チャンネル保存	現在見ている放送局を登録します。

□（メニュー）➡「チャンネル保存」選択➡■➡チャンネル選択➡■

登録済のチャンネル選択時：チャンネル選択後■➡□（Yes）

●テレビ画面でダイヤルボタンを長く（１秒以上）押すと、現在見ている放送局を、押したボタンの番号のチャンネルに登録することができます。（サイクロイドポジションを除く）
登録済のチャンネルに上書きするときは、□（Yes）を押します。

チャンネル移動	チャンネル番号を変更します。

□（メニュー）➡「チャンネル選択／編集」選択➡■➡チャンネル選択➡□（メニュー）➡「移動」選択➡■➡□（新しいチャンネル番号に移動）➡■

チャンネル削除	チャンネルを削除します。

□（メニュー）➡「チャンネル選択／編集」選択➡■➡チャンネル選択➡□（メニュー）➡「削除」選択➡■➡□（Yes）

テレビの設定を行う

左右キー設定	テレビ画面で□を押したときの動作を設定します。

お買い上げ時 チャンネル切替

メニュー ▶ TV ➡ 設定 ➡ 左右キー設定

「チャンネル切替」／「マニュアル選局」選択➡■

●設定できる内容は、次のとおりです。

チャンネル切替	利用中のチャンネルリストに登録されているチャンネルだけを順に切り替えます。
マニュアル選局	すべてのチャンネルを順に切り替えます。

TV時パネル明るさ調整	テレビ視聴中の画面の明るさを調整します。自動的に変化するように設定することもできます。

お買い上げ時 自動

メニュー ▶ TV ➡ 設定 ➡ TV時パネル明るさ調整

□（「自動」／明るさ５～１選択）➡■

注意

●「自動」にすると、調光センサー（☞P.1-7 10）が周りの明るさを検知し、自動的に画面の明るさを調整します。905SHを開いた直後や、急に明るさの異なる場所に移動したときなどは、調整に時間がかかることがあります。なお、明るさを検知できないことがありますので、調光センサー部分には、シールなどを貼らないでください。

●ここでの設定は、バックライトの「**明るさ調整**」（☞P.11-8）には反映されません。

サウンド効果	テレビ音声の音質を変更したり、サラウンドで再生することができます。

■アナログTVでは利用できません。
お買い上げ時 標準

メニュー ▶ TV ➡ 設定 ➡ サウンド効果

サウンド効果選択 ➡ ■

音声出力設定	音声の出力先を「**イヤホン優先**」または「**スピーカー**」に設定します。

お買い上げ時 イヤホン優先

メニュー ▶ TV ➡ 設定 ➡ 音声出力設定

「イヤホン優先」／「スピーカー」選択 ➡ ■

- マナーモード設定中でも、TV アンテナ付きステレオイヤホンマイクからの音声は流れます。

注意▶ 「**スピーカー**」にしているときは、TVアンテナ付きステレオイヤホンマイクを差し込んだだけでは、出力先は切り替わりません。上記の操作で「**イヤホン優先**」に切り替えてください。

着信時優先動作	テレビ視聴中に着信などがあったときの動作を設定します。

お買い上げ時 着信優先動作／アラーム動作

メニュー ▶ TV ➡ 設定 ➡ 着信時優先動作

音声電話着信／TVコール着信時の動作を設定する

「音声着信」／「TVコール着信」選択 ➡ ■ ➡ 「着信優先動作」／「着信通知表示」選択 ➡ ■

アラーム動作時の動作を設定する

「アラーム」選択 ➡ ■ ➡ 「アラーム動作」／「アラーム通知」選択 ➡ ■

- 設定できる内容は、次のとおりです。

着信優先動作／アラーム動作	テレビは自動的に一時停止し、着信などが受けられるようになります。
着信通知表示／アラーム通知	テレビは継続し、通知内容が画面上部に表示されます。

オートオフ設定	テレビを自動的に終了するまでの時間や、905SHをクローズポジションにしたときの動作を設定します。

お買い上げ時 オートオフ時間設定：Off、本体クローズ終了：Off（テレビを終了しない）

メニュー ▶ TV ➡ 設定 ➡ オートオフ設定

自動的に終了するまでの時間を設定する

「オートオフ時間設定」選択 ➡ ■ ➡ 「Off」／「10分」／「30分」／「60分」／「120分」選択 ➡ ■

905SHをクローズポジションにしたときの動作を設定する

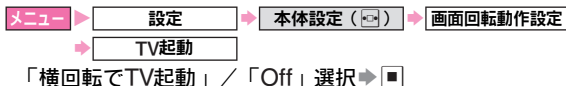
「本体クローズ終了」選択 ➡ ■ ➡ 「On」（テレビを終了する）／「Off」（テレビを終了しない）選択 ➡ ■

補足▶ 「**本体クローズ終了**」の設定は、テレビ視聴時（視聴予約での視聴時を除く）にだけ有効です。ただし、サイクロイドポジションのまま905SHを閉じると、ここでの設定にかかわらず、テレビは終了します。

画面回転動作設定（TV起動）	待受画面でサイクロイドポジションにしたとき、自動的にテレビを起動するかどうかを設定します。

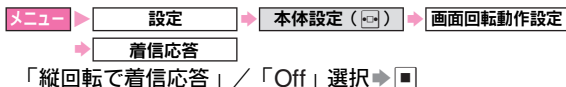
お買い上げ時 横回転でTV起動

メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（■）➡ 画面回転動作設定 ➡ TV起動

「横回転でTV起動」／「Off」選択➡■

画面回転動作設定（着信応答）	テレビ画面（サイクロイドポジション）での着信時に、オープンポジションにしたときの動作を設定します。

お買い上げ時 Off

メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（■）➡ 画面回転動作設定 ➡ 着信応答

「縦回転で着信応答」／「Off」選択➡■

アナログTVの利用

アナログTVを見る

メニュー ▶ TV

1 「アナログTV」を選び、■を押す。

テレビ画面が表示されます。

■ テレビで使用するボタン：☞P.6-7

2 ダイヤルボタンでチャンネルを選ぶ。

● 次の方法で、チャンネルを選ぶこともできます。

チャンネルを１つずつ変更	■※1
感度のよいチャンネルを自動的に検索（自動検索）	■（１秒以上）※2
別のチャンネルリストを使用	■➡■（チャンネルリスト選択）➡■

※1 チャンネルリストに設定されているチャンネルだけ表示されます。設定されていないチャンネルも表示されるように設定することができます。（左右キー設定：☞P.6-19）

※2 感度のよい放送局を検索すると、自動的に止まります。

● ダイヤルボタンを長く（１秒以上）押すと、視聴している放送局をチャンネルリストに登録することができます。（☞P.6-19）

■ 音量の調節：■（上げる）／■（下げる）

■ 音声ミュート：■（１秒以上）

■ 音声ミュートの解除：上記操作のあと■

■ アナログTV⇔デジタルTVの切替：■（１秒以上）

3 テレビを終了するときは、■を押す。

6 テレビ

アナログTVについて

■利用できない機能や、デジタル TV とは操作が異なる機能があります。

- 利用できない機能
  - ■ 字幕／音声設定（☞P.6-10）
  - ■ データ放送（☞P.6-11）
  - ■ テレビリンク（☞P.6-12）
  - ■ データ放送通知設定（☞P.6-12）
  - ■ サウンド効果（☞P.6-20）
- アナログTV専用の機能
  - ■ 録画ファイル再生時の操作（☞右記）
    最初から再生し直したり、途中から再生することができます。（再生ジャンプ）
  - ■ チャンネル設定のチャンネル編集（☞右記）
    放送局名やチャンネルを変更したり、[•□•]での選択時にチャンネルを表示しないようにすることができます。
  - ■ アナログ横表示設定（☞P.6-23）
    サイクロイドポジションでの表示方法を設定します。

アナログTV専用のおもな操作

再生ジャンプ 録画ファイルの再生時に、再生する位置を指定します。

メニュー ▶ TVプレイヤー ▶ A（[•□•]） ▶ 映像を選ぶ

指定位置から再生する

[2]（全体の12.5%の位置から再生開始）～[9]（全体の95.0%の位置から再生開始）

最初から再生する

[1]

チャンネル編集 放送局名、チャンネルを変更したり、[•□•]でのチャンネル選択時に表示されないようにできます。

メニュー ▶ TV ▶ アナログTV

放送局名を変更する

[✉]（メニュー）▶「チャンネル選択／編集」選択▶[■]▶チャンネル選択▶[✉]（メニュー）▶「編集」選択▶[■]▶「名前：」選択▶[■]▶放送局名入力▶[■]▶[o]（保存）

チャンネルを変更する

[✉]（メニュー）▶「チャンネル選択／編集」選択▶[■]▶チャンネル選択▶[✉]（メニュー）▶「編集」選択▶[■]▶「チャンネル選択：」選択▶[■]▶チャンネル選択▶[■]▶[o]（保存）

[•□•]でのチャンネル選択時に表示しないようにする

[✉]（メニュー）▶「チャンネル選択／編集」選択▶[■]▶チャンネル選択▶[✉]（メニュー）▶「編集」選択▶[■]▶「スキップ：」選択▶[■]▶「On」／「Off」選択▶[■]▶[o]（保存）

アナログ横表示設定	サイクロイドポジションでの表示方法を設定します。

お買い上げ時 ノーマル

メニュー ▶ TV ➡ 設定 ➡ アナログ横表示設定

「ノーマル」／「ワイド」／「シネマ」選択➡■

● 設定できる内容は、次のとおりです。

ノーマル	通常のサイズ（画面比４：３）で、縦いっぱいに表示します。（画面左右に空きができます。）
ワイド	画像を横方向だけ拡大し、画面全体に表示します。（画像は若干横長に変形します。）
シネマ	画像を縦横均等に拡大し、横いっぱいに表示します。（画像の上下は削除されます。）

FMラジオ

FMラジオをご利用になる前に

FMラジオをご利用になる前に、次のことをご確認ください。

- FMラジオをご利用中は、操作ボタン部や電池カバーの温度が上がるため、長時間肌に触れさせたり、紙/布/布団などをかぶせたりしないでください。やけどや故障の原因となります。
- 905SHのFMラジオは、日本国内専用(周波数:76.0MHz〜90.0MHz)です。海外では、利用できません。
- 自転車やバイク、自動車などの運転中は、FMラジオを利用しないでください。周囲の音が聞こえにくく、音声に気をとられるため、交通事故の原因となります。
  [道路交通法により、運転中の携帯電話の使用は罰則の対象となります。(2004年11月1日改正施行)]
  また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。踏切や横断歩道などでは特にご注意ください。
- FMラジオ利用中にメールを受信すると、音声に影響を与えることがあります。また、FMラジオ利用中に他の携帯電話を近づけると、音声に影響を与えることがあります。

FMラジオ利用時のご注意

■電池残量をご確認ください

- 電池レベル表示が「▭」のときは、FMラジオは起動できません。また、聴取中に電池残量が不足すると、FMラジオは自動的に終了します。

■アンテナをご利用ください

FMラジオを利用するときは、ホイップアンテナを伸ばすか、TVアンテナ付きステレオイヤホンマイクを取り付けてください。

- ホイップアンテナをご使用になるときは、十分引き出してください。ただし、放送局が極端に近いときは、ホイップアンテナを縮めたほうが音質がよくなることがあります。
- TVアンテナ付きステレオイヤホンマイクをご使用になるときは、コードを伸ばすことをおすすめします。コードを伸ばしていないと、電波を十分に受信できないことがあります。
  ただし、放送局が極端に近いときは、音質が劣化することがあります。

充電について

充電しながらFMラジオを利用することができます。

- 充電しながらFMラジオを利用するときは、付属の急速充電器をご使用ください。
- 電池レベルが「▭」のときは、利用できません。
- 充電中に急速充電器のコードをアンテナに近づけると、音質が劣化することがあります。
- FMラジオを利用しながら充電すると、充電が完了するまでに時間がかかります。

FMラジオ利用中に電話の着信があると

FMラジオは一時停止します。[key]を押すと、電話を受けることができます。通話の終了後は、自動的にFMラジオの画面に戻ります。

- 電池残量が不足していて、通話の終了後にFMラジオが起動できないときは、メインメニューが表示されます。また、他の機能も同時に動作していたときは、その機能の画面が表示されます。

FMラジオ利用中にメールを受信すると

メール着信音が鳴り、画面の1行目に受信した旨のメッセージが表示されます。

待受画面に戻ると、インフォメーションが表示されます。

電波について

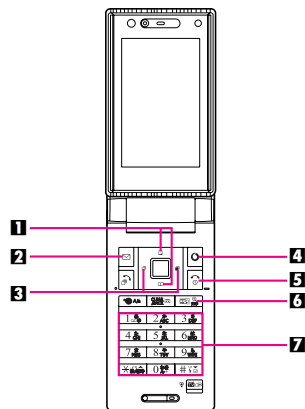
電波の受信状況が悪い次のような場所では、FMラジオが正しく利用できないことがあります。

- 放送局から遠い地域または放送局から極端に近い地域
- 山間部やビルの陰
- 移動中の電車や自動車の中
- 高圧線、ネオン、無線局の近くなど
- 線路や高速道路の近くなど
- 地下街、トンネルの中など
- その他、妨害電波が多かったり、電波が遮断されたりする場所

補足▶ お使いの地域に応じて、感度のよい放送局を自動的に検索することもできます。（自動検索：☞P.7-5）

FMラジオで使用するボタン

1 音量調節

[key]（上げる）／[key]（下げる）

- [key]を長く（1秒以上）押すと、音声を消すことができます。再び音声を出すときは、[key]を押します。（音量1になります。）

2 メニュー表示

3 チャンネル切替

- 長く（1秒以上）押すと、感度のよい放送局を自動的に検索できます。（自動検索：☞P.7-5）

4 Now On Air表示

5 FMラジオ終了

6 チャンネルリスト切替

- 長く（1秒以上）押すと、周波数を入力できます。

7 チャンネルのダイレクト選局

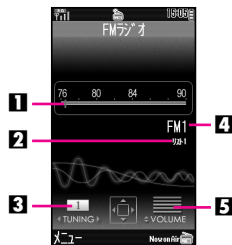
- 長く（1秒以上）押すと、現在聴いている放送局を、押したボタンのチャンネルに上書き登録できます。

ヘルプ機能について

■FMラジオ画面で次の操作を行うと、FMラジオでのボタン操作を確認することができます。

［✉］（メニュー）➡「ヘルプ」選択➡［■］

■FMラジオ画面に戻る：上記操作のあと［■］

FMラジオ画面について

1 周波数表示
2 チャンネルリスト表示
3 チャンネル表示
4 放送局名表示
5 音量表示

905SHを閉じたままFMラジオを聴く

■FMラジオ再生中に905SHを閉じても、FMラジオの再生は継続します。

● 905SHを閉じたとき、FMラジオが終了するように設定することもできます。（本体クローズ終了：☞P.7-8）

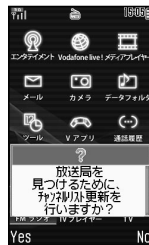
FMラジオの利用

はじめてFMラジオをお使いになるとき（チャンネルリスト更新）

はじめてFMラジオをお使いになるときは、お使いの地域に応じてチャンネルリストを更新してください。

● あとでチャンネルリストを変更したり、別のチャンネルリストを作成することもできます。（☞P.7-6）

1 ［■］を押したあと、「FMラジオ」を選び、［■］を押す。

チャンネル更新を行うかどうかの確認画面が表示されます。

2 ［✉］（Yes）を押す。

チャンネルリスト更新が始まります。更新が終了すれば、チャンネル一覧が表示されます。

3 ［■］を押す。

FMラジオ画面が表示されます。

4 FMラジオを終了するときは、［☎］を押す。

FMラジオを聴く

1 **■を押したあと、「FMラジオ」を選び、■を押す。**

FMラジオ画面が表示されます。

■ FMラジオで使用するボタン：☞P.7-3

■ 放送中の情報（Now On Air 情報）を確認する：☞右記

2 **ダイヤルボタンで放送局を選ぶ。**

●次の方法で、放送局を選ぶこともできます。

放送局を順に選択	◂□▸
感度のよい放送局を自動的に検索（自動検索）	◂□▸（1秒以上）※
周波数を入力して選択	[文字]（1秒以上）➡周波数入力➡■
別のチャンネルリストを使用	[文字]➡チャンネルリスト選択➡■

※ 感度のよい放送局を検索すると、自動的に止まります。

●周波数を0.1MHzずつ変更して、放送局を探すこともできます。（左右キー設定：☞P.7-8）

●ダイヤルボタンを長く（1秒以上）押すと、聴いている放送局をチャンネルリストに登録することができます。（☞P.7-7）

■ 音量の調節：[↑]（上げる）／[↓]（下げる）

■ 音声ミュート：[↓]（1秒以上）

▪ 音声ミュートの解除：上記操作のあと [↑]（音量1になります。）

3 **FMラジオを終了するときは、[終話]を押す。**

Now On Air 情報を利用する

現在聴いている番組の情報（曲名／アーティスト名など）を、Now On Air 情報として画面に表示できます。

●番組によっては、情報提供されていないことがあります。

●Now On Air情報の取得には、ウェブを利用します。

受信エリアを設定する

Now On Air 情報の利用に必要な、受信エリアを設定します。

●受信エリアは、現在利用中のチャンネルリストに設定できます。

1 **[✉]（メニュー）を押す。**

2 **「Now On Air」を選び、■を押す。**

3 **「受信エリア設定」を選び、■を押す。**

4 **受信エリアを選び、■を押す。**

5 **都道府県を選び、■を押す。**

地域情報が設定されます。

■ 設定変更時：上記操作のあと[✉]（編集）

6 **■を押す。**

受信エリアが設定されます。

■地域一覧

受信エリア	都道府県名
北海道・東北エリア	北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
北陸・甲信越エリア	新潟県、山梨県、長野県、富山県、石川県、福井県
関東エリア	茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
東海エリア	静岡県、愛知県、岐阜県、三重県
関西エリア	滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
中国エリア	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
四国エリア	徳島県、香川県、愛媛県、高知県
九州・沖縄エリア	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

Now On Air 情報を表示する

●あらかじめ、受信エリアを設定しておいてください。

メニュー ▶ FMラジオ

1 **◎（Now On Air）を押す。**

Now On Air情報が表示されます。

●以降は、画面に従って操作してください。

■FMラジオ画面に戻る：✉（**メニュー**）➡「**終了**」選択➡■

チャンネル登録

はじめてFMラジオを利用するときに更新したチャンネルリスト（☞P.7-4）を変更したり、別のチャンネルリストを作成することができます。

● チャンネルリストは２件（「**チャンネルリスト１**」、「**チャンネルリスト２**」）登録できます。

チャンネルリストを編集する

● 以下の操作は、P.7-5「**FMラジオを聴く**」操作１のあとのFMラジオ画面で行います。（📖で登録するチャンネルリストを選んで操作してください。）

チャンネルリスト更新	チャンネルリストの登録内容を更新します。

✉（**メニュー**）➡「**検索**」選択➡■➡「**チャンネルリスト更新**」選択➡■➡「**全更新**」／「**追加更新**」選択➡■

● このあと、自動的にチャンネルリスト更新が始まります。（☞P.7-4）

■「**全更新**」選択時：上記操作のあと✉（Yes）

補足▶
●「**全更新**」を行うと、チャンネルリスト内のすべてのチャンネルを消去して更新します。
●「**追加更新**」を行うと、登録されているチャンネルはそのままで、新たにチャンネルを追加します。

チャンネルを個別に編集する

●以下の操作は、P.7-5「FMラジオを聴く」操作1のあとのFMラジオ画面で行います。（[キー]で編集するチャンネルリストを選んで操作してください。）

チャンネル登録	現在聴いている放送局を登録します。

[メール]（メニュー）➡「チャンネル登録」選択➡■➡チャンネル選択➡■➡チャンネル名入力➡■

■登録済のチャンネル選択時：チャンネル選択後■➡[メール]（Yes）

●FMラジオ画面でダイヤルボタンを長く（1秒以上）押すと、現在聞いている放送局を、押したボタンの番号のチャンネルに登録することができます。登録を完了するには、チャンネル名を入力し、■を押してください。

チャンネル名変更	チャンネル（放送局）名を変更します。

[メール]（メニュー）➡「チャンネル選択／編集」選択➡■➡チャンネル選択➡[メール]（メニュー）➡「編集」選択➡■➡「チャンネル名」選択➡■➡チャンネル名入力➡■➡[O]（保存）

周波数変更	登録周波数を変更します。

放送局を検索して変更する

[メール]（メニュー）➡「チャンネル選択／編集」選択➡■➡チャンネル選択➡[メール]（メニュー）➡「編集」選択➡■➡「周波数」選択➡■➡「自動検索」選択➡■➡「＋方向」／「－方向」選択➡■➡■➡[O]（保存）

周波数を選択して変更する

[メール]（メニュー）➡「チャンネル選択／編集」選択➡■➡チャンネル選択➡[メール]（メニュー）➡「編集」選択➡■➡「周波数」選択➡■➡「マニュアル検索」選択➡■➡[左右]（周波数選択）➡■➡[O]（保存）

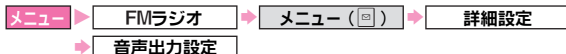
チャンネル番号変更	チャンネル番号を変更します。

[メール]（メニュー）➡「チャンネル選択／編集」選択➡■➡チャンネル選択➡[メール]（メニュー）➡「移動」選択➡■➡[上下]（新しいチャンネル番号に移動）➡■

チャンネル削除	お客様が登録したチャンネルを削除します。

[メール]（メニュー）➡「チャンネル選択／編集」選択➡■➡チャンネル選択➡[メール]（メニュー）➡「削除」選択➡■➡[メール]（Yes）

FMラジオに関する設定

音声出力設定　音声の出力先を「**イヤホン優先**」または「**スピーカー**」に設定します。

お買い上げ時 イヤホン優先

メニュー ▶ FMラジオ ➡ メニュー（✉）➡ 詳細設定 ➡ 音声出力設定

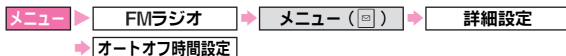
「**イヤホン優先**」／「**スピーカー**」選択 ➡ ■

- マナーモード設定中でも、TV アンテナ付きステレオイヤホンマイクからの音声は流れます。

注意▶「**スピーカー**」にしているときは、TVアンテナ付きステレオイヤホンマイクを差し込んだだけでは、出力先は切り替わりません。上記の操作で「**イヤホン優先**」に切り替えてください。

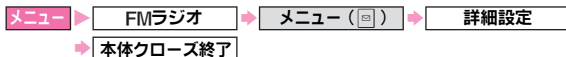
オートオフ時間設定　FMラジオを起動してから、自動的に終了するまでの時間を設定します。

お買い上げ時 Off

メニュー ▶ FMラジオ ➡ メニュー（✉）➡ 詳細設定 ➡ オートオフ時間設定

「Off」／「30分後」／「60分後」／「90分後」選択 ➡ ■

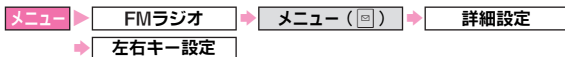
本体クローズ終了　FMラジオ画面で905SHをクローズポジションにしたとき、再生を終了するかどうかを設定します。

お買い上げ時 Off（再生継続）

メニュー ▶ FMラジオ ➡ メニュー（✉）➡ 詳細設定 ➡ 本体クローズ終了

「On」（再生終了）／「Off」（再生継続）選択 ➡ ■

左右キー設定　FMラジオ画面で◁▷を押したときの動作を設定します。

お買い上げ時 チャンネル切替

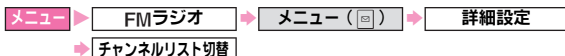
メニュー ▶ FMラジオ ➡ メニュー（✉）➡ 詳細設定 ➡ 左右キー設定

「**チャンネル切替**」／「**マニュアル検索**」選択 ➡ ■

- 設定できる内容は、次のとおりです。

チャンネル切替	利用中のチャンネルリストに登録されている放送局を順に切り替えます。
マニュアル検索	0.1MHzずつ周波数を変更します。

チャンネルリスト切替　FMラジオ起動時に利用するチャンネルリストを設定します。

お買い上げ時 チャンネルリスト 1

メニュー ▶ FMラジオ ➡ メニュー（✉）➡ 詳細設定 ➡ チャンネルリスト切替

「**チャンネルリスト１**」／「**チャンネルリスト２**」選択 ➡ ■

カメラ

カメラについて

905SHは内蔵の2.0メガピクセルカメラを利用して、静止画や動画が撮影できます。
詳しくは「**静止画撮影モード**」（☞P.8-5）／「**動画撮影モード**」（☞P.8-8）を参照してください。

補足▶ 905SHでは、インカメラ（☞P.1-7 9）でも撮影できます。ここでは、ことわりがない限り、アウトカメラ（☞P.1-7 34）での操作を中心に説明しています。

カメラ利用時のご注意

- アウトカメラのレンズカバー（☞P.1-7 34）に指紋や油脂が付くとピントが合わなくなります。柔らかい布などでレンズカバーをきれいにしてください。
- 手ぶれにご注意ください。画像がぶれる原因となります。905SHが動かないようにしっかり持って撮影するか、安定した場所に置いてセルフタイマーで撮影してください。
- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見える画素や暗く見える画素もありますので、ご了承ください。
- 905SHを暖かい場所に長時間置いていたあとで、撮影したり画像を保存したときは、画質が劣化することがあります。
- カメラ部分に直射日光が長時間あたると、内部のカラーフィルターが変色して、画像が変色することがあります。

カメラ撮影中の撮影音について

■カメラ撮影時には、一定の音量でシャッター音やセルフタイマー音が鳴ります。
- マナーモードやその他のモード設定にかかわらず、音が鳴ります。音量も変更できません。

■静止画撮影時のシャッター音のパターンは、変更できます。（☞P.8-16）

カメラ利用中に着信／アラーム動作があると

■撮影前に着信やアラーム動作があると、カメラは終了します。通話などを終わると、再度カメラが起動します。
■動画撮影中にアラームの設定時刻になったとき、アラームは動作せず撮影を継続します。このときは、撮影後にカメラを終了すると、アラームが動作します。
■撮影後（保存前）に着信やアラーム動作があったとき、撮影した静止画／動画は一時的に記憶（保護）されています。通話などを終わると、撮影後の画面に戻ります。

動画撮影のご注意

■電池レベルが不足しているときは撮影できません。また、撮影中に電池残量が不足すると、撮影が中止されます。（途中までの録画内容は保存されています。）

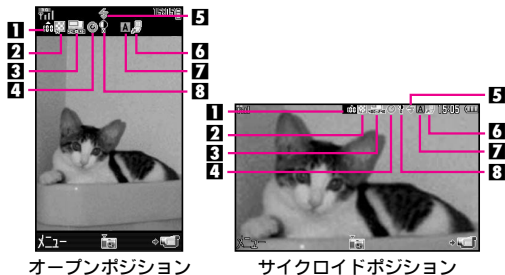
自動終了について

■カメラ起動後、画像を撮影する前に約3分間何も操作しないでおくと、自動的に終了し、待受画面へ戻ります。

外部出力について

■オプション品のL型ビデオ出力ケーブルを利用して、テレビやビデオなど他の機器に905SHの画面を表示できます。（☞P.11-9）

カメラ利用中の画面表示

静止画撮影モード

オープンポジション　サイクロイドポジション

1 保存可能件数表示（☞P.8-5）
- 101件以上撮影（保存）可能なときは、「」が表示されます。
- 3件以下になると、背景が赤く表示されます。

2 画質表示（☞P.8-18）
：ノーマル／：ファイン／：ハイクオリティ

3 撮影サイズ表示（☞P.8-18）

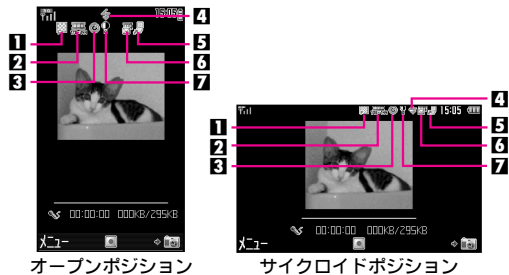
4 セルフタイマー表示（☞P.8-11）／**連写表示**（☞P.8-12）
：セルフタイマーOn
〜：連写枚数（マーク下の数字は「**撮影済または表示中の枚数**」−「**連写枚数**」を表します。）
：4枚連写On／：9枚連写On／
：オーバーラップ連写／：ブラケット連写
- セルフタイマーと連写を合わせて設定しているときは、「」などが表示されます。
- 連写撮影後、分割画像が表示されているときは、「」が表示されます。

5 モバイルライト表示（☞P.8-17）
：On／：自動／：接写

6 保存先表示（☞P.8-20）
：本体（905SH）／：メモリカード／
：デジタルカメラフォルダ／：毎回確認

7 シーン別撮影表示（☞P.8-18）
：標準／：夜景／：スポーツ／：文字

8 明るさ調整表示（☞P.8-17）
-2　-1　0　+1　+2
暗い ◀標準▶ 明るい

動画撮影モード

オープンポジション　サイクロイドポジション

1 画質表示（☞P.8-18）
：ノーマル／：ファイン／：ハイクオリティ

2 撮影サイズ表示（☞P.8-19）

3 セルフタイマー表示（☞P.8-11）
：セルフタイマーOn

4 モバイルライト表示（☞P.8-17）
：On／：自動

5 保存先表示（☞P.8-20）
：本体（905SH）／：メモリカード／：毎回確認

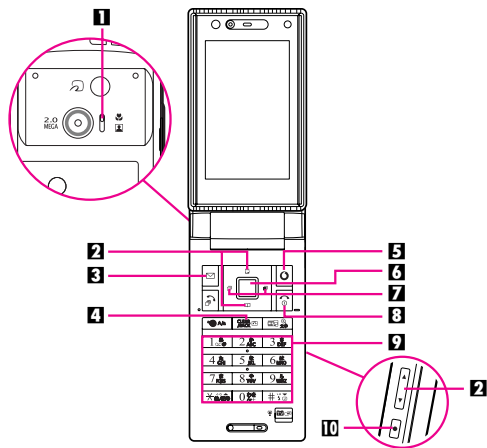
6 撮影時間表示（☞P.8-19）

：メール添付／：長時間撮影（3gp）／

：長時間撮影（asf）／：長時間撮影（大、小）

7 明るさ調整表示（☞P.8-17）

暗い ◀標準▶ 明るい

カメラで使用するボタン

1 接写スイッチ

スライドさせて切り替えます。[「」（通常）⇔「」（接写）]

被写体との距離は、接写モードでは10cm程度、通常モードでは約80cm以上を目安にしてください。

2 ズーム

／（ズームアップ）、／（ズームダウン）

3 メニュー表示

4 撮影のやり直し

5 撮影モード切替

6 シャッター

7 明るさ調整

（暗くなる）、（明るくなる）

8 カメラ終了

9 機能の簡単切替

撮影画面で次のボタンを押すと、各機能が簡単に利用できます。

1	ズーム 最大／等倍切替
2	画面表示切替：☞P.8-16（静止画）
	表示サイズ切替：☞P.8-17（動画）
4	保存先変更：☞P.8-20
5	撮影サイズ：☞P.8-18（静止画）、P.8-19（動画）
6	シーン別撮影：☞P.8-18（静止画）
	マイクOn／Off切替：☞P.8-19（動画）
7	画質設定：☞P.8-18
8	セルフタイマーOn／Off切替：☞P.8-11
9	モバイルライト色変更：☞P.8-17（モバイルライト点灯中だけ）
0	ヘルプ表示：☞P.8-5
＊	インカメラ／アウトカメラ切替：☞P.8-20
＃	モバイルライトOn／Off切替：☞P.8-17

- 撮影モードやポジションによって利用できる機能は異なります。各モードで利用できる機能（☞P.8-7、P.8-8、P.8-10）などでご確認のうえ、ご利用ください。

10 シャッター

ヘルプ機能について

■撮影画面で次の操作を行うと、静止画／動画撮影時に、オープンポジションで利用できるボタン操作が表示されます。

0

■ 隠れている部分を表示：上記操作のあと

■ 撮影画面に戻る：上記操作のあと■

● 撮影画面のメニュー操作でも、ヘルプを表示できます。

（メニュー）➡「ヘルプ」選択➡■

静止画の撮影

静止画撮影モード

メール添付や壁紙登録など、用途に合わせいろいろなサイズの静止画が撮影できます。また、撮影／画像に関する設定など、目的に応じた設定を選んで撮影できます。

撮影サイズ	**オープンポジション** 横1224×縦1632ドット 横960×縦1280ドット（Quad-VGA） 横768×縦1024ドット（XGA） 横480×縦640ドット（VGA） 横240×縦400ドット 横240×縦320ドット（QVGA） 横120×縦160ドット（QQVGA） **サイクロイドポジション** 横1200×縦720ドット 横400×縦240ドット **インカメラ（オープンポジションのみ）** 横240×縦320ドット（QVGA） 横120×縦160ドット（QQVGA）
保存形式	JPEG形式（.jpg）※1
保存先	905SHまたはメモリカードの データフォルダ（ピクチャー）※2
画質	ノーマル／ファイン／ハイクオリティ
ズーム	**オープンポジション** 横1224×縦1632ドット：なし 横960×縦1280ドット：1～1.25倍 横768×縦1024ドット：1～1.6倍 横480×縦640ドット：1～2.5倍 横240×縦400ドット：1～4倍 横240×縦320ドット：1～10倍 横120×縦160ドット：1～20倍 **サイクロイドポジション** 横1200×縦720ドット：なし 横400×縦240ドット：1～3倍 **インカメラ（オープンポジションのみ）** 横240×縦320ドット：なし 横120×縦160ドット：1～2倍
MMS添付	可能
保存可能件数（目安）	オープンポジション：約1270ファイル※3 サイクロイドポジション：約1010ファイル※3

※1「Image001.jpg」、「Image002.jpg」…の順にファイル名が付きます。

※2 横480×縦640ドット以上の静止画は、メモリカードのDCIMフォルダ（デジタルカメラフォルダ）にも保存できます。

※3 お買い上げ時の状態（撮影サイズ、画質）で撮影し、905SHに保存したときの画像数です。

補足▶
- 905SHまたはメモリカードのどちらに保存するかは、あらかじめ設定できます。撮影のたびに保存先を選ぶようにすることもできます。（保存先設定：☞P.8-20）
- 905SHのデータフォルダのメモリは、ムービーや着うた・メロディ、Vアプリライブラリなどと共有しているため、他のデータの登録状況によって、撮影（保存）できる画像数は少なくなります。
- メモリの使用状況を確認するときは、P.10-2を参照してください。
- オープンポジションで横480×縦640ドット以上のサイズで撮影した静止画は、横長の画像として保存されます。（905SHで見ると縦向きに表示されます。）
  - ■ データフォルダで詳細情報を確認すると、「解像度」欄には実際の画像サイズが表示されます。
    （例：オープンポジションで横480×縦640ドットで撮影した場合、「640×480」と表示されます。）
- サイクロイドポジションで撮影した静止画は、縦長の画像として保存されます。（905SHやパソコン等で見ると縦向きに表示されます。）

静止画を撮影する

メニュー▶ カメラ

1 画像を画面に表示する。

- 動画撮影画面と静止画撮影画面を切り替える：[O]（➜📹）
- カメラで使用するボタン：☞P.8-4
- 便利な撮影方法：☞P.8-11
- 撮影／画像に関する設定：☞P.8-16

静止画撮影画面

2 [■]または[●]を押す。

シャッター音が鳴り、撮影した静止画が表示されます。

- 自動保存設定を「On」にしているときは、自動的に静止画が保存され、続けて撮影できる状態になります。
- 撮影のやり直し：[CLEAR/BACK]
- メール添付：[O]（✉）➡P.15-7操作3以降

3 静止画を保存するときは、[■]を押す。

保存後、撮影前の状態に戻りますので、続けて撮影できます。

- 保存先選択画面表示時：保存先選択➡[■]
- 撮影した静止画の確認：☞P.8-11

4 カメラを終了するときは、[⏻]を押す。

8 カメラ

補足▶ **保存していない静止画があるとき**

カメラを終了すると、終了するかどうかの確認画面が表示されます。

- [メールキー]（Yes）を押すと、撮影した静止画を保存せずに、待受画面に戻ります。
- [センターキー]（No）を押すと、撮影後の画面に戻ります。

サイクロイドポジションで撮影する

■撮影画面（撮影前）でディスプレイを回転させると、オープンポジション⇔サイクロイドポジションが切り替わります。

- メニュー表示中やカメラ起動準備中、撮影画像保存中などにディスプレイを回転させると、ディスプレイの方向と画面表示が一致しなくなります。このときは、いったんディスプレイを元の方向に戻し、撮影画面を表示させてからディスプレイを回転させてください。

静止画撮影で利用できる機能

撮影前

撮影前に[メールキー]（**メニュー**）を押すと、次の機能が利用できます。

明るさ調整		明るさを調整します。（☞P.8-17）
撮影サイズ		撮影する静止画のサイズを設定します。（☞P.8-18）
画質設定		画質を設定します。（☞P.8-18）
データフォルダ		905SHまたはメモリカード内の静止画を確認します。（☞P.8-11）
撮影モード※1	**モバイルライト**	モバイルライトの点灯モードと色を設定します。（☞P.8-17）
	シーン別撮影	撮影環境を設定します。（☞P.8-18）
	セルフタイマー	セルフタイマーを設定します。（☞P.8-11）
	フレーム追加※2	静止画にフレームを付けて撮影します。（☞P.8-14）
	連写設定※2	静止画を連続して撮影します。（☞P.8-12）
	効果付き撮影※2	画面の装飾効果を確認しながら撮影します。（☞P.8-15）
設定	**アイコン非表示／通常画面表示**※3	画面の表示を切り替えます。（☞P.8-16）
	シャッター音	撮影時のシャッター音を設定します。（☞P.8-16）
	保存先設定	静止画の保存先（905SH／メモリカード）を設定します。（☞P.8-20）
	自動保存設定	撮影後自動的に静止画を保存するかどうかを設定します。（☞P.8-20）

※1 インカメラでは利用できません。
※2 サイクロイドポジションでは、利用できません。
※3 オープンポジションで、撮影サイズが横240×縦400ドットのとき、またはサイクロイドポジションで利用できます。

インカメラに切替／アウトカメラに切替※2	インカメラ／アウトカメラでの撮影を切り替えます。（☞P.8-20）
ヘルプ	オープンポジションで利用できるボタン操作を、画面に表示します。（☞P.8-5）

※2 サイクロイドポジションでは、利用できません。

撮影直後（静止画保存前）

静止画の撮影直後（保存前）に✉（**メニュー**）を押すと、次の機能が利用できます。

保存先設定	静止画の保存先（905SH／メモリカード）を設定します。（☞P.8-20）
データフォルダ	905SHまたはメモリカード内のデータフォルダが表示されます。静止画を削除してメモリの空き容量を増やすことができます。

動画の撮影

動画撮影モード

長時間（メモリカードの容量による）の動画や、メール添付用の短い動画を、用途に応じて撮影できます。

<table>
<tr><td colspan="2">撮影サイズ</td><td>横240×縦176ドット（HQVGA）
横176×縦144ドット（QCIF）
横128×縦96ドット（SubQCIF）</td><td colspan="2">横480×縦640ドット（VGA）
横240×縦320ドット（QVGA）</td></tr>
<tr><td colspan="2">保存形式</td><td>MPEG-4／H.263（.3gp）※1※2</td><td>MPEG-4（.3gp）※1</td><td>MPEG-4（.ASF）※3</td></tr>
<tr><td colspan="2">保存先</td><td>905SHまたはメモリカードのデータフォルダ（ムービー）※4</td><td>メモリカードのデータフォルダ（ムービー）</td><td>メモリカードのSDビデオフォルダ</td></tr>
<tr><td colspan="2">画質</td><td>ノーマル／ファイン／ハイクオリティ</td><td colspan="2">ハイクオリティ</td></tr>
<tr><td colspan="2">最大ズーム</td><td colspan="3">1～4.6倍</td></tr>
<tr><td colspan="2">MMS添付</td><td colspan="2">可能</td><td>不可</td></tr>
<tr><td rowspan="2">最長撮影時間（1回あたり）</td><td>メール添付※5</td><td>約60秒（画質：ノーマル）
約50秒（画質：ファイン）
約30秒（画質：ハイクオリティ）</td><td colspan="2">—</td></tr>
<tr><td>長時間撮影</td><td colspan="2">30分</td><td>メモリカードの容量により変動</td></tr>
</table>

※1「video001.3gp」、「video002.3gp」…の順にファイル名が付きます。
※2 横240×縦176ドットの保存形式は、MPEG-4だけです。
※3「MOL001.ASF」、「MOL002.ASF」…の順にファイル名が付きます。
※4 横240×縦176ドットの保存先は、メモリカードだけです。
※5 横128×縦96ドット、横176×縦144ドットの最長撮影時間です。

補足▶
- 動画は、明るい状態でなるべくカメラから1.5mまでの距離で、撮影することをおすすめします。
- 905SHまたはメモリカードのどちらに保存するかは、あらかじめ設定できます。撮影のたびに保存先を選ぶようにすることもできます。（保存先設定：☞P.8-20）
- 905SHのデータフォルダのメモリは、着うた・メロディ、Vアプリライブラリなどと共有しているため、他のデータの登録状況によって、撮影（保存）できる画像数は少なくなります。
- メモリの使用状況を確認するときは、P.10-2を参照してください。

動画を撮影する

- ご利用前に電池残量とメモリ容量をご確認ください。電池残量が不足しているときは撮影できません。
  また、撮影中に電池残量やメモリ容量が不足すると、撮影が中止されます。

メニュー▶ カメラ

1 ◎（→🎥）を押す。

動画撮影画面が表示されます。

- 動画撮影画面が表示されているときは、◎（→🎥）を押す必要はありません。

2 画像を画面に表示する。

■ カメラで使用するボタン：☞P.8-4
■ 便利な撮影方法：☞P.8-11
■ 撮影／画像に関する設定：☞P.8-16

動画撮影画面

3 ■または●を押す。

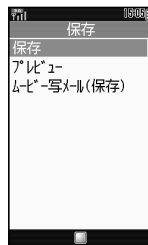
撮影開始音が鳴り、撮影が始まります。
（撮影開始まで、しばらく時間がかかることがあります。）

■ 撮影のやり直し：CLEAR/BACK

4 撮影を終了するときは、■または●を押す。

撮影終了音が鳴り、撮影が終わります。

- 撮影可能時間を経過したり、撮影中にメモリ容量が不足したとき、撮影は自動的に終了します。
- 自動保存設定を「On」にしているときは、自動的に動画が保存され、続けて撮影できる状態になります。

■ 撮影した動画の再生：「プレビュー」選択➡■
  - ■再生中の表示切替：再生中に2（押すたびに切替）
■ 撮影のやり直し：CLEAR/BACK

5 動画を保存するときは、「保存」を選び、■を押す。

保存後、撮影前の状態に戻りますので、続けて撮影できます。

■ 保存先選択画面表示時：保存先選択➡■

6 カメラを終了するときは、⏻を押す。

補足▶
保存していない動画があるとき
カメラを終了すると、終了するかどうかの確認画面が表示されます。
- ✉（Yes）を押すと、撮影した動画を保存せずに、待受画面に戻ります。
- ◎（No）を押すと、撮影後のメニュー画面に戻ります。

動画撮影で利用できる機能

撮影前

撮影前に✉（**メニュー**）を押すと、次の機能が利用できます。

明るさ調整		明るさを調整します。（☞P.8-17）
撮影時間／サイズ		動画の撮影時間とサイズ（保存形式）を設定します。（☞P.8-19）
画質設定※1		画質を設定します。（☞P.8-18）
データフォルダ		905SHまたはメモリカード内の動画を確認します。（☞P.8-11）
撮影モード	モバイルライト※2	モバイルライトの点灯モードと色を設定します。（☞P.8-17）
	セルフタイマー※2	セルフタイマーを設定します。（☞P.8-11）
	表示サイズ※3	撮影時の画像の表示サイズを設定します。（☞P.8-17）
設定	マイク設定	撮影時に音声も同時に録音するかどうかを設定します。（☞P.8-19）
	エンコード形式※3	ファイルの圧縮形式を設定します。（☞P.8-19）
	保存先設定※4	動画の保存先（905SH／メモリカード）を設定します。（☞P.8-20）
	自動保存設定	撮影後自動的に動画を保存するかどうかを設定します。（☞P.8-20）
インカメラに切替／アウトカメラに切替※3※5		インカメラ／アウトカメラでの撮影を切り替えます。（☞P.8-20）
ヘルプ※5		オープンポジションで利用できるボタン操作を、画面に表示します。（☞P.8-5）

※1 横240×縦320ドット／横480×縦640ドット以外の撮影で利用できます。

※2 インカメラでは利用できません。

※3 横128×縦96ドット／横176×縦144ドットの撮影で利用できます。

※4 撮影時間／サイズを「**メール添付**」にしているときだけ利用できます。

※3 横128×縦96ドット／横176×縦144ドットの撮影で利用できます。

※5 サイクロイドポジションでは、利用できません。

撮影直後（動画保存前）

動画の撮影直後（保存前）には、メニュー画面が自動的に表示され、次の機能が利用できます。

保存	撮影した動画を905SHまたはメモリカードに保存します。（☞P.8-9）
プレビュー	撮影した動画を再生します。（☞P.8-9）
ムービー写メール（保存）※	撮影した動画をメールに添付します。（☞P.8-16）

※撮影時間／サイズを「**メール添付**」にしているときだけ利用できます。また、添付ファイル送信時設定（☞P.15-28）を「**保存しないで送信**」にしているときは、「**ムービー写メール**」が表示されます。

撮影した画像の確認

撮影（保存）した静止画／動画を確認します。

- データフォルダの操作でも確認できます。（☞P.10-5）

静止画の確認

メニュー ▶ カメラ ➡ 静止画撮影画面を表示する

1 静止画撮影画面で、✉（メニュー）を押す。

2「データフォルダ」を選び、■を押す。

■ メモリカード取付時：「ピクチャー」／「デジタルカメラ」選択➡■

■ 905SH／メモリカードの切替：✉（メニュー）➡「本体へ切替」／「メモリカードへ切替」選択➡■

■ 新しく作成したフォルダ／デジタルカメラフォルダ選択時：フォルダ選択➡■

3 静止画を選び、■を押す。

■ 別の静止画の確認：CLEAR/BACK➡静止画選択➡■

動画の確認

メニュー ▶ カメラ ➡ 動画撮影画面を表示する

1 動画撮影画面で、✉（メニュー）を押す。

2「データフォルダ」を選び、■を押す。

■ 905SH／メモリカードの切替：✉（メニュー）➡「本体へ切替」／「メモリカードへ切替」選択➡■

■ 新しく作成したフォルダ選択時：フォルダ選択➡■

3 動画を選び、■を押す。

再生が始まります。■を押すたびに、一時停止⇔再生します。

■ 別の動画の確認：CLEAR/BACK➡動画選択➡■

SDビデオ内の動画の確認　横240×縦320ドットまたは横480×縦640ドットで撮影したASF形式の動画を確認します。

メニュー ▶ メディアプレイヤー ➡ ムービー ➡ SDビデオ

動画選択➡■

■ 別の動画の確認：CLEAR/BACK➡動画選択➡■

便利な撮影方法

セルフタイマーで撮影する（静止画／動画）

セルフタイマーを利用して静止画／動画を撮影できます。

- インカメラでは、利用できません。
- 以下の操作は、P.8-6操作１の静止画撮影前、またはP.8-9操作２の動画撮影前の状態で行います。
- お買い上げ時には、「Off」に設定されています。

1 ✉（メニュー）を押す。

2「撮影モード」を選び、■を押す。

3「セルフタイマー」を選び、■を押す。

4「On」を選び、■を押す。

「⊘」が表示され、セルフタイマーが設定されます。

■ セルフタイマーの解除：「Off」選択➡■

5 画像を画面に表示し、■または●を押す。

セルフタイマー音が鳴り、セルフタイマーが動作します。

- 10秒後、静止画撮影モードでは撮影後の画像が表示され、動画撮影モードでは撮影が始まります。

■ 撮影のやり直し：セルフタイマー動作中に◎（キャンセル）

■ セルフタイマーが設定されたまま、撮影をやり直せる状態に戻ります。

8 カメラ

6 *静止画を保存する*

1 静止画を保存するときは、■を押す。

セルフタイマーは解除され、通常の撮影画面に戻ります。

■ 保存先選択画面表示時：保存先選択➡■

動画を保存する

1 撮影を終了するときは、■を押す。

2 動画を保存するときは、「保存」を選び、■を押す。

セルフタイマーは解除され、通常の撮影画面に戻ります。

■ 保存先選択画面表示時：保存先選択➡■

7 カメラを終了するときは、[ ]を押す。

■保存していない静止画／動画があるとき：P.8-7、P.8-9

注意▶ 連写スピード（P.8-13）を「**マニュアル**」にしているときは、セルフタイマーは利用できません。

セルフタイマー撮影時のご注意

■セルフタイマー動作中に■を押すと、その時点で撮影され、セルフタイマーは解除されます。

■セルフタイマー動作中に着信やアラーム動作があると、撮影は中止されます。（セルフタイマーは解除されません。）

■セルフタイマー動作中は、ズーム、明るさ調整、モバイルライトOn／Off以外の機能は利用できません。

連写撮影する（静止画）

静止画を連続して撮影できます。設定できる連写の種類は、次のとおりです。

種類	説明
4枚連写On※1	4枚の静止画を連続して撮影し、4枚の静止画と分割画像※2を作成します。
9枚連写On※3	9枚の静止画を連続して撮影し、9枚の静止画と分割画像※2を作成します。
オーバーラップ連写※3	連続して5枚の静止画を撮影し、5枚の静止画と合成画像を作成します。
ブラケット連写※3	画像の明るさやモバイルライトの色を変えて連続して撮影し、9枚の静止画と分割画像※2を作成します。

※1 横480×縦640ドット以下で利用できます。（横480×縦640ドットでは、分割画像は作成されません。）

※2 分割画像とは、連続撮影したすべての静止画を縮小し、1枚の静止画内に配置したものです。連写画像の内容が一覧で確認できます。

※3 横240×縦400ドット以下で利用できます。

- 連写撮影では、1枚目のシャッター（[●]または■）を押すと、あとは一定間隔で自動的に残りの回数分が撮影されます。撮影される間隔（連写スピード）の設定もできます。
- 4枚／9枚連写では回数分シャッターを押す、「**マニュアル**」も設定できます。
- インカメラでは利用できません。
- サイクロイドポジションでは、利用できません。

●以下の操作は、P.8-6操作１の静止画撮影前の状態で行います。

1 **（メニュー）を押す。**

2 **「撮影モード」を選び、■を押す。**

3 **「連写設定」を選び、■を押す。**

4 **「４枚連写On」～「ブラケット連写」のいずれかを選び、■を押す。**

■連写の解除：「Off」選択➡■（操作完了）

5 **連写スピードを選び、■を押す。**

連写マーク（☞P.8-3）が表示され、撮影画面に戻ります。

●セルフタイマー（☞P.8-11）を「On」にしているときは、「**マニュアル**」は利用できません。

●設定できる連写スピードは、撮影サイズによって異なります。

6 **画像を画面に表示し、■または●を押す。**

設定したスピードで連写撮影されます。

●４枚／９枚連写を手動（マニュアル）で撮影するときは、残りの回数分■または●を押してください。

■連写の中止：連写撮影中に◎（**キャンセル**）

■このあと、中止前に撮影した連写画像を保存するときは、操作８へ進みます。

■連写の取消：上記操作のあとCLEAR/BACK

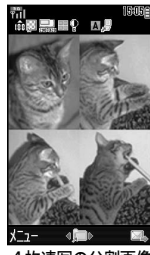
（途中まで撮影した画像は消去され、連写撮影をやり直せる状態に戻ります。）

7 **連写撮影が終われば、分割画像または合成画像が表示される。**

●横480×縦640ドットのときは、１枚目に撮影した画像が表示されます。

■連写画像内の静止画の確認：

■このあと、連写画像内の１枚だけを保存するときは、保存する画像を表示し、操作８へ進みます。

■メール添付：◎（✉）➡P.15-7操作３以降

４枚連写の分割画像

8 **連写画像を保存するときは、■を押す。**

■保存先選択画面表示時：保存先選択➡■

9 ***すべての連写画像を保存する***

1「全画像」を選び、■を押す。

連写画像保存後、撮影画面に戻ります。
（連写設定は「On」のままです。）

１枚だけを保存する

1「表示画像」を選び、■を押す。

表示画像保存後、連写撮影後の画面に戻ります。
（連写設定は「On」のままです。）

■他の静止画の保存：上記操作のあと（静止画選択）➡■➡「**表示画像**」選択➡■

■撮影画面に戻る：上記操作のあとCLEAR/BACK

10 **カメラを終了するときは、を押す。**

■保存していない静止画があるとき：☞P.8-7

注意▶
- 暗い所で撮影すると、明るい所で撮影するよりも連写スピードが遅くなることがあります。
- モバイルライト点灯時は、連写スピードが遅くなることがあります。

補足▶
表示画像だけを保存したとき
カメラを終了すると、終了するかどうかの確認画面が表示されます。
- ✉（Yes）を押すと、撮影した静止画を保存せずに、待受画面に戻ります。
- o（No）を押すと、連写撮影後の画面に戻ります。

フレームを付けて撮影する（静止画）

- ウェブなどで入手したフレーム［透過PNG形式の画像（40Kバイト以下）］も利用できます。
- 横240×縦400ドット以下の静止画撮影で利用できます。
- インカメラでは利用できません。
- サイクロイドポジションでは、利用できません。
- 以下の操作は、P.8-6操作1の静止画撮影前の状態で行います。操作後、撮影画面に戻りますので、撮影を行ってください。

1 ✉（メニュー）を押す。

2「撮影モード」を選び、■を押す。

3「フレーム追加」を選び、■を押す。

4 *あらかじめ登録されているフレームを利用する*

1「固定データ」を選び、■を押す。

2 フレームを選び、■を押す。

■フレームの表示：フレーム選択➡✉（表示）

■フレーム選択に戻る：上記操作のあとCLEAR/BACK

データフォルダ内のフレームを利用する

1「データフォルダ」を選び、■を押す。

- 選択できないフレームは、利用できません。

2 フレームを選び、■を押す。

■フレームの表示：✉（メニュー）➡「表示」選択➡■

■フレーム選択に戻る：上記操作のあとCLEAR/BACK

3 ■を押す。

フレームを解除する

1「Off」を選び、■を押す。

補足▶ 連写撮影では、すべての静止画にフレームが付きます。

8 カメラ

画面の装飾効果を確認しながら撮影する（静止画）

画面に表示される装飾効果を確認しながら、静止画を撮影できます。（効果付き撮影）

- 横240×縦400ドット以下の静止画撮影で利用できます。
- インカメラでは利用できません。
- サイクロイドポジションでは、利用できません。
- 以下の操作は、P.8-6操作１の静止画撮影前の状態で行います。操作後、撮影画面に戻りますので、撮影を行ってください。

1 ☒（メニュー）を押す。

2「撮影モード」を選び、■を押す。

3「効果付き撮影」を選び、■を押す。

4 装飾の種類を選び、■を押す。

選んだ装飾効果で撮影できる状態になります。

■ 効果の表示：☒（表示）
- ■ 効果の変更：上記操作のあとCLEAR/BACK

■ 効果付き撮影の解除：「Off」選択➡■

静止画／動画のメール添付

撮影した静止画を添付する

撮影した静止画を、撮影直後の画面から直接メール（MMS）に添付して送信します。

- 撮影した静止画を保存したあとは、データフォルダの操作で送信します。（☞P.10-8）

1 静止画を撮影する。

■ 静止画の撮影方法：☞P.8-6操作１～２

■ 連写画像の添付：P.8-13操作７のあと▫（添付する静止画選択）

2 ◎（✉）を押す。

静止画が保存されたあと、メール作成画面が表示されます。（静止画はあらかじめ添付されています。）

- 静止画を保存せずに送信するよう、設定しておくこともできます。（添付ファイル送信時設定：☞P.15-28）

■ 保存先選択画面表示時：保存先選択➡■

3 宛先など他の項目を入力し、メールを送信する。（☞P.15-7操作３以降）

注意▶ サイクロイドポジションでの撮影後に◎（✉）を押すと、縦向きのメール作成画面が横向きに表示されます。
このときは、オープンポジションに戻してください。

補足▶ 送信先が添付した静止画を受信できるかなど、あらかじめご確認ください。相手機種のサービス対応状況については、「3Gガイドブック」を参照してください。

撮影した動画を添付する

撮影した動画を、撮影直後の画面から直接メール（MMS）に添付して送信します。

- MMSに添付できる動画のサイズ／形式などについては、P.8-8を参照してください。
- 撮影した動画を保存したあとは、データフォルダの操作で送信します。（☞P.10-8）

1 動画を撮影する。（☞P.8-9操作1～4）

2「ムービー写メール（保存）」を選び、■を押す。

動画が保存されたあと、メール作成画面が表示されます。（動画はあらかじめ添付されています。）

- 動画を保存せずに送信するよう、設定しておくこともできます。（添付ファイル送信時設定：☞P.15-28）

■ 保存先選択画面表示時：保存先選択➡■

3 宛先など他の項目を入力し、メールを送信する。（☞P.15-7操作3以降）

注意▶
- MMS、VGSメール非対応のボーダフォン携帯電話には動画は送信できません。
- 撮影した動画は、MPEG-4対応機以外のボーダフォン携帯電話には送信できません。

補足▶ 相手機種のサービス対応状況については、「3Gガイドブック」を参照してください。

撮影／画像に関する設定

撮影方法や画像など、静止画や動画を目的に応じて撮影できます。

- 利用できる機能は、撮影モードによって異なります。各機能の説明内にある表でご確認のうえ、ご利用ください。
- ボタンを押して、簡単に切り替えられる機能もあります。（☞P.8-4）

撮影方法の設定

撮影時の状態に合わせて撮影方法を設定できます。

- 以下の操作は、P.8-6操作1の静止画撮影前、またはP.8-9操作2の動画撮影前の状態で行います。
  操作後、撮影画面に戻りますので、撮影を行ってください。

表示切替　静止画撮影時の画面表示を切り替えます。

静止画撮影モード	○※	動画撮影モード	×

※横240×縦400ドットの撮影またはサイクロイドポジションでの撮影で利用できます。

お買い上げ時 通常画面表示

✉（メニュー）➡「設定」選択➡■➡「アイコン非表示」／「通常画面表示」選択➡■

シャッター音　静止画撮影時のシャッター音を設定します。

静止画撮影モード	○	動画撮影モード	×

お買い上げ時 パターン1

✉（メニュー）➡「設定」選択➡■➡「シャッター音」選択➡■➡パターン選択➡■

■ シャッター音の再生：パターン選択後✉（再生）

- シャッター音の音量は変更できません。
- 連写撮影時のシャッター音は固定です。ここでの設定は、反映されません。

モバイルライト	モバイルライトの点灯モードと色を設定します。

静止画撮影モード	○※1	動画撮影モード	○※1※2

※1 インカメラでは利用できません。
※2「接写」は設定できません。
お買い上げ時 Off／ホワイト

モバイルライトを設定する

（メニュー）➡「撮影モード」選択➡■➡「モバイルライト」選択➡■➡「On／Off設定」選択➡■➡点灯方法選択➡■

- カメラを終了するたびに、お買い上げ時の設定に戻ります。
- 設定できる点灯方法は、次のとおりです。

On	モバイルライトが点灯します。静止画撮影モードの撮影時には、さらに強い光で発光します。
自動	周囲の明るさによって、自動的にモバイルライトが点灯します。静止画撮影モードでシャッターを押したときは、さらに強い光で発光します。
接写	撮影時にも一定の強さでモバイルライトが点灯します。

モバイルライトの色を設定する

（メニュー）➡「撮影モード」選択➡■➡「モバイルライト」選択➡■➡「カラー設定」選択➡■➡色選択➡■

撮影画面に戻る：上記操作のあと CLEAR/BACK ➡ CLEAR/BACK ➡ CLEAR/BACK

注意▶
- モバイルライトを人の目に近づけて点灯させたり、発光部を直視したりしないでください。また、発光方向を確認してから使用してください。
- 電池残量が少ないときは、「On」または「自動」にしていても、撮影時にモバイルライトが点灯しないことがあります。

表示サイズ	動画撮影時の画像の表示サイズを設定します。

静止画撮影モード	×	動画撮影モード	○※

※横128×縦96ドット／横176×縦144ドットの撮影で利用できます。
お買い上げ時 等倍

（メニュー）➡「撮影モード」選択➡■➡「表示サイズ」選択➡■➡「等倍」／「拡大」選択➡■

画像の設定

画像の明るさや画質など、撮影する画像に関する設定を変更できます。

- 以下の操作は、P.8-6操作1の静止画撮影前、またはP.8-9操作2の動画撮影前の状態で行います。
  操作後、撮影画面に戻りますので、撮影を行ってください。

明るさ調整	静止画や動画の明るさを調整します。

静止画撮影モード	○	動画撮影モード	○

お買い上げ時 0（標準）

（メニュー）➡「明るさ調整」選択➡■➡（明るさ選択）

- カメラを終了するたびに、お買い上げ時の設定に戻ります。「インカメラ／アウトカメラ切替」（☞P.8-20）を行ったときも、お買い上げ時の設定に戻ります。

撮影サイズ　静止画の撮影サイズを変更します。

静止画撮影モード	○	動画撮影モード	×

お買い上げ時 オープンポジション：240×320、サイクロイドポジション：400×240

✉（メニュー）➡「撮影サイズ」選択➡■➡サイズ（☞P.8-5）選択➡■

- インカメラで利用できる静止画の撮影サイズは、「240×320」／「120×160」です。
- 動画の撮影サイズは、「撮影時間／サイズ」（☞P.8-19）で変更できます。

画質設定　静止画や動画の画質を設定します。

静止画撮影モード	○	動画撮影モード	○※

※横240×縦320ドット／横480×縦640ドット以外の撮影で利用できます。

お買い上げ時 静止画：ノーマル、動画：ファイン

✉（メニュー）➡「画質設定」選択➡■➡画質選択➡■

- 「ノーマル」→「ファイン」→「ハイクオリティ」の順に画像はきれいになります。ただし、ファイル容量が大きくなるため、保存可能画像数や撮影可能時間は減ります。

シーン別撮影　静止画の撮影環境を設定します。

静止画撮影モード	○※	動画撮影モード	×

※インカメラでは利用できません。

お買い上げ時 標準

✉（メニュー）➡「撮影モード」選択➡■➡「シーン別撮影」選択➡■➡撮影環境選択➡■

- カメラを終了するたびに、お買い上げ時の設定に戻ります。「インカメラ／アウトカメラ切替」（☞P.8-20）を行ったときも、お買い上げ時の設定に戻ります。
- 設定できる撮影環境は、次のとおりです。

標準	周りの環境に応じて自動的に調整します。
夜景	夜景など光の少ない場所での撮影に適しています。
スポーツ	スポーツなど動きの多い被写体の撮影に適しています。
文字	白と黒などコントラストがはっきりとした被写体の撮影に適しています。

撮影時間／サイズ	動画の撮影時間とサイズ（保存形式）を設定します。

静止画撮影モード	×	動画撮影モード	○

お買い上げ時 メール添付／大（QCIF）

☐（メニュー）➡「撮影時間／サイズ」選択➡■➡「メール添付」／「長時間撮影」選択➡■➡サイズ（保存形式）選択➡■

■ 長時間撮影のサイズ（保存形式）選択時：上記操作のあと☐（Yes）

- 「**長時間撮影**」の保存先は、メモリカードだけです。
- 「**メール添付**」にすると、撮影できるサイズが最大295Kバイトに制限されます。
- 設定できるサイズ（保存形式）は、次のとおりです。

VGA（3gp）※	MPEG-4形式（.3gp）の横480ドット×縦640ドットの動画を撮影します。
VGA（asf）※	MPEG-4形式（.ASF）の横480ドット×縦640ドットの動画を撮影します。
QVGA（3gp）※	MPEG-4形式（.3gp）の横240ドット×縦320ドットの動画を撮影します。
QVGA（asf）※	MPEG-4形式（.ASF）の横240ドット×縦320ドットの動画を撮影します。
HQVGA※	MPEG-4形式（.3gp）の横240ドット×縦176ドットの動画を撮影します。
大（QCIF）	MPEG-4／H.263形式（.3gp）の横176ドット×縦144ドットの動画を撮影します。
小（SubQCIF）	MPEG-4／H.263形式（.3gp）の横128ドット×縦96ドットの動画を撮影します。

※「**長時間撮影**」だけで利用できます。

マイク設定	動画の撮影時に、音声も同時に録音するかどうかを設定します。

静止画撮影モード	×	動画撮影モード	○

お買い上げ時 On（録音する）

☐（メニュー）➡「設定」選択➡■➡「マイク設定」選択➡■➡「On」／「Off」選択➡■

エンコード形式	動画のファイルの圧縮形式を設定します。

静止画撮影モード	×	動画撮影モード	○※

※横128×縦96ドット／横176×縦144ドットの撮影で利用できます。

お買い上げ時 MPEG4（日本）

☐（メニュー）➡「設定」選択➡■➡「エンコード形式」選択➡■➡「H.263（海外）」／「MPEG4（日本）」選択➡■

その他の設定

撮影した画像の保存先を変更したり、撮影後、自動的に画像を保存できるようにするなど、いろいろな機能を利用できます。

- 以下の操作は、P.8-6操作1の静止画撮影前、またはP.8-9操作2の動画撮影前の状態で行います。
  操作後、撮影画面に戻りますので、撮影を行ってください。

インカメラ／アウトカメラ切替 アウトカメラとインカメラを切り替えます。

静止画撮影モード	○※1	動画撮影モード	○※1※2

※1 サイクロイドポジションでは利用できません。
※2 横128×縦96ドット／横176×縦144ドットの撮影で利用できます。

お買い上げ時 アウトカメラ

（メニュー）➡「**アウトカメラに切替**」／「**インカメラに切替**」選択➡■

- アウトカメラ利用時は「**インカメラに切替**」、インカメラ利用時は「**アウトカメラに切替**」だけ選択できます。

注意▶ インカメラで静止画や動画を撮影するときにサイクロイドポジションにすると、アウトカメラに切り替わります。このあと、オープンポジションに戻しても、インカメラには戻りません。

保存先設定 静止画や動画の保存先を設定します。

静止画撮影モード	○	動画撮影モード	○※

※撮影時間／サイズを「**メール添付**」にしているときだけ利用できます。

お買い上げ時 本体

（メニュー）➡「**設定**」選択➡■➡「**保存先設定**」選択➡■➡「**本体**」／「**メモリカード**」／「**デジタルカメラフォルダ**」／「**毎回確認**」選択➡■

- 「**毎回確認**」を選ぶと、保存のたびに保存先の選択画面が表示されるようになります。
- 「**デジタルカメラフォルダ**」は、横480×縦640ドット以上の静止画（オープンポジションのとき）、または横1200×縦720ドットの静止画（サイクロイドポジションのとき）で利用できます。

注意▶
- 自動保存設定（☞下記）を「On」にしているときは、「**毎回確認**」は利用できません。
- メモリカードに保存するときや、「**毎回確認**」を利用するときは、メモリカードを取り付けておいてください。

自動保存設定 撮影後、静止画や動画を自動的に保存するかどうかを設定します。

静止画撮影モード	○	動画撮影モード	○

お買い上げ時 Off

（メニュー）➡「**設定**」選択➡■➡「**自動保存設定**」選択➡■➡「**On**」／「**Off**」選択➡■

注意▶ 保存先設定（☞上記）を「**毎回確認**」にしているときは、利用できません。

メディアプレイヤー

メディアプレイヤーについて

メディアプレイヤーには、音楽を録音／再生するミュージックプレイヤーと、動画を再生するビデオプレイヤーがあります。動画／音楽は、保存場所（905SH内／メモリカード内／メモリカード専用領域内）ごとに管理されています。再生は、保存場所を指定して行います。

- プレイリストについて詳しくは、P.9-19を参照してください。
- 再生中に905SHの電池残量が不足するなどして、再生が停止したときは、続きから再生できます。
  （続き再生：☞P.9-10、P.9-13）
- 動画や音楽をダウンロードしながら同時に再生することもできます。（ストリーミング：☞P.16-11）

再生中に電話／メールなどの着信があると

■電話着信があったときや、アラームの設定時刻になったときは、再生は停止します。

- ストリーミング中に停止したとき、履歴（☞P.16-12）は残ります。

■メール着信があったときは、再生は継続したまま、メールが届いたことをお知らせします。

音楽（着うた®）／動画のダウンロードについて

メディアプレイヤーからの操作でウェブに接続し、音楽（着うた®）／動画をダウンロードすることができます。

- ご利用にあたっては、音楽や動画の提供サイトの情報（料金や有効期限などの詳細）を必ずご確認ください。
- 曲名やアーティスト名で音楽を検索し、ダウンロードすることもできます。（ミュージックサーチ：☞下記）

メニュー ▶ メディアプレイヤー

1 「ミュージック」または「ムービー」を選び、■を押す。

2 「ミュージックダウンロード」または「ムービーダウンロード」を選び、■を押す。

ウェブに接続され、ダウンロードのページが表示されます。

- このあと、ジャンルやサイトなどを選び、ダウンロードしてください。

ミュージックサーチで音楽を検索する

■操作1で次の操作を行うと、ウェブのミュージックサーチのページが表示され、音楽の検索／ダウンロードができます。

「ミュージック」選択➡■➡「ミュージックサーチ」選択➡■

- このあと、画面の指示に従って音楽を検索し、ダウンロードしてください。

パソコンでの音楽データ保存について

お客様が購入されたCDなどの音楽データを、パソコンを利用してメモリカードに保存すると、905SHで再生することができます。

パソコンでの音楽データ保存時のご注意

■著作権などにご注意ください

- ご利用にあたっては、著作権などの第三者知的財産権その他の権利を侵害しないようご注意ください。
- メモリカード内に保存した音楽は、個人使用の範囲だけでご使用ください。

■SD-Audio規格に準拠した音楽データが利用できます

- 905SHでは、SD-Audio規格に準拠した「**セキュアMP3データ**」、「**セキュアAACデータ**」および「**AACデータ**」を再生できます。
  - ■「**AACデータ**」をご利用になるときは、「**AACデータご利用時のご注意**」を参照してください。

■音楽データは指定のフォルダに保存してください

- 市販のメモリカードリーダー／ライターなどを使用して、メモリカード内の次のいずれかのフォルダへ保存してください。
  - ■PRIVATE/VODAFONE/My Items/Sounds & Ringtones
  - ■PRIVATE/VODAFONE/My Items/Music

補足▶ パソコンでの音楽データ保存について詳しくは、付属のユーティリティーソフトウェア（CD-ROM）内の「**ユーティリティーソフトウェアスターターガイド**」を参照してください。

AACデータご利用時のご注意

■AACデータ変換に対応したソフトウェアが必要です

- 「iTunes」など、音楽をAACデータに変換できるソフトウェアが必要です。
- 「iTunes」はソフトウェアの一例として、記載しています。当社では、特定のソフトウェアの動作保証はしておりません。
- ソフトウェアの仕様や使用方法については、ソフトウェア提供各社のホームページなどでご確認ください。

iTunesは、Apple Computer Inc.の米国および他の国における登録商標または商標です。

■対応するビットレート／サンプリング周波数は次のとおりです

ビットレート（kbps）	16※1、24※1、32、48、64、96※2、128※2
サンプリング周波数（Hz）	16000、22050、24000、32000、44100、48000

※1 モノラルだけ対応します。
※2 ステレオだけ対応します。

注意▶ AACデータのアーティスト名は、905SHでは表示されません。

9 メディアプレイヤー

音楽の録音

905SHと、光出力端子の付いたオーディオ機器を接続して、音楽をメモリカードに録音できます。

- 905SHにはSDMI（Secure Digital Music Initiative）の取り決めに従い、著作権保護のための暗号技術が組み込まれています。データを記録する際にメモリカードとの間でデータの暗号化／認証の処理を行うことで、データの不正な複製や再生ができなくなっています。認証された機器以外ではこの暗号化されたデータは再生できません。また、SDMIの取り決めに従い、コピーが禁止されているデータは録音できません。
- アナログ入力録音はできません。

オーディオ機器から録音するために必要なもの

- オプション品の光デジタル変換ケーブル
- 市販の光接続ケーブル

録音時間

データが何も保存されていないメモリカードの録音時間の目安は、次のとおりです。

メモリカード容量	ビットレート／録音時間	
	96Kbps	128Kbps
64Mバイト※	約80分	約60分

※上記は、あくまでも一例です。

- ビットレートとは、音楽を記録する際の1秒あたりのデータ量を示す単位です。数字が大きいほどデータ量が多く、音の再現性がよくなります。

録音時のご注意

■充電しながら録音してください

- 録音中に電池が切れることを防ぐため、必ず付属の急速充電器を使用して、充電しながら録音してください。
- 電池残量が不足しているときは録音できません。また、録音中に電池残量が不足すると、録音が中止されます。

■音楽データは、メモリカードに保存されます

- あらかじめ、905SHでフォーマット（初期化）したメモリカードを取り付けておいてください。（☞P.10-19、P.10-20）

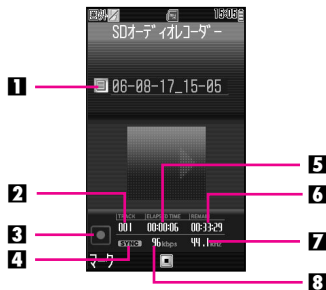
■録音中は、オフラインモードに設定することをおすすめします（☞P.9-7）

- 録音中に電話の着信やメールの受信があると、オーディオ機器の出力端子を傷める恐れがあります。また、録音が正常に行えないことがあります。（録音が途中で終了します。）
  オフラインモードにすると、電話やメールの発着信はできなくなります。

■録音中は、絶対にメモリカードを取り外さないでください

- 録音データが消えたり、メモリカードが破損する原因となります。

注意
- お客様が録音したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 録音した内容は、事故や故障によって、消失または変化してしまうことがあります。なお、データが消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 録音したデータを、別のメモリカードなど他のメディアにデジタル録音（コピー）することはできません。

音楽録音画面

1 タイトル

2 トラック番号

3 動作状態表示

■：録音中／■：停止中

4 シンクロ録音表示（☞P.9-8）

- シンクロ録音を「On」にしているときに表示されます。

5 現在の録音経過時間

6 録音可能な残り時間

- 1トラックごとに変化します。

7 サンプリング周波数表示（☞P.9-6）

8 ビットレート設定表示（☞P.9-8）

トラックマーク

トラックマークとは、プレイリスト内のトラック（音楽）にトラック番号を付ける機能です。リピート再生やランダム再生は、このトラック単位で行います。録音開始後、曲間の無音データを検知すると、トラックマークが自動的に付きます。

- CDやMDなどのトラック情報を含むデータは、録音元のトラックに従ってトラックマークが付きます。
- 曲間の無音データが正しく検知できないときは、1つのトラックとして扱われます。
- シンクロ録音を「On」にしているときは、曲間の無音データが検知されると、録音一時停止状態になります。次のデータ（または音）を検知すると録音を再開します。
  - ■シンクロ録音を「On」にしているときは、録音一時停止状態が約15秒間続くと、録音を終了します。
- トラックマークを付けると、音が一瞬途切れます。
- 接続した機器によっては、トラックマークが自動的に付かないことがあります。このときは、手動でトラックマークを付けてください。（☞P.9-7）

注意▶ 無音（または音量レベルの低い音）が続く音楽を録音すると、無音（または音量レベルの低い音）だけのトラックが作られることがあります。

サンプリング周波数

サンプリング周波数とは、1秒間に何回データ量（音の強さ）を記録するかを示すものです。ビットレートと同様に録音時の音質を左右し、数字が大きいほど記録回数が増え、音の再現性がよくなります。905SHでは、録音方法や再生側の機器によって、自動的にサンプリング周波数が32kHz／44.1kHz／48kHzのいずれかに設定されます。

●DVDプレーヤー出力では、DTSを「**OFF**」にしてください。

注意▶ 信号形式の内容によっては、うまく録音できないことがあります。

オーディオ機器と接続する

接続時のご注意

オプション品の光デジタル変換ケーブルは、市販の光接続ケーブルを取り付けたあと、905SHへゆっくりと確実に差し込んでください。

また、抜くときは、光デジタル変換ケーブルと905SHを持って、まっすぐに引き抜いてください。

●ケーブルを強くひっぱったり、無理な力を加えると、905SHの光デジタル・ライン入力端子が破損する恐れがあります。

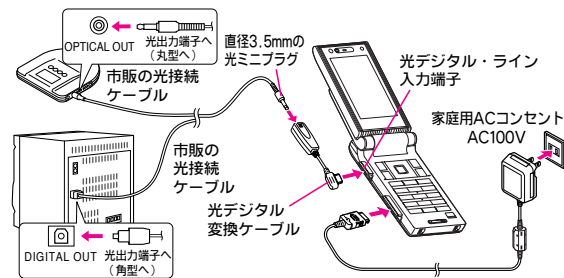
光デジタル変換ケーブルは、指定されたオプション品以外は使用しないでください。

●指定品以外のものを使用すると、正常に動作しなかったり、905SHや接続先のオーディオ機器が破損する恐れがあります。

接続方法

光接続ケーブルと光デジタル変換ケーブルを利用して、オーディオ機器の「**光出力端子**」と905SHの「**光デジタル・ライン入力端子**」を接続します。

●光デジタル変換ケーブルは、音楽を録音するとき以外は接続しないでください。

●光デジタル変換ケーブルは、905SHや指定のボーダフォン携帯電話以外には接続しないでください。誤動作や故障の原因となります。

録音する

接続したオーディオ機器で音楽を再生し、905SHで録音します。

- ここでは、シンクロ録音を「On」にしているとき（お買い上げ時の状態）を中心に説明します。
- 録音の前に、「**録音時のご注意**」（☞P.9-4）をご確認ください。
- 録音中の音楽を聞きながら録音することができます。
  このときの再生音量（録音モニター音量）は、録音前に設定します。（☞P.9-8）
- 再生側のオーディオ機器は、あらかじめ電源を入れ、再生する音楽の頭出しを行ったうえで、一時停止状態にしておいてください。

メニュー ▶ メディアプレイヤー ➡ ミュージック

1 「SDオーディオレコーダー」を選び、■を押す。

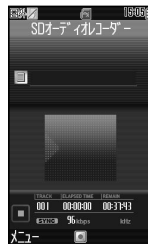
オフラインモード（☞P.2-18）の設定画面が表示されます。

- 通常はオフラインモードを設定する［操作2で⊙（No）を押す］ことをおすすめします。
- すでにオフラインモードを設定しているときは、操作3へ進みます。
- メモリカードを取り付けていないときは、「**SDオーディオレコーダー**」は選択できません。

2 ⊙（No）を押す。

録音画面が表示されます。

- 録音前に、「**音楽録音に関する設定**」（☞P.9-8）で録音状態を設定できます。

■ オフラインモードを設定せずに録音する：✉（Yes）

3 ■を押す。

シンクロ録音（☞P.9-8）の待機状態になります。

■ シンクロ録音「Off」設定時：上記操作のあと■

4 接続したオーディオ機器で、音楽を再生する。

接続した機器のデータ（音）を検知して、自動的に録音が始まります。

■ 録音中にトラックマーク（☞P.9-5）を手動で付けるとき：トラックマークを付ける位置で✉（**マーク**）

5 録音を終了するときは、オーディオ機器で再生を停止する。

録音の一時停止状態になり、約15秒後に録音が終了します。

- 操作2で⊙（No）を押してオフラインモードを設定していたときは、録音終了後自動的に、オフラインモードが解除されます。

■ シンクロ録音「Off」設定時：■（録音終了）

注意▶

- 録音中は、録音が終了するまで、絶対にメモリカードや電池パックを取り外さないでください。録音データが消えたり、メモリカードが故障する原因となります。
- 録音中は、接続ケーブルや変換ケーブルに触れないでください。雑音や音とびの原因となります。
- パソコンやサウンドボード、BS／CSデジタルチューナーで再生すると、録音レベルが低くなることがあります。
- 録音未チェックの音楽が入っているメモリカードを、905SHに取り付けてミュージックプレイヤーを利用すると、録音未チェックの音楽は削除されます。
（録音未チェックの音楽は、J-SH51またはJ-SH52で録音時、チェックせずに録音モードを終了したときに作成されます。）

補足▶

- 録音中にアラームなどの設定時刻になっても、アラーム音は鳴りません。このときは、録音モード終了後、待受画面に戻るとアラームが動作します。
- 905SHで録音（保存）した音楽データには、自動的に録音日時のタイトルが付きます。

音楽録音に関する設定

- 以下の操作は、P.9-7操作2のあとの録音画面で行います。

録音モニター音量設定	録音中の音楽を聞きながら録音するときの音量を設定します。

お買い上げ時 音量3

✉（メニュー）➡「録音モニター音量設定」選択➡■➡✥（音量調節）➡■

シンクロ録音	オーディオ機器の再生と同時に録音を開始するかどうかを設定します。

お買い上げ時 On

✉（メニュー）➡「シンクロ録音」選択➡■➡「On」／「Off」選択➡■

録音ビットレート設定	録音時のビットレート（☞P.9-4）を設定します。

お買い上げ時 標準（96kbps）

✉（メニュー）➡「録音ビットレート設定」選択➡■➡「標準（96kbps）」／「高音質（128kbps）」選択➡■

- 数字が大きいほど音質はよくなりますが、データ量が多くなるため、録音可能時間は短くなります。

無音検出レベル設定	自動的にトラックマークを付けるとき、無音部分として判別するレベルを設定します。

お買い上げ時 -41dB

✉（メニュー）➡「無音検出レベル設定」選択➡■➡「-41dB」／「-59dB」選択➡■

- 音量レベルの低い状態が続く音楽で「-59dB」にすると、トラックマークを付きにくくできます。

音楽の再生

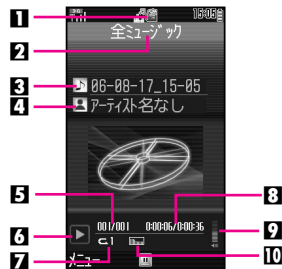
パソコンなどでメモリカードに保存した音楽データやダウンロードした音楽を、905SHで再生できます。

- 再生音は、TVアンテナ付きステレオイヤホンマイクを利用して聞くことができます。
- 905SHのスピーカーから聞くこともできます。

再生時のご注意

- 音楽データの形式やメモリカードの状態、保存方法などによっては、905SHで再生できないことがあります。
- TVアンテナ付きステレオイヤホンマイクを取り付けたり、取り外すときは、接続プラグを持って行ってください。接続プラグ以外を持って行うと、905SHのイヤホンマイク端子が破損したり、コードが切れたりする恐れがあります。
- TVアンテナ付きステレオイヤホンマイクなど、指定品以外は使用しないでください。指定品以外のものを使用すると、正常に動作しなかったり、905SHのイヤホンマイク端子が破損する恐れがあります。
- 電池残量が不足しているときは再生できません。また、再生中に電池残量が不足すると、再生が中止されます。

補足▶
- TVアンテナ付きステレオイヤホンマイクを取り付けて再生している場合に、電話をかけてきた相手と通話するときは、TVアンテナ付きステレオイヤホンマイクのスイッチを長く（1秒以上）押します。
- 音楽や再生音量によっては、スピーカーでの再生時に、ひずんだように聞こえることがあります。このときは、再生音量を下げてください。
- 音楽データの容量が大きいときは、プレイリストや音楽の表示（更新）に時間がかかることがあります。

音楽再生画面

1 再生中表示

2 プレイリスト名

3 タイトル

4 アーティスト名

- アーティスト名がないときは、「**アーティスト名なし**」と表示されます。

5 再生中のトラック番号

6 動作状態表示

▶：再生中／⏸：一時停止中／⏩：早送り中／⏪：早戻し中

7 再生モード表示（☞P.9-11）

⊂1：1トラックリピート／⊂：全トラックリピート／⇄：ランダム

- 何も表示されないときは、「**リピートOff**」です。

8 現在の再生経過時間

9 音量

10 サウンド効果表示（☞P.9-11）

BASS：BASS／((·B·))：サラウンド／((·B·))：サラウンドBASS

Karaoke：カラオケ／Rock：ロック／Hall：ホール／

HipHop：ヒップホップ

- 何も表示されないときは、「**標準**」です。

再生する

メニュー ▶ メディアプレイヤー ▶ ミュージック

1 「プレイリスト」または「SDオーディオ」を選び、■を押す。

■「プレイリスト」選択時：▪□▪（「プレイリストミュージック」／「プレイリスト着うた」選択）

■前回再生した音楽の続きを再生：「**続き再生**」選択➡■

プレイリスト一覧

2 プレイリストを選び、■を押す。

■音楽の検索：✉（**メニュー**）➡「**検索**」選択➡■➡検索文字入力➡■

■該当する音楽がなかったときは、検索文字の入力画面に戻ります。検索文字を入力し直してください。

■リストの並べ替え：✉（**メニュー**）➡「**並べ替え**」選択➡■➡並べ替え方法選択➡■

■SDオーディオのリストは、並べ替えできません。

■音楽／プレイリストの情報表示：音楽／プレイリスト選択➡✉（**メニュー**）➡「**プロパティ**」選択➡■（□を押すと、隠れている内容を表示できます。）

■音楽／プレイリスト一覧に戻る：上記操作のあと■➡CLEAR/BACK

3 音楽を選び、■を押す。

音楽再生画面が表示され、再生が始まります。

●最後の音楽まで再生すると、自動的に止まります。（再生モード「**リピートOff**」時：☞P.9-11）

■再生の一時停止：■

■音量の調節：□（上げる）／□（下げる）

■変更した音量は、次回ミュージックプレイヤーを起動するときも保持されます。

注意▶ 再生中にスヌーズ設定されたアラームが動作したとき、再生は停止します。アラームを止めても再生は再開されません。（スヌーズ以外でアラームが動作したとき、再生は継続されます。）

補足▶ メディアプレイヤーの「**ミュージック**」から音楽を再生したときは、オプション品のマイク付液晶オーディオリモコンで操作することができます。

再生中にできること

再生中の音楽を最初から再生する	▪□ くり返し押すと、前の音楽を再生します。※1
次の音楽を再生する	□▪※2
早送りする	□▪（押し続ける） 手を離すと、その時点から再生します。
早戻しする	▪□（押し続ける） 手を離すと、その時点から再生します。
一時停止する	■ もう一度押すと、再生が再開します。
音声を消す	□（1秒以上） □を押すと、音声が出ます。

※1 再生モードを「**ランダム**」にしているときは、▪□をくり返し押しても再生中の音楽を最初から再生します。

※2 再生モードを「**リピートOff**」にしているときは、最後の音楽の再生中に押しても無効となります。

補足▶
- 再生中に[ボタン]を押すと、音楽を再生しながら電話帳やメール作成など、他の機能を操作できます。ただし、機能によっては、同時に操作できないことがあります。
- 待受画面のバックグラウンドでメディアプレイヤーを再生しているとき、再生中の待受画面で[ボタン]を押すと、再生を終了するかどうかの確認画面が表示されます。画面に従って操作してください。

音楽再生に関する設定

サウンド効果 サウンドの音質やサラウンドを設定できます。

お買い上げ時 標準

メニュー ▶ メディアプレイヤー ➡ ミュージック ➡ 設定

「サウンド効果」選択➡■➡効果選択➡■

- 設定できる効果は、次のとおりです。

標準	音楽データをそのまま再生します。
BASS	低音を強調します。
サラウンド	サラウンド効果が得られます。
サラウンドBASS	サラウンド＋BASSの効果が得られます。
カラオケ	カラオケのような効果が得られます。
ロック	低音から高音までバランスよく強調した迫力ある効果が得られます。
ホール	高音を中心に強調したホールのような広がり感が得られます。
ヒップホップ	低音から中音域を強調した耳に残る効果が得られます。

再生モード 音楽の再生方法を設定します。

お買い上げ時 リピートOff

メニュー ▶ メディアプレイヤー ➡ ミュージック ➡ 設定

「再生モード」選択➡■➡再生モード選択➡■

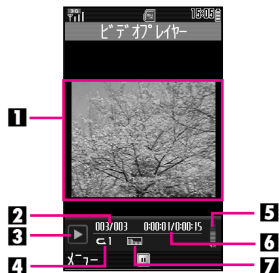
- 設定できる再生モードは、次のとおりです。

リピートOff	並び順に再生し、最後の音楽まで再生したあとは、自動的に止まります。
1トラックリピート	選んだ1曲をくり返し再生します。
全トラックリピート	プレイリスト内のすべての音楽をくり返し再生します。
ランダム	プレイリスト内の音楽を無作為に選び再生します。

動画の再生

カメラで撮影した動画、ウェブで入手した動画などが再生できます。

- サイクロイドポジションでも、動画が再生できます。
- 再生音は、905SHのスピーカーから聞こえます。
- TVアンテナ付きステレオイヤホンマイクを利用して聞くこともできます。

動画再生画面

1 動画再生領域／テロップ表示領域
2 再生中のクリップ（動画）番号
3 動作状態表示
▶：再生中／⏸：一時停止中／▷：コマ送り中／
⏩：早送り中／⏪：早戻し中
4 再生モード表示（☞P.9-14）
- 表示されるマークの意味は、音楽再生画面と同様です。（☞P.9-9）

5 音量
6 現在の再生経過時間
7 サウンド効果表示（☞P.9-14）
（バス）：バス／（サラウンド）：サラウンド／（サラウンド+バス）：サラウンド+バス
- 何も表示されないときは、どちらも「Off」です。

サイクロイドポジションで動画を再生する

■動画再生画面で905SHをサイクロイドポジションにすると、動画再生画面が横画面になります。

補足▶ 再生画面で[2]を押すと、表示サイズを切り替えることができます。（☞P.9-14）

再生する

ビデオプレイヤーで動画を再生します。

- 動画の再生方法や、再生中の画面の点灯方法／表示サイズは変更できます。（☞P.9-14）
また、動画の再生に合わせて、文字（テロップ）を流すこともできます。（☞P.9-16）

メニュー ▶ メディアプレイヤー ▶ ムービー

1「プレイリスト」または「SDビデオ」を選び、■を押す。

- 「SDビデオ」を選んだときは、このあと操作4へ進みます。

■ 前回再生した動画の続きを再生：「**続き再生**」選択➡■

2「本体」または「メモリカード」を選び、■を押す。

3 プレイリストを選び、■を押す。

■ 動画の検索：✉（**メニュー**）➡「**検索**」選択➡■➡検索文字入力➡■

- ■ 該当する動画がなかったときは、検索文字の入力画面に戻ります。検索文字を入力し直してください。

■ リストの並べ替え：✉（**メニュー**）➡「**並べ替え**」選択➡■➡並べ替え方法選択➡■

- ■ SDビデオのリストは並べ替えできません。

全ムービーの動画一覧

■ 動画／プレイリストの情報表示：動画／プレイリスト選択➡✉（**メニュー**）➡「**プロパティ**」選択➡■（▽を押すと、隠れている内容を表示できます。）

- ■ 動画／プレイリスト一覧に戻る：上記操作のあと■

4 動画を選び、■を押す。

動画再生画面が表示され、再生が始まります。

- 最後の動画まで再生すると、自動的に止まります。（再生モード「**リピートOff**」時：☞P.9-14）

■ 動画再生に関する設定：再生中／一時停止中に✉（**メニュー**）➡「**設定**」選択➡■➡P.9-14

■ 動画の編集：☞P.9-15

■ 再生の一時停止：■

- ■ 一時停止中に▷を長く（1秒以上）押すとコマ送りができます。

■ 音量の調節：△（上げる）／▽（下げる）

- ■ 変更した音量は、次回ビデオプレイヤーを起動するときも保持されます。

■ 再生中の表示切替：2（☞P.9-14）

- ■ 動画に文字（テロップ）を設定している場合は、表示サイズ「**等倍**」で再生しているときだけ、文字（テロップ）が表示されます。

■ 再生中にできること：☞P.9-10

補足▶ 他の機器で録画した動画を再生すると、画面の向きが変わることがあります。

動画再生に関する設定

再生モード 動画の再生方法を設定します。

■SDビデオ内の動画には、反映されません。

お買い上げ時 リピートOff

メニュー ▶ メディアプレイヤー ➡ ムービー ➡ 設定

「再生モード」選択➡■➡再生モード選択➡■

- 設定できる再生モードは、次のとおりです。

リピートOff	並び順に再生し、最後の動画まで再生したあとは、自動的に止まります。
1クリップリピート	選んだ1つの動画をくり返し再生します。
全クリップリピート	プレイリスト内のすべての動画をくり返し再生します。
ランダム	プレイリスト内の動画を無作為に選び再生します。

バックライト 動画再生時の画面の点灯方法を設定します。

お買い上げ時 常にOn

メニュー ▶ メディアプレイヤー ➡ ムービー ➡ 設定

「バックライト」選択➡■➡点灯方法選択➡■

- 設定できる点灯方法は、次のとおりです。

常にOn	再生中は、常に点灯します。
常にOff	再生中は、ボタンを押しても点灯しません。
通常設定に従う	ディスプレイ設定のバックライト（☞P.11-8）の設定内容に従って動作します。

表示サイズ 動画を再生するときの表示サイズを設定します。

お買い上げ時 拡大

メニュー ▶ メディアプレイヤー ➡ ムービー ➡ 設定

「表示サイズ」選択➡■➡「等倍」／「拡大」／「全画面（ノーマル）」／「全画面（ワイド）」／「全画面（シネマ）」選択➡■

- 表示サイズの設定を変更すると、次回は設定したものの次の内容から順に切り替わります。
- 再生画面で2を押しても、次の順に切り替えられます。
  「全画面（ノーマル：マークなし）」→「全画面（ノーマル：マークあり）」→「全画面（ワイド：マークなし）」→「全画面（ワイド：マークあり）」→「全画面（シネマ：マークなし）」→「全画面（シネマ：マークあり）」→「等倍」→「拡大」…
  ■全画面表示で一時停止中は、押すたびに「全画面（マークなし）」⇔「全画面（マークあり）」の切替だけとなります。

サウンド効果 サラウンドで再生したり、TVアンテナ付きステレオイヤホンマイク利用時に低音を強調し迫力のある音にできます。

お買い上げ時 どちらもOff

メニュー ▶ メディアプレイヤー ➡ ムービー ➡ 設定 ➡ サウンド効果

サラウンドを設定する

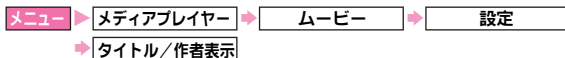
「サラウンド」選択➡■➡「On」／「Off」選択➡■

バスを設定する（低音を強調する）

「バス」選択➡■➡「On」／「Off」選択➡■

タイトル／作者表示	再生中に動画のタイトルや作者名を表示するかどうかを設定します。

お買い上げ時 どちらもOn

メニュー ➡ メディアプレイヤー ➡ ムービー ➡ 設定 ➡ タイトル／作者表示

タイトルの表示を設定する

「タイトル表示」選択➡■➡「On」／「Off」選択➡■

作者名の表示を設定する

「作者表示」選択➡■➡「On」／「Off」選択➡■

動画の編集

●次の編集が行えます。

動画切り取り	部分切り取り	指定した２点間の動画を切り取ります。
	前部分削除	指定した位置より前の部分を削除して、残った部分を新しい動画として保存します。
	後部分削除	指定した位置より後ろの部分を削除して、残った部分を新しい動画として保存します。
テロップ		画像の再生に合わせて、文字（テロップ）を流します。

注意▶
- ●動画のサイズやデータ内容によっては、編集できないことがあります。
- ●メモリカードに保存されている動画を編集する場合に、905SH以外でフォーマットしたメモリカードを使用しているときは、編集した動画が正しく再生されないことがあります。
- ●メモリカードに保存するときは、ファイルの容量以外に最大で約1.2Mバイトの空き容量が必要です。

指定した２点間の動画を切り取る

●以下の操作は、P.9-13操作４のあとで行います。

1 一時停止中または再生中に、✉（メニュー）を押す。

2 「編集」を選び、■を押す。

3 ✉（Yes）を押す。

●編集中は着信できません。

4 「動画切り取り」を選び、■を押す。

5 「部分切り取り」を選び、■を押す。

動画が再生されます。

●このあと■を押して「**一時停止**」⇔「**再生**」するなどして、切り取りの開始／終了位置を指定してください。

6 切り取りの開始位置で、✉（開始）を押す。

切り取りの開始点が指定され、再生が再開されます。

7 切り取りの終了位置で、✉（終了）を押す。

切り取った動画が保存されたあと、再生されます。

注意▶ 再生時間が30分を超えると、保存できないことがあります。

動画の一部を削除する

指定した位置から、前または後ろの部分を削除して、残った部分を新しい動画として保存します。

●以下の操作は、P.9-13操作4のあとで行います。

1 一時停止中または再生中に、✉（メニュー）を押す。

2「編集」を選び、■を押す。

3 ✉（Yes）を押す。

●編集中は着信できません。

4「動画切り取り」を選び、■を押す。

5「前部分削除」または「後部分削除」を選び、■を押す。

動画が再生されます。

6 削除の開始位置で、■を押す。

●前部分削除は、ここで表示した位置から前の動画をすべて削除します。また、後部分削除は、ここで表示した位置から後ろの動画をすべて削除します。

●削除の開始位置を変更するときは、このあと「**再生**」⇔「**一時停止**」するなどして、削除の開始位置を指定してください。

■削除の取消：CLEAR/BACK

7 ✉（切取）を押す。

残った動画が保存されたあと、再生されます。

注意▶ 再生時間が30分を超えると、保存できないことがあります。

テロップを編集する

動画の再生に合わせて、文字（テロップ）を流します。

●表示位置を変更したり、文字を装飾することもできます。

テロップを入力する

テロップ用の文字を入力し、動画のどの位置に表示するか（表示間隔／表示位置）を指定することで、テロップを設定できます。

●テロップは最大10件まで、1件あたり最大全角24文字（半角48文字）まで登録できます。

●以下の操作は、P.9-13操作4のあとで行います。

1 一時停止中または再生中に、✉（メニュー）を押す。

2「編集」を選び、■を押す。

3 ✉（Yes）を押す。

●編集中は着信できません。

4「テロップ」を選び、■を押す。

5 番号を選び、■を押す。

6 文字を入力し、■を押す。

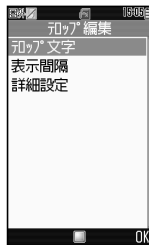
●このあと■を押して「**一時停止**」⇔「**再生**」するなどして、テロップを流す位置を指定してください。

7 テロップを表示する最初の位置で、✉（開始）を押す。

8 **テロップを表示する最後の位置で、[✉]（終了）を押す。**

テロップの編集画面が表示されます。

- [✉]（終了）を押す前に動画の再生が終わったときは、操作7からやり直してください。

■テロップ文字の変更：「**テロップ文字**」選択➡[■]➡文字修正➡[■]

テロップの編集画面

9 **テロップの表示設定／文字の装飾を行う。（☞右記～P.9-19）**

- テロップの表示設定／文字装飾せずにテロップの作成を終了するときは、操作10へ進みます。

10 **テロップの設定が終われば、[⊙]（OK）を押す。**

- テロップを追加するときは、操作5～10をくり返します。

■入力済のテロップの編集：番号選択➡[■]➡「**テロップ文字**」選択➡[■]➡文字編集➡[■]➡操作9からやり直す

■入力済のテロップの削除：番号選択➡[✉]（**メニュー**）➡「**削除**」選択➡[■]➡[✉]（Yes）

11 **[⊙]（保存）を押す。**

12 **「上書き」または「新規作成」を選び、[■]を押す。**

テロップの付いた動画が再生されます。

テロップの表示を設定する

入力したテロップは、文字サイズや背景色、テロップが流れる方向を変更することで、いろいろな装飾効果を楽しめます。

- 文字色を変えたり、文字を点滅させることもできます。（☞P.9-18）
- 1件のテロップに複数の機能を組み合わせて設定できます。
- 以下の操作は、左記操作9で行います。操作後、操作10以降を行い、テロップの作成を完了してください。

表示間隔	テロップをどの場面で表示するかを設定します。

「表示間隔」選択➡[■]➡開始位置で[✉]（開始）➡終了位置で[✉]（終了）

■設定の終了：上記操作のあと左記操作10以降

表示位置	テロップを表示する位置を設定します。

「詳細設定」選択➡[■]➡「表示位置」選択➡[■]➡[✥]（表示位置選択）➡[■]

■設定の終了：上記操作のあと[CLEAR/BACK]➡左記操作10以降

文字サイズ	テロップの文字サイズを設定します。

お買い上げ時 標準

「詳細設定」選択➡[■]➡「文字サイズ」選択➡[■]➡「標準」／「小さい」選択➡[■]

■設定の終了：上記操作のあと[CLEAR/BACK]➡左記操作10以降

スクロール	テロップの流れる方向や、表示効果などを設定します。

お買い上げ時 方向：停止、効果：フレームイン

スクロールの方向を設定する

「詳細設定」選択➡■➡「スクロール」選択➡■➡「方向」選択➡■➡「停止」／「左から右へ」／「右から左へ」選択➡■

■設定の終了：上記操作のあと CLEAR/BACK ➡ CLEAR/BACK ➡P.9-17操作10以降

スクロールの効果を設定する

「詳細設定」選択➡■➡「スクロール」選択➡■➡「効果」選択➡■➡効果選択➡■

- 設定できる効果は、次のとおりです。

フレームイン	画面の外から中へテロップが流れます。
フレームアウト	画面の中から外へテロップが流れます。
ローリング	画面の外から中へ、そして画面の外へテロップが流れます。

■設定の終了：上記操作のあと CLEAR/BACK ➡ CLEAR/BACK ➡P.9-17操作10以降

スクロールの停止時間を設定する

「詳細設定」選択➡■➡「スクロール」選択➡■➡「停止時間」選択➡■➡時間（秒）入力➡■

■設定の終了：上記操作のあと CLEAR/BACK ➡ CLEAR/BACK ➡P.9-17操作10以降

背景色	文字の背景色を設定します。

お買い上げ時 ブラック

「詳細設定」選択➡■➡「背景色」選択➡■➡色選択➡■

■設定の終了：上記操作のあと CLEAR/BACK ➡P.9-17操作10以降

文字を装飾する

入力したテロップの文字全体、または一部分を指定して文字色を変更できます。また、文字を強調したり、点滅させることもできます。

- 文字サイズや背景色、テロップが流れる方向を変更することもできます。（☞P.9-17～左記）
- 1件のテロップに複数の機能を組み合わせて設定できます。ただし、2つを超える文字装飾は設定できません。
- 以下の操作は、P.9-17操作9で行います。操作後、操作10以降を行い、テロップの作成を完了してください。

文字色	文字全体や文字の一部の色を変えます。

お買い上げ時 ホワイト

すべての文字色を変更する

「詳細設定」選択➡■➡「文字色」選択➡■➡「全テロップ文字」選択➡■➡色選択➡■

■設定の終了：上記操作のあと CLEAR/BACK ➡P.9-17操作10以降

一部分の文字色を変更する

「詳細設定」選択➡■➡「文字色」選択➡■➡「文字部分指定」選択➡■➡✥（開始文字選択）➡■➡✥（終了文字選択）➡■➡色選択➡■

■設定の終了：上記操作のあと CLEAR/BACK ➡P.9-17操作10以降

ハイライト	文字の一部や全部を強調します。

お買い上げ時 ホワイト

「詳細設定」選択➡■➡「ハイライト」選択➡■➡(開始文字選択)➡■➡(終了文字選択)➡■➡色選択➡■

設定の終了：上記操作のあと CLEAR/BACK ➡P.9-17操作10以降

点滅	文字を点滅させます。

「詳細設定」選択➡■➡「点滅」選択➡■➡(開始文字選択)➡■➡(終了文字選択)➡■

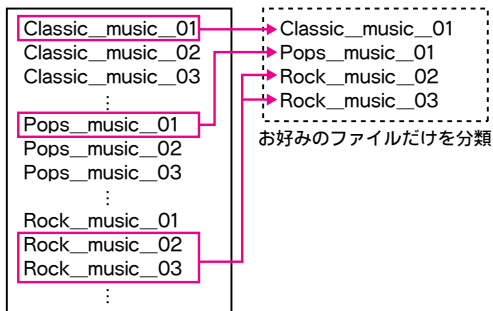
設定の終了：上記操作のあと CLEAR/BACK ➡P.9-17操作10以降

詳細設定の初期化	テロップの表示や文字装飾を初期化します。

「詳細設定」選択➡■➡(初期化)➡(Yes)

- 詳細設定を行っていないときは、操作できません。
- 「表示間隔」は初期化されません。

動画／音楽の管理

905SH内の動画や音楽はプレイリストで管理されています。各プレイリスト内には、すべての動画を管理する「**全ムービー**」と、すべての音楽を管理する「**全ミュージック**」および、お好みでファイルを選び分類できる「**プレイリスト**」があります。

- プレイリストには、動画／音楽の保存場所情報が記憶されます。実際の動画や音楽は保存されません。
- お買い上げ時には、3つのプレイリストがそれぞれに登録されています。新しく作成することもできます。(☞P.9-20)
- 付属のユーティリティーソフトウェア内の「Music Manager」でも、プレイリストの新規作成や音楽のプレイリストへの追加など、音楽を管理することができます。

注意▶ メモリカードに動画を保存するときは、ファイルの容量以外に最大で約1.2Mバイトの空き容量が必要です。

9 メディアプレイヤー

新しいプレイリストを作成する

「**プレイリスト**」または「**SDオーディオ**」内に、新しいプレイリストを作成します。（最大99件）

- 「**SDビデオ**」内には、作成できません。
- お買い上げ時プレイリストには、「**プレイリスト１**」〜「**プレイリスト３**」が登録されています。

メニュー ▶ メディアプレイヤー

1 *動画のプレイリストを作成する*

1「ムービー」を選び、■を押す。
2「プレイリスト」を選び、■を押す。
3「本体」または「メモリカード」を選ぶ。

音楽のプレイリストを作成する

1「ミュージック」を選び、■を押す。
2「プレイリスト」または「SDオーディオ」を選ぶ。

2 ■を押す。

■ プレイリストの削除：プレイリスト選択➡✉（**メニュー**）➡「**プレイリスト削除**」選択➡■➡✉（Yes）
■ プレイリスト名の変更：プレイリスト選択➡✉（**メニュー**）➡「**リスト名編集**」選択➡■➡リスト名入力➡■

プレイリストの一覧画面

3 ✉（メニュー）を押す。

4「リスト作成」を選び、■を押す。

5 リスト名を入力し、■を押す。

プレイリストに動画／音楽を追加する

「**全ムービー**」／「**全ミュージック**」内の動画／音楽を、作成したプレイリストに追加します。

- プレイリストに追加されるのは、動画／音楽の保存場所情報だけです。実際の動画／音楽はコピーされません。
- 「**SDビデオ**」内の動画は、追加できません。

メニュー ▶ メディアプレイヤー

1 *プレイリストに動画を追加する*

1「ムービー」を選び、■を押す。
2「プレイリスト」を選び、■を押す。
3「本体」または「メモリカード」を選ぶ。

プレイリストに音楽を追加する

1「ミュージック」を選び、■を押す。
2「プレイリスト」または「SDオーディオ」を選ぶ。

2 ■を押す。

■ 追加済の動画／音楽の削除：プレイリスト選択➡■➡動画／音楽選択➡✉（**メニュー**）➡「**リストから削除**」選択➡■➡✉（Yes）
■ リスト内の動画／音楽の位置移動：プレイリスト選択➡■➡動画／音楽選択➡✉（**メニュー**）➡「**リスト内移動**」選択➡■➡◆（位置選択）➡■

3「全ムービー」または「全ミュージック」を選び、■を押す。

4 動画または音楽を選び、✉（メニュー）を押す。

5「リストに追加」を選び、■を押す。

6 追加先のプレイリストを選び、■を押す。
指定したプレイリストの最下部に、動画／音楽が追加されます。

SDオーディオ内の情報を編集する

SDオーディオで録音した音楽のタイトル／アーティスト名を変更します。

メニュー ▶ メディアプレイヤー ➡ ミュージック ➡ SDオーディオ

1 プレイリストを選び、■を押す。

2 音楽を選び、✉（メニュー）を押す。

3「トラック情報編集」を選び、■を押す。

4 *タイトルを変更する*
1「タイトル」を選び、■を押す。
2 タイトルを入力し、■を押す。

アーティスト名を変更する
1「アーティスト」を選び、■を押す。
2 アーティスト名を入力し、■を押す。

動画／音楽を削除する

「SDビデオ」内の動画、「SDオーディオ」の「全ミュージック」内の音楽を削除します。

- ファイルそのものが削除されますので、削除してもよいかどうかを十分ご確認のうえ、操作してください。

動画を削除する

メニュー ▶ メディアプレイヤー ➡ ムービー ➡ SDビデオ

1 動画を選び、✉（メニュー）を押す。

2「クリップ削除」を選び、■を押す。

3 ✉（Yes）を押す。

音楽を削除する

メニュー ▶ メディアプレイヤー ➡ ミュージック ➡ SDオーディオ ➡ 全ミュージック

1 音楽を選び、✉（メニュー）を押す。

2「1トラック削除」を選び、■を押す。

3 ✉（Yes）を押す。

「プレイリスト」の動画／音楽を削除する

■「全ムービー」内の動画はデータフォルダのムービーフォルダから、「全ミュージック」内の音楽はデータフォルダの着うた・メロディフォルダまたはミュージックフォルダから削除します。（☞P.10-10）

データ管理

データフォルダについて

データフォルダには、いくつかのフォルダがあらかじめ登録されており、各機能でデータを作成したり、メールやウェブなどでデータを入手すると、ファイル形式に応じて該当するフォルダに保存されるようになっています。

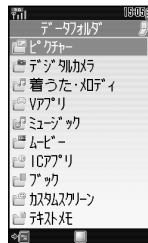
※データフォルダ「**着うた・メロディ**」には、あらかじめ「**青春アミーゴ**」が登録されています。

許諾番号：T-0640119 JASRAC

補足▶
- 「**ピクチャー**」、「**着うた・メロディ**」、「**Vアプリ**」、「**ミュージック**」、「**ムービー**」、「**ICアプリ**」、「**ブック**」、「**カスタムスクリーン**」のフォルダからは、ウェブへ直接接続し、データをダウンロードできます。
- Bluetooth®（☞P.12-2）や赤外線通信（☞P.12-9）を利用して、他の機器との間で、データフォルダ内のデータをやりとりできます。

データフォルダを表示する

データフォルダ画面は、待受画面で次の操作を行うと、表示されます。

■➡「**データフォルダ**」選択➡■

メモリ使用状況を確認する

■データフォルダ画面で、次の操作を行います。

「**メモリ確認**」選択➡■➡「**本体**」／「**メモリカード**」選択➡■

- メモリの空き容量が不足すると、905SHの動作が不安定になることがあります。空き容量が不足する前に、不要なメールやファイルは削除してください。

ファイルリスト画面

データフォルダ画面で、フォルダを選び■を押すと、ファイルリスト画面が表示されます。

ピクチャーフォルダ選択時

- メモリカードを取り付けていないときは、画面の内容が異なることがあります。

各種マークについて

■おもな静止画やアニメーションファイル

マーク	ファイル形式（拡張子）	内容
JPEG	JPEGファイル（.jpg）	JPEG形式の静止画
PNG	PNGファイル（.png）	PNG形式の静止画
NVA	E-アニメータファイル（NEVAファイル）（.nva）	アニメーション（サウンド付きもあり）
SVG	SVGファイル（.svgz）	SVG-Tファイル

■おもな動画ファイル

マーク	ファイル形式（拡張子）	内容
MP4	MPEG-4ファイル（.3gp）	3gpp形式の動画
3GP	MPEG-4／H.263ファイル（.3gp／.mp4）	3gpp形式の動画

■おもなサウンドファイル

マーク	ファイル形式（拡張子）	内容
SMAF	SMAFファイル（.mmf）	ウェブで入手したメロディ（画像付きもあり）
MP4	オーディオファイル（.mp4）	ダウンロードした着うた®
AMR	音声ファイル（.amr）	ボイスレコーダーで録音した音声

補足▶
- 鍵マークのあるファイル（ ／ ）は、著作権保護されたファイルです。「 」マークは、権利の切れた状態です。
- 壁紙や画面ピクチャー、着信音／ムービーなどに設定されているファイルには、「 」マークが表示されます。
- コピー／転送不可のファイルには、「 」マークが表示されます。

データフォルダの表示方法を設定する

ファイルリスト画面の表示方法を変更する

●設定できる表示方法は、次のとおりです。

インライン表示

グリッド表示

プレビュー表示

メニュー ▶ データフォルダ

1 フォルダを選び、■を押す。

●着うた・メロディフォルダ、Vアプリフォルダ、ミュージックフォルダ、ICアプリフォルダ、テキストメモフォルダでは操作できません。

2 ✉（メニュー）を押す。

3「データ管理」を選び、■を押す。

4「リスト表示切替」を選び、■を押す。

5「インライン表示」、「グリッド表示」、「プレビュー表示」のいずれかを選び、■を押す。

●ブックフォルダ、ムービーフォルダ、カスタムスクリーンフォルダ、その他ファイルフォルダでは、「**プレビュー表示**」は選択できません。

補足▶ ファイルリスト画面で📺を押しても切り替わります。（マルチジョブ機能起動時を除く）

ファイルを並べ替える

選択したフォルダ内のファイルを、ファイル名／タイトル名、日付、サイズ、データ形式、ソートなしのいずれかの順番に並べ替えます。

メニュー ▶ データフォルダ

1 フォルダを選び、■を押す。

●Vアプリフォルダ、ICアプリフォルダ、テキストメモフォルダでは操作できません。

■ 新しく作成したフォルダ／デジタルカメラフォルダ選択時：フォルダ選択➡■

2 ✉（メニュー）を押す。

●「**ダウンロード**」にカーソルがあるときは、操作４へ進みます。

3「データ管理」を選び、■を押す。

4「並べ替え」を選び、■を押す。

5 並べ替え方法を選び、■を押す。

注意▶ フォルダ内のファイル数が多いときに並べ替えると、フォルダ内のファイル表示に時間がかかることがあります。

補足▶ 並べ替えた状態で、再度同じ方法で並べ替えを行うと、昇順／降順が切り替わります。

保存されているファイルの確認

データフォルダ内のファイルを確認する

メニュー ▶ データフォルダ

1 フォルダを選び、■を押す。

フォルダ内のファイルリスト画面が表示されます。

- 905SH ／メモリカードの切替：✉（**メニュー**）➡「**本体へ切替**」／「**メモリカードへ切替**」選択➡■
- 新しく作成したフォルダ／デジタルカメラフォルダ選択時：フォルダ選択➡■

ファイルリスト画面
（ピクチャーフォルダ）

2 ファイルを選び、■を押す。

選んだファイルのファイル形式に応じて、再生または表示されます。

- 画像の拡大表示：■（押すたびに拡大）
  - 拡大表示の終了：上記操作のあとCLEAR/BACK
- サウンド再生時の音量調節：（上げる）／（下げる）
- サウンドファイルの表示切替：サウンド選択➡✉（**メニュー**）➡「**表示切替**」選択➡■➡「**ファイル名**」／「**タイトル**」（お買い上げ時）選択➡■

3 ファイルリスト画面に戻るときは、CLEAR/BACKを押す。

- 拡大表示状態からファイルリスト画面に戻るときは、CLEAR/BACKを２回押してください。
- ファイルリスト画面でCLEAR/BACKを押すと、データフォルダ画面に戻ります。

補足▶ データフォルダからファイルを再生したときは、オプション品のマイク付液晶オーディオリモコンで操作することはできません。

データフォルダからカメラを起動する

■ピクチャーフォルダ／デジタルカメラフォルダ／ムービーフォルダのファイルリスト画面で次の操作を行うと、カメラが起動できます。

✉（**メニュー**）➡「**カメラ起動**」／「**ビデオカメラ起動**」**選択**➡■

- ピクチャーフォルダ／デジタルカメラフォルダからは静止画撮影モード、ムービーフォルダからは動画撮影モードが起動できます。
- 静止画の撮影方法：☞P.8-6
- 動画の撮影方法：☞P.8-9

データフォルダからボイスレコーダーを起動する

■着うた・メロディフォルダのリスト画面で次の操作を行うと、ボイスレコーダーが起動できます。

✉（**メニュー**）➡「**ボイスレコーダー録音**」**選択**➡■

- ボイスレコーダーの録音方法：☞P.13-17操作２以降

ファイルを複数選択する

同じフォルダ内のファイルを複数選択すれば、一括して移動／コピー、削除などができます。

メニュー ▶ データフォルダ

1 フォルダを選び、■を押す。

- Vアプリフォルダ、ICアプリフォルダ、テキストメモフォルダでは操作できません。

■ 新しく作成したフォルダ／デジタルカメラフォルダ選択時：フォルダ選択➡■

2 ファイルを選び、◎（チェック）を押す。

「☑」が表示されます。

■ 選択の解除：「☑」が表示されているファイル選択➡◎（解除）

3 操作2をくり返し、必要なファイルを選択する。

- このあと、コピー／移動などを行います。

フォルダ内の画像を連続して表示する（スライドショー）

メニュー ▶ データフォルダ

1 「ピクチャー」または「デジタルカメラ」を選び、■を押す。

■ 新しく作成したフォルダ／デジタルカメラフォルダ選択時：フォルダ選択➡■

2 ファイルを選び、✉（メニュー）を押す。

3 「スライドショー」を選び、■を押す。

スライドショーが始まります。

- フォルダ内のすべての画像が、順にくり返し表示されます。
- スピード設定を「**手動送り**」にしているときは、#を押すたびに次の画像が表示されます。*を押すと、前の画像が表示されます。

4 スライドショーを停止するときは、■を押す。

スライドショーの速さを設定する

■操作3のあと、次の操作を行います。

✉（設定）➡「スピード設定」選択➡■➡「速い」／「普通」／「遅い」／「手動送り」選択➡■

- お買い上げ時には、「**普通**」に設定されています。

くり返し再生を設定する

■操作3のあと、次の操作を行います。

✉（設定）➡「繰り返し」選択➡■➡「On」（くり返す）／「Off」（くり返さない）選択➡■

- 「Off」にすると、フォルダ内のすべての画像を表示したあと、ファイルリスト画面に戻ります。
- お買い上げ時には、「On」に設定されています。

ファイルの詳細情報を確認する

メニュー ▶ データフォルダ

1 フォルダを選び、■を押す。

- テキストメモフォルダでは操作できません。

■ 新しく作成したフォルダ／デジタルカメラフォルダ選択時：フォルダ選択➡■

2 **ファイルを選び、✉（メニュー）を押す。**

●ファイルを複数選択することもできます。

3 **「プロパティ」を選び、■を押す。**

●▢を押すと、隠れている内容が表示できます。
●確認できる内容は、次のとおりです。
ファイルのタイトル名、ファイルのタイプ、データサイズ、最新更新日時、販売元、説明、転送／コピー不可情報、その他権利情報（表示可能回数、期間）など
■ファイルによって、表示される内容は異なります。

CCFファイルを利用する

905SHでは、コミックサーフィン（☞P.18-6）専用のCCFファイルをブックフォルダに保存して、電子コミックや電子写真集などを確認することができます。

メニュー ▶ データフォルダ

1 **「ブック」を選び、■を押す。**

2 **CCFファイルを選び、■を押す。**

Vアプリ「**コミックサーフィン**」が起動します。

●以降の操作方法については、「**コミックサーフィン**」のヘルプを参照してください。
●一時停止中のVアプリがあるときは、Vアプリを終了するかどうかの確認画面が表示されます。「Yes」を選び■を押すと、一時停止中のVアプリは終了し、「**コミックサーフィン**」が起動します。

補足▶ 「**コミックサーフィン**」が一時停止中のときは、利用しているCCFファイルのプロパティ表示が制限されることがあります。

SVGファイルを利用する

905SHでは、ベクトルグラフィックフォーマット「SVG-T」（Scalable Vector Graphics-Tiny）のファイル（表やグラフ、地図など）が表示できます。

●付属のユーティリティーソフトウェア内の「**PCドキュメント変換ユーティリティー**」を利用すれば、パソコンでSVGファイルを作成することができます。
●「SVG-T」について詳しくは、「http://j.sst.ne.jp/svgt/index_pdc.html」でご案内しています。

メニュー ▶ データフォルダ

1 **「その他ファイル」を選び、■を押す。**

2 **SVGファイルを選び、■を押す。**

SVGファイルが表示されます。

●✉（**メニュー**）を押すと、利用できる操作が表示されます。
●ボタンでのおもな操作方法は、次のとおりです。

操作	ボタン
上下左右移動	◈
画面移動	2（上）／4（左）／6（右）／8（下）
拡大／縮小	1（縮小）／3（拡大）
回転	7（左回転）／9（右回転）
キーアクションモード	0
デフォルト表示	5

注意▶ SVGファイルによっては、動作しない機能もあります。

ファイルをメールに添付する

データフォルダから、各種ファイルを直接メールに添付して送信します。

- テキストメモフォルダ内のファイルを添付すると、メールの本文として挿入されます。

メニュー ▶ データフォルダ

1 フォルダを選び、■を押す。

2 ファイルを選び、✉（メニュー）を押す。

3「送信」を選び、■を押す。

■ テキストメモフォルダのファイル添付：「**テキストメモメール送信**」選択➡■➡操作５へ

4「メール添付」を選び、■を押す。

■ データサイズの大きいJPEG画像選択時：圧縮サイズ選択➡■

5 宛先など他の項目を入力し、メールを送信する。
（☞P.15-7操作３以降）

プリンタを利用して静止画をプリントする

905SHとプリンタをBluetooth®で接続し、JPEG画像／PNG画像をプリントします。

- Bluetooth®に対応したプリンタでプリントできます。
- あらかじめ、プリンタをBluetooth®受信できる状態にしておいてください。

メニュー ▶ データフォルダ

1「ピクチャー」、「デジタルカメラ」、「その他ファイル」のいずれかを選び、■を押す。

■ 新しく作成したフォルダ／デジタルカメラフォルダ選択時：フォルダ選択➡■

2 静止画を選び、✉（メニュー）を押す。

3「プリント」を選び、■を押す。

4「Bluetooth」を選び、■を押す。

自動的に機器検索が行われます。

5 機器を選び、■を押す。

■ 受信側より認証要求時：認証コード入力➡■
■ 他の機器と接続時：✉（Yes）

6 ✉（Yes）を押す。

オフラインモードに設定され、プリントが始まります。

- プリントが終わると、プリンタは自動的に停止します。

■ プリントの中止：⊙（**キャンセル**）

注意▶
- プリンタの状態やファイルによっては、正しく印刷されないことがあります。プリンタの操作方法などについて詳しくは、プリンタの操作説明書を参照してください。
- 著作権で保護されているファイルはプリントできません。（プリントの権利を取得しても、プリントできません。）

フォルダ／ファイルの管理

新しいフォルダを作成する

- 同じ階層に、同じフォルダ名では作成できません。
- デジタルカメラフォルダ、Vアプリフォルダ、ICアプリフォルダ、テキストメモフォルダには、新しいフォルダは作成できません。

メニュー ▶ データフォルダ

1 **フォルダを選び、■を押す。**
- デジタルカメラフォルダ、Vアプリフォルダ、ICアプリフォルダ、テキストメモフォルダでは操作できません。

2 **✉（メニュー）を押す。**

3 **「データ管理」を選び、■を押す。**

4 **「フォルダ作成」を選び、■を押す。**

5 **フォルダ名を入力し、■を押す。**

フォルダ名／ファイル名を変更する

- ファイルの拡張子は変更できません。
- 同じ階層に、同じフォルダ名／ファイル名は使えません。
また、次の文字は使用できません。
  - ■半角の「¥」／「/」／「:」／「;」／「.」／「<」／「>」／「|」／「?」／「*」／「"」
- メモリの空き容量が少ないときは、変更できません。
- デジタルカメラフォルダ、Vアプリフォルダ、ICアプリフォルダ、テキストメモフォルダのフォルダ名／ファイル名は、変更できません。
  - ■テキストメモフォルダ内のリストに表示されている内容は、テキストメモの内容の先頭部分です。ここでの操作では変更できません。（テキストメモの内容の先頭部分を変更すると、変更されます。）

メニュー ▶ データフォルダ

1 **フォルダを選び、■を押す。**
- デジタルカメラフォルダ、Vアプリフォルダ、IC アプリフォルダ、テキストメモフォルダでは操作できません。

2 **フォルダまたはファイルを選び、✉（メニュー）を押す。**

3 **「データ管理」を選び、■を押す。**

4 **「フォルダ名変更」または「ファイル名変更」を選び、■を押す。**

5 **フォルダ名またはファイル名を修正し、■を押す。**

フォルダ／ファイルを削除する

新規作成したフォルダや、データフォルダ内に保存されているファイルを削除します。

- テキストメモフォルダ内のファイルの削除は、「**テキストメモを削除する**」(☞P.10-18) を、Vアプリフォルダ／ICアプリフォルダ内のファイルの削除は、「**Vアプリを削除する**」(☞P.17-6) を参照してください。

メニュー ▶ データフォルダ

1 フォルダを選び、■を押す。

- Vアプリフォルダ、ICアプリフォルダ、テキストメモフォルダでは操作できません。

2 *フォルダを削除する*

1 フォルダを選び、✉（メニュー）を押す。

ファイルを1件削除する

1 ファイルを選び、✉（メニュー）を押す。

複数のファイルを削除する

1 ファイルを複数選択し（☞P.10-6操作2以降）、✉（メニュー）を押す。

フォルダ内のファイル／フォルダをすべて削除する

1 ファイルを選び、✉（メニュー）を押す。

2「データ管理」を選び、■を押す。

3「削除」または「全件削除」を選び、■を押す。

■ フォルダ削除／フォルダ内全件削除時：操作用暗証番号（4ケタ）入力➡■

4 ✉（Yes）を押す。

ファイルをコピー／移動する

データフォルダ内のファイルを、新しく作成したフォルダや、メモリカードへコピー／移動します。

- デジタルカメラフォルダ内のファイルは、ピクチャーフォルダ（905SH／メモリカード）へコピー／移動できます。
- コピー／転送不可ファイルは、コピーできません。
- ファイルの種類やデータの内容によっては、コピー／移動できないことがあります。
- Vアプリフォルダ、ICアプリフォルダ、テキストメモフォルダのファイルは、コピー／移動できません。

メニュー ▶ データフォルダ

1 フォルダを選び、■を押す。

- Vアプリフォルダ、ICアプリフォルダ、テキストメモフォルダでは操作できません。

■ 新しく作成したフォルダ／デジタルカメラフォルダ選択時：フォルダ選択➡■

2 *1件ずつコピー／移動する*

1 ファイルを選び、✉（メニュー）を押す。

複数のファイルをコピー／移動する

1 ファイルを複数選択し（☞P.10-6操作2以降）、✉（メニュー）を押す。

3「コピー」または「移動」を選び、■を押す。

4 コピー／移動先を選び、■を押す。

■ 壁紙などに設定されているファイルの移動時：✉（Yes）

5「コピー」または「移動」を選び、■を押す。

注意 ▶ 複数のファイルをコピーする場合に、コピー／転送不可ファイルが含まれていたときは、エラーが表示され、コピー／転送不可ファイル以外がコピーされます。

注意▶
- メモリカードへコピー／移動したファイルの種類やデータの内容によっては、他のボーダフォン携帯電話やパソコンなどで利用できないことがあります。
- 同じ名前のファイルがあるフォルダに、ファイルをコピー／移動すると、ファイル名が変わることがあります。

ファイルの利用

データフォルダに登録されているファイルを、壁紙や電話帳の画像、着信パターンとして利用できます。
- 「壁紙登録」、「電話帳登録」、「着信ビデオ設定」、「着信音設定」のメニューが表示されるファイルで利用できます。
- ファイルサイズが大きいと登録できないことがあります。

注意▶ 著作権で保護されているファイル（「」、「」表示）は、「壁紙登録」、「電話帳登録」、「着信ビデオ設定」、「着信音設定」のメニューが表示されていても、利用できないことがあります。

壁紙に登録する

メニュー▶ データフォルダ

1 **「ピクチャー」、「デジタルカメラ」、「その他ファイル」のいずれかを選び、■を押す。**

■新しく作成したフォルダ／デジタルカメラフォルダ選択時：フォルダ選択➡■

2 **ファイルを選び、✉（メニュー）を押す。**

3 **「壁紙登録」を選び、■を押す。**

■ディスプレイサイズ以外の画像選択時：「センタリング（等倍）」／「全画面表示」／「画像全体表示」選択➡■

4 **■を押す。**

選んだファイルが壁紙に設定されます。

電話帳に登録する

メニュー▶ データフォルダ

1 **「ピクチャー」、「着うた・メロディ」、「ムービー」、「ミュージック」のいずれかを選び、■を押す。**

2 **ファイルを選び、✉（メニュー）を押す。**

3 **「電話帳登録」を選び、■を押す。**

■以降の操作：☞P.4-8「発信履歴／着信履歴の電話番号を登録する」操作4

着信パターンに設定する

音声着信の着信パターンに、動画（ムービー）／サウンド（着信音）を設定します。
- TVコール着信、メール着信には、設定できません。

動画を設定する

メニュー▶ データフォルダ ➡ ムービー

1 **ファイルを選び、✉（メニュー）を押す。**

2 **「着信ビデオ設定」を選び、■を押す。**

サウンドを設定する

メニュー▶ データフォルダ

1 **「着うた・メロディ」または「ミュージック」を選び、■を押す。**

2 **ファイルを選び、✉（メニュー）を押す。**

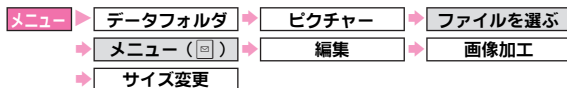
3 **「着信音設定」を選び、■を押す。**

静止画の編集

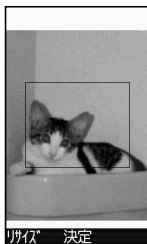
サイズを変更する

ファイルを、壁紙用やアラーム用などのサイズに変更します。
- 固定のサイズに変更するほか、お好みのサイズに切り出したり、拡大／縮小できます。（サイズを変更すると、データサイズも変更されます。）
- 「画像加工」のメニューが表示されるファイルで、利用できます。

固定サイズに変更する

メニュー ▶ データフォルダ ➡ ピクチャー ➡ ファイルを選ぶ ➡ メニュー（✉）➡ 編集 ➡ 画像加工 ➡ サイズ変更

1 「壁紙」～「アラーム」のいずれかを選び、■を押す。

選んだ画像とサイズを示す枠が表示されます。（「壁紙」、「電源On／Off」を選んだときを除く）
- 変更後のサイズは、次のとおりです。

壁紙	横240×縦400ドット
電源On／Off	横240×縦400ドット
QVGA	横240×縦320ドット
着信画像	横176×縦144ドット
アラーム	横240×縦104ドット

着信画像のとき

2 ✥で表示範囲を指定する。
- 画像サイズによっては、表示範囲は変更できません。

■ 画像の拡大／縮小：✉（リサイズ）➡ ▲（拡大）／▼（縮小）
■ 画像サイズ選択のやり直し：CLEAR/BACK

3 ■を押す。

4 ○（保存）を押す。

5 ファイル名を入力し、■を押す。

編集後の画像が新しい画像としてデータフォルダに保存されます。

サイズを自由に変更する

メニュー ▶ データフォルダ ➡ ピクチャー ➡ ファイルを選ぶ ➡ メニュー（✉）➡ 編集 ➡ 画像加工 ➡ サイズ変更

1 「自由切出」を選び、■を押す。

2 ✥で「＋」を切り出す部分の左上に移動し、■を押す。

3 ✥で「＋」を切り出す部分の右下に移動し、■を押す。

■ サイズ選択のやり直し：CLEAR/BACK ➡ 操作1からやり直す

4 ✥で表示範囲を指定する。
- 画像サイズによっては、表示範囲は変更できません。

■ 画像の拡大／縮小：✉（リサイズ）➡ ▲（拡大）／▼（縮小）
■ 画像サイズ選択のやり直し：CLEAR/BACK ➡ 操作1からやり直す

5 ■を押す。

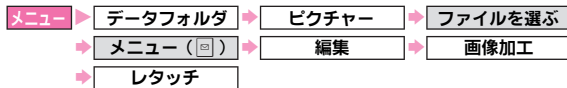
6 ○（保存）を押す。

7 ファイル名を入力し、■を押す。

編集後の画像が新しい画像としてデータフォルダに保存されます。

静止画を装飾する（レタッチ）

画像の色あいやタッチを変更できます。

- 横52×縦52ドット以上のJPEG画像／PNG画像で、利用できます。連写画像も装飾できます。
- 「**画像加工**」のメニューが表示されるファイルで、利用できます。

1 装飾の種類を選び、■を押す。

- 設定できる装飾の種類は、次のとおりです。

セピア	セピア色で濃淡を表現
きらめき	光る部分を十字に輝かせる効果を表現
波紋	輪の形に広がる波の効果を表現
タイル	周りにタイル調の効果を表現
浮彫りタッチ	メタル系シルバーで立体感を表現
油絵タッチ	ルノワール風油絵タッチ
クリアフレーム	周りに透明なふちを描くフレーム調
円ソフトフレーム	周りを丸くぼかすフレーム調
ソフトフレーム	周りをぼかすフレーム調
ちぎりフレーム	周りを手でちぎった感じのフレーム調

■装飾のやり直し：CLEAR/BACK

2 ■を押す。

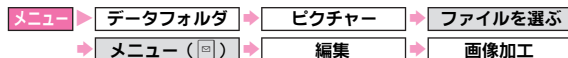
3 ○（保存）を押す。

4 ファイル名を入力し、■を押す。

編集後の画像が新しい画像としてデータフォルダに保存されます。

注意▶ 画像を装飾すると、画像データサイズが変わるため、装飾した画像の登録や、メールの送信ができないことがあります。

画像と文字／スタンプを組み合わせる

- 「**画像加工**」のメニューが表示されるファイルで、利用できます。

1 *文字を組み合わせる*

1「テキスト貼付」を選び、■を押す。

■文字色の設定：✉（**色変更**）➡文字色選択➡■

2「フリーワード」を選び、■を押す。

■日付の入力：「**日付**」選択➡■➡操作2へ

3 文字を入力し、■を押す。

- 最大16文字まで入力できます。
- バーコードの読み取り、文字読み取りを利用して、文字を入力することもできます。

スタンプを組み合わせる

1「スタンプ」を選び、■を押す。

2 スタンプを選び、■を押す。

■スタンプ選択のやり直し：CLEAR/BACK

2 ✣で文字やスタンプの位置を選び、■を押す。

3 ○（保存）を押す。

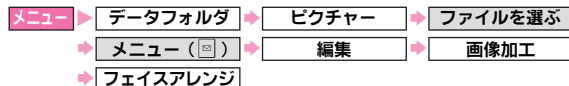
4 ファイル名を入力し、■を押す。

編集後の画像が新しい画像としてデータフォルダに保存されます。

顔写真を加工する（フェイスアレンジ）

画像内の顔を笑い顔や怒った顔、泣き顔などに加工できます。

- JPEG画像／PNG画像で、利用できます。
- フェイスアレンジは、顔パーツ（輪郭、目、口）の位置や大きさを元に加工します。顔が正面を向き、大きく中央に写っているファイルを利用してください。また、次のようなときは、うまく加工できないことがあります。
  - ■ピントが合っていない／首を傾けている／暗い／目が髪で隠れている／画面の中央に写っていない／口が開いている／メガネをかけている／ヒゲを生やしている　など
- 顔パーツの位置や大きさを指定し直して加工することもできます。（☞右記）
- 「**画像加工**」のメニューが表示されるファイルで、利用できます。

メニュー ▶ データフォルダ ➡ ピクチャー ➡ ファイルを選ぶ ➡ メニュー（[メール]）➡ 編集 ➡ 画像加工 ➡ フェイスアレンジ

1 アレンジの種類を選び、■を押す。

- 設定できるアレンジの種類は、次のとおりです。

右顔合成	顔の右半分をもとにした左右対称の顔
左顔合成	顔の左半分をもとにした左右対称の顔
微笑む	目、口が微笑んでいる顔
怒る	目、口が怒っている顔
悲しむ	目、口が悲しんでいる顔
パッチリ目	パッチリ目を合成
炎	炎の目を合成
なみだ	なみだを合成
伯爵	メガネとヒゲを合成
カチン	怒りマークを合成

■顔パーツの位置や大きさの確認：[メール]（**顔抽出**）
- ■確認の終了：上記操作のあと[CLEAR/BACK]

■アレンジのやり直し：[CLEAR/BACK]

2 ■を押す。

3 [○]（保存）を押す。

4 ファイル名を入力し、■を押す。

編集後の画像が新しい画像としてデータフォルダに保存されます。

注意▶ フェイスアレンジを行った画像をMMSに添付したり、壁紙などに設定して楽しまれるときは、人格権、肖像権を尊重し、他の方の中傷などにご配慮ください。

顔パーツの位置／大きさを調整する

フェイスアレンジを行うと、認識した顔パーツの位置が、加工する顔の位置とずれていることがあります。
このときは、以下の操作で位置や大きさを調整できます。

- 顔パーツは画像ごとに調整して登録します。

1 左記「顔写真を加工する（フェイスアレンジ）」操作1で、[メール]（顔抽出）を押す。

2 [メール]（修正）を押す。

顔輪郭の枠の左上に「＋」が表示されます。

3 顔の輪郭を指定する。

[方向キー]で顔の輪郭の左上に「＋」を移動 → [方向キー]で顔の輪郭の右下に「＋」を移動 → 顔の輪郭の位置が指定完了

■指定のやり直し：[CLEAR/BACK]

4 **右目→左目→口の順に、それぞれの顔パーツを指定する。**

- 画面上部のガイドに従って、P.10-14操作３と同様に操作します。

右目の位置を指定　左目の位置を指定　口の位置を指定

- 口の位置を指定したあと■を押すと、指定した顔パーツがすべて表示されます。
- 顔パーツの指定をやり直すときは、P.10-14操作２以降をくり返してください。

■ あらかじめ設定されている顔パーツに戻す：CLEAR/BACK
 ■ 口の位置を指定し■を押したあとは、操作できません。

5 **■を押す。**

6 **✉（Yes）を押す。**

指定した顔パーツを付加した画像が新しい画像としてデータフォルダに登録され、フェイスアレンジ画面に戻ります。

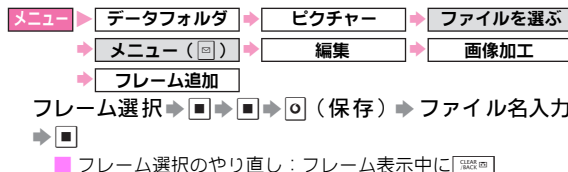
- このあと、この画像を使ってフェイスアレンジの操作を行うと、指定した顔パーツで画像を加工できます。

その他の画像加工

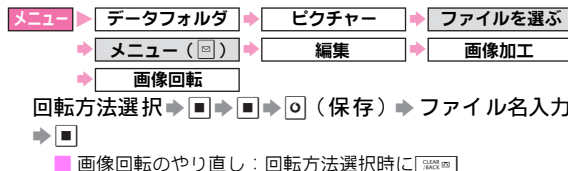
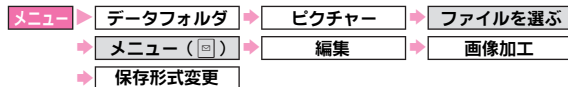
- 「画像加工」のメニューが表示されるファイルで、利用できます。

フレーム　JPEG画像／PNG画像にフレーム（囲み）を付けることができます。

フレーム選択➡■➡■➡◎（保存）➡ファイル名入力➡■

■ フレーム選択のやり直し：フレーム表示中にCLEAR/BACK

画像回転　画像の向きを回転させることができます。

回転方法選択➡■➡■➡◎（保存）➡ファイル名入力➡■

■ 画像回転のやり直し：回転方法選択時にCLEAR/BACK

保存形式／ファイルサイズ変更　画像の保存形式やファイルサイズを変更することができます。

保存形式を変更する

「保存形式」選択➡■➡保存形式選択➡■➡CLEAR/BACK➡◎（保存）➡ファイル名入力➡■

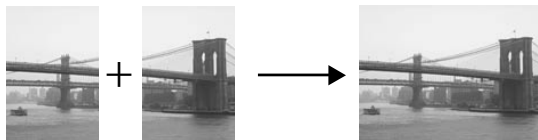
- 保存形式を変更すると、データサイズや画質が変わることがあります。

ファイルサイズを変更する

「ファイルサイズ」選択➡■➡ファイルサイズ選択➡■➡CLEAR/BACK➡◎（保存）➡ファイル名入力➡■

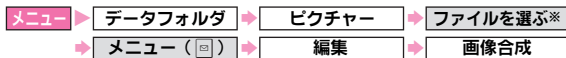
- ファイルサイズを変更すると、画質が変わることがあります。

2枚の静止画をパノラマ合成する

2枚のファイル（静止画）を横に並べて、1枚の画像にします。

2枚の静止画を選択　　　パノラマ合成

パノラマ合成で選べる効果は、次のとおりです。

標準	近距離で撮影した静止画、遠距離で撮影した静止画のどちらの合成にも適しています。
近景	近づいて撮影したときに生じる視差の影響を補正します。近距離で撮影した静止画の合成に適しています。
ドキュメント	説明板など文字のある静止画の合成に適しています。

- 横48×縦64ドット以上、横120×縦160ドットまたは横160×縦120ドット以下のJPEG画像で、利用できます。
- 2枚のファイルサイズが異なるときは、同じサイズになるよう、自動的に一部を切り出して合成します。
- 色あいが異なる2枚の静止画をパノラマ合成すると、うまく合成できないことがあります。

※左側に配置するファイルを選びます。

1 「パノラマ合成」を選び、■を押す。

選んだファイルが1枚目の画像として指定されます。

- 選択できない画像は、利用できません。

2 「2」を選び、■を押す。

3 もう1枚のファイルを選び、■を押す。

選んだファイルが2枚目の画像として指定されます。

- 利用できない画像サイズのときは、リスト画面に戻ります。ファイルを選び直してください。

4 「EFFECT」を選び、■を押す。

5 「標準」～「ドキュメント」のいずれかを選び、■を押す。

- 画像の確認：画像選択➡■
  - 確認の終了：上記操作のあと■
- 画像の変更：画像選択➡■➡✉（変更）➡画像選択➡■
- 画像の左右入れ替え：✉（置換）

パノラマ合成画面

6 ◎（保存）を押す。

7 ■を押す。

8 ファイル名を入力し、■を押す。

合成後の画像が新しい画像としてデータフォルダに保存されます。

分割画像を作成する

最大4枚の静止画を縮小し、1枚の画像内に配置して分割画像を作成できます。

- JPEG画像／PNG画像で、利用できます。
- あらかじめ、空きメモリがあることを確認して、分割画像を作成してください。
- 1～4枚目の順に、分割画像の左上、右上、左下、右下に配置されます。

分割画像

※左上に配置するファイルを選びます。

1 「分割画像240×400」または「分割画像240×320」を選び、■を押す。

選んだファイルが1枚目の画像として指定されます。

2 「2」を選び、■を押す。

3 ファイルを選び、■を押す。

選んだファイルが2枚目の画像として指定されます。

4 操作2～3をくり返し、すべての画像を指定する。

- 操作2では、「3」または「4」を選んでください。

■ 分割画像の確認：✉（**メニュー**）➡「**全画面表示**」選択➡■
　■ 確認の終了：上記操作のあと■

■ 画像の変更：画像選択➡■➡✉（**変更**）➡画像選択➡■

■ 画像の削除：画像選択➡✉（**メニュー**）➡「**削除**」選択➡■➡✉（Yes）

1 Image001.jpg
2 Image002.jpg
3 Image003.jpg
4 Image004.jpg
メニュー　保存

分割画像作成画面

5 o（保存）を押す。

6 ファイル名を入力し、■を押す。

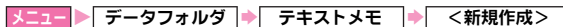
合成後の画像が新しい画像としてデータフォルダに保存されます。

テキストメモの利用

よく使う文章を登録し、メールの本文入力などで利用できます。

- 1件につき最大256文字、50件まで登録できます。

テキストメモに文章を登録する

メニュー ▶ **データフォルダ** ➡ **テキストメモ** ➡ **<新規作成>**

1 本文を入力し、■を押す。

補足▶ 登録したテキストメモを文字入力画面に挿入するときは、「**テキストメモを利用する**」（☞P.3-14）を参照してください。登録したテキストメモを直接呼び出して、メールに挿入することもできます。（☞P.10-8）

テキストメモを確認する

メニュー ▶ データフォルダ ➡ テキストメモ

1 テキストメモを選び、■を押す。

確認の終了：CLEAR/BACK

テキストメモを修正する

メニュー ▶ データフォルダ ➡ テキストメモ ➡ テキストメモを選ぶ ➡ メニュー（✉）➡ 編集

1 内容を修正し、■を押す。

上書き保存されます。

テキストメモを削除する

登録したテキストメモを１件ずつ削除します。

メニュー ▶ データフォルダ ➡ テキストメモ ➡ テキストメモを選ぶ ➡ メニュー（✉）➡ 削除

1 ✉（Yes）を押す。

メモリカードの利用

905SHは、miniSD™メモリカードに対応しています。

- 905SHには、miniSD™メモリカードは付属していません。市販のminiSD™メモリカードをご購入のうえ、ご利用ください。
- 市販のminiSD™メモリカードを使用するときは、905SHでフォーマットしてください。（☞P.10-20）
- メモリカードへのデータの保存方法については、各機能の説明部分を参照してください。

メモリカード内のメモリ使用状況を確認する

■次の操作を行います。

■➡「データフォルダ」選択➡■➡「メモリ確認」選択➡■➡「メモリカード」選択➡■

- メモリカードのメモリは、お客様が直接ご利用できる部分（ユーザー領域）と、著作権保護などで自動的に使用される部分があります。

注意▶

- メモリカードの登録内容は、事故や故障によって、消失または変化してしまうことがあります。大切なデータは控えをとっておかれることをおすすめします。なお、データが消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- miniSD™メモリカードには、書き込み禁止スイッチはありません。データの消去や上書きなどにご注意ください。

補足▶ 905SHでは、32Mバイト／64Mバイト／128Mバイト／256Mバイト／512Mバイト／1GバイトのminiSD™メモリカードを推奨します。

メモリカードの取り扱いについて

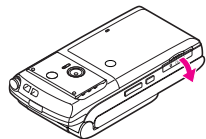
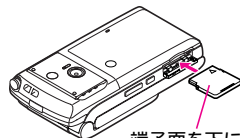
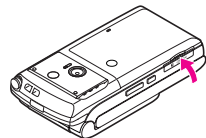
miniSD™メモリカードをお使いになるときは、次の点にご注意ください。

- メモリカードは、推奨のものをご使用ください。
  推奨以外のメモリカードは使用できないことや正しく動作しないことがあります。
- 905SHの電源を入れた状態でメモリカードを取り付けたり、取り外したりしないでください。
- ラベルやシールを貼らないでください。メモリカードは非常に薄く、精密に作られているため、ラベルやシール程度の厚みでも接触不良やデータの破壊などの原因となることがあります。
- 文字を書くときは、フェルトペン（油性）をご使用ください。鉛筆やボールペンは、ご使用にならないでください。
  メモリカードに損傷を与えたり、データが破壊されることがあります。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたり、水にぬらしたりしないでください。
- 金属端子部分を手や金属で触れないでください。
- 高温になる車の中や直射日光のあたる所など、温度が高くなる所には置かないでください。
- 湿度の高い所やほこりが多い所には置かないでください。
- 腐食性のガスなどが発生する所には置かないでください。
- メモリカードを火気に近づけたり、火の中に投げ込んだりしないでください。
- メモリカードには寿命があります。長期間ご使用になると、新しくデータを書き込めなくなることがあります。

メモリカードを取り付ける／取り外す

取り付ける

- 必ず905SHの電源を切った状態で取り付けてください。

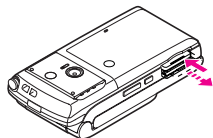
1 メモリカードスロットのカバーを開く。

2 端子面を下にして、「カチッ」と音がするまでメモリカードをゆっくり奥まで入れる。

3 カバーを閉じる。

注意▶
- メモリカードを無理に取り付けると、メモリカードや905SHが破損することがあります。ご注意ください。
- miniSD™メモリカード以外のものを挿入しないでください。メモリカードや905SHが破損する恐れがあります。

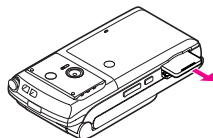
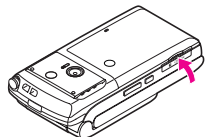
補足▶ 905SHにメモリカードを取り付け、電源を入れたときは、メモリカード内の情報確認のため、待受画面が表示されるまでに時間がかかることがあります。
（メモリカードの容量や書き込まれているデータ量によって、待受画面が表示されるまでの時間は異なります。）

取り外す

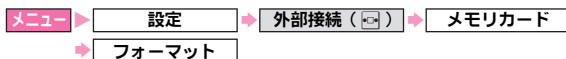
- 必ず905SHの電源を切った状態で取り外してください。

1 メモリカードスロットのカバーを開き、メモリカードを軽く押し込む。

- メモリカードは、軽く押し込んで手を離すと少し飛び出てきます。

2 メモリカードを取り出す。

- ゆっくりとまっすぐ引き抜いてください。

3 カバーを閉じる。

注意▶ データの読み出し中や書き込み中は、絶対にメモリカードや電池パックを取り外さないでください。メモリカードまたは905SHが故障する恐れがあります。

メモリカードをフォーマット（初期化）する

- フォーマットされていないメモリカードを使うときは、必ず905SHでフォーマットしてください。

1 ［✉］（Yes）を押す。

オフラインモードに設定されます。

■ メール／ウェブ接続時：［✉］（Yes）

2 操作用暗証番号（4ケタ）を入力し、［■］を押す。

3 ［✉］（Yes）を押す。

■ フォーマットの中止：［o］（No）

注意▶
- フォーマットすると、メモリカード内のすべてのデータが消去されます。
- フォーマット中は、絶対にメモリカードや電池パックを取り外さないでください。メモリカードまたは905SHが故障する恐れがあります。
- 他の機器でフォーマットしたメモリカードは、905SHでは正常に使用できないことがあります。

メモリカードにデータをバックアップする

905SHでは、電話帳などのデータをメモリカードへバックアップ（一括保存）できます。バックアップしたデータはあとで読み込み（一括復元）できます。

- あらかじめバックアップしておけば、大事なデータを誤って消してしまったときでも、あとで復元できます。
- メモリカードにデータを一括して転送すると、データの種類ごとに1つのバックアップファイルとして保存されます。（転送日のファイル名が付きます。）
- バックアップできるデータの種類は、次のとおりです。
  - ■受信ボックス　■下書き　■送信済みボックス
  - ■電話帳　■メールグループ　■カレンダー
  - ■予定リスト　■テキストメモ　■ブックマーク
  - ■ユーザー辞書
- テンプレートと未送信ボックス内のメールは、メモリカードへバックアップできません。
- データを1種類だけ選択してバックアップしたり、すべての種類をまとめてバックアップすることができます。

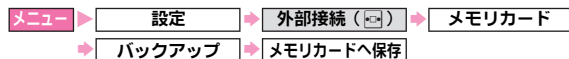
補足▶ バックアップは、個人データの保存や同機種間（miniSD™メモリカード対応機）での情報共有、または機種交換時の個人データの移動などの目的で行うことをおすすめします。

メモリカードバックアップ時のご注意

- 電池残量が少ないときは、利用できません。
- バックアップやデータ読み込み中は、電話やメールは利用できません。（着信もできません。）
- バックアップデータをメモリカードから読み込むときは、読み込むデータの種類を選んでください。読み込み時には、905SH内の選んだ種類のデータをすべて消去してから、メモリカード内のデータを読み込みますので、ご注意ください。
- データの内容によっては、バックアップできないことがあります。また、バックアップしたデータの内容によっては、他のボーダフォン携帯電話やパソコンなどで利用できないことがあります。
- 一時停止中のVアプリがあるときは、Vアプリを終了するかどうかの確認画面が表示されます。バックアップを行うときは、✉（Yes）を押して、Vアプリを終了させてください。
- 905SHまたはメモリカードの空き容量が少ないときは、バックアップが正常に行えないことがあります。
- 905SHに保存できる予定／用件は、カレンダーと予定リストを合わせて最大300件です。メモリカードからの読み込み中、300件に達すると、確認メッセージが表示され、超過分は登録されません。
- メール通知は通常のメールとして読み込まれますので、読み込み後は続き受信などの操作はできません。
- メモリカードにバックアップファイルとして保存されたあとは、メモリカードから読み込むまでは、905SHでデータの内容を確認できません。
- 他のボーダフォン携帯電話でバックアップしたデータを905SHで読み込むときは、次のことにご注意ください。
  - ■905SHで扱えないサイズのメールは読み込めません。
  - ■905SHで登録できるメールは、下書き、テンプレート、未送信ボックス、送信済ボックスを合わせて最大500件です。読み込み中に500件に達すると、確認メッセージが表示され、超過分は登録されません。
  - ■他のボーダフォン携帯電話の機種によっては、スカイメールがMMSとして読み込まれることがあります。

●905SHでバックアップしたデータを他のボーダフォン携帯電話で読み込むときは、次のことにご注意ください。
■迷惑メールフォルダ内のメールは、他のボーダフォン携帯電話の迷惑フォルダではなく、通常の受信フォルダに登録されます。
■下書きメールを他のボーダフォン携帯電話で読み込むと、宛先が複数あるSMSが登録できなかったり、２件目以降のアドレスが欠落することがあります。

メモリカードにバックアップする

メニュー ▶ 設定 ➡ 外部接続（■）➡ メモリカード ➡ バックアップ ➡ メモリカードへ保存

1 **操作用暗証番号（４ケタ）を入力し、■を押す。**

2 **■（Yes）を押す。**

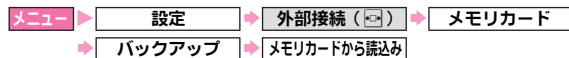
オフラインモードに設定されます。
■メール／ウェブ接続時：■

3 **データの種類を選び、■を押す。**

■「全選択」、「電話帳」選択時：■（Yes）／■（No）
■バックアップの中止：■（キャンセル）

メモリカードから読み込む

●**メモリカードからデータを読み込むと、905SH内の同じ種類のデータは消去されます。**

メニュー ▶ 設定 ➡ 外部接続（■）➡ メモリカード ➡ バックアップ ➡ メモリカードから読込み

1 **操作用暗証番号（４ケタ）を入力し、■を押す。**

2 **■（Yes）を押す。**

オフラインモードに設定されます。
■メール／ウェブ接続時：■

3 **データの種類を選び、■を押す。**

●選択できないデータの種類は、転送できません。
■「全選択」選択時：ファイル名選択➡■➡■（Yes）

4 **ファイルを選び、■を押す。**

●ファイルが複数あるときは、ファイル名の転送日を確認して選んでください。
例：2006年８月17日にバックアップしたときのファイル名「060817XX」（XXは、00～99、aa～zzの２ケタの数字、英字）
●「全選択」を選んだときは、データの種類ごとに操作４をくり返します。
■ファイル削除：ファイル選択➡■（削除）➡■（Yes）

5 **■（Yes）を押す。**

■読み込みの中止：■（キャンセル）

補足▶ 905SHで設定できない期限日時が設定されている予定リストのバックアップデータを、メモリカードから読み込んだときは、読み込んだ日時が期限日時に設定されます。

その他のメモリカード機能

SDローカルコンテンツ	HTMLファイルを表示して、メモリカード内のファイルやインターネットに接続します。

■メモリカードにHTMLファイルがないときは、利用できません。

メニュー ▶ 設定 ➡ 外部接続（■）➡ メモリカード ➡ SDローカルコンテンツ

タイトル選択➡■

●パソコンでメモリカードを確認したとき、ローカルコンテンツは「PRIVATE/VODAFONE/Local Contents」フォルダに保存されています。

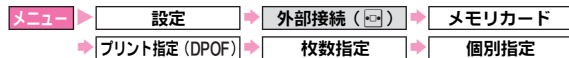
10 データ管理

静止画のプリント指定（DPOF）

DPOF（「Digital Print Order Format」の略称）とは、デジタルカメラで撮影した静止画のプリント指定形式です。メモリカード内の静止画の中から、プリントしたい静止画とその枚数を指定しておけば、DPOF対応のデジタルカメラプリントショップやプリンタで、指定した情報に沿ってプリントできます。

- ●ウェブなどから入手した静止画はプリント指定できません。
- ●操作中にメモリカードの容量が不足すると、容量不足の確認メッセージが表示されます。このときは、いったん操作を終了し、不要なファイルを削除したあとやり直してください。
- ●プリント時の操作など詳しくは、プリントする機器の操作説明書などを参照してください。

プリントする静止画と枚数を指定する

メニュー ▶ 設定 ➡ 外部接続（□）➡ メモリカード ➡ プリント指定（DPOF）➡ 枚数指定 ➡ 個別指定

1 フォルダを選び、■を押す。

選んだフォルダ内の静止画のサムネイルが表示されます。（この画面がプリントの指定画面となります。）

2 □で静止画を選び、□（枚数）を押す。

静止画の確認：静止画選択➡■

■ プリントの指定画面に戻る：上記操作のあとCLEAR/BACK

3 プリント枚数（00〜99枚）を入力し、■を押す。

静止画の選択画面に戻る：CLEAR/BACK➡CLEAR/BACK

指定の解除：プリント枚数入力時に「00」入力➡■

4 操作２〜３をくり返し、プリント枚数を指定する。

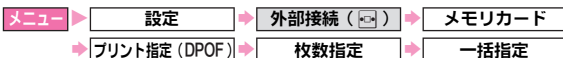
5 □（完了）を押す。

注意▶
- ●他のデジタルカメラなどで指定されたプリント指定（DPOF）がある場合に、905SHでプリント指定を行ったときは、以前指定されていたプリント指定は削除されます。
- ●デジタルカメラプリントショップまたはプリンタによっては、機能が一部制限されることがあります。
- ●プリント指定する画像数が多いと、プリント指定に時間がかかることがあります。
- ●パソコンなどでメモリカード内の画像を削除したり名前を変更すると、プリント指定が正しく行われなくなります。このときは、全設定リセット（☞P.10-24）を行ったあとプリント指定をやり直してください。

DPOFの便利な機能

一括指定	デジタルカメラフォルダ内のすべての静止画（DCF形式）に同じプリント枚数を指定します。

お買い上げ時 0枚

メニュー ▶ 設定 ➡ 外部接続（□）➡ メモリカード ➡ プリント指定（DPOF）➡ 枚数指定 ➡ 一括指定

プリント枚数（01〜99枚）入力➡■

- ●最大99枚まで指定できます。

日付付加指定	デジタルカメラフォルダ内の静止画をプリントするときに、日付を付けるかどうかを設定します。

お買い上げ時 Off（付けない）

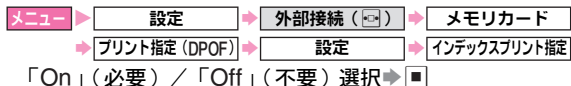
メニュー ▶ 設定 ➡ 外部接続（□）➡ メモリカード ➡ プリント指定（DPOF）➡ 設定 ➡ 日付付加指定

「On」（付ける）／「Off」（付けない）選択➡■

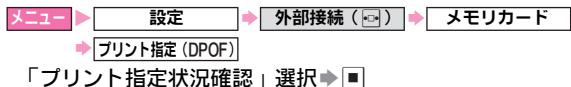
インデックスプリント指定	静止画の画像一覧を並べたインデックスプリントが必要かどうかを設定します。

お買い上げ時Off（不要）

メニュー ▶ 設定 ➡ 外部接続（ ） ➡ メモリカード ➡ プリント指定（DPOF） ➡ 設定 ➡ インデックスプリント指定

「On」（必要）／「Off」（不要）選択 ➡ ■

プリント指定状況確認	印刷画像枚数や総印刷枚数などのプリントの指定状況を確認します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 外部接続（ ） ➡ メモリカード ➡ プリント指定（DPOF）

「プリント指定状況確認」選択 ➡ ■

全設定リセット	DPOF関連のすべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 外部接続（ ） ➡ メモリカード ➡ プリント指定（DPOF）

「全設定リセット」選択 ➡ ■ ➡ ✉（Yes）

設定

モード設定

お使いになる状況に応じて、着信時の動作や各種効果音などを設定します。

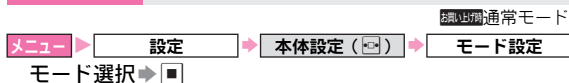
●あらかじめ登録されている次のモードごとに設定できます。

- ■通常モード
- ■ミーティングモード
- ■アクティブモード
- ■運転中モード
- ■ヘッドセットモード
- ■マナーモード

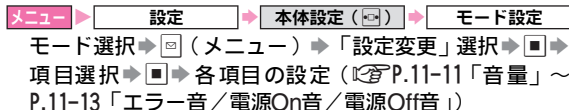
モードを選択する

モード選択	利用するモードを選びます。

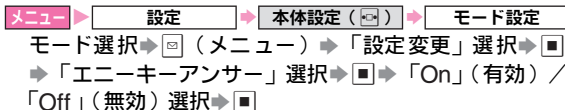
お買い上げ時 通常モード

メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（□）➡ モード設定
モード選択➡■

モードの設定を変更する

設定変更（着信時の動作）	各モードの音量、着信音／ムービー、バイブ、着信ライト設定、インフォメーションライト設定、効果音を変更します。

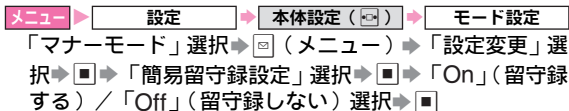
メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（□）➡ モード設定
モード選択➡✉（メニュー）➡「設定変更」選択➡■➡項目選択➡■➡各項目の設定（☞P.11-11「音量」～P.11-13「エラー音／電源On音／電源Off音」）

エニーキーアンサー	エニーキーアンサー（☞P.2-6）を有効にするかどうかを設定します。

お買い上げ時 通常モード／ミーティングモード／アクティブモード／マナーモード：Off（無効）、運転中モード／ヘッドセットモード：On（有効）

メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（□）➡ モード設定
モード選択➡✉（メニュー）➡「設定変更」選択➡■➡「エニーキーアンサー」選択➡■➡「On」（有効）／「Off」（無効）選択➡■

簡易留守録設定	マナーモード中の着信に対して簡易留守録するかどうかを設定します。

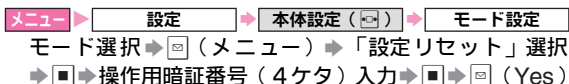
■マナーモードだけに設定できます。

お買い上げ時 On（留守録する）

メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（□）➡ モード設定
「マナーモード」選択➡✉（メニュー）➡「設定変更」選択➡■➡「簡易留守録設定」選択➡■➡「On」（留守録する）／「Off」（留守録しない）選択➡■

注意▶ ツール内の「**簡易留守録**」（☞P.2-9）を設定していても、マナーモード設定中はここでの「**簡易留守録設定**」が優先されます。

各モードの設定をお買い上げ時の状態に戻す

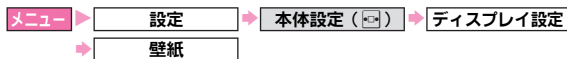
設定リセット	各モードの設定をお買い上げ時の状態に戻します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（□）➡ モード設定
モード選択➡✉（メニュー）➡「設定リセット」選択➡■➡操作用暗証番号（4ケタ）入力➡■➡✉（Yes）

ディスプレイ設定

ディスプレイ表示を設定する

壁紙	お好みの画像を待受画面の壁紙として設定します。

お買い上げ時ドルフィン

メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（□）➡ ディスプレイ設定 ➡ 壁紙

固定データを利用する

「固定データ」選択➡■➡画像選択➡■

データフォルダ内のデータを利用する

「ピクチャー」／「デジタルカメラ」／「その他ファイル」選択➡■➡画像選択➡■➡■

■ディスプレイサイズ以外の画像選択時：「センタリング（等倍）」／「全画面表示」／「画像全体表示」選択➡■➡■

壁紙を解除する

「Off」選択➡■

カスタムスクリーン設定時に壁紙を設定すると

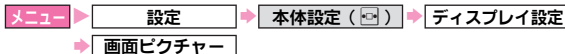
■設定した内容が優先されます。（カスタムスクリーンは解除されません。）
壁紙をカスタムスクリーンに戻すときは、「固定データ」などの選択時に次の操作を行います。
「カスタムスクリーン」選択➡■➡■

注意▶ ●画像によっては、うまく表示されなかったり、壁紙に設定できないことがあります。
●Vアプリ待受を設定していると、壁紙を設定しても表示されないことがあります。

補足▶ 壁紙を設定すると、「Off」にしているときに比べて、電池パックの利用可能時間が短くなります。

画面ピクチャー	お好みの画像を、各表示場面（電源On／電源Off時、着信時、アラーム動作時）で表示します。

お買い上げ時電源On／電源Off：固定データ、音声着信／TVコール着信／アラーム：パターン1

メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（□）➡ ディスプレイ設定 ➡ 画面ピクチャー

電源On／電源Off時の画像を設定する

「電源On」／「電源Off」選択➡■➡「固定データ」／「ピクチャー」／「その他ファイル」選択➡■

■「ピクチャー」／「その他ファイル」選択時：上記操作のあと、画像選択➡■➡■

着信時／アラーム動作時の画像を設定する

「音声着信」／「TVコール着信」／「アラーム」選択➡■➡「パターン１」～「パターン３」／「ピクチャー」／「その他ファイル」選択➡■

■「ピクチャー」／「その他ファイル」選択時：上記操作のあと、画像選択➡■➡■

●「ピクチャー」または「その他ファイル」を選ぶと、画像によっては、表示範囲指定画面が表示されます。□で表示範囲を示す枠内に画像を移動したあと、■を押してください。

カスタムスクリーン設定時に画面ピクチャーを設定すると

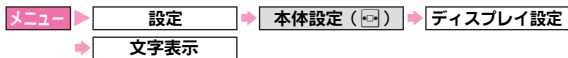
■設定した内容が優先されます。（カスタムスクリーンは解除されません。）
表示場面が「音声着信」、「TVコール着信」、「アラーム」の場合、画面ピクチャーをカスタムスクリーンに戻すときは、「パターン１」などの選択時に次の操作を行います。
「カスタムスクリーン」選択➡■➡■

11 設定

注意▶
- 選択しているモードに登録している着信音／ムービーによっては、画面ピクチャーの設定が無効となることがあります。
- 電話帳の着信音／ムービーまたはフォトを登録している相手から電話番号が通知されて電話がかかってきたときは、ここでの設定にかかわらず、電話帳に登録されている画像が表示されます。

文字サイズ／文字太さ設定 メニューや文字入力中、メール／ウェブ画面に表示される文字サイズ／太さを設定します。

お買い上げ時 文字サイズ：中、文字太さ設定：普通

メニュー ▶ 設定 ▶ 本体設定（■）▶ ディスプレイ設定 ▶ 文字表示

サイズを設定する

「文字サイズ」選択 ▶ ■ ▶ 項目選択 ▶ ■ ▶ 文字サイズ選択 ▶ ■

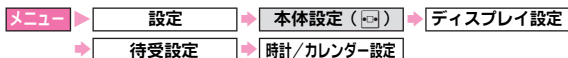
太さを設定する

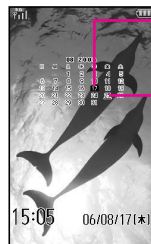
「文字太さ設定」選択 ▶ ■ ▶ 太さ選択 ▶ ■
- 文字の太さは、各画面で共通です。

補足▶ 画面によっては、ここで設定した文字サイズや文字太さにならないことがあります。

時計／カレンダー設定 待受画面での時計やカレンダーの表示形式を設定します。

お買い上げ時 時計（中）

メニュー ▶ 設定 ▶ 本体設定（■）▶ ディスプレイ設定 ▶ 待受設定 ▶ 時計／カレンダー設定

表示形式選択 ▶ ■

■カレンダーの見かた

現在の日付
- 現在の日付は、反転表示されています。

予定が登録されている日付
- 予定（☞P.13-3）が登録されている日付には、アンダーラインが表示されます。

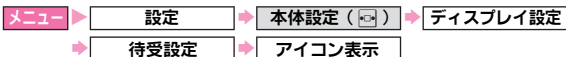
時計＋１ヵ月表示

注意▶ 壁紙を設定しているときは、壁紙の画像の上にカレンダーが表示されます。

補足▶ Vアプリ待受を設定していると、カレンダーが表示されないことがあります。

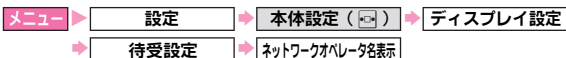
アイコン表示 待受画面上部のマーク（アイコン）やソフトキーを表示するかどうかを設定します。

お買い上げ時 ステータス行：On、ソフトキー：Off

メニュー ▶ 設定 ▶ 本体設定（■）▶ ディスプレイ設定 ▶ 待受設定 ▶ アイコン表示

「ステータス行」／「ソフトキー」選択 ▶ ■ ▶「On」／「Off」選択 ▶ ■

ネットワークオペレータ名表示 待受画面に、ご利用の通信会社の情報（「Vodafone JP」など）を表示するかどうかを設定します。

お買い上げ時 Off（表示しない）

メニュー ▶ 設定 ▶ 本体設定（■）▶ ディスプレイ設定 ▶ 待受設定 ▶ ネットワークオペレータ名表示

「On」（表示する）／「Off」（表示しない）選択 ▶ ■

電源Onメッセージ	電源を入れたときに、画面にメッセージを表示するかどうかを設定します。

お買い上げ時 Off（表示しない）

メニュー ▶ 設定 ▶ 本体設定（▣） ▶ ディスプレイ設定 ▶ 電源Onメッセージ

表示内容を設定する

「メッセージ編集」選択 ▶ ■ ▶ メッセージ入力 ▶ ■

● 最大10文字まで入力できます。

電源OnメッセージのOn／Offを設定する

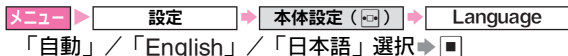
「On／Off設定」選択 ▶ ■ ▶ 「On」（表示する）／「Off」（表示しない）選択 ▶ ■

表示言語（日本語／英語）を切り替える

日本語／英語切替（Language）	画面の表示を日本語または英語に設定します。

お買い上げ時 自動

メニュー ▶ 設定 ▶ 本体設定（▣） ▶ Language

「自動」／「English」／「日本語」選択 ▶ ■

●「**自動**」にすると、取り付けているUSIMカードの言語情報に従って表示が切り替わります。

カスタムスクリーンを利用する

905SHの各画面表示や着信音を、キャラクターなどの統一イメージに一括して変更することができます。

● あらかじめ登録されているカスタムスクリーン（固定データ）を利用したり、ウェブからカスタムスクリーンをダウンロードして利用することができます。
● あらかじめ登録されているカスタムスクリーン（固定データ）は、905SHでカスタムスクリーンを設定するだけで利用できます。（固定データには、「Luminous」「Vertical」「Simple」があります。）
● 905SHのデータフォルダのカスタムスクリーンフォルダには、カスタムスクリーンカタログ「**カスタモご紹介**」（「▤」表示）が数種類保存されています。
  ■ カスタムスクリーンカタログは、905SHで利用できるキャラクターなどを紹介するデータです。
  カスタムスクリーンには設定できません。
● お買い上げ時には、「Luminous」に設定されています。

カスタムスクリーンをダウンロードする

カスタムスクリーンは、905SHのデータフォルダのカスタムスクリーンフォルダからダウンロードします。

- カスタムスクリーンには、有料のものがあります。
- 有料のカスタムスクリーンは、カスタムスクリーンキーを購入（ダウンロード）することで、利用できるようになります。（☞右記）
- カスタムスクリーンおよびカスタムスクリーンキーのダウンロードはウェブを利用します。電波状態のよい所で操作してください。
- パソコンを使ってインターネット「**カスタモ**」（http://www.custamo.com/）からダウンロードすることもできます。

注意▶ ご利用にあたっては、カスタムスクリーンの提供サイトの情報（カスタムスクリーンの料金などの詳細）を必ずご確認ください。

メニュー ▶ データフォルダ ➡ カスタムスクリーン

1 「ダウンロード」を選び、■を押す。

ウェブに接続され、カスタムスクリーン提供サイトの画面が表示されます。

■ カスタムスクリーンカタログを利用してダウンロードする：カスタムスクリーンカタログ（「▤」表示）選択➡■➡■➡✉（Yes）

2 カスタムスクリーンの提供サイトから、カスタムスクリーンをダウンロードする。

- 必ず、提供サイトの情報をご確認ください。
- パソコンでダウンロードしたときは、メモリカードの次のフォルダに保存してください。また、ファイル名などは変更しないでください。
  - ■PRIVATE/VODAFONE/My Items/Themes

■カスタムスクリーンキーを購入する

メニュー ▶ データフォルダ

1 「カスタムスクリーン」を選び、■を押す。

利用できるカスタムスクリーンが表示されます。

- 有料のカスタムスクリーンには、カスタムスクリーンキーの有無により、次のマークが表示されます。

キーあり	🔑	キーなし	🔑̸

- 設定中のカスタムスクリーンには「🔒」が表示されます。

■ 905SH／メモリカードの切替：✉（**メニュー**）➡「**本体へ切替**」／「**メモリカードへ切替**」選択➡■

2 カスタムスクリーンキーをダウンロードするカスタムスクリーンを選び、✉（メニュー）を押す。

- 「🔑̸」が表示されているカスタムスクリーンを選んでください。

3 「コンテンツ・キー取得」を選び、■を押す。

4 ✉（取得）を押す。

ウェブに接続され、カスタムスクリーンキーダウンロードの画面が表示されます。

- カスタムスクリーンキーダウンロードの画面では、次の内容などが確認できます。
  - ■カスタムスクリーンキーの料金
  - ■お支払方法
  - ■利用規約
  - ■カスタムスクリーンキーに関するお問い合わせ先

■ 操作の中止：⊙（**キャンセル**）

5 利用規約などの内容を十分確認したうえで、画面の内容に従い、カスタムスクリーンキーをダウンロードする。

6 **ダウンロード完了後、✉（OK）を押す。**

データフォルダのカスタムスクリーンフォルダ画面に戻ります。

カスタムスクリーンの削除	カスタムスクリーンとカスタムスクリーンキーを削除します。

メニュー ▶ データフォルダ ➡ カスタムスクリーン

カスタムスクリーン選択➡✉（メニュー）➡「削除」選択➡■➡✉（Yes）

■ カスタムスクリーンキーも同時に削除：上記操作のあと✉（Yes）

■ カスタムスクリーンキー削除の中止（カスタムスクリーンだけを削除）：上記操作のあと⊙（No）

- カスタムスクリーンキーだけを削除することはできません。
- あらかじめ登録されているカスタムスクリーンカタログも消去できます。

Webアクセス	カスタムスクリーン提供元のサイトに接続します。

メニュー ▶ データフォルダ ➡ カスタムスクリーン

カスタムスクリーン選択➡✉（メニュー）➡「Webアクセス」選択➡■

カスタムスクリーンを設定する

- カスタムスクリーンによっては、設定完了までに時間がかかることがあります。設定中は☏を押しても中止できません。

■あらかじめ登録されているカスタムスクリーンを設定する

メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（•□•）➡ カスタムスクリーン ➡ 固定データ

1 **「Luminous」、「Vertical」、「Simple」のいずれかを選び、■を押す。**

■データフォルダ内のカスタムスクリーンを設定する

メニュー ▶ データフォルダ

1 **「カスタムスクリーン」を選び、■を押す。**

利用できるカスタムスクリーンが表示されます。
（マークの意味：☞P.11-6）

■ 905SH／メモリカードの切替：✉（メニュー）➡「本体へ切替」／「メモリカードへ切替」選択➡■

2 **設定するカスタムスクリーンを選び、■を押す。**

- 「✗」が表示されていないカスタムスクリーンを選んでください。
- カスタムスクリーンを選び✉（メニュー）を押すと、カスタムスクリーンの詳細情報確認、ファイル名変更、コピー／移動が行えます。（☞P.10-6、P.10-9、P.10-10）

3 **■を押す。**

カスタムスクリーンが設定されたあと、データフォルダのカスタムスクリーンフォルダ画面に戻ります。

注意▶

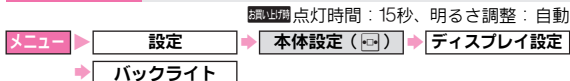
- カスタムスクリーンによっては、壁紙、画面ピクチャー（音声着信／TVコール着信／アラーム）、着信音（音声着信／TVコール着信／メール着信）などのデータが準備されていないことがあります。このときは、お買い上げ時の設定になります。
- 電池残量が不足しているときやファイルの内容によっては、カスタムスクリーンが設定できないことがあります。

補足▶ メモリカード内のカスタムスクリーンを設定したあと、メモリカードを取り外したり、他のメモリカードを取り付けても、カスタムスクリーンは解除されません。

ディスプレイ／ボタンの照明を設定する

バックライト 照明の点灯時間（自動的に消えるまでの時間）の設定や、ディスプレイ照明の明るさを調整します。

お買い上げ時 点灯時間：15秒、明るさ調整：自動

メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（▣）➡ ディスプレイ設定 ➡ バックライト

ディスプレイ／ボタン照明の点灯時間を設定する

「点灯時間」選択➡■➡時間選択➡■

■ 点灯しないようにする：「Off」選択➡■

ディスプレイ照明の明るさを調整する

「明るさ調整」選択➡■➡▣（明るさ選択）➡■

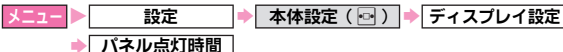
注意▶

- 「自動」にすると、調光センサー（☞P.1-7⑩）が周りの明るさを検知し、自動的に画面の明るさを調整します。905SHを開いた直後や、急に明るさの異なる場所に移動したときなどは、調整に時間がかかることがあります。なお、明るさを検知できないことがありますので、調光センサー部分には、シールなどを貼らないでください。
- Vアプリのバックライト On／Off 設定（☞P.17-8）を「**通常設定に従う**」にしているときは、「**自動**」にしても画面の明るさは調整されず、Vアプリのバックライトは「**明るさ：3**」の明るさになります。

補足▶ ボタン照明の明るさは調整できません。

パネル点灯時間 ディスプレイ表示の点灯時間（自動的に消えるまでの時間）を設定します。

お買い上げ時 2分

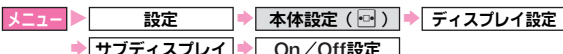
メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（▣）➡ ディスプレイ設定 ➡ パネル点灯時間

時間選択➡■

補足▶ 通話中は、バックライト点灯時間、パネル点灯時間の設定に従って、ディスプレイの照明や表示が自動的に消えます。照明や表示を復帰するときは、▣以外のボタンを押します。（▣を押すと通話が終了しますので、ご注意ください。）

サブディスプレイを設定する

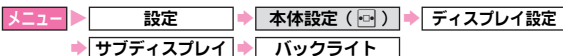
On／Off設定 サブディスプレイを表示するかどうかを設定します。

お買い上げ時 On（表示する）

メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（▣）➡ ディスプレイ設定 ➡ サブディスプレイ ➡ On／Off設定

「On」（表示する）／「Off」（表示しない）選択➡■

バックライト サブディスプレイ照明の点灯時間（自動的に消えるまでの時間）を設定します。

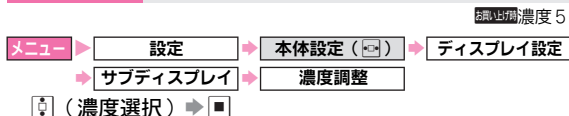
お買い上げ時 15秒

メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（▣）➡ ディスプレイ設定 ➡ サブディスプレイ ➡ バックライト

時間選択➡■

■ 点灯しないようにする：「Off」選択➡■

濃度調整	サブディスプレイの液晶濃度を調整します。

お買い上げ時濃度5

メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（▣）➡ ディスプレイ設定
➡ サブディスプレイ ➡ 濃度調整
▣（濃度選択）➡■

着信相手表示	着信時に相手の電話番号（名前）を表示するかどうかを設定します。

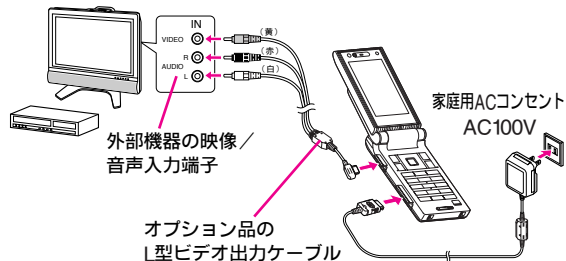
お買い上げ時On（表示する）

メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（▣）➡ ディスプレイ設定
➡ サブディスプレイ ➡ 着信相手表示
「On」（表示する）／「Off」（表示しない）選択➡■

外部出力を利用する

テレビやビデオなど他の機器（以降「**外部機器**」と記載）と905SHを接続し、外部機器に905SHの画面を出力できます。

- 905SHと外部機器は、オプション品のL型ビデオ出力ケーブルで接続します。
- 外部出力できる画面は次のとおりです。ただし、画像や音声によっては、外部出力できないものがあります。
  - ■Vアプリ　■画像ビューア
  - ■ビデオプレイヤー　■TVコール
- 905SHに取り付けたメモリカード内のデータも、外部出力できます。
- 外部出力に対応したVアプリも、外部出力できます。
- ビデオプレイヤーやVアプリ、TVコールを外部出力しているときは、905SHの画面では表示されません。
- テレビ映像は、外部出力できません。
- クローズポジションでは、外部出力できません。

外部機器と接続する

接続時のご注意

外部機器と接続するときやプラグを抜くときは、次の点にご注意ください。

- 接続するときやプラグを抜くときは、外部機器側の電源をいったん切ってください。
- L型ビデオ出力ケーブルは外部機器側のビデオ入力端子に接続してください。誤ってビデオ出力端子など他の端子に接続すると、故障の原因となります。また、L型ビデオ出力ケーブルは905SH以外へは接続しないでください。
- L型ビデオ出力ケーブルのプラグは、ゆっくりと確実に差し込んでください。また、抜くときは、プラグを持ってゆっくり抜いてください。
- L型ビデオ出力ケーブルを強くひっぱったり、プラグ付近をねじったり、無理な力を加えないでください。
  905SHのVIDEO OUT端子やL型ビデオ出力ケーブルが破損する恐れがあります。

外部出力を利用する

- あらかじめ、905SHと外部機器を接続しておいてください。
- 外部出力利用中の音量調節は、905SHと接続した外部機器側で行ってください。(TVコールを除く)
  また、905SHを抜く前に外部機器の音量が大きくなりすぎていないことをご確認のうえ、外部機器の電源を切ってください。
- お買い上げ時には、「Off」に設定されています。

メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定( ) ➡ ディスプレイ設定 ➡ 外部出力 ➡ On／Off設定

1 「On」を選び、■を押す。

外部機器への出力をしない:「Off」選択➡■

2 905SHで、外部出力可能な画面を表示する。

外部出力が始まります。

- Vアプリや動画、TVコールを外部出力しているときは、 を押すと外部機器での表示と905SHでの表示を切り替えることができます。
  - ■動画のときは、切り替えるたびに最初から再生されます。
  - ■Vアプリの場合、外部機器での表示から905SHでの表示に切り替えるときは、 を2回押します。
- 外部出力中に905SHをクローズポジションにしたり、パネル点灯時間の設定時間が経過して画面が自動的に消えたときは、外部出力は停止します。
- 外部出力を終了するときは、次の操作を行います。
  - ■ を押す(TVコールのときは、通話も終了)
  - ■動画のときは、CLEAR/BACKを押しても外部出力を終了できます。

表示サイズを切り替える

■外部出力のOn／Off設定を「On」にしたあと、次の操作を行います。

「表示サイズ」選択➡■➡「中」／「大」選択➡■

画像を回転する

■外部出力のOn／Off設定を「On」にしたあと、次の操作を行います。

「回転表示」選択➡■➡「回転なし」~「180°」選択➡■

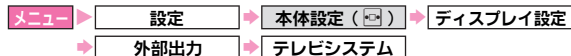
- ピクチャーフォルダの画像やVアプリ／TVコールの画面は、回転できません。

注意▶ お使いの外部機器によっては、画面にしま模様などが出たり画像が乱れることがあります。また、表示サイズを「大」にしているときは、画像の一部(上下)が表示されないことがあります。

補足▶ 外部出力すると、外部出力していないときに比べて、電池パックの利用時間が短くなります。

出力方式を設定する

- お買い上げ時には、「NTSC」に設定されています。

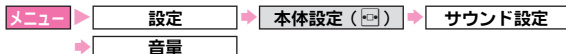
メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定( ) ➡ ディスプレイ設定 ➡ 外部出力 ➡ テレビシステム

1 「NTSC」または「PAL」を選び、■を押す。

注意▶ 日本で外部出力を利用するときは、「NTSC」にしてください。その他の地域では、その地域のテレビシステムに合わせて、出力方式を設定してください。

サウンド設定

着信時の動作を設定する

音量	着信音量やメール着信音量などを設定します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（□）➡ サウンド設定 ➡ 音量

着信の種類選択➡■➡□（音量調節）➡■

- 「音量５」が最大です。「ステップトーン」にすると、約４秒ごとに、「音量１」〜「音量５」の順に音が大きくなります。（「効果音／サウンド再生」には「ステップトーン」は設定できません。）

着信音／ムービー	着信音／ムービーを着信の種類別に設定できます。

メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（□）➡ サウンド設定 ➡ 着信音／ムービー

着信音を設定する（固定データを利用）

着信の種類選択➡■➡「着信音選択」選択➡■➡「固定データ」選択➡■➡着信音選択➡■

再生：着信音選択後□（再生）
■ 再生の停止：上記操作のあと□（停止）

着信音を設定する（着うた・メロディ／ミュージックフォルダ内のデータを利用）

着信の種類選択➡■➡「着信音選択」選択➡■➡「着うた・メロディ」／「ミュージック」選択➡■➡着信音選択➡■

再生：着信音選択後□（メニュー）➡「再生」選択➡■
■ 再生の停止：上記操作のあと□

ムービーを設定する

着信の種類選択➡■➡「ムービー選択」選択➡■➡ムービー選択➡■

再生：ムービー選択後□（メニュー）➡「再生」選択➡■
■ 再生の停止：上記操作のあと□

着信音の鳴動時間を設定する（音声着信／TVコール着信以外）

着信の種類選択➡■➡「鳴動時間」選択➡■➡着信鳴動時間入力（01〜99秒）➡■

カスタムスクリーン設定時に着信音／ムービーを設定すると

■設定した内容が優先されます。（カスタムスクリーンは解除されません。）
着信音／ムービーをカスタムスクリーンに戻すときは、「着信音選択」／「ムービー選択」選択時に次の操作を行います。
「カスタムスクリーン」選択➡■

注意 ▶
- 音声やサウンドのデータ内容などによっては、着信音に設定できないことがあります。
- テレビを録画しているときや、ウェブでファイルをダウンロードしているとき、ストリーミングしているときなどに音声着信があると、お買い上げ時の着信音が鳴ることがあります。
- 着信と連動するタイプのＶアプリをＶアプリ待受に設定しているときは、ここで設定した着信音／ムービーが動作しないことがあります。
- ３Ｍバイト以上のvideo/3gpp形式などの動画ファイルは着信音に設定できません。

バイブ	着信時のバイブレータを設定します。SMAFファイルに連動するように設定することもできます。

お買い上げ時Off

メニュー▶設定▶本体設定（）▶サウンド設定▶バイブ

On／Offを設定する

着信の種類選択▶■▶「On／Off設定」選択▶■▶「On」／「音連動」／「Off」選択▶■

●「音連動」は、着信音に設定したメロディ（SMAFファイル）にバイブレータが設定されている場合、メロディ内のバイブレータ設定に従って動作させるときに選びます。バイブレータが設定されていないメロディ（SMAFファイル）には無効となります。

バイブパターンを設定する

着信の種類選択▶■▶「バイブパターン」選択▶■▶「パターン1」～「パターン5」選択▶■

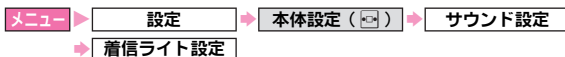
バイブパターンの確認：パターン選択後（確認）

■確認の終了：上記操作のあと（停止）

注意▶ バイブレータを設定中、905SHを机の上などに置いておくと、着信があったとき振動により落下することがあります。充電するときは、落下防止のためにも「Off」にすることをおすすめします。

着信ライト設定	着信時にモバイルライトを点滅させるかどうかを設定します。

お買い上げ時On（点滅させる）／ブルー

メニュー▶設定▶本体設定（）▶サウンド設定▶着信ライト設定

On／Offを設定する

着信の種類選択▶■▶「On／Off設定」選択▶■▶「On」（点滅させる）／「音連動」／「Off」（点滅させない）選択▶■

●「音連動」は、着信音に設定したメロディ（SMAFファイル）にライトが設定されている場合、メロディ内のライト設定に従って動作させるときに選びます。ライトが設定されていないメロディ（SMAFファイル）には無効となります。

着信ライトの色を設定する

着信の種類選択▶■▶「ライト色設定」選択▶■▶色選択▶■

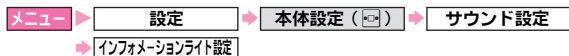
ライト色の確認：色選択後（確認）

■確認の終了：上記操作のあと（停止）

インフォメーションライト設定	不在着信時などに、モバイルライトまたはスモールライトを点滅させてお知らせするかどうかを設定します。

■インフォメーションライトは、通常モード以外では動作しません。

お買い上げ時 On（モバイルライト：点滅させる）／ブルー

メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（□）➡ サウンド設定 ➡ インフォメーションライト設定

On／Offを設定する

インフォメーションの種類選択 ➡ ■ ➡「On／Off設定」選択 ➡ ■ ➡「On（モバイルライト：点滅させる）」／「On（スモールライト：点滅させる）」／「Off」（点滅させない）選択 ➡ ■

モバイルライトの色を設定する

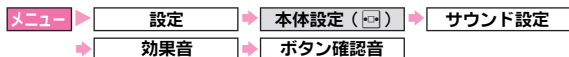
インフォメーションの種類選択 ➡ ■ ➡「モバイルライト色設定」選択 ➡ ■ ➡ 色選択 ➡ ■

ライト色の確認：色選択後 ✉（確認）
■ 確認の終了：上記操作のあと ✉（停止）

各種効果音を設定する

ボタン確認音	ボタンを押したときの音を設定します。

お買い上げ時 プッシュトーン

メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（□）➡ サウンド設定 ➡ 効果音 ➡ ボタン確認音

プッシュトーンに設定する

「プッシュトーン」選択 ➡ ■

パターンに設定する

「パターン１」／「パターン２」／「パターン３」選択 ➡ ■

パターンの確認：パターン選択後 ✉（再生）
■ 確認の終了：上記操作のあと ✉（停止）

音を消す

「Off」選択 ➡ ■

エラー音／電源On音／電源Off音	エラー時や電源On／Off時の音と鳴動時間を設定します。

お買い上げ時 エラー音：エラー１／鳴動時間0.5秒、電源On音／電源Off音：オープニング&エンディング１／鳴動時間３秒

メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（□）➡ サウンド設定 ➡ 効果音

エラー音／電源On音／電源Off音を設定する（固定データを利用）

音の種類選択 ➡ ■ ➡「音選択」選択 ➡ ■ ➡「固定データ」選択 ➡ ■ ➡ 音選択 ➡ ■

再生：音選択後 ✉（再生）
■ 停止：上記操作のあと ✉（停止）

エラー音／電源On音／電源Off音を設定する（着うた・メロディ内のデータを利用）

音の種類選択 ➡ ■ ➡「音選択」選択 ➡ ■ ➡「着うた・メロディ」選択 ➡ ■ ➡ 音選択 ➡ ■

再生：音選択後 ✉（メニュー）➡「再生」選択 ➡ ■
■ 停止：上記操作のあと CLEAR/BACK

鳴動時間を設定する

音の種類選択 ➡ ■ ➡「鳴動時間」選択 ➡ ■ ➡ 時間選択／時間入力 ➡ ■

音を消す

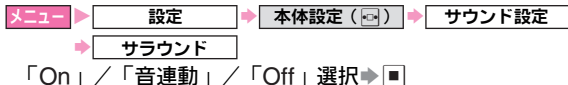
音の種類選択 ➡ ■ ➡「音選択」選択 ➡ ■ ➡「Off」選択 ➡ ■

その他の音を設定する

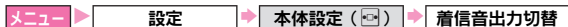
サラウンド　スピーカーのサラウンド効果（奥行き感）を出すかどうかを設定します。

お買い上げ時 On

メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（◎）➡ サウンド設定 ➡ サラウンド

「On」／「音連動」／「Off」選択 ➡ ■

着信音出力切替　TVアンテナ付きステレオイヤホンマイクなどの接続時に、着信音を鳴らす場所を設定します。

お買い上げ時 イヤホン＋スピーカー

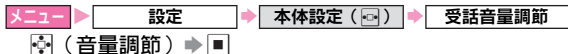
メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（◎）➡ 着信音出力切替

「イヤホンのみ」／「イヤホン＋スピーカー」選択 ➡ ■

- イヤホンマイク端子にTVアンテナ付きステレオイヤホンマイクなどが差し込まれていないときは、「**イヤホンのみ**」にしていても、スピーカーから着信音が鳴ります。

受話音量調節　通話開始時の受話音量を設定します。

お買い上げ時 音量3

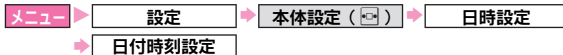
メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（◎）➡ 受話音量調節

◎（音量調節）➡ ■

日時設定

- 下記の項目は、それぞれのページを参照してください。

世界時計	☞P.13-15	アラーム	☞P.13-11

日付時刻設定　905SHの日付／時刻を設定します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（◎）➡ 日時設定 ➡ 日付時刻設定

時刻フォーマットが「24時間」のとき

西暦入力（4ケタ）➡ 月入力（2ケタ）➡ 日入力（2ケタ）➡ 時入力（2ケタ）➡ 分入力（2ケタ）➡ ■

時刻フォーマットが「12時間」のとき

西暦入力（4ケタ）➡ 月入力（2ケタ）➡ 日入力（2ケタ）➡ 時入力（2ケタ）➡ 分入力（2ケタ）➡ ◎（am／pm選択）➡ ■

注意
- 日付フォーマット（☞P.11-15）の設定内容によっては、入力する項目の順番が変わります。画面の指示に従って入力してください。
- 設定した時刻は、電池パックを交換するときにも保持されますが、約5日程度電池パックを外しているか、空の状態で放置していると、記憶が消えることがあります。そのときは、日付／時刻を再設定してください。

補足
- 曜日は自動的に設定されます。
- 日付／時刻を設定していないとき、着信履歴や発信履歴などの日時は「--/--/-- --:--」と表示されます。
- ボタンを押し間違えたときは、◎でカーソルを移動したあと、正しい数字を入力してください。
- 待受画面に表示される時計の表示方法を設定したり、カレンダーを表示することもできます。（☞P.11-4）

タイムゾーン／サマータイム設定　お使いの地域（タイムゾーン）を設定します。また、サマータイムも設定できます。

お買い上げ時 タイムゾーン：東京、サマータイム：Off

メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（■）➡ 日時設定

地域（都市）を設定する

「タイムゾーン設定」選択➡■➡■（地域選択）➡■

■ お使いの地域が登録されていないとき：■（オリジナル）➡都市名入力（最大16文字）➡■➡■（＋／－）➡■➡時差入力➡■

サマータイムを設定する

「サマータイム設定」選択➡■➡「On」選択➡■

■ サマータイム設定の解除：「サマータイム設定」選択➡■➡「Off」選択➡■

- サマータイムを設定すると、設定した都市の時刻が、1時間進んだ状態で表示されます。

日付／時刻フォーマット　時刻の時間制（24時間制／12時間制）や日付の表示形式を設定します。

お買い上げ時 時刻フォーマット：24時間、日付フォーマット：年／月／日

メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（■）➡ 日時設定

時刻フォーマットを設定する

「時刻フォーマット」選択➡■➡「24時間」／「12時間」選択➡■

日付フォーマットを設定する

「日付フォーマット」選択➡■➡「日.月.年」／「月-日-年」／「年／月／日」選択➡■

カレンダーフォーマット　一週間の始まりを日曜日にするか、月曜日にするかを設定します。

お買い上げ時 日曜日-土曜日

メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（■）➡ 日時設定 ➡ カレンダーフォーマット

「日曜日-土曜日」／「月曜日-日曜日」選択➡■

アラーム電源On設定　電源を切った状態でアラーム時刻になったとき、自動的に電源を入れ、アラームが鳴るようにします。

お買い上げ時 Off

メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（■）➡ 日時設定 ➡ アラーム電源On設定

「On」選択➡■

■ アラーム電源On設定の解除：「Off」選択➡■

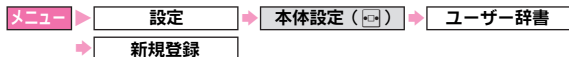
ユーザー辞書

よく使う言葉を登録する

よく使う言葉（単語）に読みを付けて、登録できます。
登録した単語は、読みを入力して漢字変換すると、変換候補に表示され入力できます。

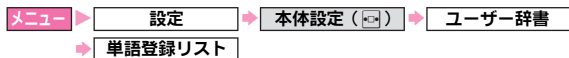
- ユーザー辞書は、最大100件まで登録できます。
- 同じ読みは５件まで登録できます。

ユーザー辞書の新規登録 新しくユーザー辞書を登録します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（◙）➡ ユーザー辞書 ➡ 新規登録

単語入力➡■➡読み入力➡■

- 単語は最大15文字まで、読みはひらがなで最大８文字まで入力できます。

ユーザー辞書の修正／消去 登録したユーザー辞書を修正／消去します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（◙）➡ ユーザー辞書 ➡ 単語登録リスト

ユーザー辞書を修正する

単語選択➡■➡単語修正➡■➡読み修正➡■➡✉（Yes）

ユーザー辞書を消去する

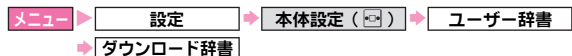
単語選択➡✉（消去）➡✉（Yes）

ダウンロードした辞書を設定する

ウェブなどでダウンロードした日本語変換用の辞書（５件まで）を使用します。
専門用語などの辞書をダウンロードして使用すると、その辞書に登録されている用語が変換候補に表示されるようになります。

- 辞書ファイルの入手方法などについては、ブックマークにあらかじめ登録されているシャープオリジナルサイト「Sharp Space Town」（☞P.16-7）でご案内しています。

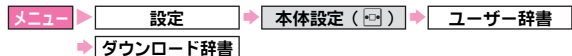
ダウンロード辞書設定 ダウンロードした辞書を使用します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（◙）➡ ユーザー辞書 ➡ ダウンロード辞書

番号選択➡■➡ダウンロード辞書選択➡■

- ダウンロード辞書が設定済の番号への登録：■➡ 設定するダウンロード辞書選択➡■

注意 ▶ 辞書データによっては、登録できないことがあります。

ダウンロード辞書解除 設定したダウンロード辞書を解除します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（◙）➡ ユーザー辞書 ➡ ダウンロード辞書

設定済の番号選択➡✉（メニュー）➡「設定解除」選択➡■

ダウンロード辞書情報 ダウンロード辞書の詳細情報を確認します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（◙）➡ ユーザー辞書 ➡ ダウンロード辞書

設定済の番号選択➡✉（メニュー）➡「詳細」選択➡■

- 確認の終了：上記操作のあと■

セキュリティ設定

顔認証を利用する

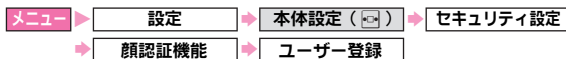
905SHの電源を入れたとき、待受画面でクローズポジションからオープンポジションにしたときや、画面が自動的に消えた状態（パネルセーブ）から復帰したときなどに、あらかじめ登録していたお客様の顔画像との照合を行い認証に成功しないと、905SHを使用できないようにします。

- 顔認証は、あらかじめ登録した顔画像と認証時のお客様の画像を照合し、認証を行います。顔画像の撮影時や認証時には、次のことにご注意ください。
  - ■ **目、口、鼻、眉などの顔の特徴がはっきりと見えるようにしてください。**
    目などに髪がかかっていたり、レンズに色の付いているメガネやマスクをかけている、帽子をかぶっているときは、正しく登録／認証できないことがあります。
  - ■ **顔が均一に明るく見える場所で操作してください。**
    暗い場所や逆光の場所、強い光があたる場所では、正しく登録／認証できないことがあります。

注意▶
- 顔認証機能は完全に本人認証を保証するものではありません。当社では本製品を第三者に使用されたこと、または顔認証の誤認証により使用できなかったことによって生じるいかなる損害に関しても、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 顔認証の設定操作や誤認証時の解除操作などには、操作用暗証番号を使用します。よりセキュリティを向上させるため、操作用暗証番号も合わせて変更することをおすすめします。（☞P.11-22）
- 顔認証を設定しても、ボーダフォンライブ! FeliCa は使用できます。ご注意ください。

ユーザー登録を行う

お客様の顔画像や名前、顔認証失敗時に本人確認を行うための質問と答えを登録します。

- ユーザーは5件（1件あたり5画像）まで登録できます。
- 本人認証のための質問と答えを登録しなかったときは、操作用暗証番号を入力して認証を行います。

1. **操作用暗証番号（4ケタ）を入力し、■を押す。**
2. **「ユーザー1」～「ユーザー5」のいずれかを選び、✉（メニュー）を押す。**
3. **「新規登録」を選び、■を押す。**
   - ユーザー情報の編集：「**ユーザー編集**」選択➡■
   - ユーザー情報の削除：「**ユーザー削除**」選択➡■➡✉（Yes）
4. **「名前：」を選び、■を押す。**
5. **名前を入力し、■を押す。**
6. **「質問登録：」を選び、■を押す。**
7. **質問を入力し、■を押す。**
8. **「答え登録：」を選び、■を押す。**
9. **答えを入力し、■を押す。**
   - このあと、顔画像を撮影して登録します。（☞P.11-18）
10. **ユーザーを登録するときは、◎（保存）を押す。**

■顔画像を登録する

1件のユーザーには5つの顔画像が登録できます。顔認証を行う場所（自宅／会社／自動車内／駅など）や状態（顔の方向／メガネなどの装着物の有無／明るさなど）を変えて、複数の顔画像を登録しておくことをおすすめします。

- 複数の画像を登録すると、認証率は高くなりますが、セキュリティレベルは低くなります。
- 複数のユーザーに、同じ人の顔画像を登録することもできます。画像数が増えれば、認証率が高くなる可能性があります。
- 正面を向き、無表情で顔全体が画面に入るようにしてください。顔が小さいと顔認証画像が登録できないことがあります。また、顔を動かさないようにしてください。
- 以下の操作は、P.11-17操作9のあとのユーザー登録画面で行います。

1 「顔画像」を選び、■を押す。

2 「顔画像1」～「顔画像5」のいずれかを選び、✉（撮影）を押す。

■顔画像の編集時：上記操作のあと✉（Yes）

■顔画像の削除：顔画像選択➡O（削除）➡✉（Yes）

■削除後に顔画像が1つも登録されていない状態になると、顔認証On／Off設定が解除されます。

3 顔をディスプレイに表示し、■を押す。

- 撮影が完了するまで、若干時間がかかります。そのままで、お待ちください。
- 登録できないときは、メッセージが表示されます。撮影条件を変えるなどして、操作2からやり直してください。

4 ✉（Yes）を押す。

顔画像が登録されます。

- 続けて別の顔画像を登録するときは、操作2～4をくり返します。
- ユーザー登録を完了するときは、CLEAR/BACKを押したあと、P.11-17操作10へ進みます。

注意▶ マスクモード（☞P.11-19）を利用するときでも、顔画像の撮影時にマスクはかけないようにしてください。

顔認証のOn／Offを設定する

- あらかじめユーザー登録を行ってください。
- お買い上げ時には、「Off」に設定されています。

メニュー▶ 設定 ➡ 本体設定（◘）➡ セキュリティ設定 ➡ 顔認証機能 ➡ On／Off設定

1 「On」または「Off」を選び、■を押す。

2 操作用暗証番号（4ケタ）を入力し、■を押す。

補足▶ 顔認証On／Off設定を「On」にすると、905SHの電源を入れたときや、待受画面でクローズポジションにしたときなど、画面が自動的に消えたときに、ダイヤル禁止（セキュリティロック）状態になります。

顔認証を行う

905SHの電源を入れたとき、待受画面でクローズポジションからオープンポジションにしたときや、画面が自動的に消えた状態（パネルセーブ）から復帰したときなどは、顔認証が行われます。

- 顔認証には、インカメラからの画像が使用されます。カメラが汚れていると誤認証の原因となります。やわらかい布で汚れをふき取ってからご使用ください。
- 他機能の利用中などは、すぐに顔認証が行われないこともあります。このときは、利用中の機能を終了し、待受画面に戻ると、顔認証が行われます。

1 顔をディスプレイに向ける。

- 顔認証ガイド設定（☞P.11-19）を「**認証パンダ君**」にしているときは、顔認証のアドバイスが表示されます。
- 顔が正しく認証されると、905SHが使用できるようになります。

顔が正しく認証されなかったとき

■「**顔認証 ダイヤル操作禁止中です**」と表示された状態でセキュリティロックがかかります。このときは、次の操作を行うと、セキュリティロックを解除できます。

■➡操作用暗証番号（４ケタ）入力➡■

- ●（**再認証**）を押すと、再度顔認証を行うことができます。

■あらかじめ登録した質問が表示されたときは、■を押したあと、正しい答えを入力し■を押すと、セキュリティロックは解除されます。

- 答えを間違えたときは、メッセージが表示されます。このときは、■を押したあと答えを入力し直してください。答えがわからないときは、次の操作を行うと、905SHが使用できるようになります。

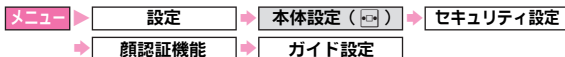
➡■➡操作用暗証番号（４ケタ）入力➡■

補足▶ あらかじめ、セキュリティレベル（☞右記）を「**マスク**」にしておくと、顔認証時にマスクをかけていても認証できるようになります。ただし、セキュリティレベルは通常よりも低くなりますので、ご注意ください。

顔認証関連の設定を行う

ガイド設定 顔認証時にアドバイスや撮影中の画像を表示するかどうかを設定します。

お買い上げ時Off

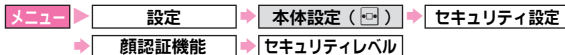
メニュー▶設定➡本体設定（）➡セキュリティ設定➡顔認証機能➡ガイド設定

「**Off**」／「**認証パンダ君**」／「**プレビュー**」選択➡■

- 設定できる内容は、次のとおりです。

Off	顔認証時には「**しばらくお待ちください**」と表示されます。
認証パンダ君	顔認証時にパンダが操作方法をアドバイスします。
プレビュー	顔認証時にお客様の顔（撮影中の画像）が表示されます。

セキュリティレベル 顔認証のセキュリティレベル（顔の認証精度）を設定します。

お買い上げ時中

メニュー▶設定➡本体設定（）➡セキュリティ設定➡顔認証機能➡セキュリティレベル

「**高**」／「**中**」／「**低**」／「**マスク**」選択➡■

- 設定できる内容は、次のとおりです。

高	他人を誤って認証する可能性の低い設定です。ただし、お客様も認証されにくくなる可能性があります。
中	「**高**」と「**低**」の中間の設定です。
低	お客様が最も認証されやすい設定です。ただし、他人を誤って認証する可能性も高くなります。
マスク	マスクをかけていても認証が可能な設定です。 セキュリティレベルは「**低**」と同等です。

PINコードを設定する

●PINコードについて詳しくは、P.1-6を参照してください。

PIN On／Off設定 USIMカードを取り付けたときや電源を入れたとき、PIN1コードを入力して照合を行うかどうかを設定します。

お買い上げ時 Off（照合しない）

メニュー ➡ 設定 ➡ 本体設定（ ）➡ セキュリティ設定 ➡ PIN認証 ➡ PIN On／Off設定

「On」（照合する）／「Off」（照合しない）選択➡■➡PIN1コード入力➡■

PINロックを解除する

■PIN1コードまたはPIN2コードの入力を3回続けて間違えると、PIN1ロック／PIN2ロックが設定され、905SHの使用が制限されます。PIN1ロック／PIN2ロックを解除するときは、次の操作を行います。

PIN1／PIN2の入力が必要な機能選択➡PINロック解除コード（PUKコード）入力➡■➡新しいPIN1コード／PIN2コード入力（4～8ケタ）➡■➡もう一度新しいPIN1コード／PIN2コード入力（4～8ケタ）➡■

- PIN1ロックまたはPIN2ロック解除コード（PUKコード）については、お問い合わせ先（☞P.21-26）までご連絡ください。
- PINロック解除コードの入力を10回続けて間違えると、USIMカードがロックされます。（途中で電源を切っても連続として数えます。）
- USIMカードがロックされたときは、所定の手続きが必要となります。お問い合わせ先（☞P.21-26）までご連絡ください。

PINコード変更 PIN1コードまたはPIN2コードを変更します。

■PIN1コードを変更するときは、あらかじめ「PIN On／Off設定」を「On」にしておいてください。

メニュー ➡ 設定 ➡ 本体設定（ ）➡ セキュリティ設定

PIN1コードを変更する

「PIN認証」選択➡■➡「PIN変更」選択➡■➡現在のPIN1コード入力➡■➡新しいPIN1コード入力➡■➡もう一度新しいPIN1コード入力➡■

PIN2コードを変更する

「PIN2変更」選択➡■➡現在のPIN2コード入力➡■➡新しいPIN2コード入力➡■➡もう一度新しいPIN2コード入力➡■

905SHの操作を禁止する

簡易ロック 電源を入れたとき、操作用暗証番号を入力しないと、905SHを使用できないようにします。

お買い上げ時 Off

メニュー ➡ 設定 ➡ 本体設定（ ）➡ セキュリティ設定 ➡ 簡易ロック

「On」選択➡■➡操作用暗証番号（4ケタ）入力➡■

■ 簡易ロックの解除：「Off」選択➡■➡操作用暗証番号（4ケタ）入力➡■

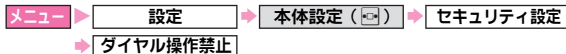
●「On」にしたときは、電源を切り、再度電源を入れると、簡易ロックが動作するようになります。

注意▶ 簡易ロック設定中の「110」などの緊急電話発信については、P.2-3を参照してください。

11 設定

ダイヤル操作禁止 操作用暗証番号を入力しないと、905SHを操作できないようにします。

お買い上げ時 Off

メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（□）➡ セキュリティ設定 ➡ ダイヤル操作禁止

操作用暗証番号（4ケタ）入力➡■

■ダイヤル操作禁止の解除：待受中／通話中に操作用暗証番号（4ケタ）入力➡■

● 電源を切ってもダイヤル操作禁止は解除されません。

ダイヤル操作禁止設定中にできること

■待受中

● 長押し（2秒以上：電源のOn／Off）、■長押し（誤動作防止の設定／解除）、0～9／CLEAR/BACK（操作用暗証番号入力／入力中の消去）

■通話中

● （終話）、／■（メニュー表示、TVコール中：画面切替）、（マイクミュートOn／Off切替）、（オプションサービスの割込通話サービス利用時の通話切替）、0～9／CLEAR/BACK（操作用暗証番号入力／入力中の消去）

■着信中

● ／（メニュー表示）／エニーキーアンサーの各ボタン（☞P.2-6）で電話に出る（エニーキーアンサー「On」設定時）、（着信拒否）、（着信中の着信手動転送：通話中転送「On」設定時）

注意▶ ダイヤル操作禁止設定中の「110」などの緊急電話発信については、P.2-3を参照してください。

電話帳使用禁止 電話帳を誤って削除したり、他人が使用できないようにします。

お買い上げ時 Off

メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（□）➡ セキュリティ設定 ➡ 電話帳使用禁止

「On」選択➡■➡操作用暗証番号（4ケタ）入力➡■

■電話帳使用禁止の解除：「Off」選択➡■➡操作用暗証番号（4ケタ）入力➡■

注意▶ 電話帳使用禁止設定中は、次の機能は利用できません。
■電話帳の検索、登録、修正、発信［スピードダイヤルでの発信（☞P.4-14）も含む］

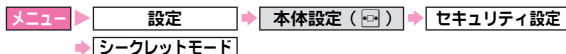
シークレットデータを利用する

電話帳やスケジュールなどのシークレットデータは、シークレットモードでだけ確認や修正などが行えます。

シークレットモード シークレットモードを設定／解除します。

お買い上げ時 表示しない

メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（□）➡ セキュリティ設定 ➡ シークレットモード

「表示する」選択➡■➡操作用暗証番号（4ケタ）入力➡■

■シークレットモードの解除：「表示しない」選択➡■

注意▶ 操作用暗証番号を知らない人でも偶然番号が合い、シークレットデータを見られることも考えられます。重大な秘密などの記録用としてではなく、便利な機能としてお使いになることをおすすめします。

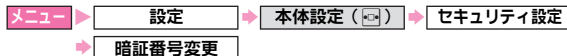
シークレットモードを解除すると

■電話帳のシークレットデータに登録されている相手から電話がかかってきたり、メールが送られてきても、相手の名前やフォト設定されている画像は表示されません。
（着信音／ムービーの設定も無効となります。）
また、発信履歴や着信履歴、受信メールボックスの画面でも表示されません。

操作用暗証番号を変更する

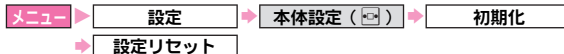
暗証番号変更 現在使用している操作用暗証番号を、新しい操作用暗証番号に変更します。

お買い上げ時 9999

メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（ ） ➡ セキュリティ設定 ➡ 暗証番号変更

現在の操作用暗証番号（４ケタ）入力➡■➡新しい操作用暗証番号（４ケタ）入力➡■➡もう一度新しい操作用暗証番号（４ケタ）入力➡■

初期化

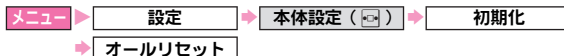
設定リセット 設定内容や登録内容をお買い上げ時の状態に戻します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（ ） ➡ 初期化 ➡ 設定リセット

操作用暗証番号（４ケタ）入力➡■➡ （Yes）➡ （Yes）

- 電話帳などの登録内容は消去されません。
- 次のときは、操作用暗証番号（４ケタ）を入力する前に確認画面が表示されますので、 （Yes）を押してください。
  - ■Vアプリ起動中 ■ミュージックプレイヤー利用中
  - ■Bluetooth®利用中 ■赤外線通信利用中

注意 設定内容や登録内容によっては、お買い上げ時の状態に戻らないことがあります。

オールリセット 電話帳やデータフォルダなどの内容を消去し、お買い上げ時の状態に戻します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（ ） ➡ 初期化 ➡ オールリセット

操作用暗証番号（４ケタ）入力➡■➡ （Yes）➡ （Yes）

- 次のときは、操作用暗証番号（４ケタ）を入力する前に確認画面が表示されますので、 （Yes）を押してください。
  - ■Vアプリ起動中 ■ミュージックプレイヤー利用中
  - ■Bluetooth®利用中 ■赤外線通信利用中

注意▶

- 一度、オールリセットされた登録内容や履歴などのデータは、元に戻すことはできません。操作用暗証番号もお買い上げ時の状態に戻ります。また、お客様がダウンロードしたVアプリ、ICアプリも削除されますので、あらかじめご了承ください。
- あらかじめ登録されているカスタムスクリーンカタログやVアプリを削除していたときは、お買い上げ時の状態に戻ります。
- ICカード内にデータがあるときは、オールリセットは行えません。ICカード内のデータを消去したあと、操作してください。（☞P.19-2）

通話設定

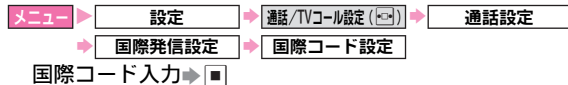
- 下記の項目は、それぞれのページを参照してください。

留守番・転送電話	☞P.14-3、P.14-2	発番号通知・表示	☞P.14-10
割込通話	☞P.14-5	発着信規制	☞P.14-7

国際電話に関する設定

国際コード設定	よく利用する国際コードを設定します。

お買い上げ時 0046010

国際コード入力➡■

国番号リスト	国番号リストを変更／追加／削除します。

国番号を変更する

「変更」選択➡■➡国名入力➡■➡国番号入力➡■

国番号を追加する

国名がないリスト選択➡■➡国名入力➡■➡国番号入力➡■

国番号を削除する

「削除」選択➡■➡✉（Yes）

11 設定

その他通話に関する設定

通話時間お知らせ 通話中にお知らせ音を鳴らすかどうかを設定します。

お買い上げ時 Off（鳴らさない）

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話/TVコール設定（•□•）➡ 通話設定 ➡ 通話時間お知らせ

「On」（鳴らす）／「Off」（鳴らさない）選択 ➡ ■

- お知らせ音は、１分間隔で鳴ります。

通話後料金表示 通話後に通話料金を表示するかどうかを設定します。

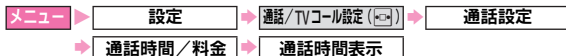
お買い上げ時 Off（表示しない）

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話/TVコール設定（•□•）➡ 通話設定 ➡ 通話時間／料金 ➡ 通話後料金表示

「On」（表示する）／「Off」（表示しない）選択 ➡ ■

通話時間表示 通話中に通話時間を表示するかどうかを設定します。

お買い上げ時 On（表示する）

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話/TVコール設定（•□•）➡ 通話設定 ➡ 通話時間／料金 ➡ 通話時間表示

「On」（表示する）／「Off」（表示しない）選択 ➡ ■

通信／外部接続

Bluetooth®

Bluetooth®をご利用になる前に

「Bluetooth®」とは、10m以内にある905SHどうしや他のBluetooth®対応機器（パソコンや携帯電話、ハンズフリー機器など）とワイヤレスで接続するための方式です。
905SHのBluetooth®の仕様は、次のとおりです。

通信方式	Bluetooth®標準規格 Ver 1.2
対応Bluetooth プロファイル	Headset Profile、 Hands-Free Profile、 Dial-up Networking Profile、 ObjectPush Profile、 File Transfer Profile、 Basic Imaging Profile
出力	Bluetooth® Power Class2

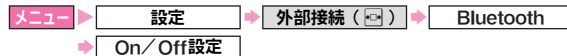
Bluetooth®利用時のご注意

- Bluetooth®を利用して無線で接続するには、相手機器もBluetooth®対応機器であり、同じプロファイルに対応している必要があります。
- 905SHどうしで通信を行うときの通信距離は、最大10mです。機器間の距離や障害物、電波状況、相手機器などによって、通信速度／通信距離は異なります。
- Bluetooth®対応機器の使用する電波帯（2.4GHz帯）は、さまざまな機器が共有しています。それらの影響によって、通信速度／通信距離が低下したり、通信が切断されることがあります。
- 905SHのBluetooth®機能では、同時に2台以上の機器を接続することはできません。

注意▶ **905SHは、すべてのBluetooth®機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。**
- 接続するBluetooth®機器は、Bluetooth SIGの定めるBluetooth®標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。
- 接続するBluetooth®機器がBluetooth®標準規格に適合していても、相手機器の特性や仕様によっては接続できない、操作方法や表示・動作が異なる、データのやりとりができないなどの現象が発生することがあります。
- ワイヤレス通話やハンズフリー通話をするとき、接続機器や通信環境により、雑音が入ることがあります。
- ヘッドセット機器／ハンズフリー機器の使い方については、各機器の取扱説明書を参照してください。

Bluetooth®機能を有効にする

Bluetooth®を利用して、データを受信するときやハンズフリー機器などと接続するときは、Bluetooth®機能を「On」（有効）にする必要があります。
- お買い上げ時には、「Off」に設定されています。

メニュー ▶ 設定 ▶ 外部接続（▣）▶ Bluetooth ▶ On／Off設定

1 「On」を選び、■を押す。

「ⓑ」が表示されます。

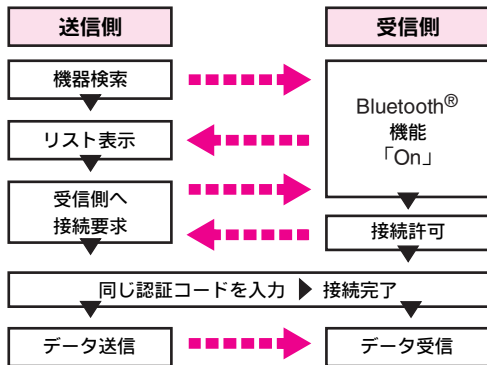
■ 無効にする：「Off」選択▶■
■ 機器接続時：上記操作のあと✉（Yes）

注意▶ 相手機器からの認証要求や受信動作は、待受画面以外では受け付けられません。また、ダイヤル操作禁止設定中や誤動作防止設定中、ソフトウェア更新中も、受け付けられません。

Bluetooth®接続について

２台のBluetooth®対応機器を接続するときは、受信側のBluetooth®機能を「On」にした状態（☞P.12-2）で、送信側からの接続要求を受け、接続します。

- 接続時には、認証コードが必要なことがあります。

■Bluetooth®機器の接続例

認証コードについて

■「認証コード」は、Bluetooth®対応機器どうしを接続するための専用コード（４～16ケタの数字）です。機器登録を行うときには、受信側／送信側とも同じ認証コードを入力する必要があります。

- すでに登録してある機器のときは、認証コードの入力は必要ありません。

機器を検索／登録する（周辺デバイス検索）

他のBluetooth®対応機器を検索し、接続します。接続した機器は自動的に登録されます。

- 登録した機器は、次回から認証コードを入力する必要がなくなります。
- 一度に最大16件まで検索できます。
- すでに、Bluetooth®対応機器が32件登録されているときは、検索できません。
- あらかじめ登録する機器のBluetooth®機能を「On」にしておいてください。

メニュー ▶ 設定 ▶ 外部接続（ ） ▶ Bluetooth

1 「周辺デバイス検索」を選び、■を押す。

検索が始まり、Bluetooth®対応機器のリストが表示されます。（前回の検索結果が記憶されているときは、記憶されている検索結果のリストが表示されます。）

- 機器名の前には、次のマークが表示されます。

：パソコン　：ヘッドセット　：PDA
：ハンズフリー　：携帯電話など　：プリンタ
：その他

■ 検索の中止：検索中に（**キャンセル**）

2 機器を選び、■を押す。

■ 他の機器と接続時：（Yes）

3 送信側と受信側で同じ認証コード（４～16ケタの数字）を入力し、■を押す。

認証に成功すると、確認メッセージが表示され、待受画面に戻ります。

- 相手がハンズフリー機器などのときは、ハンズフリー機器側で決められている認証コードを入力します。
- 受信側の認証コードは、送信側で認証コードを入力してから30秒以内に入力してください。

ハンズフリー機器などから機器を登録する

■ハンズフリー機器などを、送信側として905SHに登録するときは、次の操作を行います。

送信側から接続要求➡✉（Yes）➡**認証コード入力**➡■

●あらかじめ905SHの「**Bluetooth®**」（☞P.12-2）および「**デバイスの公開**」（☞下記）を「On」にしておいてください。

登録済み機器を確認する（登録済みデバイス）

メニュー ▶ 設定 ➡ 外部接続（▫） ➡ Bluetooth

1 「登録済みデバイス」を選び、■を押す。

登録済み機器のリストが表示されます。

■ハンズフリー機器だけを表示：▫

■機器名の変更：機器選択➡✉（**メニュー**）➡「**デバイス名変更**」選択➡■➡名前入力（最大16文字まで）➡■

■登録機器の削除：機器選択➡✉（**メニュー**）➡「**削除**」選択➡■➡✉（Yes）

905SHを公開する（デバイスの公開）

他のBluetooth®対応機器で周辺デバイス検索を行ったときに、905SHの機器名（マイデバイス名称）を通知するかどうかを設定します。

●「Off」にすると、他のBluetooth®対応機器で周辺デバイス検索を行っても、905SHは検索されません。

●お買い上げ時には、「On」に設定されています。

メニュー ▶ 設定 ➡ 外部接続（▫） ➡ Bluetooth ➡ デバイスの公開

1 「On」または「Off」を選び、■を押す。

Bluetooth®を利用してデータを送受信する

データの送受信方法

Bluetooth®を利用したデータの送受信には、次の方法があります。

1件データ送受信	送信側からデータを1件ずつ送信します。受信側では、該当する機能のデータとして自動的に追加します。
一括データ送受信	機能ごとのデータを一括で送受信します。
フォルダ単位受信	905SH本体のデータフォルダ内へフォルダ単位でデータを受信します。（送信はできません。）

注意

●Bluetooth® でのデータ送受信時は、オフラインモードに設定されます。そのため、着信、通話、ウェブ、メディアプレイヤー、メールのデータ編集中などには、Bluetooth® でのデータ送受信は行えません。データの送受信が終わると、自動的に、オフラインモードが解除されます。

●受信したデータの内容によっては、905SHに正しく登録できないことがあります。

送受信できるデータ

機能	1件	一括	備考
電話帳	○	○	1件データ送受信では、グループ設定、着信音、ライト、バイブ設定、シークレットの設定内容は送受信できません。一括データ送受信では、オーナー情報も送受信されます。また、フォトに設定している画像によっては、設定が無効となることがあります。

機能	1件	一括	備考
カレンダー	○	○※1	1件データ送受信では、アラーム音、シークレットの設定内容は送受信できません。905SHで設定できない開始日時が設定されているデータを受信したときは、登録できません。
予定リスト	○	○※1	1件データ送受信では、アラーム音、シークレットの設定内容は送受信できません。905SHで設定できない期限日時が設定されているデータを受信したときは、予定リストに保存した日時が、期限日時として設定されます。
テキストメモ	○※2	○	
ブックマーク	×※3	○	
受信ボックス	×※3	○※4	
送信済みボックス	×※3	○	
下書き	×※3	○※5	
データフォルダ	○	○※6	著作権で保護されているファイルは、送受信できません。また、「**デジタルカメラ**」内のファイルは1件データ送信だけ行えます。（受信はできません。）

※1 一括データ送受信時は、「**カレンダー／予定リスト**」として、まとめて送受信されます。

※2 1件データ送信はできません。1件データ受信だけ可能です。

※3 1件データ受信はできますが、「**その他ファイル**」に不明ファイルとして保存され、ブックマークやメールとしては利用できません。

※4 一括データ送信を行うと、迷惑メールフォルダ内のメールは、受信側のボーダフォン携帯電話（905SHを除く）の迷惑フォルダではなく、通常の受信フォルダに登録されます。また、メール通知は通常のメールとして送信されますので、受信後は続き受信などの操作はできません。

※5 一括データ送信を行うと、宛先が複数あるSMSが受信側の携帯電話（905SHを除く）で登録できなかったり、2件目以降のアドレスが欠落することがあります。

※6 905SH本体のデータフォルダ内へフォルダ単位での受信ができます。

注意▶
- 905SHには、カレンダーと予定リストを合わせて最大300件まで保存できます。データ受信中、300件に達すると確認メッセージが表示され、超過分は受信されません。
- メモリカードのデータフォルダ内のデータは、1件データ送受信が行えます。ただし、「**デジタルカメラ**」内のファイルは1件データ送信だけ行えます。
- テンプレートや未送信ボックス内のメールは送受信できません。
- 905SHで扱えないサイズのメールは受信できません。
- 905SHで登録できるメールは、下書き、テンプレート、未送信ボックス、送信済みボックスを合わせて最大500件です。一括受信中に、500件に達すると確認メッセージが表示され、超過分は登録されません。
- 他のボーダフォン携帯電話からメールを一括受信したとき、送信側の機種によっては、905SHでスカイメールがMMSとして読み込まれることがあります。

データを1件ずつ送受信する

■送信側の操作

- Bluetooth®を利用した1件データ送信は、P.12-4～P.12-5「送受信できるデータ」表内の各機能のデータのリスト画面で行います。

1 送信するデータを選び、[メール]（メニュー）を押す。

2「送信」を選び、[■]を押す。

■電話帳送信時：「アドレス1件送信」選択➡[■]

3「Bluetooth」を選び、[■]を押す。

- 登録されている機器がないときは、自動的に機器検索が行われます。

■登録していない機器に送信：「周辺デバイス検索」選択➡[■]➡「再検索」選択➡[■]➡機器検索

4 機器を選び、[■]を押す。

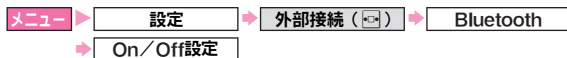
■他の機器と接続時：[メール]（Yes）

5 受信側をデータ受信の待機状態にする。

6 [メール]（Yes）を押す。

オフラインモードに設定され、送信が始まります。

■受信側より認証要求時：認証コード入力➡[■]

■受信側の操作

メニュー ▶ 設定 ➡ 外部接続（[•□•]） ➡ Bluetooth ➡ On／Off設定

1「On」を選び、[■]を押す。

データ受信の待機状態になります。

2 送信側から接続要求されると、オフラインモードの確認画面が表示される。

■登録していない機器からの接続要求時：[メール]（Yes）➡ 認証コード入力➡[■]

3 [メール]（Yes）を押す。

オフラインモードに設定されます。

4 受信が始まると、データ登録の確認画面が表示される。

■受信の中止：[○]（キャンセル）

■受信の強制終了：[終話]

5 受信したデータを登録するときは、[メール]（Yes）を押す。

■登録しない：[○]（No）➡[メール]（Yes）

■データフォルダ内に登録されるデータの受信時：「本体」／「メモリカード」選択➡[■]

データを一括送受信する

■送信側の操作

メニュー ▶ 設定 ➡ 外部接続（[•□•]） ➡ Bluetooth

1「一括データ送信」を選び、[■]を押す。

- 登録されている機器がないときは、自動的に機器検索が行われます。

■登録していない機器に送信：「周辺デバイス検索」選択➡[■]➡「再検索」選択➡[■]➡機器検索

2 機器を選び、[■]を押す。

■他の機器と接続時：[メール]（Yes）

3 [メール]（Yes）を押す。

オフラインモードに設定されます。

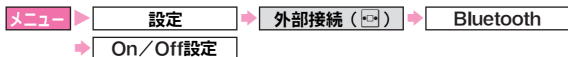
4 操作用暗証番号（4ケタ）を入力し、[■]を押す。

5 受信側をデータ受信の待機状態にする。

6 データの種類を選び、[■]を押す。

送信が始まります。

■受信側より認証要求時：認証コード入力➡[■]

■電話帳選択時：[メール]（Yes）／[○]（No）

■受信側の操作

メニュー ▶ 設定 ➡ 外部接続（） ➡ Bluetooth
➡ On／Off設定

1 「On」を選び、■を押す。

データ受信の待機状態になります。

2 送信側から接続要求されると、オフラインモードの確認画面が表示される。

■登録していない機器からの接続要求時：✉（Yes）➡ 認証コード入力➡■

3 ✉（Yes）を押す。

オフラインモードに設定されます。

4 受信が始まると、データ登録の確認画面が表示される。

■受信の中止：o（キャンセル）
■受信の強制終了：

5 *追加登録する*

1「追加登録」を選び、■を押す。

受信完了後、待受画面に戻ります。

■受信の中止：o（キャンセル）
■受信の強制終了：

すべてのデータを消して登録する

1「全件削除して登録」を選び、■を押す。

2 ✉（Yes）を押す。

3 操作用暗証番号（4ケタ）を入力し、■を押す。

受信完了後、待受画面に戻ります。

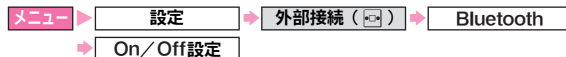
● 電話帳を受信したときは、お客様の電話番号以外のオーナー情報は消去されます。

■受信の中止：o（キャンセル）
■受信の強制終了：

フォルダ単位でデータを受信する

フォルダ単位でデータを送信できる機器からデータを受信し、905SHのデータフォルダ内に登録します。

● 905SHでは、フォルダ単位でのデータ送信はできません。
● 905SHで受信できるのは、送信されてきたフォルダを送信側と同じ階層に作成できる（または、同じ階層にすでに同名のフォルダがある）ときだけです。
● 送信側の操作方法については、送信する機器の取扱説明書を参照してください。

メニュー ▶ 設定 ➡ 外部接続（） ➡ Bluetooth
➡ On／Off設定

1 「On」を選び、■を押す。

データ受信の待機状態になります。

2 送信側から接続要求されると、オフラインモードの確認画面が表示される。

■登録していない機器からの接続要求時：✉（Yes）➡ 認証コード入力➡■

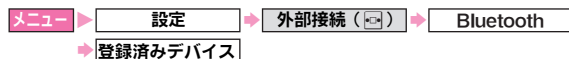
3 ✉（Yes）を押す。

オフラインモードに設定され、受信が始まります。
受信完了後、待受画面に戻ります。

■受信の中止：o（キャンセル）
■受信の強制終了：

Bluetooth®を利用してハンズフリー機器などと接続する

●あらかじめハンズフリー機器などを登録しておいてください。（☞P.12-3）

メニュー ▶ 設定 ➡ 外部接続（⊡）➡ Bluetooth ➡ 登録済みデバイス

1 **⊡を押す。**

登録済のハンズフリー機器のリストが表示されます。

2 **機器を選び、■を押す。**

接続され、「☑」（選択状態）が表示されます。

- 他の機器と接続時：✉（Yes）
- 機器の切断：接続されている機器選択➡■
- 名前の変更：機器選択➡✉（メニュー）➡「デバイス名変更」選択➡■➡名前入力➡■

ハンズフリー機器などと905SHとの音声出力先を切り替える

■ハンズフリー機器などが接続されている状態で、通話中に次の操作を行うと、音声出力先を切り替えられます。

✉（メニュー）➡「音声切替」選択➡■➡「本体」／「Bluetooth」選択➡■

●「本体」にすると、905SHで通話できます。

●ハンズフリー機器などが接続されていない状態で「Bluetooth」を選択すると、登録済のハンズフリー機器のリストが表示されます。

注意

●ハンズフリー機器などでの音声通話中は、905SHで受話音量を調節できません。ハンズフリー側で調節してください。

●ハンズフリー機器からの発信動作は、待受画面が表示されているときだけできます。

補足

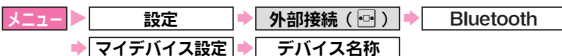
●「☑」が表示されている機器は、切断されていても、発信／着信すると自動的に再接続されます。

●「□」は非選択状態を表しています。接続中の機器を「□」にすると、切断確認画面が表示されます。

Bluetooth®関連の設定

機器名の変更（デバイス名称） Bluetooth®接続時、相手機器に表示される機器名を変更します。

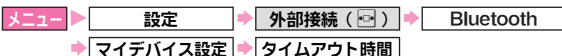
お買い上げ時 Vodafone 905SH

メニュー ▶ 設定 ➡ 外部接続（⊡）➡ Bluetooth ➡ マイデバイス設定 ➡ デバイス名称

新しい機器名入力➡■

●最大16文字まで入力できます。（絵文字は入力できません。）

タイムアウト時間の設定 Bluetooth®未使用時に、自動的にBluetooth®機能を「Off」にするまでの時間を設定します。

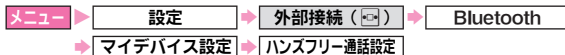
お買い上げ時 タイムアウトなし

メニュー ▶ 設定 ➡ 外部接続（⊡）➡ Bluetooth ➡ マイデバイス設定 ➡ タイムアウト時間

タイムアウト時間選択➡■

- 自動的に「Off」にしない：タイムアウト時間選択時に「タイムアウトなし」選択➡■

ハンズフリー通話設定	ハンズフリー機器接続時に、905SHの操作により通話を開始したときの通話方法を設定します。

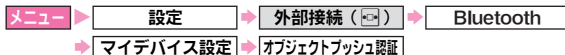
お買い上げ時 ハンズフリーで通話

メニュー ▶ 設定 ➡ 外部接続（ ） ➡ Bluetooth ➡ マイデバイス設定 ➡ ハンズフリー通話設定

「本体で通話」／「ハンズフリーで通話」選択 ➡ ■

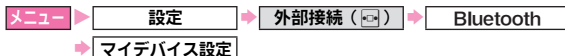
- ハンズフリー機器の操作により通話を開始したときは、上記の設定内容にかかわらず、常にハンズフリー機器での通話となります。

オブジェクトプッシュ認証	データ送受信時に認証を必要とするかどうかを設定します。

お買い上げ時 On（必要）

メニュー ▶ 設定 ➡ 外部接続（ ） ➡ Bluetooth ➡ マイデバイス設定 ➡ オブジェクトプッシュ認証

「On」（必要）／「Off」（不要）選択 ➡ ■

デバイス情報	905SHのBluetooth®機能の詳細を確認します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 外部接続（ ） ➡ Bluetooth ➡ マイデバイス設定

「デバイス情報」選択 ➡ ■

赤外線通信

赤外線通信をご利用になる前に

「**赤外線通信**」とは、905SHどうしや他の赤外線通信対応機器（パソコンや携帯電話など）とワイヤレスで接続するための方式です。

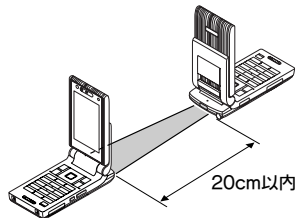
- 905SHの赤外線通信機能は、IrMC1.2に準拠しています。ただし、相手側の機器がIrMC1.2に準拠していても、機能によっては送受信できないデータがあります。
- 通信中やメールの送受信中、ウェブの利用中に、赤外線通信は行えません。
- 直接日光があたっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、これらの影響によって正常に通信できないことがあります。

補足▶ 正常に通信できないときは、再接続の確認画面が表示されます。「**赤外線通信利用時のご注意**」（☞P.12-10）を確認したあと、 （Yes）を押して、再接続してください。

認証コードについて

■「**認証コード**」は赤外線通信のための専用コード（4ケタ）です。データの一括送受信では、受信側／送信側とも同じ認証コードを入力する必要があります。

赤外線通信利用時のご注意

- 受信側、送信側のボーダフォン携帯電話（または赤外線通信対応機器）を、20cm以内に近づけます。このとき、両方の赤外線ポートがまっすぐに向き合うようにします。また、間に物を置かないようにしてください。

- データの送受信が終わるまで、お互いの赤外線ポートが向き合ったままにして動かさないでください。
- 赤外線ポートが汚れていると通信しにくくなります。汚れているときは、傷つかないように柔らかい布でふき取ってください。

赤外線通信を利用してデータを送受信する

データの送受信方法

1件データ送受信	送信側からデータを1件ずつ送信します。受信側では、自動的に該当する機能のデータとして追加します。
一括データ送受信	機能ごとのデータを一括で送受信します。
フォルダ単位受信	905SH本体のデータフォルダ内へフォルダ単位でデータを受信します。（送信はできません。）

注意▶
- ウェブやメディアプレイヤーの利用中、メールやデータの編集中などは、赤外線通信でのデータ送受信は行えません。
- 受信したデータの内容によっては、905SHに正しく登録できなかったり、一部登録できないことがあります。

送受信できるデータ

機能	1件	一括	備考
電話帳	○	○	1件データ送受信では、グループ設定、着信音、ライト、バイブ設定、シークレットの設定内容は送受信できません。一括データ送受信では、オーナー情報も送受信されます。また、フォトに設定している画像によっては、設定が無効となることがあります。
カレンダー	○	○※1	1件データ送受信では、アラーム音、シークレットの設定内容は送受信できません。905SHで設定できない開始日時が設定されているデータを受信したときは、登録できません。
予定リスト	○	○※1	1件データ送受信では、アラーム音、シークレットの設定内容は送受信できません。905SHで設定できない期限日時が設定されているデータを受信したときは、予定リストに保存した日時が期限日時として設定されます。

※1 一括データ送受信時は、「**カレンダー／予定リスト**」として、まとめて送受信されます。

機能	1件	一括	備考
テキストメモ	○※2	○	
ブックマーク	×※3	○	
受信ボックス	×※3	○※4	
送信済みボックス	×※3	○	
下書き	×※3	○※5	
データフォルダ	○	○※6	著作権で保護されているファイルは、送受信できません。また、「**デジタルカメラ**」内のファイルは1件データ送信だけ行えます。（受信はできません。）

※2 1件データ送信はできません。1件データ受信だけ可能です。

※3 1件データ受信はできますが、「**その他ファイル**」に不明ファイルとして保存され、ブックマークやメールとしては利用できません。

※4 一括データ送信を行うと、迷惑メールフォルダ内のメールは、受信側の携帯電話（905SHを除く）の迷惑フォルダではなく、通常の受信フォルダに登録されます。また、メール通知は通常のメールとして送信されますので、受信後は続き受信などの操作はできません。

※5 一括データ送信を行うと、宛先が複数あるSMSが受信側の携帯電話（905SHを除く）で登録できなかったり、2件目以降のアドレスが欠落することがあります。

※6 905SH本体のデータフォルダ内へフォルダ単位での受信ができます。

注意

- 905SHには、カレンダーと予定リストを合わせて最大300件まで保存できます。データ受信中、300件に達すると確認メッセージが表示され、超過分は受信されません。
- メモリカードのデータフォルダ内のデータは、1件データ送受信が行えます。ただし、「**デジタルカメラ**」内のファイルは1件データ送信だけ行えます。
- テンプレートや未送信ボックス内のメールは送受信できません。
- 905SHで扱えないサイズのメールは受信できません。
- 905SHで登録できるメールは、下書き、テンプレート、未送信ボックス、送信済みボックスを合わせて最大500件です。一括受信中に、500件に達すると確認メッセージが表示され、超過分は登録されません。
- 他のボーダフォン携帯電話からメールを一括受信したとき、送信側の機種によっては、905SHでスカイメールがMMSとして読み込まれることがあります。

データを1件ずつ送受信する

■送信側の操作

- 以下の操作は、P.12-10～左記「**送受信できるデータ**」表内の各機能のデータのリスト画面で行います。

1 送信するデータを選び、[✉]（メニュー）を押す。

2 「送信」を選び、[■]を押す。

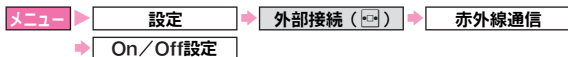
電話帳送信時：「アドレス1件送信」選択➡[■]

3 「赤外線通信」を選び、[■]を押す。

4 受信側をデータ受信の待機状態にする。

5 [✉]（Yes）を押す。

オフラインモードに設定され、送信が始まります。
送信完了後、各機能のリスト画面に戻ります。

■受信側の操作

メニュー ▶ 設定 ➡ 外部接続（□） ➡ 赤外線通信 ➡ On／Off設定

1 「On（５分）」を選び、■を押す。

データ受信の待機状態になります。

● ５分以内に送信側からデータを送信してください。

2 送信側から接続要求されると、オフラインモードの確認画面が表示される。

3 ✉（Yes）を押す。

オフラインモードに設定されます。

4 受信が始まると、データ登録の確認画面が表示される。

■ 受信の中止：◎（キャンセル）
■ 受信の強制終了：☎

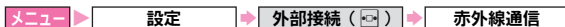
5 受信したデータを登録するときは、✉（Yes）を押す。

■ 登録しない：◎（No）➡✉（Yes）
■ データフォルダ内に登録されるデータの受信時：「本体」／「メモリカード」選択➡■

注意▶ 受信動作は、待受画面以外では受け付けられません。また、ダイヤル操作禁止設定中や誤動作防止設定中、ソフトウェア更新中も、受け付けられません。

データを一括送受信する

■送信側の操作

メニュー ▶ 設定 ➡ 外部接続（□） ➡ 赤外線通信

1 「一括データ送信」を選び、■を押す。

2 ✉（Yes）を押す。

オフラインモードに設定されます。

3 操作用暗証番号（４ケタ）を入力し、■を押す。

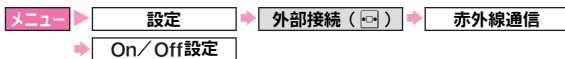
4 データの種類を選び、■を押す。

5 受信側をデータ受信の待機状態にする。

6 認証コード（４ケタ）を入力し、■を押す。

送信が始まります。送信完了後、データの種類選択画面に戻ります。

■ 電話帳選択時：✉（Yes）／◎（No）

■受信側の操作

メニュー ▶ 設定 ➡ 外部接続（□） ➡ 赤外線通信 ➡ On／Off設定

1 「On（５分）」を選び、■を押す。

データ受信の待機状態になります。

● ５分以内に送信側からデータを送信してください。

2 送信側から接続要求されると、オフラインモードの確認画面が表示される。

3 ✉（Yes）を押す。

オフラインモードに設定されます。

4 認証コード（4ケタ）を入力し、■を押す。

●送信側と同じ認証コードを入力してください。

5 受信が始まると、データ登録の確認画面が表示される。

■受信の中止：◎（キャンセル）
■受信の強制終了：☎

6 *追加登録する*

1「追加登録」を選び、■を押す。

受信完了後、待受画面に戻ります。

■受信の中止：◎（キャンセル）
■受信の強制終了：☎

すべてのデータを消して登録する

1「全件削除して登録」を選び、■を押す。

2 ✉（Yes）を押す。

3 操作用暗証番号（4ケタ）を入力し、■を押す。

受信完了後、待受画面に戻ります。

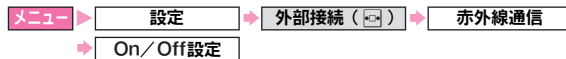
●電話帳を受信したときは、お客様の電話番号以外のオーナー情報は消去されます。（オーナー情報が送信されてきたときは、その内容が登録されます。）

■受信の中止：◎（キャンセル）
■受信の強制終了：☎

フォルダ単位でデータを受信する

フォルダ単位でデータを送信できる機器からデータを受信し、905SHのデータフォルダ内に登録します。

●905SHでは、フォルダ単位でのデータ送信はできません。
●905SHで受信できるのは、送信されてきたフォルダを送信側と同じ階層に作成できる（または、同じ階層にすでに同名のフォルダがある）ときだけです。
●送信側の操作方法については、送信する機器の取扱説明書を参照してください。

メニュー ▶ 設定 ▶ 外部接続（◙）▶ 赤外線通信 ▶ On／Off設定

1 「On（5分）」を選び、■を押す。

データ受信の待機状態になります。

● 5分以内に送信側からデータを送信してください。

2 送信側から接続要求されると、オフラインモードの確認画面が表示される。

3 ✉（Yes）を押す。

オフラインモードに設定され、受信が始まります。
受信完了後、待受画面に戻ります。

■同名のフォルダがあるとき：✉（Yes）／◎（No）
■受信の中止：◎（キャンセル）
■受信の強制終了：☎

カードリーダモード

カードリーダモードにすれば、オプション品のUSBケーブルで接続したパソコンから、905SHのメモリカード内のデータを操作（読み書き）することができます。

- カードリーダモードにするとオフラインモードに設定されます。
- 電池残量が不足しているときは、カードリーダモードにはできません。また、一時停止中のVアプリがあるときや音楽をバックグラウンドで再生しているときも、カードリーダモードにはできません。

メニュー ▶ 設定 ➡ 外部接続（▣）

1「カードリーダモード」を選び、■を押す。

オフラインモードの確認画面が表示されます。

2 ✉（Yes）を押す。

カードリーダモードになります。

3 905SHとパソコンをUSBケーブルで接続する。

パソコンから、905SHのメモリカード内のデータが操作できるようになります。

- すでにUSBケーブルが接続されているときは、いったん抜いたあとで接続し直してください。

4 カードリーダモードを終了するときは、◎（キャンセル）を押す。

5 ✉（Yes）を押す。

- このあと、パソコンでハードウェアデバイスの取り外しの操作を行い、USBケーブルを抜きます。

ネットワーク設定

ネットワーク状態表示	ネットワークの状態を確認します。

メニュー ▶ 設定 ➡ ネットワーク設定（▣）
「ネットワーク状態表示」選択➡■

インターネット設定

ネットワーク自動調整	ネットワーク自動調整を手動で行います。

メニュー ▶ 設定 ➡ ネットワーク設定（▣）➡ インターネット設定
「ネットワーク自動調整」選択➡■➡✉（Yes）

DNSキャッシュクリア	905SHに保持されている ボーダフォンライブ! のサーバーのアドレスを消去します。

メニュー ▶ 設定 ➡ ネットワーク設定（▣）➡ インターネット設定
「DNSキャッシュクリア」選択➡■

ホワイトリストの作成／削除　ホワイトリスト（MMSなどのPushデータ受信許可リスト）を作成／削除します。

メニュー▶設定▶ネットワーク設定（▶）▶インターネット設定▶ホワイトリスト

ホワイトリストを作成する

（Yes）▶操作用暗証番号（４ケタ）入力▶■▶「新規プロファイル入力」選択▶■▶「SMSCアドレス」／「SM送信者アドレス」選択▶■▶アドレス入力▶■▶（保存）

● SMSCアドレス（センター番号）、SM送信者アドレス（送信元）は、最大20ケタまで入力できます。

ホワイトリストを削除する

（Yes）▶操作用暗証番号（４ケタ）入力▶■▶番号選択▶（メニュー）▶「削除」選択▶■▶（Yes）

注意▶ ホワイトリストを作成すると、メールが正しく受信できなくなることがあります。

位置情報設定

位置情報URL設定　位置情報を送信する、地図提供プロバイダのURLを設定します。

メニュー▶設定▶ネットワーク設定（▶）▶位置情報設定▶位置情報URL設定

URL選択▶■

- URLの表示：（メニュー）▶「表示」選択▶■
- URLの編集：（メニュー）▶「編集」選択▶■▶URL編集▶■
  - ■ お買い上げ時に登録されているURLは編集できません。
- URL の削除：URL 選択 ▶（メニュー）▶「削除」選択▶■▶（Yes）
  - ■ お買い上げ時に登録されているURLは削除できません。
- URLの追加：URL未設定の番号選択▶■▶URL入力▶■

測位On／Off設定　Webサービスを利用するとき、現在の位置情報を送信するかどうかを設定します。

お買い上げ時 On（送信する）

メニュー▶設定▶ネットワーク設定（▶）▶位置情報設定▶測位On／Off設定

「On」（送信する）／「Off」（送信しない）選択▶操作用暗証番号（４ケタ）入力▶■

カレンダー

カレンダーを表示する

- 「**月表示**」（１ヵ月表示／２ヵ月表示）と「**週表示**」の２種類のカレンダーを表示できます。
- お買い上げ時には、「**月表示**」（１ヵ月）に設定されています。

メニュー ▶ ツール

1 「カレンダー」を選び、■を押す。

今月のカレンダー（カレンダー画面）が表示されます。

日付／時刻未設定時：◎（地域選択）➡■➡日付／時刻入力➡■

カレンダーの操作方法を表示：✉（メニュー）➡「ヘルプ」選択➡■

■ カレンダー画面に戻る：上記操作のあと■

カレンダー画面
（１ヵ月表示）

■カレンダー画面でできること

ボタン	月表示のとき	週表示のとき
＊	先月を表示※1	先週を表示
＃	翌月を表示※1	翌週を表示
0	表示切替（１ヵ月→２ヵ月→１週間…）	
5	今日を表示	
8	簡易作成（カテゴリ入力）※2	―
◎（上下）	前の週／次の週選択※1	前の時間帯／次の時間帯選択
◎（左右）	日選択※1	

※1 ２ヵ月表示のときは、２ヵ月単位で切り替わります。
※2 １ヵ月表示のときだけ操作できます。

表示設定 カレンダーを起動したときの画面表示を設定します。

お買い上げ時 月表示（１ヵ月）

メニュー ▶ ツール ➡ カレンダー

✉（メニュー）➡「表示設定」選択➡■➡表示方法選択➡■

休日設定	カレンダーに表示される日付の色を設定できます。

お買い上げ時 日曜日：レッド、土曜日：ブルー、その他：ブラック

メニュー ▶ ツール ➡ カレンダー

曜日ごとの色を設定する

✉（メニュー）➡「休日設定」選択➡■➡「曜日」選択➡■➡曜日選択➡■➡表示色選択➡■

日付を指定して設定する

設定日選択➡✉（メニュー）➡「休日設定」選択➡■➡「当日」選択➡■➡表示色選択➡■

■ 曜日指定と同じ色にする：表示色選択時に「**週と同色**」選択➡■

簡易作成（カテゴリ入力）	簡単な操作でカレンダーにカテゴリ（マーク）を付けることができます。

■月表示（1ヵ月表示）で利用できます。

メニュー ▶ ツール ➡ カレンダー

日選択➡8➡カテゴリ選択➡■

補足▶ その他の項目を登録するときは、予定の編集を行ってください。（☞P.13-6）

予定を登録する

カレンダーに予定を登録して管理できます。

- カレンダーの予定は、予定リスト（☞P.13-8）の用件と合わせて、最大300件まで登録できます。

メニュー ▶ ツール ➡ カレンダー

1 **登録する日を選び、■を押す。**

2 **「<新規作成>」を選び、■を押す。**

3 **件名を入力し、■を押す。**
- 32文字以内で、必ず入力してください。

4 **開始日時を入力し、■を押す。**

5 **「終了：」を選び、■を押す。**

6 **終了日時を入力し、■を押す。**

7 **「カテゴリ：」を選び、■を押す。**

8 **カテゴリを選び、■を押す。**
- アラームを設定しないときは、このあと操作13へ進みます。

9 **「アラーム：」を選び、■を押す。**

10 **「アラーム通知時間：」を選び、■を押す。**

11 **「開始時刻」〜「1時間前」のいずれかを選び、■を押す。**

■ アラーム日時を指定：「**その他**」選択➡■➡アラーム通知日時入力➡■

■ アラーム音／ムービー、鳴動時間の設定：☞P.13-5

12 [o]（OK）を押す。

●画面右下に「OK」が表示されないときは、[CLEAR/BACK]を押します。

■繰り返しの設定：☞P.13-5

予定登録の画面

13「場所：」を選び、[■]を押す。

14 予定の場所を入力し、[■]を押す。

●最大16文字まで入力できます。

15「内容：」を選び、[■]を押す。

16 予定の内容を入力し、[■]を押す。

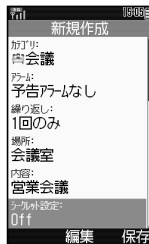
●最大128文字まで入力できます。

■シークレットの設定：☞P.13-5

17 [o]（保存）を押す。

予定が登録されます。

注意▶ 他の機器との間で予定をやりとりすると、相手機によっては表示される日時情報などが異なることがあります。

補足▶ まだ設定時刻になっていない予定がある日は、待受画面に「[アイコン]」（アラームあり）または「[アイコン]」（アラームなし）が表示されます。（その日の最後の予定の時刻が過ぎると消えます。）

アラーム設定の指定時刻になると

アラーム設定の内容に従って、お知らせします。

●アラーム設定を「**予告アラームなし**」にしているときは、何も動作しません。

●アラーム電源On設定（☞P.11-15）を「On」にしている場合に、電源を切っている状態で設定時刻になったときは、自動的に電源が入りアラームが動作します。

●画面ピクチャー（☞P.11-3）を設定しているときは、設定画像が表示されます。また、画像付きSMAFファイルをアラーム音に設定しているときは、SMAFファイルの画像が優先して表示されます。

アラーム音を停止する

■アラーム動作中に次の操作を行います。

[o]（**キャンセル**）／[☎]／[CLEAR/BACK]

●電源を切っている状態でアラームが動作したときは、上記操作のあと電源On／Offの確認画面が表示されます。電源を入れておくときは[✉]（Yes）、電源を切るときは[o]（No）を押してください。

▪約20秒間そのままにしておくと、自動的に電源が切れます。

登録した予定を確認する

■アラーム動作中に、登録した予定の確認をするとき（電源Offから動作したときを除く）は、次の操作を行います。

[■]

補足▶ ●通話中や動画撮影中にアラーム時刻になっても、アラームは動作しません。このときは、通話や撮影終了後[☎]を押すと、アラームが動作します。

●アラーム動作中に着信があったときは、アラームの動作は終了します。[☎]で通話終了後、待受画面に戻るとインフォメーションが表示されます。

予定の各種設定

●以下の操作は、P.13-4操作12のあとの予定登録の画面で行います。操作後、予定登録の画面に戻りますので、予定の登録を完了してください。

アラーム音	アラーム音の種類を設定します。

お買い上げ時アラーム1

固定データを利用する

「アラーム：」選択➡■➡「アラーム音／ムービー：」選択➡■➡「音選択」選択➡■➡「固定データ」選択➡■➡アラーム音選択➡■➡◎（OK）

再生：アラーム音選択後✉（再生）

■再生の停止：再生中に✉（停止）

着うた・メロディ／ミュージックフォルダ内のデータを利用する

「アラーム：」選択➡■➡「アラーム音／ムービー：」選択➡■➡「音選択」選択➡■➡「着うた・メロディ」／「ミュージック」選択➡■➡アラーム音選択➡■➡◎（OK）

再生：アラーム音選択後✉（メニュー）➡「再生」選択➡■

■再生の停止：再生中にCLEAR/BACK

ムービー	アラーム動作時にムービーを流します。

「アラーム：」選択➡■➡「アラーム音／ムービー：」選択➡■➡「ムービー選択」選択➡■➡ムービー選択➡■➡◎（OK）

再生：ムービー選択後✉（メニュー）➡「再生」選択➡■

■再生の停止：再生中にCLEAR/BACK

鳴動時間	アラームを何秒間鳴らすかを設定します。

お買い上げ時15秒

「アラーム：」選択➡■➡「鳴動時間：」選択➡■➡時間選択➡■➡◎（OK）

時間を入力して設定：時間選択時に「その他」選択➡■➡鳴動時間入力➡■➡◎（OK）

繰り返し設定	予定の繰り返し（1回のみ、毎日、毎週、毎月、毎年）を設定します。

お買い上げ時1回のみ

1回だけの予定を登録する

「繰り返し：」選択➡■➡「1回のみ」選択➡■

繰り返しの予定を登録する

「繰り返し：」選択➡■➡「毎日」～「毎年」選択➡■➡繰り返し回数（00～99）入力➡■

●予定の日を29～31日に設定して「毎月」を選んだときは、29～31日が存在しない月では、予定は設定されません。
●「毎年」を選んだときは、繰り返し回数の指定はできません。
●繰り返し回数を「00」にしたときは、「期限なし」に設定されます。

シークレット設定	予定をシークレットデータに設定します。

お買い上げ時Off

「シークレット設定：」選択➡■➡「On」選択➡■

●シークレットデータを確認するときは、シークレットモード（☞P.11-21）にしてください。
●シークレット設定を解除するときは、シークレットモード（☞P.11-21）にしたあと、予定の編集（☞P.13-6）を行います。（上記操作の「On」の代わりに「Off」を選びます。）

予定を確認する

メニュー ▶ ツール ➡ カレンダー

1 予定を確認する日を選び、■を押す。

- 予定を確認する日を選ぶと、画面下部にその日に登録している予定（カテゴリ、開始日時、件名）が3件まで表示されます。（「1ヵ月表示」、「1週間表示」にしているとき）

■日付を指定して確認：✉（メニュー）➡「指定日付へ移動」選択➡■➡「指定日」選択➡■➡指定日入力➡■

■今日の予定を確認：✉（メニュー）➡「指定日付へ移動」選択➡■➡「今日」選択➡■

2 予定を選び、■を押す。

■予定をメール送信：✉（メニュー）➡「送信」選択➡■➡「メール添付」選択➡■➡メール作成／送信（☞P.15-7操作3以降）

3 確認を終了するときは、CLEAR/BACKを押す。

> **予定の件数を確認する**
>
> ■上記操作1のあと、次の操作を行います。
> ✉（メニュー）➡「メモリ確認」選択➡■

予定を検索する

メニュー ▶ ツール ➡ カレンダー

1 ✉（メニュー）を押す。

2 「件名検索」を選び、■を押す。

3 検索語を入力し、■を押す。

- 最大32文字まで入力できます。

4 予定を選び、■を押す。

予定を編集する

メニュー ▶ ツール ➡ カレンダー

1 予定を編集する日を選び、■を押す。

2 予定を選び、✉（メニュー）を押す。

3 「編集」を選び、■を押す。

4 編集する項目を選び、■を押す。

- 編集方法は、登録時と同様です。

5 編集が終われば、◎（保存）を押す。

予定を削除する

1件削除／1日削除　予定を1件ずつまたは1日単位で削除します。

メニュー ▶ ツール ▶ カレンダー

指定した予定を1件ずつ削除する

予定を削除する日選択 ➡ ■ ➡ 削除する予定選択 ➡ ✉（メニュー）➡「削除」選択 ➡ ■ ➡「1件」選択 ➡ ■ ➡ ✉（Yes）

指定した日の予定をすべて削除する

予定を削除する日選択 ➡ ✉（メニュー）➡「削除」選択 ➡ ■ ➡「1日」選択 ➡ ■ ➡ ✉（Yes）

今月削除／今週削除　月表示のとき1月単位の予定を、週表示のとき今週の予定を削除します。

■今月削除は月表示のときだけ、今週削除は週表示のときだけできます。

メニュー ▶ ツール ▶ カレンダー

今月の予定をすべて削除する

予定を削除する月選択 ➡ ✉（メニュー）➡「削除」選択 ➡ ■ ➡「今月」選択 ➡ ■ ➡ ✉（Yes）

- 今月の予定がないとき、「今月」は表示されません。

今週の予定をすべて削除する

予定を削除する週の日選択 ➡ ✉（メニュー）➡「削除」選択 ➡ ■ ➡「今週」選択 ➡ ■ ➡ ✉（Yes）

- 今週の予定がないとき、「今週」は表示されません。

先月まで削除／先週まで削除　月表示のとき先月までの予定を、週表示のとき先週までの予定を削除します。

■先月まで削除は月表示のときだけ、先週まで削除は週表示のときだけできます。

メニュー ▶ ツール ▶ カレンダー

先月までの予定をすべて削除する

予定を削除する翌月選択 ➡ ✉（メニュー）➡「削除」選択 ➡ ■ ➡「先月まで」選択 ➡ ■ ➡ ✉（Yes）

- 先月までの予定がないとき、「先月まで」は表示されません。

先週までの予定をすべて削除する

予定を削除する翌週選択 ➡ ✉（メニュー）➡「削除」選択 ➡ ■ ➡「先週まで」選択 ➡ ■ ➡ ✉（Yes）

- 先週までの予定がないとき、「先週まで」は表示されません。

全件削除　すべての予定を削除します。

メニュー ▶ ツール ▶ カレンダー

✉（メニュー）➡「削除」選択 ➡ ■ ➡「全件」選択 ➡ ■ ➡ 操作用暗証番号（4ケタ）入力 ➡ ■ ➡ ✉（Yes）

削除する予定に繰り返しの予定が含まれていると

■その他の予定も削除するかどうかの確認画面が表示されます。（全件削除を除く）

削除するときは、次の操作を行います。

✉（Yes）

■削除しない：◎（No）

ツール 13

予定リスト

期限の決まった予定（用件）を登録して管理できます。

- 終了（処理）した用件は、処理済チェックを付けて管理できます。（☞P.13-10）
- 予定リストの用件は、カレンダーの予定（☞P.13-3）と合わせて、最大300件まで登録できます。

用件を登録する

メニュー ▶ ツール ▶ 予定リスト

1 **「<新規作成>」を選び、■を押す。**

2 **件名を入力し、■を押す。**

- 32文字以内で、必ず入力してください。

3 **期限日時を入力し、■を押す。**

- アラームを設定しないときは、このあと操作8へ進みます。

4 **「アラーム：」を選び、■を押す。**

5 **「アラーム通知時間：」を選び、■を押す。**

6 **「期限時刻」〜「1時間前」のいずれかを選び、■を押す。**

■ アラーム日時を指定：「**その他**」選択➡■➡アラーム通知日時入力➡■

■ アラーム音／ムービー、鳴動時間の設定：☞P.13-9〜P.13-10

7 **⊙（OK）を押す。**

8 **「内容：」を選び、■を押す。**

9 **内容を入力し、■を押す。**

- 最大128文字まで入力できます。

■ シークレットの設定：☞P.13-10

10 **⊙（保存）を押す。**

用件が登録されます。

用件登録の画面

アラーム設定の指定時刻になると

アラーム設定の内容に従って、お知らせします。

- アラーム設定を「**予告アラームなし**」にしているときは、何も動作しません。
- アラーム電源On設定（☞P.11-15）を「On」にしている場合に、電源を切っている状態で設定時刻になったときは、自動的に電源が入りアラームが動作します。
- 画面ピクチャー（☞P.11-3）を設定しているときは、設定画像が表示されます。また、ムービーや画像付きSMAFファイルをアラーム音に設定しているときは、ムービーやSMAFファイルの画像が優先して表示されます。

アラーム音を停止する

■アラーム動作中に次の操作を行います。

[o]（キャンセル）／[電源]／[CLEAR/BACK]

- 電源を切っている状態でアラームが動作したときは、上記操作のあと電源On／Offの確認画面が表示されます。電源を入れておくときは[✉]（Yes）、電源を切るときは[o]（No）を押してください。
  - ■約20秒間そのままにしておくと、自動的に電源が切れます。

登録した用件を確認する

■アラーム動作中に、登録した用件の確認をするとき（電源Offから動作したときを除く）は、次の操作を行います。

[■]

補足▶
- 通話中や動画撮影中にアラーム時刻になっても、アラームは動作しません。このときは、通話や撮影終了後[電源]を押すと、アラームが動作します。
- アラーム動作中に着信があったときは、アラームの動作は終了します。[電源]で通話終了後、待受画面に戻るとインフォメーションが表示されます。

用件の各種設定

- 以下の操作は、P.13-8操作７のあとの用件登録の画面で行います。操作後、用件登録の画面に戻りますので、用件の登録を完了してください。

アラーム音　アラーム音の種類を設定します。

お買い上げ時 アラーム１

固定データを利用する

「アラーム：」選択➡[■]➡「アラーム音／ムービー：」選択➡[■]➡「音選択」選択➡[■]➡「固定データ」選択➡[■]➡アラーム音選択➡[■]➡[o]（OK）

再生：アラーム音選択後[✉]（再生）
■再生の停止：再生中に[✉]（停止）

着うた・メロディ／ミュージックフォルダ内のデータを利用する

「アラーム：」選択➡[■]➡「アラーム音／ムービー：」選択➡[■]➡「音選択」選択➡[■]➡「着うた・メロディ」／「ミュージック」選択➡[■]➡アラーム音選択➡[■]➡[o]（OK）

再生：アラーム音選択後[✉]（メニュー）➡「再生」選択➡[■]
■再生の停止：再生中に[CLEAR/BACK]

ムービー　アラーム動作時にムービーを流します。

「アラーム：」選択➡[■]➡「アラーム音／ムービー：」選択➡[■]➡「ムービー選択」選択➡[■]➡ムービー選択➡[■]➡[o]（OK）

再生：ムービー選択後[✉]（メニュー）➡「再生」選択➡[■]
■再生の停止：再生中に[CLEAR/BACK]

鳴動時間	アラームを何秒間鳴らすかを設定します。

お買い上げ時 15秒

「アラーム：」選択➡■➡「鳴動時間：」選択➡■➡時間選択➡■➡◎（OK）

■時間を入力して設定：時間選択時に「**その他**」選択➡■➡鳴動時間入力➡■➡◎（OK）

シークレット設定	用件をシークレットデータに設定します。

お買い上げ時 Off

「シークレット設定：」選択➡■➡「On」選択➡■

- シークレットデータを確認するときは、シークレットモード（☞P.11-21）を「**表示する**」にしてください。
- シークレット設定を解除するときは、シークレットモード（☞P.11-21）を「**表示する**」にしたあと、用件の編集（☞P.13-11）を行います。（上記操作の「On」の代わりに「Off」を選びます。）

用件を確認する

メニュー ▶ ツール

1 「予定リスト」を選び、■を押す。

■処理済（チェック済）の用件を確認：◂□▸で「☑」（処理済）選択

■未処理（未チェック）の用件を確認：◂□▸で「□」（未処理）選択

2 用件を選び、■を押す。

■予定をメール送信：✉（**メニュー**）➡「**送信**」選択➡■➡「**メール添付**」選択➡■➡メール作成／送信（☞P.15-7操作3以降）

3 確認を終了するときは、CLEAR/BACKを押す。

> **終了した用件にチェックを入れる**
>
> ■終了した用件にチェック「☑」を入れ、管理することができます。左記操作1のあと、次の操作を行います。
>
> 用件（「□」表示）選択➡■➡■
>
> ■チェックの解除：用件（「☑」表示）選択➡■➡■
>
> **用件の件数を確認する**
>
> ■左記操作1で、次の操作を行います。
>
> ✉（メニュー）➡「メモリ確認」選択➡■

用件を検索する

メニュー ▶ ツール ➡ 予定リスト

1 用件を選び、✉（メニュー）を押す。

2 「件名検索」を選び、■を押す。

3 検索語を入力し、■を押す。

- 最大32文字まで入力できます。

4 用件を選び、■を押す。

ツール 13

用件を編集する

メニュー ▶ ツール ▶ 予定リスト

1 用件を選び、✉（メニュー）を押す。

2「編集」を選び、■を押す。

3 編集する項目を選び、■を押す。

●編集方法は、登録時と同様です。

4 編集が終われば、o（保存）を押す。

用件を削除する

1件削除	用件を1件ずつ削除します。

メニュー ▶ ツール ▶ 予定リスト

削除する用件選択➡✉（メニュー）➡「削除」選択➡■➡「1件」選択➡■➡✉（Yes）

全件削除／処理済削除	すべての用件、または処理済のすべての用件を削除します。

メニュー ▶ ツール ▶ 予定リスト

すべての用件を削除する

✉（メニュー）➡「削除」選択➡■➡「全件」選択➡■➡操作用暗証番号（4ケタ）入力➡■➡✉（Yes）

処理済の用件をすべて削除する

✉（メニュー）➡「削除」選択➡■➡「処理済」選択➡■➡✉（Yes）

●処理済の用件がないとき、「**処理済**」は表示されません。

アラーム

アラームを設定する

指定した時刻にアラームを鳴らしお知らせします。

●毎日または、指定した曜日にだけアラームを鳴らすことができます。

●アラームは、最大5件まで登録できます。

メニュー ▶ ツール ▶ アラーム

1 登録場所（「--：--」表示）を選び、■を押す。

2 アラームの時刻を入力し、■を押す。

■アラームの各種設定：☞P.13-13

3「リピート：」を選び、■を押す。

4 *毎日アラームを鳴らす*

1「毎日」を選び、■を押す。

指定した曜日にアラームを鳴らす

1「曜日指定」を選び、■を押す。

■曜日をすべて選択：✉（メニュー）➡「全選択」選択➡■➡操作4へ

2 曜日を選び、■を押す。

曜日が指定され、「☑」が表示されます。

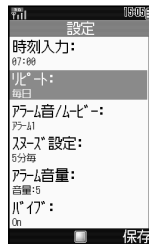
●すでに指定されている曜日を選び、■を押すと、指定が解除されます。

3 操作2をくり返し、必要な曜日を指定する。

4 指定が終われば、o（OK）を押す。

一回だけアラームを鳴らす

1「1回のみ」を選び、■を押す。

アラーム登録の画面

5 [o]（保存）を押す。

アラームが設定されます。

●続けて他の時刻にアラームを設定するときは、P.13-11操作1からくり返します。

6 終了するときは、[終話]を押す。

待受画面に戻り、「🔔」が表示されます。

アラームの設定時刻になると

アラーム設定の内容に従って、アラーム音やバイブレータでお知らせします。

●アラーム電源On設定（☞P.11-15）を「On」にしている場合に、電源を切っている状態で設定時刻になったときは、自動的に電源が入りアラームが動作します。ただし、完全に電源が切れていない状態では、アラーム設定時刻になっても、アラームは動作しません。完全に電源が切れてから、2分以内にアラームは動作します。

●画面ピクチャー（☞P.11-3）を設定しているときは、設定している画像が表示されます。また、ムービーや画像付きSMAFファイルをアラーム音に設定しているときは、ムービーやSMAFファイルの画像が優先して表示されます。

アラーム音を停止する

■アラーム動作中に次の操作を行います。

[o]（キャンセル）／[終話]／[CLEAR/BACK]

●電源を切っている状態でアラームが動作したときは、上記操作のあと電源On／Offの確認画面が表示されます。電源を入れておくときは[✉]（Yes）、電源を切るときは[o]（No）を押してください。

■約20秒間そのままにしておくと、自動的に電源が切れます。

スヌーズ（☞P.13-13）を設定すると

■設定したスヌーズ間隔で、くり返しアラームが鳴ります。（スヌーズ待機状態）

●電源On／Offの確認画面で別のアラームの設定時刻になったときは、別のアラームが動作します。

●着信があったときは、電話を受けることができます。（電源を切っている状態でアラームが動作したときは、電話は受けられません。）

通話終了後[終話]を押すと、スヌーズ待機状態に戻ります。

●スヌーズを解除する前に別のアラームの設定時刻になったときは、別のアラームは動作しません。スヌーズ解除後に別のアラームが動作します。

■スヌーズを解除するときは、アラーム動作中に次の操作を行います。

[o]（キャンセル）／[終話]／[CLEAR/BACK]➡[✉]（Yes）

●スヌーズ開始から60分経過すると、スヌーズは自動的に解除されます。

補足▶

●通話中や動画撮影中にアラーム指定時刻になっても、アラームは動作しません。このときは、通話や撮影終了後[終話]を押すとアラームが動作します。

●マナーモード設定中の音量は、マナーモードの設定内容に従います。（お買い上げ時は「**サイレント**」）

●自動電源Onとアラームを同じ時刻に設定しているときは、起動後にアラームが動作します。

●PIN On／Off設定（☞P.11-20）を「On」にしている場合に、「**アラーム音／ムービー**」を「**固定データ**」以外にしているとき、電源Off状態から起動するアラームの鳴動音は「**アラーム1**」となります。

●アラーム設定をしたあとで電池パックを取り外すと、電源を切った状態でアラームが動作しないことがあります。このときは、いったん電源を入れたあと、電源を切ってください。

アラームの各種設定

● 以下の操作は、P.13-11操作2のあとのアラーム登録の画面で行います。操作後、アラーム登録の画面に戻りますので、アラームの登録を完了してください。

アラーム音 アラーム音の種類を設定します。

お買い上げ時 アラーム1

固定データを利用する

「アラーム音／ムービー：」選択➡■➡「音選択」選択➡■➡「固定データ」選択➡■➡アラーム音選択➡■

■ 再生：アラーム音選択後✉（再生）
- 再生の停止：再生中に✉（停止）

着うた・メロディ／ミュージックフォルダ内のデータを利用する

「アラーム音／ムービー：」選択➡■➡「音選択」選択➡■➡「着うた・メロディ」／「ミュージック」選択➡■➡アラーム音選択➡■

■ 再生：アラーム音選択後✉（メニュー）➡「再生」選択➡■
- 再生の停止：再生中にCLEAR/BACK

ムービー アラーム動作時にムービーを流します。

「アラーム音／ムービー：」選択➡■➡「ムービー選択」選択➡■➡ムービー選択➡■

■ 再生：ムービー選択後✉（メニュー）➡「再生」選択➡■
- 再生の停止：再生中にCLEAR/BACK

スヌーズ設定 アラーム動作後、一定の間隔でアラームをくり返し鳴らします。

お買い上げ時 5分毎

「スヌーズ設定：」選択➡■➡くり返す間隔選択➡■

■ 間隔を入力して設定するとき：間隔選択時に「その他」選択➡■➡間隔入力➡■

アラーム音量 アラーム音の音量を調節します。

お買い上げ時 音量5

「アラーム音量：」選択➡■➡✥（音量調節）➡■

バイブ バイブレータでお知らせするかどうかを設定します。

お買い上げ時 On

「バイブ：」選択➡■➡「On」／「音連動」／「Off」選択➡■

●「音連動」について詳しくは、「バイブ」(☞P.11-12）を参照してください。

鳴動時間 アラームを何秒間鳴らすかを設定します。

お買い上げ時 10秒

「鳴動時間：」選択➡■➡時間選択➡■

■ 時間を入力して設定するとき：時間選択時に「その他」選択➡■➡鳴動時間入力➡■

アラームを解除する／再設定する

アラーム解除	設定したアラームを解除します。

メニュー ▶ ツール ➡ アラーム

アラーム選択➡☒（メニュー）➡「アラームOff」選択➡■

- アラームが解除され、「🔔」が消えます。
- 解除しても登録内容は消えません。同じ内容でアラームを動作させるときは、アラームの再設定を行ってください。

アラーム再設定	解除したアラームを同じ内容で再設定します。また、一部を変更して設定もできます。

メニュー ▶ ツール ➡ アラーム

アラーム選択➡☒（メニュー）➡「アラームOn」選択➡■

■ 一部を変更して再設定するとき：アラーム選択➡■➡設定編集

▪ 編集方法は、登録時と同様です。

アラームを削除する

1件削除	アラームを1件ずつ削除します。

メニュー ▶ ツール ➡ アラーム

アラーム選択➡☒（メニュー）➡「削除」選択➡■➡☒（Yes）

全件削除	すべてのアラームを削除します。

メニュー ▶ ツール ➡ アラーム

「全件削除」選択➡■➡☒（Yes）

自動電源On

設定した時刻に自動的に電源を入れることができます。

- お買い上げ時には、「Off」に設定されています。

メニュー ▶ ツール ➡ 自動電源On ➡ On／Off設定

1 **「On」を選び、■を押す。**

■ 自動電源Onの解除：「Off」選択➡■（操作完了）

2 **「時刻設定」を選び、■を押す。**

3 **自動電源Onの時刻を入力し、■を押す。**

注意▶ アラーム動作中やアラーム動作中のスヌーズを解除する前は、自動電源Onの設定時刻になっても、動作しません。アラーム動作終了後、またはスヌーズ解除後に動作します。

補足▶ 自動電源Onを「On」にしたあとで電池パックを取り外すと、自動的に電源が入らないことがあります。このときは、いったん電源を入れたあと、電源を切ってください。

世界時計

普段お使いの都市［日時設定（☞P.11-14）で設定した都市］の日時と共に、あらかじめ指定した世界各国の都市の日時を表示できます。

- 905SHには、あらかじめ世界各国の都市の時刻情報が登録されています。普段お使いの都市の時刻との時差と都市名を入力して、追加することもできます。
- 世界時計は、待受画面に表示することもできます。
（時計／カレンダー設定：☞P.11-4）
- お買い上げ時、世界時計の都市（タイムゾーン設定）は、「東京」に設定されています。

世界時計を設定する

- サマータイムを設定すると、設定した世界各国の都市の時刻が、1時間進んだ状態で表示されます。

メニュー ▶ ツール ➡ 世界時計

1 ■を押す。

2 *世界時計の都市を設定する*

1「タイムゾーン設定」を選び、■を押す。

2 ◎で都市を選び、■を押す。

■ 都市の追加：✉（オリジナル）➡ 都市名（最大16文字）入力➡■➡◎（＋／－）➡◎➡時差入力➡■

サマータイムを設定する

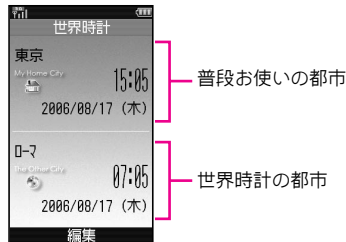
1「サマータイム設定」を選び、■を押す。

2「On」を選び、■を押す。

■ サマータイム設定の解除：「Off」選択➡■

世界時計を表示する

メニュー ▶ ツール

1「世界時計」を選び、■を押す。

補足▶
- 普段お使いの都市は変更できます。（☞P.11-15）
- 待受画面に世界時計を表示するときは、時計／カレンダー設定を、「世界時計（大）／（小）」、「世界時計＋1ヵ月／2ヵ月」のいずれかにしてください。（☞P.11-4）

簡易電卓

12ケタまでの四則演算やパーセント計算が行えます。
●国内通貨と海外通貨の換算も行えます。

メニュー ▶ ツール

1「簡易電卓」を選び、■を押す。

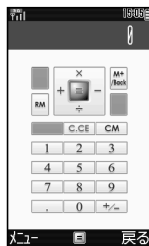
簡易電卓の画面が表示されます。

●待受画面で数字を入力し［文字］を押しても、簡易電卓を呼び出せます。

●ダイヤルボタンで数字を入力し、下表の各ボタンを使って計算します。

計算結果のコピー：計算結果表示中に［✉］（メニュー）➡「コピー」選択➡■

＋（足す）	［•□］
ー（引く）	［□•］
×（掛ける）	［上］
÷（割る）	［下］
＝（イコール）	■
C・CE（クリア）	［CLEAR/BACK］
CM（クリアメモリ）	［文字］
RM（メモリ呼出）	［発信］
M+（メモリ加算）	［0］※1
.（小数点）	［＊絵/記号］
+/−（符号反転）	［＃］
%（パーセント）	［✉］※2

※1 計算結果が「0」のときは、操作できません。
※2 ［✉］（メニュー）を押したあと、メニュー項目から選択してください。

2 簡易電卓を終了するときは、［終話］を押す。

通貨を換算する

■国内と海外の換算レートを設定するときは、簡易電卓の画面で次の操作を行います。

［✉］（メニュー）➡「換算」選択➡■➡「レート設定」選択➡■➡「国内通貨」／「海外通貨」選択➡■➡換算レート入力➡■

● お買い上げ時には、どちらも「1」に設定されています。

■国内通貨と海外通貨を換算するときは、数字を入力したあと、次の操作を行います。

［✉］（メニュー）➡「換算」選択➡■➡「国内通貨に換算」／「海外通貨に換算」選択➡■

● あらかじめ設定している換算レートに従って換算されます。

補足▶
● 計算中に着信があったときは、入力した数値や計算結果は一時的に記憶（保護）されています。通話などを終わると、簡易電卓の画面に戻ります。
● メモリ計算は、メモリ内容を消去してから始めてください。
● メモリに記憶した数値は、簡易電卓を終了しても消去されません。電源を切ると消去されます。

ボイスレコーダー

905SHのマイクを利用して、音声を録音します。

●録音できる内容と録音した音声の保存先は、次のとおりです。

	内容	保存先
メール添付	1件につき、最長約3分録音できます。録音した音声は、メールに添付して送信できます。	905SHまたはメモリカード※1
長時間録音	最長約10時間録音できます。	メモリカード※2

※1 あらかじめ保存先を設定できます。(保存時に選択するように設定することもできます。保存時に選択するように設定したときは、必ずメモリカードを取り付けておいてください。)

※2 必ずメモリカードを取り付けておいてください。

●お買い上げ時には、「**メール添付**」に設定されています。

音声録音時のご注意

●ご利用の前に、電池残量をご確認ください。電池残量が不足しているときは録音できません。(ボイスレコーダーは起動できません。)

また、長時間録音で録音中に電池残量が不足すると、録音は中止されます。

●通話中の音声は録音できません。

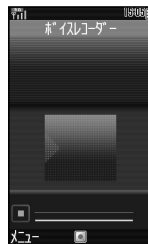
●外部マイクとして利用できないプラグなどを接続すると、正しく録音できないことがあります。

音声を録音する

メニュー ▶ ツール

1 「ボイスレコーダー」を選び、■を押す。

■ 録音時間の変更:✉(**メニュー**)➡「**録音時間**」選択➡■➡「**メール添付**」/「**長時間録音**」選択➡■

■ 保存先の変更:☞P.13-18

2 ■を押す。

録音が始まります。

3 *「メール添付」で録音する*

1 録音を止めるときは、■を押す。

●録音可能時間が経過したときは、自動的に終了します。

■ 音声の再生:「**再生**」選択➡■

- 再生の一時停止:再生中に■
- 再生を終了:再生中/一時停止中にCLEAR/BACK

■ 録音のやり直し:CLEAR/BACK➡操作2からやり直す

■ 音声をメールに添付して送信:「**メール送信**」選択➡■➡メール作成/送信(☞P.15-7操作3以降)

- 保存先選択画面表示時:保存先選択➡■

2 保存するときは、「保存」を選び、■を押す。

録音した音声が905SHまたはメモリカードに保存されます。

■ 保存先選択画面表示時:保存先選択➡■

「長時間録音」で録音する

1 録音を止めるときは、■を押す。

録音した音声がメモリカードに保存されます。

注意▶
- 録音中は、905SHに衝撃を与えないでください。雑音や音とびの原因となります。
- メモリカードに音声ファイルが大量に保存されているときは、録音開始までにしばらく時間がかかることがあります。

補足▶
- 録音中にアラーム時刻になってもアラームは動作しません。このときは、録音終了後ボイスレコーダーを終了すると、アラームが動作します。
- メール作成画面からボイスレコーダーを起動して録音したり、録音した音声をメールに添付して送信できます。（☞P.15-10）

音声を再生する

- 再生音は、905SHのスピーカーから聞こえます。
- TVアンテナ付きステレオイヤホンマイクを利用して聞くこともできます。

メニュー▶ ツール ➡ ボイスレコーダー

1 ✉（メニュー）を押す。

2「着うた・メロディ」を選び、■を押す。

905SH／メモリカードの切替：✉（メニュー）➡「本体へ切替」／「メモリカードへ切替」選択➡■

3 音声を選び、■を押す。

再生が始まります。

音量の調節：▲（上げる）／▼（下げる）

音声を削除する

■左記操作2のあと、次の操作を行います。

音声選択➡✉（メニュー）➡「削除」選択➡■➡✉（Yes）

再生中に電話／メールなどの着信があると

■電話着信があったときや、アラームの設定時刻になったときは、再生は停止します。

■メール着信があったときは、再生は継続したまま、メールが届いたことをお知らせします。

音声録音に関する設定

保存先設定	「メール添付」で録音するときの音声の保存先を設定します。

お買い上げ時 本体

メニュー▶ ツール ➡ ボイスレコーダー

✉（メニュー）➡「保存先設定」選択➡■➡「本体」／「メモリカード」／「毎回確認」選択➡■

- 「毎回確認」を選ぶと、保存のたびに保存先の選択画面が表示されるようになります。

ツール 13

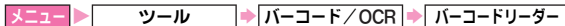
バーコード読み取り

印刷されたバーコードをカメラで撮影して読み取ったり、ウェブなどで入手したバーコードの画像ファイルを直接読み取れます。

- バーコード（JANコード）またはQRコードを自動的に判別し、読み取ることができます。
- バーコード（JANコード）は最大50回まで、QRコードは最大16回まで連続して読み取ることができます。（連続モード）ただし、データ内容やデータサイズによっては、連続して読み取れないことがあります。
- ズームは利用できません。

注意▶
- バーコードが汚れていたり、かすれていたり、薄いときなどは、読み取れないことがあります。
- 室内などでバーコードを読み取る場合に、体の一部や905SHの影がバーコードにかかっているときは、読み取れないことがあります。このようなときは、モバイルライトの利用をおすすめします。
- 画面内に複数のバーコードを表示すると、読み取れないことがあります。

補足▶
- JANコードとは幅の異なるバーとスペースを組み合わせた一次元コードの種類です。JANコード以外の一次元バーコード（ITFコード、Code39、Codabar/NW-7など）は、読み取ることができません。
- QRコードとは縦横に情報を持った二次元コードの種類です。

 ▶ ツール ➡ バーコード／OCR ➡ バーコードリーダー

1 読み取るバーコードを画面中央に表示する。

- 接写スイッチ（☞P.1-7 33）を接写モード「🌷」に切り替えてください。
- 被写体とは、約10cm離してください。

■ 明るさの調整：◉（明るさ選択）
■ 連続モードの設定：✉（メニュー）➡「連続読み取り」選択➡■➡「On」／「Off」選択➡■
■ モバイルライト利用：#（押すたびに切替）
■ 操作ガイドの表示：0
■ 確認の終了：上記操作のあと■

2 ■を押す。

バーコードの読み取りが始まります。

- 読み取りにくいときは、905SHをゆっくりと動かして被写体との距離を変えてください。

■ 読み取りの中止：o（キャンセル）➡操作1からやり直す

3 読み取りが終了すると、認識完了音が鳴り、読み取り結果が表示される。

■ 読み取り結果を利用した各操作：☞P.13-20
■ 読み取りのやり直し：読み取り結果表示中にCLEAR/BACK➡✉（Yes）➡操作1からやり直す

ツール 13

連続モードでの読み取り後の操作

■読み取りが終了すると、連続して読み取るかどうかの確認画面が表示されます。
- 連続して読み取るとき
  ✉（Yes）➡**次のバーコードを画面中央に表示**➡■
- 読み取りを終了するとき
  ⊙（No）➡**読み取り結果表示**

分割されているバーコード読み取り後の操作

■読み取りが終了すると、次のバーコードを読み取るかどうかの確認画面が表示されます。
- 読み取るとき
  ✉（Yes）➡**次のバーコードを画面中央に表示**➡■
- 読み取りを中止するとき
  ⊙（No）➡✉（Yes）

■分割個数分のバーコードをすべて読み込まないと、表示／保存できません。

■読み取り中は、分割されている個数と、読み取り済の個数が画面1行目に表示されます。（例：…4分割の1個目）

■読み取り結果を利用した各操作

操作	手順
電話をかける※1	「TEL:」の付いている番号※2選択➡■➡電話番号入力画面➡発信
メール送信する※3	「@」の含まれているE-mailアドレス選択➡■➡メール作成／送信（☞P.15-8操作5以降）
メール本文に貼り付ける	✉（**メニュー**）➡「**メール本文へ貼付**」選択➡■➡■➡メール作成／送信（☞P.15-7操作3以降） ■ 読み取り結果の一部を利用する：貼り付け文字列表示中に✉（**切取**）➡切り出す最初の文字選択➡■➡切り出す最後の文字選択➡■
電話帳に登録する※1※3	「TEL:」の付いている番号※2／「@」の含まれているE-mailアドレス選択➡✉（**メニュー**）➡「**電話帳登録**」選択➡■➡「**新規作成**」選択➡■➡P.4-4操作2以降
インターネットに接続する※4	先頭に「http://」、「rtsp://」の付いているURL選択➡■➡情報画面表示
データフォルダに保存する（画像／メロディ）	画像／メロディ選択➡✉（**メニュー**）➡「**保存**」選択➡■

※1 含まれている文字が「TEL:＊」のときに利用できます。
※2 0から始まる10ケタ以上32ケタ以下の数字の文字列についても、「TEL:」と同様の扱いとなります。
※3 含まれている文字が「＊@＊」のときに利用できます。
※4 含まれている文字が「http://＊」、「rtsp://＊」のときに利用できます。
●「＊」は英数字1文字以上を示します。

ツール 13

操作		手順
登録する		✉（**メニュー**）➡「**読み取りデータ登録**」選択➡■ ● 最大10件まで登録できます。 ● 登録したデータは、「**読み取りデータ確認**」（☞P.13-22）で確認できます。
画面ピクチャーに登録する		画像選択➡✉（**メニュー**）➡「**画面ピクチャー登録**」選択➡■➡表示場面選択➡■➡■
コピーする	文字	✉（**メニュー**）➡「**コピー**」選択➡■➡コピーする最初の文字選択➡■➡コピーする最後の文字選択➡■
	URL※4	先頭に「http://」、「rtsp://」の付いているURL選択➡✉（**メニュー**）➡「**URLコピー**」選択➡■
	E-mailアドレス※3	「@」の含まれているE-mailアドレス選択➡✉（**メニュー**）➡「**アドレスコピー**」選択➡■
	電話番号※1	「TEL：」の付いている番号選択※2➡✉（**メニュー**）➡「**電話番号コピー**」選択➡■
壁紙に登録する		画像選択➡✉（**メニュー**）➡「**壁紙登録**」選択➡■➡表示方法選択➡■➡■
画像／メロディを表示／再生する		画像／メロディ選択➡■
ファイルの詳細情報を表示する		画像／メロディ選択➡✉（**メニュー**）➡「**プロパティ**」選択➡■

※1 含まれている文字が「TEL:¥」のときに利用できます。
※2 0から始まる10ケタ以上32ケタ以下の数字の文字列についても、「TEL:」と同様の扱いとなります。
※3 含まれている文字が「¥@¥」のときに利用できます。
※4 含まれている文字が「http://¥」、「rtsp://¥」のときに利用できます。
●「¥」は英数字1文字以上を示します。

注意 先頭に「TEL:」の付いている電話番号（0から始まる10ケタ以上32ケタ以下の数字の文字列についても同様）、「@」が含まれているE-mailアドレス、先頭に「http://」や「rtsp://」の付いているURLがないときは、それらを利用した各操作は行えません。

読み取り結果に「MEMORY:」や「MAILTO:」が含まれているとき

■電話帳（「MEMORY:」）やメール（「MAILTO:」）用の項目と内容が表示されます。
- このあと■を押すと、表示されている内容を電話帳登録画面やメール送信画面にまとめて入力することができます。まとめて入力できるものには破線のアンダーラインが付きます。（ただし、文字列の中に規定以外の文字があったときは、その文字以降は破線のアンダーラインは付きません。）

文字入力中の読み取り

文字入力中にバーコードを読み取り、読み取り結果をカーソル位置に挿入します。

文字入力画面で✉（メニュー）➡「読み取り」選択➡■➡「バーコード読み取り」選択➡■➡バーコードを画面中央に表示➡■➡■

■ 読み取り結果の一部を利用する：読み取り結果表示中に✉（**切取**）➡切り出す最初の文字選択➡■➡切り出す最後の文字選択➡■

注意 次のときは、文字入力中のバーコード読み取り／文字読み取りはできません。
- 通話中
- 電子ブック使用中
- Vアプリ起動中

バーコードファイルの読み取り	データフォルダ内のバーコードファイルを直接読み取ります。

メニュー ▶ ツール ➡ バーコード／OCR ➡ データフォルダ

バーコードファイル選択➡■

■分割バーコード読み取り時：✉（Yes）
■読み取り中止：◎（No）➡✉（Yes）

■自動読み取り失敗時：■➡次のバーコードファイル選択➡■

注意▶
- サイズを変更したバーコードは、読み取れないことがあります。
- バーコードの種類によっては、確認メッセージが表示され、読み取れないことがあります。

読み取りデータ確認	登録した読み取り結果（読み取りデータ）を確認します。

メニュー ▶ ツール ➡ バーコード／OCR ➡ 読み取りデータ確認

読み取りデータ選択➡■

■読み取りデータの情報確認：読み取りデータ選択➡✉（メニュー）➡「プロパティ」選択➡■
■確認の終了：上記操作のあと■

■読み取りデータの削除：読み取りデータ選択➡✉（メニュー）➡「削除」選択➡■➡✉（Yes）

- 表示した読み取り結果を、再び登録することはできません。
- 表示サイズが大きすぎると表示されません。また、ファイルによっては表示できないことがあります。

QRコード作成

905SHの電話帳、入力したテキスト、データフォルダ内のメロディ／画像／テキストメモを利用して、QRコードを作成できます。

- 1つのQRコードに登録できる文字数の目安は、数字だけを入力したときは513文字、英数字を入力したときは311文字、漢字だけを入力したときは131文字となります。
- 情報量が多いときは、自動的に分割QRコードが表示されます。（16分割まで）
- 作成したQRコードは、905SHのデータフォルダのピクチャーフォルダに登録されます。登録後は、データフォルダの操作で確認できます。（☞P.10-5）

電話帳のQRコード作成	登録済の電話帳を利用して、QRコードを作成します。

メニュー ▶ ツール ➡ バーコード／OCR ➡ QRコード作成 ➡ 電話帳

電話帳選択➡■➡作成されたQRコード表示➡■

- QRコードには、姓、名、ヨミ、電話番号、E-mailアドレス、メモが含まれます。その他の項目は含まれません。

テキストのQRコード作成	テキストを入力して、QRコードを作成します。

メニュー ▶ ツール ➡ バーコード／OCR ➡ QRコード作成 ➡ テキスト

テキスト入力➡■➡作成されたQRコード表示➡■

その他のQRコード作成	データフォルダ内のメロディ／画像／テキストメモを利用して、QRコードを作成します。

メニュー ▶ **ツール** ➡ **バーコード／OCR** ➡ **QRコード作成** ➡ **データフォルダ**

フォルダ選択➡■➡ファイル選択➡■➡作成されたQRコード表示➡■

登録先を変更する

■作成されたQRコードの表示中に、次の操作を行います。
　✉（メニュー）➡「登録先変更」選択➡■➡「本体」／「メモリカード」選択➡■

MMSに添付して送信する

■作成されたQRコードの表示中に、次の操作を行います。
　✉（メニュー）➡「メール添付」選択➡■➡P.15-7操作3以降

QRコード作成中に着信があると

■作成中の内容は保存されています。通話終了後、QRコード作成画面に戻ります。

文字読み取り

URL、E-mailアドレス、電話番号、英語名などをカメラで撮影し、読み取ります。また、読み取ったあとに、種類に応じた操作も行えます。

- 最大256文字まで、連続して読み取ることができます。
- 一度に読み取り可能な文字数は最大半角60文字、行数は3行までです。ただし、35文字を越えると、読み取りにくいことがあります。
- 一部記号など、読み取れないことがあります。
- 文字読み取りの起動時には、反転モードは「**自動**」に設定されています。白抜きの文字など、うまく読み取れないときは、反転モードを切り替えてください。
- ズームは利用できません。

注意▶
- 音楽再生中は、文字読み取りはできません。文字読み取りを起動すると、終了確認画面が表示されますので、✉（Yes）を押し、機能を終了させてください。
- Vアプリ起動中は、文字読み取りは起動できません。
- 905SHの温度が高いときは、確認メッセージが表示され、文字読み取りはできません。また、読み取り中に温度が高くなったときは、確認メッセージが表示されたあと、読み取りは自動的に終了します。

メニュー ▶ ツール ▶ バーコード／OCR ▶ 文字読み取り

1 読み取る文字を、画面中央に表示する。

●画面内の［］枠中央に入るように調整してください。
［］の端の文字は読み取りにくいことがあります。

●文字のサイズに応じて、接写スイッチ（☞P.1-7 33）を通常モード⇔接写モードに切り替えてください。

●被写体とは、約10cm離してください。

ピント調整バー
（色が濃くなるほどピントが合います）

■明るさの調整：[◉]（明るさ選択）

■反転モードの設定：[✉]（**メニュー**）➡「**反転モード切替**」選択➡[■]➡「**自動**」／「**通常文字**」／「**反転文字**」選択➡[■]

■モバイルライト利用：[#]（押すたびに切替）

■操作ガイドの表示：[0]

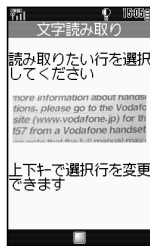
■確認の終了：上記操作のあと[■]

2 [■]を押す。

文字の読み取りが始まります。

■読み取りの中止：[CLEAR/BACK]➡操作1からやり直す

3 [◆]で読み取る行を指定し、[■]を押す。

●文字の読み取りは、1行単位で行います。

4 読み取りが終了すると、読み取り結果が表示される。

読み取った文字を自動的に判別し、URL、E-mailアドレス、電話番号、単語などで表示します。読み取ったあとでも、種類を変更し、再認識することができます。

●読み取り可能文字数を超えたときは、文字数をカットしたあとの読み取りデータが表示されます。

■読み取りの種類変更：[✉]（**メニュー**）➡「**モード切替**」選択➡[■]➡種類選択➡[■]
（切り替えた種類により、読み取り結果や変換候補で表示される内容が変わります。）

■読み取り結果修正：[✉]（**メニュー**）➡「**候補選択（編集）**」選択➡[■]➡修正する文字選択➡候補選択／文字修正

■読み取りのやり直し：[CLEAR/BACK]➡[✉]（Yes）➡操作1からやり直す

5 [■]を押す。

●このあと、読み取り結果を利用した各操作が行えます。（☞P.13-20～P.13-21）

続けて文字を読み取るとき

■操作5のあと、次の操作を行います。
[✉]（**メニュー**）➡「**続き読み取り**」／「**追加読み取り**」選択➡[■]

● **続き読み取り**
改行をカットしたデータを、前回読み取った結果の末尾に追加します。（前に読み取ったものと同じ種類で読み取ります。）

● **追加読み取り**
改行も含むデータを、前回読み取った結果の次行に追加します。

■すでに256文字を読み取り済のときは、「**続き読み取り**」または「**追加読み取り**」はできません。

文字入力中の読み取り	文字入力中に文字を読み取り、入力中の本文のカーソル位置に読み取り結果を挿入します。

文字入力画面で■（メニュー）➡「読み取り」選択➡■➡「文字読み取り」選択➡■➡文字を画面中央に表示➡■➡読み込んだ文字選択➡■➡■

● 読み取りの種類を変更するときや、読み取り結果を修正するときは、P.13-24操作4を参照してください。

ストップウォッチ

最長24時間（23時間59分59.9秒）まで、1／10秒単位で時間（タイム）を計測できます。

計測中に途中までの所要時間（ラップタイム）も記録できます。

● 計測したタイムは、最新の4件までのラップタイムと合わせて、905SHのテキストメモに登録できます。

● 電池残量が不足しているときは、計測できません。また、計測中に電池残量が不足すると、ストップウォッチは停止します。

メニュー ▶ ツール ➡ ストップウォッチ

1 ■を押す。

タイムの計測が始まります。

■ ラップタイムの記録：■（LAP）

▪ ラップタイムは、最新の4件まで保持されます。ストップウォッチを終了すると、すべて消去されます。

2 止めるときは、■を押す。

■ テキストメモ登録：■（**メニュー**）➡「**テキストメモに登録**」選択➡■

▪ 登録後のタイムは、テキストメモの操作で確認します。（☞P.10-17）

■ 再開：■

■ 計測タイムの消去：タイマー停止中に■（**メニュー**）➡「**リセット**」選択➡■

3 終了するときは、CLEAR/BACKを押したあと、■（Yes）を押す。

補足▶

● ストップウォッチを終了すると、計測したデータはすべて消去されます。消去したくないデータは、計測終了後、テキストメモに登録してください。

● 計測中に着信があったときは、通話中もストップウォッチの動作は継続します。■で通話終了後、計測中の画面に戻ります。

● ストップウォッチ動作中にアラーム時刻になっても、アラームは動作しません。このときは、ストップウォッチ終了後アラームが動作します。

キッチンタイマー

設定した時間が経過したことを、アラームとランプ（モバイルライト）でお知らせします。

● 最長60分まで、1秒単位で設定できます。

メニュー ▶ ツール ➡ キッチンタイマー

1 セットする時間（00分01秒～60分00秒）を入力し、■を押す。

● 入力を間違えたときは、■でカーソルを移動し、入力し直してください。■を押したあとは、下記の「**時間の変更**」の操作を行います。

● 60分（60：00）以上の数字を入力したときは、タイマー起動時の入力画面に戻ります。

■ 時間の変更：■（**編集**）➡時間入力➡■

2 ■を押す。

タイマーのカウントダウンが始まります。

3 止めるときは、■を押す。

■ 再開：■
■ タイマーのリセット：タイマー停止中に✉（**リセット**）

4 終了するときは、CLEAR/BACKを押したあと、✉（Yes）を押す。

設定時間になったときの動作

■「**効果音／サウンド再生**」の音量設定に従ってお知らせします。
- アラームを止めるときは、⊙（**キャンセル**）を押します。約60秒間そのままにしておいても止まります。
- マナーモード設定中は、マナーモード設定に従ってお知らせします。
- 着信中や通話中にタイマー設定時間が経過したときは、通話終了後☎を押すと、時間経過のお知らせが表示されます。

補足
- キッチンタイマー動作中に着信があったときは、通話中も動作は継続します。☎で通話終了後、キッチンタイマー動作中の画面に戻ります。
- キッチンタイマー動作中にアラーム時刻になっても、アラームは動作しません。このときは、キッチンタイマー終了後アラームが動作します。

マネー積算メモ

順次入力した金額の合計を自動的に計算します。出張時の経費の計算などに便利です。
- マネー積算メモは、最大30件まで入力できます。（合計金額は最大29,999,999.70円まで、1回の入力は最大999,999.99円まで）

マネー積算メモ入力　ダイヤルボタンで金額を入力し、明細名を付けて登録します。

メニュー ▶ **ツール** ➡ **マネー積算メモ** ➡ **新規入力**
金額入力➡■➡明細名選択➡■

■ マネー積算メモを簡単に入力する：待受画面で金額入力➡⬍➡■➡明細名選択➡■
- 操作した日時と金額が登録されます。
- 日付／時刻を設定していないときは、日時には「--/--/-- --:--」などが登録されます。

メモ確認　入力したマネー積算メモを確認します。

メニュー ▶ **ツール** ➡ **マネー積算メモ**
「メモ確認」選択➡■

■ 他の金額を確認：⬍
■ 入力したマネー積算メモの明細名を変更：明細選択➡■➡明細名選択➡■
　▪ 明細名の変更：明細名選択時に「**その他**」選択➡■➡明細名入力（最大14文字）➡■（この操作で明細名を変更しても、あらかじめ登録されている明細名は変更されません。）
■ 金額の変更：明細選択➡✉（**メニュー**）➡「**金額変更**」選択➡■➡金額入力➡■
■ 明細の1件削除：明細選択➡✉（**メニュー**）➡「**1件削除**」選択➡■➡✉（Yes）
■ 明細の全件削除：明細選択➡✉（**メニュー**）➡「**全件削除**」選択➡■➡✉（Yes）

明細変更　あらかじめ登録されている明細名を変更します。

メニュー ▶ **ツール** ➡ **マネー積算メモ**
「明細変更」選択➡■➡明細名選択➡■➡明細名入力➡■
- 最大14文字まで入力できます。

電子ブック

905SHでは、電子書籍用のデータフォーマット（XMDF形式やText形式）で作成されたデータ（電子ブック）を閲覧できます。

- 電子ブックには通常の「**書籍データ**」と、言葉の意味などを検索できる「**辞書データ**」があります。
- 電子ブックにご利用いただける書籍データや辞書データの入手方法などについては、ブックマークにあらかじめ登録されているシャープオリジナルサイト「Sharp Space Town」（☞P.16-7）でご案内しています。
- 書籍データによっては、文字コードを変更することで、多国語で表示できるデータがあります。（☞P.13-28）
- 書籍データによっては、音声や画像が埋め込まれているデータがあります。ただし、データによっては、905SHでは利用できないことがあります。
- メモリカードシンクロ中は、電子ブックを起動できません。

書籍データを読む

メニュー ▶ ツール

1 「電子ブック」を選び、■を押す。

電子ブックフォルダ内の書籍データのリスト画面が表示されます。（前回 ☎ を押して閲覧を終了していたときは、終了時のページが表示されます。）

■ 電子ブックフォルダ1以外のフォルダ内の電子ブックの閲覧：✉（**メニュー**）➡「**表示フォルダ切替**」選択➡■➡フォルダ選択➡■

- ■ 次回からもここで選択したフォルダが表示されます。
- ■「**ブック（本体）**」、「**ブック（SD）**」内の書籍データは、データフォルダのブックフォルダからでも閲覧できます。

2 データを選び、■を押す。

- 画面上部に表示される「○%」は、現在のページが書籍データ全体の何%ぐらいの位置にあたるかを示しています。

■ パスワードが必要なデータ選択時：パスワード入力➡■➡閲覧画面へ

■ タイトルや著者などの情報表示：データ選択後✉（**メニュー**）➡「**プロパティ**」選択➡■

- ■ 確認の終了：上記操作のあと■

3 閲覧を終了するときは、☎を押す。

- 次回電子ブックを起動すると、終了時に閲覧していたページから表示されます。

注意 ▶
- 次のときは、電子ブックは自動的に終了します。
  - ■ 電池残量が少なくなったとき
  - ■ 閲覧中に約5分間操作しなかったとき
  - ■ 閲覧中にメモリカードを取り外したとき
- リスト表示画面では、拡張子が「zbf」、「zbk」、「txt」、「text」のファイルだけが表示されます。
- 改訂データには対応していません。

閲覧画面での基本操作

■横書きか、縦書きかによって操作が異なります。

	横書き	縦書き
上	上にスクロール（行戻り）	前のページへ（ページ戻し）
下	下にスクロール（行送り）	次のページへ（ページ送り）
左	前のページへ（ページ戻し）	左にスクロール（行送り）
右	次のページへ（ページ送り）	右にスクロール（行戻り）

閲覧画面でできること

■データの先頭や最後に移動するときは、次の操作を行います。
　✉（メニュー）➡「先頭へ」／「最後へ」選択➡■

■先頭からおおよその位置を％で指定して移動するときは、次の操作を行います。
　✉（メニュー）➡「％指定移動」選択➡■➡位置（00〜99％）入力➡■

■目次を利用し、読む章を表示するときは、次の操作を行います。（目次に対応した書籍データで利用可能）
　✉（メニュー）➡「目次」選択➡■➡章選択➡■

■リンクを戻る／リンクを進むときは、次の操作を行います。
　✉（メニュー）➡「リンクを戻る」／「リンクを進む」選択➡■

■リスト画面に移動するときは、次の操作を行います。
　✉（メニュー）➡「リストへ」選択➡■

■しおりを利用するときは、P.13-29を参照してください。

情報の利用／文字列をコピーする

■書籍データ内に電話番号やE-mailアドレス、URLが入っているとき、これらの情報を利用できます。（電話発信、メール送信、インターネット接続）
　情報選択➡■➡✉（Yes）
- データの内容によっては、利用できないことがあります。

■書籍データ内の文字列（最大20文字まで）を、コピーできます。
　閲覧画面で✉（メニュー）➡「コピー」選択➡■➡P.3-13操作3以降
- 辞書データ内の辞書見出し画面や検索結果リスト表示画面などはコピーできません。
- ルビ文字や画像などはコピーできません。

閲覧画面の表示を設定する

■文字サイズや縦書き／横書きの切替など、閲覧画面の表示方法を設定できます。
　✉（メニュー）➡「表示設定」選択➡■➡項目選択➡■➡内容選択➡■

項目	内容	お買い上げ時の設定
文字サイズ	文字サイズを「最小」、「小」、「中」、「大」、「最大」のいずれかに設定します。	中
縦横設定	「縦書き」と「横書き」を切り替えて表示します。	縦書き※
ルビ表示	ルビを表示するかどうかを設定します。	Off
テキスト文字コード	文字コードを「Shift-JIS」、「Latin-1」、「Latin-9」のいずれかに設定します。	Shift-JIS

※書籍データによって異なることがあります。

- 書籍データによっては、上記の表示設定が利用できないことがあります。

マスク情報／ジャンプ情報について

■書籍データによっては、特定の文字列や画像を隠す情報（マスク情報）やコンテンツ内の他のページに移動する情報（ジャンプ情報）が埋め込まれていることがあります。

- マスク情報が埋め込まれている部分で■を押すと、文字列や画像が反転します。再度■を押すと、文字列または画像が表示されなくなります。
- ジャンプ情報が埋め込まれている部分で■を押すと、指定されているページに移動します。移動先のページでCLEAR/BACKを押すと、元のページに戻ります。

フォルダ／ファイルを利用する（電子ブックフォルダだけ）

■書籍データのリスト画面で、次の操作を行います。

- **フォルダ作成**
  ✉（メニュー）➡「フォルダ作成」選択➡■➡フォルダ名入力➡■
- **フォルダ／ファイル名変更**
  フォルダ／ファイル選択➡✉（メニュー）➡「名前変更」選択➡■➡フォルダ／ファイル名入力➡■
- **フォルダ／ファイル削除**
  フォルダ／ファイル選択➡✉（メニュー）➡「削除」選択➡■➡✉（Yes）
- **ファイル移動**
  ファイル選択➡✉（メニュー）➡「移動」選択➡■➡移動先選択➡■➡■

補足▶ データフォルダ（本体／メモリカード）内の書籍データを利用しているときは、上記の操作は行えません。905SH内のフォルダ／ファイルを操作するときは、「**フォルダ／ファイルの管理**」（☞P.10-9）を参照してください。

しおりを利用する

読みかけのページにしおりを登録しておけば、次回簡単な操作で続きから閲覧できます。

- しおりは1書籍につき最大2個（最大5書籍）まで登録できます。

1 しおりを登録するページで、■を押す。

■ 画面下部中央に「**しおり**」が表示されていないとき：✉（メニュー）➡「**しおりをはさむ**」選択➡■

2 「しおり１」または「しおり２」を選び、■を押す。

しおりが登録されます。

自動しおりについて

■書籍データの閲覧を終了すると、自動的に最後に表示していたページにしおりが登録されます。（自動しおり１）
次に同じ書籍データを閲覧し終了すると、最後に表示していたページが自動しおり１に登録され、前回の自動しおり１は自動しおり２に登録されます。

- 自動しおりは１書籍につき最大２個まで登録され、古いものから順に自動的に消去されます。

しおりを登録したページを表示する

■閲覧画面で、次の操作を行います。
✉（メニュー）➡「しおりへ」選択➡■➡「しおり１」／「しおり２」／「自動しおり１」／「自動しおり２」選択➡■

ツール
13

書籍データ内の画像を利用する

画像内情報の利用	画像に埋め込まれた情報を利用したり、壁紙に設定します。

メニュー ▶ ツール ➡ 電子ブック ➡ 書籍データを閲覧する

画像選択➡■

● 画像の内容によって、次の操作が行えます。（画面下部のソフトキー部分に「**登録**」などが表示されます。）

登録	壁紙に設定します。
リンクへ	ジャンプ情報では、書籍内の他のページへジャンプします。ウェブへの接続やメール送信など、リンク情報を実行するときは、電子ブックの終了確認が表示されます。 （情報の利用／文字列のコピー：☞P.13-28）
切替	隠された特定の文字列または画像の表示／非表示を切り替えます。
再生	指定のアニメーションが再生されます。

辞書データを利用する

文字列の検索	辞書データを利用して言葉の意味などが検索できます。

メニュー ▶ ツール ➡ 電子ブック

辞書選択➡■➡検索文字列の入力欄選択➡■➡文字列入力➡■

● 検索結果画面から情報を選び、■を押すと、辞書データの項目が表示されます。

● 項目画面での操作は、閲覧画面での基本操作（☞P.13-27）を参考にしてください。

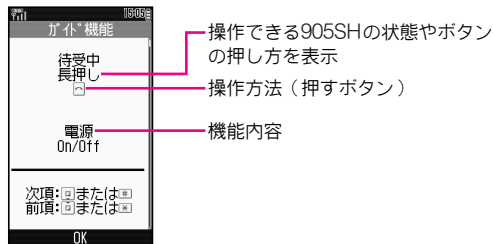
ガイド機能

905SHの基本的な操作方法を確認することができます。

● ガイド機能では、誤動作防止やでか文字モードなど、おもに直接ボタンで操作する（メニューに表示されない）機能が表示されます。

メニュー ▶ ツール

1 「ガイド機能」を選び、■を押す。

ガイド機能画面が表示されます。

2 □を押す。

別の機能の操作説明が表示されます。

● #／*を押しても、別の機能の操作説明が表示されます。

3 確認を終了するときは、■を押す。

オプションサービス

オプションサービスの概要

905SHでは、次のオプションサービスを利用できます。
- 電波の届かない場所では、905SHからは操作できません。
- サービス内容や一般電話からの操作などについて詳しくは、「3Gガイドブック」を参照してください。

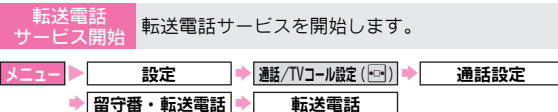
転送電話サービス	電波の届かない場所にいるときや、電話に出られないときに、かかってきた電話を指定した電話番号へ転送します。(☞右記)
留守番電話サービス	電波の届かない場所にいるときや、電話に出られないときに、留守番電話センターで伝言メッセージをお預かりします。(☞P.14-3) ■着信お知らせ機能 電源を切っているときや圏外時にかかってきた電話をインフォメーションでお知らせします。
割込通話サービス※	通話中の相手を保留にし、他の相手からの電話を受けたり、他の相手へ電話をかけられます。また、相手を切り替えることもできます。(☞P.14-5)
多者通話サービス※	通話中に他の相手に電話をかけ、最大6人同時に通話できます。また、相手を切り替えながら交互に通話できます。(☞P.14-6)
発着信規制サービス	電話をかけたり、電話を受けたりすることを状況に合わせて制限できます。(☞P.14-7)
発信者番号通知サービス	お客様の電話番号を相手に通知したり、非通知にすることができます。(☞P.14-10)

※別途お申し込みが必要です。

転送電話サービス

- 転送電話サービスと留守番電話サービスを同時に利用することはできません。ただし、転送電話サービスの「**TVコール**」と留守番電話サービスは、同時に利用できます。
- 発着信規制サービスの「**全発信規制**」または「**全着信規制**」を設定中は、転送電話サービスはご利用になれません。(発着信規制サービスが優先されます。)

転送電話サービス開始 転送電話サービスを開始します。

メニュー ➡ 設定 ➡ 通話/TVコール設定 ➡ 通話設定 ➡ 留守番・転送電話 ➡ 転送電話

転送先の電話番号を入力する

通話の種類選択➡■➡「呼出なし」/「呼出あり」選択➡■➡「電話番号入力」選択➡■➡転送先電話番号入力➡■

■「呼出あり」選択時：上記操作のあと、呼出時間選択➡■

- 一般電話へ転送するときは、電話番号を市外局番から入力してください。

電話帳の電話番号を利用する

通話の種類選択➡■➡「呼出なし」/「呼出あり」選択➡■➡電話帳選択➡■➡■

■電話番号が複数登録されている電話帳選択時：電話帳選択➡■➡電話番号選択➡■➡■

■「呼出あり」選択時：上記操作のあと、呼出時間選択➡■

オプションサービス 14

転送電話サービス開始後に着信があると

■着信音が鳴っている間に[発信]を押すと、そのまま通話できます。
- 「呼出なし」で転送電話サービスを開始しているときは、着信音は鳴らず、転送先に転送されます。

注意▶ **転送先として登録できない電話番号**
- 「1」から始まる電話番号（例：110、119、118など）
- 「00」から始まる電話番号（例：001、0041から始まる国際電話番号など）
- 「0120」から始まる電話番号（フリーダイヤル）
- 「0990」から始まる電話番号（ダイヤルQ2など）

TVコールを転送するとき
3G-324Mに準拠したTVコール対応機を転送先に設定してください。転送先が、3G-324Mに準拠したTVコール対応機以外のときは、TVコールは転送されません。

補足▶ 転送電話サービスを905SHの簡易留守録（☞P.2-9）と合わせてご利用になるときは、呼出時間の設定により、優先順位が変わります。

例：**転送電話サービスの呼出時間…10秒**
簡易留守録の呼出時間………… 9秒

と設定すると、簡易留守録が優先されます。（ただし、電波状況により優先順位が変わることがあります。）

転送電話サービス停止 転送電話サービスを停止します。

メニュー ▶ **設定** ➡ **通話/TVコール設定（[•□•]）** ➡ **通話設定** ➡ **留守番・転送電話**

「**留守番・転送停止**」選択➡[■]➡[✉]（Yes）
- 確認メッセージが表示されます。
- 留守番電話サービスも停止します。

転送電話サービス設定確認 転送電話サービスの設定状況を確認します。

メニュー ▶ **設定** ➡ **通話/TVコール設定（[•□•]）** ➡ **通話設定** ➡ **留守番・転送電話** ➡ **設定確認**

「**呼出なし**」／「**呼出あり**」選択➡[■]
- 設定確認画面が表示されます。

　確認の終了：上記操作のあと[■]

留守番電話サービス

- 留守番電話センターへの転送は、転送電話サービスを利用します。そのため、留守番電話サービスと転送電話サービスを同時に利用することはできません。ただし、転送電話サービスの「**TVコール**」と留守番電話サービスは、同時に利用できます。
- 発着信規制サービスの「**全発信規制**」または「**全着信規制**」を設定中は、留守番電話サービスはご利用になれません。（発着信規制サービスが優先されます。）
- 留守番電話サービスで利用できる機能などについて詳しくは、「**3Gガイドブック**」を参照してください。
- 電源を切っているときや圏外時にかかってきた電話を、インフォメーションでお知らせすることもできます。
（着信お知らせ機能：☞P.14-5）

留守番電話サービス開始 留守番電話サービスを開始します。

メニュー ▶ **設定** ➡ **通話/TVコール設定（[•□•]）** ➡ **通話設定** ➡ **留守番・転送電話** ➡ **留守番電話** ➡ **設定**

「**呼出なし**」／「**呼出あり**」選択➡[■]

　「**呼出あり**」選択時：上記操作のあと、呼出時間選択➡[■]
- 確認メッセージが表示されます。

留守番電話サービス開始後に着信があると

■着信音が鳴っている間に[電話]を押すと、そのまま通話できます。
- 「**呼出なし**」で留守番電話サービスを開始しているときは、着信音は鳴らず、留守番電話センターに転送されます。

補足▶ 留守番電話サービスを905SHの簡易留守録（☞P.2-9）と合わせてご利用になるときは、呼出時間の設定により、優先順位が変わります。
例：留守番電話サービスの呼出時間…10秒
簡易留守録の呼出時間……………… 9秒
と設定すると、簡易留守録が優先されます。（ただし、電波状況により優先順位が変わることがあります。）

留守番電話サービス停止 留守番電話サービスを停止します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話/TVコール設定（[•□•]） ➡ 通話設定 ➡ 留守番・転送電話

「**留守番・転送停止**」選択➡[■]➡[✉]（Yes）
- 確認メッセージが表示されます。
- 転送電話サービスも停止します。

留守番電話サービス設定確認 留守番電話サービスの設定状況を確認します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話/TVコール設定（[•□•]） ➡ 通話設定 ➡ 留守番・転送電話 ➡ 設定確認

「**呼出なし**」／「**呼出あり**」選択➡[■]
- 設定確認画面が表示されます。
  ■確認の終了：上記操作のあと[■]

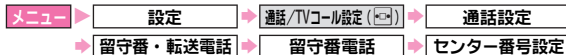
伝言メッセージ再生 留守番電話センターに入っている伝言メッセージを確認します。

[1]（**1秒以上**）
- 留守番電話センターに接続されます。以降は、アナウンスに従って操作します。
- 待受画面で次の操作を行っても、伝言メッセージを再生できます。
  - ■ [■]➡「**電話帳**」選択➡[■]➡「**留守番電話再生**」選択➡[■]
  - ■ [■]➡「**設定**」選択➡[■]➡[•□•]（「**通話／TVコール設定**」選択）➡「**通話設定**」選択➡[■]➡「**留守番・転送電話**」選択➡[■]➡「**留守番電話**」選択➡[■]➡「**留守番電話再生**」選択➡[■]

補足▶
- 留守番電話センターに伝言メッセージが入っているときは、「[留守]」が表示されます。
- 「[留守]」は905SHから伝言メッセージを聞いたときに消えます。

留守番電話センター番号設定 留守番電話センターの各番号を変更します。

お買い上げ時 留守番電話センター番号：09066517000
再生用センター番号（留守電再生）：1416

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話/TVコール設定（[•□•]） ➡ 通話設定 ➡ 留守番・転送電話 ➡ 留守番電話 ➡ センター番号設定

留守番電話センター番号を変更する

「**留守番電話センター番号**」選択➡[■]➡**番号入力**➡[■]

再生用センター番号を変更する

「**再生用センター番号**」選択➡[■]➡**番号入力**➡[■]

着信お知らせ機能を利用する

着信お知らせ機能を「On」にすると、電源を切っているときや圏外時にかかってきた電話をインフォメーションでお知らせします。

●留守番電話サービスを開始しているときだけ、利用できます。

着信お知らせ機能設定／解除 着信お知らせ機能を設定／解除します。

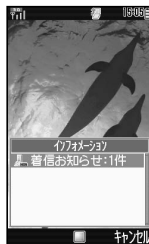
メニュー ▶ 設定 ➡ 通話/TVコール設定（•□•）➡ 通話設定

「着信お知らせ機能」選択➡■➡■

●ネットワークに接続されます。以降は、アナウンスに従って操作してください。

着信お知らせ機能設定時に着信があると

■電源を切っているときや圏外時には、着信があったことをセンターで記憶します。電源を入れたり圏内に入ると、インフォメーション（☞P.2-7）で着信があったことをお知らせします。

●インフォメーションが表示されるまでに、時間がかかることがあります。

割込通話サービス

別途お申し込みが必要です。

割込通話サービス設定／解除 割込通話サービスを設定／解除します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話/TVコール設定（•□•）➡ 通話設定 ➡ 割込通話

「On」（設定）／「Off」（解除）選択➡■

●設定確認メッセージが表示されます。

割込通話サービス設定確認 割込通話サービスの設定状況を確認します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話/TVコール設定（•□•）➡ 通話設定 ➡ 割込通話

「設定確認」選択➡■

●設定確認画面が表示されます。

確認の終了：上記操作のあと■

割込通話着信 通話中の電話を保留にして、あとからかかってきた電話を受けます。

通話中に割り込み音が聞こえたら［通話］

●以降［通話］（切替）を押すたびに、通話する相手を切り替えられます。

割込通話中に905SHを閉じると

■すべての通話が切れます。

割込通話中に［終話］を押すと

■通話中の相手との通話が切れ、「ピピピピ…」と警告音が鳴ります。次の操作を行うと、保留中の相手と通話できます。

［メール］（メニュー）➡「再開」選択➡■

割込通話中に通話中の相手が電話を切ると

■「ピピピピ…」と警告音が鳴ります。次の操作を行うと、保留中の相手と通話できます。

[メール]（メニュー）➡「再開」選択➡[■]

補足▶
- 割込通話サービスの利用中は、通話中に着信があっても、着信音は鳴らず、バイブレータも動作しません。専用の割り込み音が聞こえます。
- 留守番電話サービスまたは転送電話サービスを開始している場合に、通話中にかかってきた電話を受けなかったときは、留守番電話センターまたは転送先に転送されます。

  また、留守番電話サービスまたは転送電話サービスを「**呼出なし**」で開始しているときは、かかってきた電話は受けられません。（留守番電話センターまたは転送先に転送されます。）

多者通話サービス

別途お申し込みが必要です。

通話中発信 通話中の電話を保留にして、別の相手に電話をかけます。

通話中に電話番号入力➡[発信]

- 相手につながると、通話できます。それまで通話していた相手は、保留になります。
- 電話帳（[↓]）、発着信履歴（[発信]長押し）を使ってかけることもできます。

切替通話 相手を切り替えながら通話します。

通話中に[発信]

- それまで通話していた相手が保留になり、もう一方の相手と通話できます。

切替通話中に905SHを閉じると

■すべての通話が切れます。

切替通話中に[終話]を押すと

■通話中の相手との通話が切れ、「ピピピピ…」と警告音が鳴ります。次の操作を行うと、保留中の相手と通話できます。

[メール]（メニュー）➡「再開」選択➡[■]

切替通話中に通話中の相手が電話を切ると

■「ピピピピ…」と警告音が鳴ります。次の操作を行うと、保留中の相手と通話できます。

[メール]（メニュー）➡「再開」選択➡[■]

多者通話 複数で同時に通話できます。（最大6人）

切替通話中に[メール]（メニュー）➡「多者通話」選択➡[■]➡「全てと通話」選択➡[■]

多者通話中に[終話]を押すか905SHを閉じると

■すべての通話が同時に切れます。

多者通話中に通話中の相手が電話を切ると

■残された相手と通話できます。

発着信規制サービス

電話（音声電話／TVコール）の発着信やSMSの送受信を規制します。
●設定できる規制内容は、次のとおりです。

発信規制	全発信規制	緊急通話を除くすべての電話をかけられないようにします。
	国際発信全規制※	滞在国以外への電話をかけられないようにします。
	国際発信規制※	滞在国と日本以外への国際電話をかけられないようにします。
着信規制	全着信規制	すべての電話を受けられないようにします。
	国際着信規制	日本以外で電話を受けられないようにします。

※905SHは国際ローミング非対応のため、海外ではお使いいただけません。

また、発信先や着信元を規制したり、電話番号非通知の着信を拒否することもできます。

着信拒否番号	あらかじめ設定した相手からの電話を受けないようにします。
非通知着信拒否	電話番号非通知の電話を受けないようにします。

注意▶
●発着信規制サービスの操作には、ご契約時にお決めいただいた「**発着信規制用暗証番号**」（☞P.1-27）が必要です。
●発着信規制用暗証番号の入力を3回続けて間違えると、発着信規制サービスの設定変更ができなくなります。
このときは、発着信規制用暗証番号と交換機用暗証番号の変更が必要となりますので、ご注意ください。詳しくは、お問い合わせ先（☞P.21-26）までご連絡ください。
●転送電話サービスまたは留守番電話サービスを開始しているときは、「**全発信規制**」および「**全着信規制**」はご利用になれません。（転送電話サービスまたは留守番電話サービスが優先されます。）

補足▶
発信規制中に電話をかけようとすると、発信規制中である旨のメッセージが表示されます。お客様がご利用になる地域によっては、表示されるまでに時間がかかることがあります。メッセージが表示されないときは、発着信規制サービスの設定状況をご確認ください。

発信先固定について

■発信先固定を利用すると、あらかじめ設定した相手（電話番号）だけにしか発信できないようにすることができます。
- 発信先固定に対応したUSIMカードをお使いのときだけ利用できます。
- 発信先固定に登録した相手にSMSを送信するときは、発信先固定リストにSMSセンター番号（「+819066519300」）を登録する必要があります。
（SMSセンター番号は変更されることがあります。変更の際は、ボーダフォンからお知らせします。）

発信規制を設定する

発信規制の設定／解除 発信規制を設定／解除します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話／TVコール設定（■）➡ 通話設定 ➡ 発着信規制 ➡ 発信規制

規制内容ごとに設定／解除する

規制内容選択➡■➡「On」（設定）／「Off」（解除）選択➡■➡発着信規制用暗証番号（４ケタ）入力➡■

- 確認メッセージが表示されます。

すべての発信規制を解除する

「全発信規制停止」選択➡■➡発着信規制用暗証番号（４ケタ）入力➡■

- 確認メッセージが表示されます。

補足▶ 発信規制設定中の「110」などの緊急電話発信については、P.2-3を参照してください。

発信規制の設定確認 発信規制の設定状況を確認します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話／TVコール設定（■）➡ 通話設定 ➡ 発着信規制 ➡ 発信規制

規制内容選択➡■➡「設定確認」選択➡■

- 設定確認画面が表示されます。
  - 確認の終了：上記操作のあと■

着信規制を設定する

着信規制の設定／解除 着信規制を設定／解除します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話／TVコール設定（■）➡ 通話設定 ➡ 発着信規制 ➡ 着信規制

規制内容ごとに設定／解除する

規制内容選択➡■➡「On」（設定）／「Off」（解除）選択➡■➡発着信規制用暗証番号（４ケタ）入力➡■

- 確認メッセージが表示されます。

すべての着信規制を解除する

「全着信規制停止」選択➡■➡発着信規制用暗証番号（４ケタ）入力➡■

- 確認メッセージが表示されます。

着信規制の設定確認 着信規制の設定状況を確認します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話／TVコール設定（■）➡ 通話設定 ➡ 発着信規制 ➡ 着信規制

規制内容選択➡■➡「設定確認」選択➡■

- 設定確認画面が表示されます。
  - 確認の終了：上記操作のあと■

着信を拒否する

●着信を拒否する電話番号を登録したあと、着信拒否On／Off設定を「On」にしてください。

着信拒否電話番号の登録	着信を拒否する電話番号を登録します。

電話番号を登録する

登録場所選択➡■➡電話番号入力➡■

■電話帳を利用した登録：登録場所選択➡✉（メニュー）➡「電話帳参照」選択➡■➡電話帳選択➡■

- 電話帳に複数の電話番号が登録されているとき：上記操作のあと電話番号選択➡■
- 電話帳に登録されている番号は、登録している相手の名前が表示されます。

■通話履歴を利用した登録：登録場所選択➡✉（メニュー）➡「通話履歴参照」選択➡■➡（履歴の種類選択）➡履歴選択➡■

登録した電話番号を修正する

修正する電話番号選択➡■➡電話番号修正➡■

登録した電話番号を削除する

削除する電話番号選択➡✉（メニュー）➡「削除」選択➡■➡✉（Yes）

着信拒否On／Off設定	あらかじめ登録した相手からの着信を拒否するかどうかを設定します。

お買い上げ時 Off（拒否しない）

「On」（拒否する）／「Off」（拒否しない）選択➡■

電話番号非通知の着信を拒否する

非通知着信拒否	電話番号非通知の着信を拒否するかどうかを設定します。

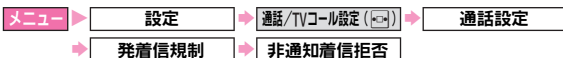
お買い上げ時 Off（拒否しない）

メニュー▶設定➡通話/TVコール設定（ ）➡通話設定➡発着信規制➡非通知着信拒否

「On」（拒否する）／「Off」（拒否しない）選択➡■

発着信規制用暗証番号を変更する

発着信規制用暗証番号変更	発着信規制用暗証番号を変更します。

メニュー▶設定➡通話/TVコール設定（ ）➡通話設定➡発着信規制➡規制用暗証番号変更

現在の発着信規制用暗証番号（4ケタ）入力➡■➡新しい発着信規制用暗証番号（4ケタ）入力➡■➡もう一度新しい発着信規制用暗証番号（4ケタ）入力➡■

発信者番号通知サービス

お客様の電話番号を相手に通知したり、非通知に設定することができます。

● ここでの設定にかかわらず、電話番号の前に次の数字を付けてダイヤルすると、発信ごとに電話番号の通知／非通知を選べます。

通知	1 8 6 または * 3 1 #
非通知	1 8 4 または # 3 1 #

発信者番号通知／非通知設定	電話番号を相手に通知したり、非通知に設定します。

お買い上げ時 On（通知）

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話／TVコール設定（•□•）➡ 通話設定 ➡ 発番号通知・表示

「On」（通知）／「Off」（非通知）選択 ➡ ■

発信者番号通知サービス設定確認	発信者番号通知サービスの設定状況を確認します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話／TVコール設定（•□•）➡ 通話設定 ➡ 発番号通知・表示

「設定確認」選択 ➡ ■

● 設定確認画面が表示されます。

■ 確認の終了：上記操作のあと ■

オプションサービス 14

メール

メールについて

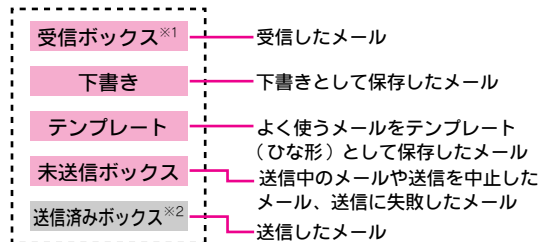
905SHでは、SMSとMMSの２つのメッセージサービスを利用できます。

SMS（ショートメッセージサービス）	ボーダフォン携帯どうしでご契約の電話番号を宛先として、短いメッセージを送受信できます。
MMS（マルチメディアメッセージングサービス）	ボーダフォン携帯電話やパソコン、E-mailに対応している携帯電話などとの間で、長いメッセージや画像、サウンド、vファイルなどを送受信できます。

● メール作成の流れなど詳しくは、P.15-6を参照してください。

補足▶
- MMSの利用とE-mailの受信には、別途ご契約が必要です。
- メールの通信料など詳しくは、「3Gガイドブック」を参照してください。

メールの管理方法について

905SHで送受信したメールなどは、次のように管理されています。（メールフォルダ）

※1 受信ボックス表示設定（☞P.15-4）を「フォルダ表示」にしているときは、「受信メール」、「振り分けフォルダ」が表示されます。また、迷惑メール設定（☞P.15-26）を「On」にしているときは、「迷惑メールフォルダ」も表示されます。

※2 送信ボックス表示設定（☞P.15-4）を「フォルダ表示」にしているときは、「送信メール」、「振り分けフォルダ」が表示されます。

メモリ使用状況を確認する

■メールフォルダのメモリの使用状況を確認するときは、次の操作を行います。

▣➡「メール」選択➡▣➡「メモリ容量確認」選択➡▣➡「受信メール」／「送信メール」選択➡▣

■ 確認の終了：上記操作のあと▣

メール画面の見かた

リスト画面

メールの受信画面で■を押したときや、メールフォルダを選び■を押したときは、次のようなリスト画面が表示されます。

	未読		既読
	送信済み		送信失敗
	返信済み		転送済み
	MMS通知		配信レポート未読

※SMSのときは、封筒マークの右下に「SMS」が表示されます。（例：「」）

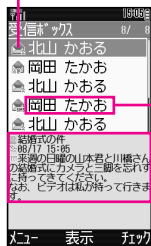
● メールの設定など

	添付あり		保護
	優先度（高）		優先度（低）
	USIMカード内SMS		

送信元／送信先
● 電話番号／E-mailアドレスや名前が表示されます。

メールの内容

補足▶
- USIMカードの電話帳だけに登録されているE-mailアドレスからのメールは、名前は表示されません。
- リスト画面で次の操作を行うと、メールの順番を並べ替えることができます。

  （メニュー）➡「表示設定」選択➡■➡「並べ替え」選択➡■➡並べ替え方法選択➡■
- リスト画面の表示方法を変更することもできます。（☞P.15-4）

メッセージ画面

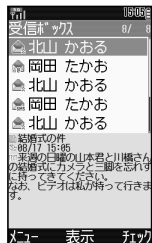
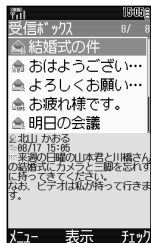
リスト画面でメールを選び■を押すと、次のようなメッセージ画面が表示されます。

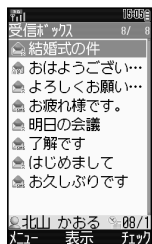
補足▶
- バックライトが暗くなりメッセージが読みづらいときは、0～9を押すと、バックライトが点灯します。
- メッセージ画面で#を押すと前のメッセージ、*を押すと次のメッセージを確認できます。

メールの表示方法を設定する

リスト画面の表示方法を設定する

●設定できる表示方法は、次のとおりです。

２行表示

１行 差出人＋要約

１行 件名＋要約

１行 差出人

１行 件名

●お買い上げ時には、「**１行 差出人＋要約**」に設定されています。

メニュー ▶ メール ➡ 設定 ➡ 一般設定

1「メールリスト表示切替」を選び、■を押す。

2 表示方法を選び、■を押す。

補足▶ リスト画面では、次の操作で設定できます。
✉（メニュー）➡「表示設定」選択➡■➡上記操作1以降

受信ボックス／送信済みボックスをフォルダ表示にする

受信ボックス／送信済みボックス内にフォルダを表示して、メールを相手や内容などによって分類したり、自動的に振り分けることができます。（☞P.15-22）

●お買い上げ時には、どちらも「**一覧表示**」（フォルダ表示しない）に設定されています。

メニュー ▶ メール ➡ 設定 ➡ 一般設定

1「受信ボックス表示設定」または「送信ボックス表示設定」を選び、■を押す。

■ フォルダセキュリティ設定時：操作用暗証番号（４ケタ）入力➡■

2「フォルダ表示」を選び、■を押す。

■ 一覧表示にする：「**一覧表示**」選択➡■

メールアドレスの変更・編集

メールアドレスのアカウント名（@の前の部分）をお好きな文字列に変更できます。

- この操作は、ウェブを利用します。
- あらかじめネットワーク自動調整を行ってください。（☞P.1-20）
- 迷惑メール防止のためにも、メールアドレスの変更をおすすめします。
- ご契約時には、ランダムな英数字が設定されています。

メニュー ▶ Vodafone live! ➡ Vodafone live!

1 **「My Vodafone」を選び、■を押す。**

2 **「各種変更手続き」を選び、■を押す。**

3 **「オリジナルメール設定・各種メール設定」を選び、■を押す。**

交換機用暗証番号の入力画面が表示されます。

4 **暗証番号入力欄を選び、■を押す。**

5 **交換機用暗証番号（４ケタ）を入力し、■を押す。**

■ 交換機用暗証番号：☞P.1-27

6 **「OK」を選び、■を押す。**

7 **「1.各種メール設定」を選び、■を押す。**

8 **「1.メールアドレス編集」を選び、■を押す。**

現在のメールアドレスが表示されます。

9 **メールアドレス入力欄を選び、■を押す。**

10 **希望のアカウント名を入力し、■を押す。**

11 **「OK」を選び、■を押す。**

注意▶ ウェブの情報が更新され、設定手順が変更されることがあります。詳しくは、お客さまセンター（☞P.21-26）までお問い合わせください。

メール送信

メールを作成する前に

SMSとMMSでは、入力できる項目が異なります。

	宛先	件名	本文	添付
SMS	○	×	○	×
MMS	○	○	○	○

このため、ファイルの添付や件名入力などMMS固有の機能を利用すると、自動的にMMSに変更されます。

次のときも、SMSからMMSに変更されます。

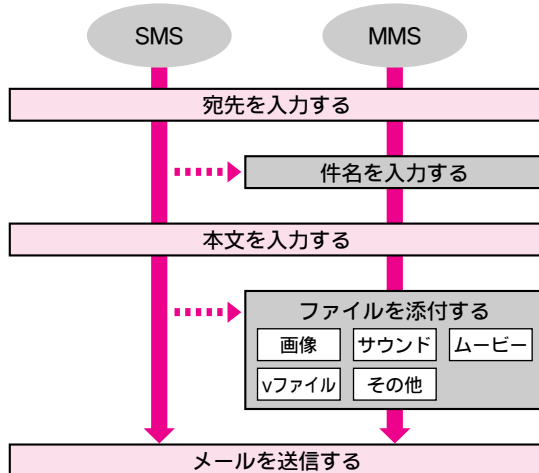
- 宛先の電話番号が20ケタを超過しているとき
- 送信オプションの優先度を「**普通**」以外にしているとき

送信可能文字数

送信可能文字数は、次のとおりです。

SMS	最大全角70文字（半角カタカナ70文字、半角英数字160文字）
MMS	全角約10000文字（半角カタカナ約10000文字、半角英数字約30000文字）

- MMSは、添付ファイルと本文など、合わせて最大約300Kバイトまで送信できます。このため、添付ファイルのデータ量によって、本文に入力できる文字数は異なります。
- 送信するメールのおおよそのデータ容量は、メール作成画面（☞P.15-7）で確認できます。

メール作成の流れ

メールを作成／送信する

ここでは、SMSとMMSの新規作成を例に、メールの宛先入力から送信までを説明します。

- メール作成前に、「**メールを作成する前に**」(☞P.15-6)をご確認ください。
- あらかじめ署名を登録し、自動挿入を「On」にしておくと、署名を自動的に入力することができます。(☞P.15-26)
- あらかじめメールグループを登録しておくと、グループに設定した複数の宛先に、同じメールを一括で送信できます。(☞P.4-12)
- よくメールを送信する相手は、簡単メール宛先に登録しておくと便利です。(☞P.15-24)
- マルチジョブ機能を利用すれば、他のメールを確認しながら、メールを作成することができます。(☞P.1-26)

1 **■を押したあと、「メール」を選び、■を押す。**

- 待受画面で✉(✉)を押しても、操作できます。

2 **「新規作成」を選び、■を押す。**

メール作成画面が表示されます。

- 待受画面で✉を長く(1秒以上)押しても、メール作成画面を表示できます。

メール作成画面

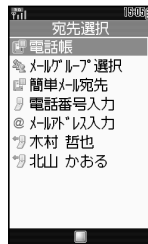
メール作成中に着信があると

■作成中のメールは保護されています。通話などを終わると、作成を継続できます。

3 **宛先入力欄を選び、■を押す。**

宛先選択画面が表示されます。

■ 宛先入力時にできること:☞P.15-9

宛先選択
電話帳
メールグループ選択
簡単メール宛先
電話番号入力
メールアドレス入力
木村 哲也
北山 かおる

宛先選択画面

4 ***電話帳から宛先を選択する***

1「電話帳」を選び、■を押す。

2 送信先を選び、■を押す。

■電話帳の検索方法:☞P.4-8「電話帳から電話をかける」操作2〜3

■宛先が複数登録されている電話帳選択時:電話番号／E-mailアドレス選択➡■

メールグループ(☞P.4-12)から宛先を選択する

1「メールグループ選択」を選び、■を押す。

2 メールグループを選び、■を押す。

■メール作成に戻る(宛先が複数のとき):CLEAR/BACK

■宛先の追加(宛先が複数のとき):「**宛先追加**」選択➡■➡操作4をくり返す➡CLEAR/BACK

送信履歴から宛先を選択する

1 送信先を選び、■を押す。

- 送信履歴は、「📱」などのマークのあとに名前や電話番号／E-mailアドレスが表示されているものです。

簡単メール宛先(☞P.15-24)から宛先を選択する

1「簡単メール宛先」を選び、■を押す。

2 送信先を選び、■を押す。

宛先を直接入力する

1「電話番号入力」または「メールアドレス入力」を選び、■を押す。

2 ボーダフォン携帯電話の電話番号またはE-mailアドレスを入力し、■を押す。

5 ▢（SMSのとき）または■（MMSのとき）を押す。

MMSのときは、件名入力画面が表示されます。（■の代わりにダイヤルボタンを押しても、件名入力画面を表示できます。）

- SMSのときは、このあと操作7へ進みます。

■ 宛先の修正：☞P.15-9

6 件名を入力し、■を押す。

- 最大全角13文字（半角カタカナ13文字、半角英数字40文字）まで入力できます。

7 ■を押したあと、メールの本文を入力する。

- ■の代わりにダイヤルボタンを押しても、本文入力画面を表示できます。

■ 文字の入力方法：☞P.3-5

■ 署名の入力：本文入力画面で✉（**メニュー**）➡「**その他**」選択➡■➡「**署名**」選択➡■

▪ 自動挿入を「On」にしているときは、署名が自動的に挿入されます。（☞P.15-26）

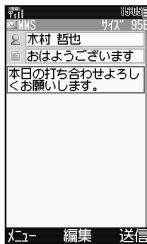
8 ■を押す。

- SMSのときや、ファイルを添付しないときは、このあと操作10へ進みます。

■ メール本文の修正：本文入力欄選択➡■➡本文修正➡■

■ 文字サイズ／文字色の変更：本文入力欄選択➡✉（**メニュー**）➡「**文字サイズ**」／「**文字色**」選択➡■➡文字サイズ／文字色選択➡■

▪ スライド作成機能（☞P.15-28）を「On」にしているとき、MMSで利用できます。

■ メール本文の削除：本文入力欄選択➡✉（**メニュー**）➡「**本文消去**」選択➡■

■ デルモジ表示の確認：本文入力欄選択➡✉（**メニュー**）➡「**デルモジ表示**」選択➡■

▪ 受信側がデルモジ対応機のときの、受信側での表示状態を確認できます。

■ 送信オプションの設定：☞P.15-12

■ 作成したメールを下書きに保存する：☞P.15-12

■ テンプレートを作成する：☞P.15-13

9 ファイルの添付などを行う。

■ ファイルの添付（MMS）：☞P.15-10

■ スライドの作成（MMS）：☞P.15-11

10 ⊙（送信）を押す。

メールが送信されます。

- 送信中に905SHを閉じても、送信は中止されません。送信をキャンセルするときは、未送信ボックス内の該当メールを選び、⊙（**キャンセル**）✉（Yes）の順に押します。（タイミングによっては、キャンセルできないことがあります。）

補足▶ 件名入力欄や本文入力欄を選び▢を押すと、カタカナ入力モードで文字を入力することができます。

メール 15

電話帳からメールを作成する

■電話帳を呼び出し、次の操作を行います。

- 電話番号のとき
  電話番号選択➡■➡「メール作成」選択➡■➡▯➡メール作成（☞P.15-8操作5以降）
- E-mailアドレスのとき
  E-mailアドレス選択➡■➡▯➡メール作成（☞P.15-8操作5以降）

相手が電源を切っていたり、電波の届かない所にいると

■サービスセンターにメールが保管され、送信が終了するか、有効期限までくり返し配信します。（リトライ機能）

- サービスセンターで保管する期間（有効期限）は設定できます。（☞P.15-27、P.15-28）
  設定された有効期限内に相手が受信しないとき、メールは削除されます。

送信に失敗すると

■送信に失敗したメールがあるときは、「✉」とインフォメーションが表示されます。再送するときは、次の操作を行います。

■➡「メール」選択➡■➡「未送信ボックス」選択➡■➡メール選択➡■➡◎（再送信）➡✉（Yes）

■自動再送を「On」にしているときは、自動的に最大2回まで再送されます。（☞P.15-25）

- 2回続けて送信に失敗したメールは、以降自動では再送できません。送信する必要があるときは、上記の再送信の操作で手動で再送してください。
- 自動再送するときまれに、同じメールが2通送信されることがあります。

宛先入力時にできること

■他の宛先を追加入力するときは、メール作成画面で次の操作を行います。

宛先欄選択➡■➡「宛先追加」選択➡■➡宛先入力（☞P.15-7操作4）

- ■メール作成画面に戻る：上記操作のあとCLEAR/BACK
- 最大20件まで入力できます。

■宛先タイプ（「To」、「Cc」、「Bcc」）を変更するときは、メール作成画面で次の操作を行います。

宛先欄選択➡■➡宛先選択➡✉（メニュー）➡「Toへ変更」／「Ccへ変更」／「Bccへ変更」選択➡■

- 「Cc」や「Bcc」にすると、メールのコピーが送信されます。「Bcc」にすると、「Bcc」に設定した相手の電話番号／E-mailアドレスは、他の送信先には表示されません。

■宛先を変更／修正するときは、メール作成画面で次の操作を行います。

宛先欄選択➡■➡宛先選択➡■➡宛先修正➡■

- ■メール作成画面に戻る：上記操作のあとCLEAR/BACK

■宛先を削除するときは、メール作成画面で次の操作を行います。

宛先欄選択➡■➡宛先選択➡✉（メニュー）➡「削除」選択➡■

- ■全宛先削除：「**削除**」選択時に「**全件削除**」選択➡■➡✉（Yes）
- ■メール作成画面に戻る：上記操作のあとCLEAR/BACK

注意▶ 宛先にE-mailアドレスを入力したときは、件名や本文に絵文字や半角カタカナを入力しないでください。受信側で正しく表示されないことがあります。

画像／サウンドファイルなどを添付する

MMSに画像やサウンドなどを添付して送信できます。

- 最大20ファイルまで添付できます。ただし、メール本文などと合わせて300Kバイトを超えるときは、添付できません。
- 送信先が添付ファイルを受信できるかなど、あらかじめ送信先のサービス対応状況などをご確認のうえ、操作してください。
- ファイルの添付は、P.15-8操作９で行います。操作後、メール作成画面に戻りますので、メールの作成を完了し、メールを送信してください。

1 ✉（メニュー）を押したあと、「ファイル挿入」を選び、■を押す。

2 ***画像を添付する***

❶「画像」を選び、■を押す。

❷ フォルダを選び、■を押す。

■ 添付する画像を撮影：「カメラ起動」選択➡■➡■（撮影）➡■（操作完了）

■ 保存先選択画面表示時：上記操作のあと保存先選択➡■

❸ 画像を選び、■を押す。

■ データサイズの大きいJPEG画像選択時：圧縮サイズ選択➡■

サウンドを添付する

❶「サウンド」を選び、■を押す。

❷ フォルダを選び、■を押す。

■ 添付するサウンドの録音：「ボイスレコーダー起動」選択➡■➡■（録音開始）➡■（録音終了）➡「添付」選択➡■➡「本体」／「メモリカード」選択➡■（操作完了）

❸ サウンドを選び、■を押す。

ムービーを添付する

❶「ムービー」を選び、■を押す。

❷「ムービー添付」を選び、■を押す。

■ 添付するムービーの撮影：「ビデオカメラ起動」選択➡■➡■（撮影開始）➡■（撮影終了）➡「添付」選択➡■➡「本体」／「メモリカード」選択➡■（操作完了）

❸ ムービーを選び、■を押す。

電話帳を添付する

❶「電話帳」を選び、■を押す。

❷ 電話帳を選び、■を押す。

予定を添付する

❶「カレンダー／予定」を選び、■を押す。

❷ 予定が登録されている日を選び、■を押す。

❸ 予定を選び、■を押す。

その他のファイルを添付する

❶「その他ファイル」を選び、■を押す。

❷ ファイルを選び、■を押す。

添付ファイルを削除する

■メール作成画面で、次の操作を行います。

ファイル選択➡✉（メニュー）➡「ファイル削除」選択➡■

添付ファイルを追加する

■メール作成画面で、次の操作を行います。

☒（メニュー）➡「ファイル挿入」選択➡■➡P.15-10操作2

- スライド作成機能（☞P.15-28）を「Off」（お買い上げ時の状態）にしているときは、ファイルの種類にかかわらず、通常の添付ファイルとして追加されます。
- スライド作成機能を「On」にしているときは、すでに添付されているファイルと追加するファイルの種類によって、スライド（☞下記）として添付されます。

スライドを作成する

スライドとは、メールの本文と画像／サウンドなどの添付ファイルを1つにまとめたものです。このスライドを2件以上作成すると、スライドの順番に受信側で連続表示できます。

- あらかじめ、スライド作成機能を「On」にしておいてください。（☞P.15-28）
- スライドは最大20件まで作成できます。ただし、メール本文などと合わせて300Kバイトを超えるときは、作成できません。
- スライドは複数のファイルを添付して、自動的に作成することもできます。
- スライド作成機能が「Off」のときや、送信先がスライドメールに対応していないときは、スライドではなく、添付ファイルとして送信されます。
- スライド1件につき登録できるファイルは、次のいずれかです。
  - ■画像（1ファイル）＋サウンド（1ファイル）
  - ■画像（1ファイル）
  - ■サウンド（1ファイル）
  - ■ムービー（1ファイル）

- 以下の操作は、P.15-8操作9で行います。

1 **☒（メニュー）を押す。**

2 **「スライド追加」を選び、■を押す。**

3 **「後ろに追加」または「前に追加」を選び、■を押す。**

スライドの入力画面が表示されます。

- 「**後ろに追加**」を選ぶと入力済の本文が1件目のスライドになり、2件目のスライドが追加されます。
- 「**前に追加**」を選ぶと1件目のスライドが追加され、入力済の本文が2件目のスライドになります。

4 **本文の入力／ファイルの添付を行う。**

- スライドを追加するときは、操作1～4をくり返します。

■ 他のスライド画面の表示：◈

■ スライドの表示時間設定：◈（スライド画面選択）➡本文入力欄または添付ファイル選択➡☒（**メニュー**）➡「**スライド表示時間**」選択➡■➡表示時間選択➡■
- ■表示時間を手動で入力する：表示時間選択時に「**オリジナル設定**」選択➡■➡表示時間入力➡■

■ 本文と添付ファイルの位置変更（画像／ムービーだけ）：添付ファイル選択➡☒（**メニュー**）➡「**上に移動**」／「**下に移動**」選択➡■

■ スライドの削除：◈（スライド画面選択）➡本文入力欄または添付ファイル選択➡☒（**メニュー**）➡「**スライド削除**」選択➡■➡☒（Yes）

■ ファイルの変更：◈（スライド画面選択）➡添付ファイル選択➡☒（**メニュー**）➡「**画像変更**」／「**サウンド変更**」／「**ムービー変更**」選択➡■
- ■上記操作のあとファイルの添付を行います。

■ ファイルの削除：◈（スライド画面選択）➡添付ファイル選択➡☒（**メニュー**）➡「**画像削除**」／「**ムービー削除**」／「**サウンド削除**」／「**ファイル削除**」選択➡■

送信オプションを設定する

SMS／MMSの送信オプションを設定します。

●送信オプションで設定した内容は、作成中のメール1件だけに有効となります。

●以下の操作は、P.15-8操作8のあとのメール作成画面で行います。操作後、メール作成画面に戻り、メールを作成／送信してください。

配信確認	送信メールの配信状況を配信レポート（☞P.15-14）として入手するかどうかを設定します。

■宛先がボーダフォン携帯電話のときに利用できます。

お買い上げ時 Off（入手しない）

✉（**メニュー**）➡「**送信オプション**」選択➡■➡「**配信確認**」選択➡■➡「**On**」（**入手する**）／「**Off**」（**入手しない**）選択➡■

■メール作成画面に戻る：上記操作のあと CLEAR/BACK

有効期限設定	送信したメールをセンターに保存する期限を設定します。

お買い上げ時 最大

✉（**メニュー**）➡「**送信オプション**」選択➡■➡「**有効期限設定**」選択➡■➡**期限選択**➡■

■メール作成画面に戻る：上記操作のあと CLEAR/BACK

優先度	優先度を設定します。

■SMSでは「**普通**」以外は利用できません。（設定するとMMSになります。）

お買い上げ時 普通

✉（**メニュー**）➡「**送信オプション**」選択➡■➡「**優先度**」選択➡■➡**優先度選択**➡■

■メール作成画面に戻る：上記操作のあと CLEAR/BACK

●優先度を設定しても、送信速度は変わりません。

下書きを利用する

作成したメールを下書きに保存する

作成したメールを、送信せずに下書きとして保存します。

●保存するメモリがないときは、下書きを保存できません。不要なメールを削除（☞P.15-21）したあと、操作してください。

●以下の操作は、P.15-8操作8のあとのメール作成画面で行います。

1 ✉（**メニュー**）**を押す。**

2「**下書きへ保存**」**を選び、■を押す。**

下書きフォルダに保存されます。

注意▶ MMSを保存したときは、宛先タイプ（「To」、「Cc」、「Bcc」）や添付ファイルの順番が変わることがあります。

下書きしたメールを送信する

下書きとして保存しておいたメールを送信します。

メニュー ▶ メール

1「**下書き**」**を選び、■を押す。**

下書きフォルダ内に保存されているメールの一覧画面が表示されます。

■下書きしたメールの情報確認：メール選択➡✉（**メニュー**）➡「**メールのプロパティ**」選択➡■

■確認の終了：上記操作のあと CLEAR/BACK

■下書きしたメールの削除：メール選択➡✉（**メニュー**）➡「**削除**」選択➡■➡✉（Yes）

2 メールを選び、■を押す。

下書きの内容が入力された状態で、メール作成画面が表示されます。

3 メールを修正／送信する。

- メールの修正／送信方法は、メールの作成時（☞P.15-7～P.15-8）と同様です。
- 送信したメールは、下書きから削除されます。

■修正した下書きの再保存：修正後 ✉（**メニュー**）➡「**下書きへ保存**」選択➡■➡「**新規に保存**」／「**上書き保存**」選択➡■

テンプレートを利用する

テンプレートを作成する

作成したメールをひな形として登録します。

- 以下の操作は、P.15-8操作８のあとのメール作成画面で行います。

1 ✉（メニュー）を押す。

2「テンプレートへ保存」を選び、■を押す。

3 テンプレート名を入力し、■を押す。

テンプレートを利用してメールを送信する

メニュー ▶ メール

1「テンプレート」を選び、■を押す。

■テンプレートの情報確認：テンプレート選択➡✉（**メニュー**）➡「**メールのプロパティ**」選択➡■

■確認の終了：上記操作のあと CLEAR/BACK

2 テンプレートを選び、■を押す。

テンプレートの内容が入力された状態で、メール作成画面が表示されます。

3 メールを修正／送信する。

- メールの修正／送信方法は、メールの作成時（☞P.15-7～P.15-8）と同様です。

■修正したテンプレートの再保存：修正後 ✉（**メニュー**）➡「**テンプレートへ保存**」選択➡■➡「**新規に保存**」／「**上書き保存**」選択➡■

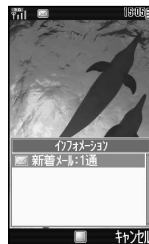
■「**新規に保存**」選択時：上記操作のあと、テンプレート名入力➡■

メール受信

新着メールを確認する

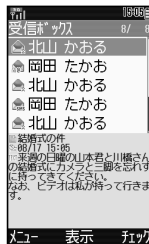
1 メールを受信すると、受信画面のあとインフォメーションが表示される。（「✉」点灯）

- 905SHがクローズポジションのときは、受信中にオープンポジションにすると、受信画面のあと、インフォメーションが表示されます。

■テレビ利用中にメールを受信したとき：☞P.6-6

2 「新着メール」を選び、■を押す。

メールのリスト画面が表示されます。

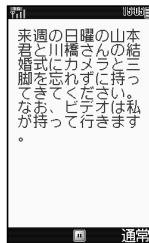
- メールの受信画面で■を押しても、メールのリスト画面が表示されます。

■ 受信ボックスフォルダ表示時（☞P.15-4）：フォルダ選択➡■

3 メールを選び、■を押す。

メッセージ画面が表示されます。

- デルモジ表示（☞P.15-17）に対応したメールのときは、文字が3D表示されます。3D表示されないように設定することもできます。（受信ボックス表示設定：☞P.15-17）

■ 続きのあるMMSの受信：☞P.15-15

■ 受信したメールの利用：☞P.15-16

補足▶ 受信画面やインフォメーションが表示されていないときは、受信ボックスから確認できます。（☞P.15-16）

配信レポートを確認する

■配信確認（☞P.15-12、P.15-26）を「On」にしてメールを送信したときは、サービスセンターからメールの配信状況のレポートが届きます。このレポートは、インフォメーション画面（☞P.15-13）で次の操作を行うと、確認できます。

「配信確認」選択➡■➡配信レポート未読メール選択➡■➡◎（レポート）

- レポートが複数あるとき：上記操作のあと■➡CLEAR/BACK➡レポート選択➡■

待受画面以外でメールを受信すると

■メール通知音が鳴り、画面の1行目に受信した旨のメッセージが表示されます。
（「○○**様からメールが届いています**」など）

- メッセージを表示しないようにしたり、表示内容や、通知音の有無を設定することができます。
（メールお知らせ設定：☞P.15-27）

■待受画面に戻ると、インフォメーションが表示されます。

MMSの続きを受信する

下記のいずれかに該当するMMSが送られてくると、サービスセンターに一時蓄積され、メッセージの一部（先頭部分）がお客様のボーダフォン携帯電話に送信されます。

サービスセンターに一時蓄積される条件
■宛先が複数あるとき
■添付ファイルがあるとき　など

●続きのあるMMS（MMS通知）は、受信ボックスのリスト画面に「」が表示されています。

補足▶ ●メールリストを利用して、MMSの続きを受信することもできます。（☞P.15-16）
●MMSが送信されてきたときに、サービスセンターに蓄積せず、自動的に受信することもできます。（ホームネットワーク自動受信：☞P.15-25）
■ お買い上げ時には、ボーダフォン携帯電話の電話番号で受信したメールは、自動的に受信するように設定されています。（電話番号のみ自動）

メニュー▶ メール

1「受信ボックス」を選び、■を押す。

受信ボックスをフォルダ表示時：フォルダ選択➡■

2「」が表示されているメールを選び、■を押す。

3 ⓞ（受信）を押す。

メールの受信が始まります。

●受信が終わると、メールのメッセージ画面が表示されます。

受信の取消：受信中にⓞ（キャンセル）➡✉（Yes）

注意▶ 300Kバイトを超えるメールは、受信できません。

メールリストを受信する

サービスセンターに一時蓄積されているメールの一覧（メールリスト）を受信します。

メニュー▶ メール

1「サーバーメール操作」を選び、■を押す。

以前受信したメールリストの確認：「**メールリスト**」選択➡■

サービスセンターに一時蓄積されているメールをすべて受信する：「**メール全受信**」選択➡■➡✉（Yes）（操作完了）

サービスセンターに一時蓄積されているメールをすべて削除する：「**メール全削除**」選択➡■➡操作用暗証番号（4ケタ）入力➡■➡✉（Yes）（操作完了）

■メールの件数によっては、削除に時間がかかることがあります。

2「メールリスト更新」を選び、■を押す。

3 ✉（Yes）を押す。

受信が始まります。受信が終わると、メールリストが表示されます。

●以前受信したメールリストがあるときは、メールリストが更新されます。

更新中の取消：ⓞ（**キャンセル**）➡✉（Yes）

メールリストを利用する：☞P.15-16

サーバーメール容量を確認する

■サーバーメールの容量を確認するときは、上記「**メールリストを受信する**」操作1のあと次の操作を行います。

「**サーバーメール容量**」選択➡■

■確認の終了：上記操作のあとCLEAR/BACK

■サーバーメール容量確認中の更新：■➡✉（Yes）

メールリストを利用する

受信したメールリストを利用して、メールサーバー内のメールを受信／転送／削除できます。

MMSの続きを受信する	MMSの続きを受信します。

メール選択➡■➡✉（Yes）

- すべてのMMSの続きを受信：✉（メニュー）➡「全メール受信」選択➡■➡✉（Yes）

● 受信したメールは、メールリストから削除され、受信ボックスに保存されます。

● メールを複数選択し（☞P.15-18）、続きを受信することもできます。

サーバーメール転送	サーバー内のメールをボーダフォン携帯電話番号／パソコンなど他のE-mailアドレスに転送します。

メール選択➡✉（メニュー）➡「サーバーメール転送」選択➡■➡宛先欄選択➡■➡転送先入力（☞P.15-7操作4）➡⊙（送信）

サーバーメール削除	サーバー内のメールを削除します。

メール選択➡✉（メニュー）➡「削除」選択➡■➡✉（Yes）

- すべてのサーバーメールを削除：✉（メニュー）➡「全メール削除」選択➡■➡操作用暗証番号（4ケタ）入力➡■➡✉（Yes）

メールのプロパティ	サーバー内のメールの詳細情報を確認します。

メール選択➡✉（メニュー）➡「メールのプロパティ」選択➡■

- 確認の終了：上記操作のあと■

メールの利用

メールの内容を確認する

● 他の機能を利用しているときでも、✉を長く（1秒以上）押すと、メール受信ボックスを表示できます。

■ テレビ視聴中は、テレビ画面の下半分にメール受信ボックスが表示されます。

メニュー ▶ メール

1 「受信ボックス」、「下書き」、「テンプレート」、「未送信ボックス」、「送信済みボックス」のいずれかを選び、■を押す。

リスト画面が表示されます。

- 受信画面表示時：■
- フォルダ表示時：フォルダ選択➡■
- メールの詳細情報の確認（未送信ボックスを除く）：メール選択➡✉（メニュー）➡「メールのプロパティ」選択➡■
  - ■ 情報の続きを確認：上記操作のあと▯
  - ■ 確認の終了：上記操作のあとCLEAR/BACK
- メールアドレスの確認（受信ボックス／送信済みボックス）：メール選択➡✉（メニュー）➡「メールアドレス表示」選択➡■➡メールアドレス選択➡■
  - ■ 確認の終了：上記操作のあとCLEAR/BACK➡CLEAR/BACK➡CLEAR/BACK
  - ■ 上記操作のあとメールアドレスを選び✉（メニュー）を押すと、メールアドレスのコピーや電話帳登録、振り分けフォルダの登録が行えます。

2 メールを選び、■を押す。

- 画像が添付されているときは、■を押すと画像が表示されます。添付されている画像のサイズが大きいときは、画像を表示できないことがあります。
- 操作1で「**下書き**」、「**テンプレート**」を選んだときは、メール作成（修正）画面が表示されます。（☞P.15-7）

■ 画面のスクロール：◎
■ 文字サイズの変更：✉（**メニュー**）➡「**文字サイズ**」選択➡■➡文字サイズ選択➡■
■ スライドの表示（未送信ボックスを除く）：✉（**メニュー**）➡「**スライド再生**」（下書き／テンプレートのとき：「**プレビュー表示**」）選択➡■
　■ 確認の終了：再生中に■
■ メール内容のコピー（下書き、未送信ボックス、テンプレートを除く）：✉（**メニュー**）➡「**コピー**」選択➡■➡「**アドレス**」／「**件名**」／「**本文**」選択➡■
　■ 本文／件名選択時：◎（開始位置選択）➡■➡◎（終了位置選択）➡■
　■ このあと、他の画面に貼り付けることができます。（☞P.3-12）

注意▶ 添付されているテキストファイルは、正しく表示できないことがあります。

送信済みボックス／未送信ボックス内のメールを編集する

■P.15-16 操作1で「**送信済みボックス**」または「**未送信ボックス**」を選び■を押したあと、次の操作を行います。
メール選択➡✉（メニュー）➡「編集と送信」／「編集」選択➡■➡◎➡P.15-8操作5以降

デルモジ表示について

メール本文内に絵文字や顔文字、対応の単語（「**おはよう**」、「**食事**」、「**新幹線**」など）があるときに次の操作を行うと、3Dアニメーションを表示できます。（メール本文の先頭150文字）

- 以下の操作は、P.15-16操作1のあとのメールリスト画面で行います。

1 メールを選び、■を押す。

2 ✉（メニュー）を押す。

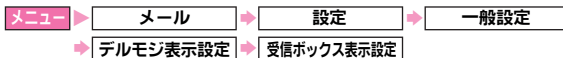
3 「デルモジ表示」を選び、■を押す。

■ デルモジ表示の中止：◎（**通常**）
- デルモジ表示は、■を押すたびに一時停止⇔再生します。

■デルモジ表示設定

受信ボックス表示設定	受信ボックスのメールをデルモジ表示するかどうかを設定します。

お買い上げ時 未読のみ表示

メニュー ▶ メール ➡ 設定 ➡ 一般設定 ➡ デルモジ表示設定 ➡ 受信ボックス表示設定

「**常にデルモジ表示**」／「**未読のみ表示**」／「**デルモジ表示しない**」選択➡■

背景色／描画速度設定	文字の背景色や文字が表示されるスピードを設定します。

お買い上げ時 白色／標準

メニュー ▶ メール ➡ 設定 ➡ 一般設定 ➡ デルモジ表示設定

文字の背景色を設定する
「**背景色設定**」選択➡■➡色選択➡■

文字の表示スピードを設定する
「**描画速度設定**」選択➡■➡スピード選択➡■

メールを複数選択する

同じフォルダ内のメールを複数選択すれば、一括して保護／削除、未開封／開封済み切替、フォルダ移動などができます。

メニュー▶ メール

1 フォルダを選び、■を押す。

■フォルダ表示時：フォルダ選択➡■

2 メールを選び、◎（チェック）を押す。

メールの左端のマークが「☑」に変わります。

■選択の解除：「☑」が表示されているメール選択➡◎（解除）

3 操作２をくり返し、必要なメールを選択する。

●このあと、保護／削除などを行います。

■すべての選択の解除：「☑」が表示されているメール選択➡✉（メニュー）➡「全チェック解除」選択➡■

未開封にする／開封済みにする

一度読んだメールを未開封にしたり、まだ読んでいないメールを開封済みに切り替えられます。

メニュー▶ メール

1「受信ボックス」を選び、■を押す。

■フォルダ表示時：フォルダ選択➡■

2 ***メールを１件ずつ未開封／開封済みにする***

1 メールを選び、✉（メニュー）を押す。

複数のメールを未開封／開封済みにする

1 メールを複数選択し（☞上記操作２以降）、✉（メニュー）を押す。

●このあと、操作４へ進みます。

3「メール管理」を選び、■を押す。

4「未開封にする」または「開封済みにする」を選び、■を押す。

メールを返信する

メニュー▶ メール

1「受信ボックス」を選び、■を押す。

■フォルダ表示時：フォルダ選択➡■

2 メールを選び、■を押す。

■送信元だけに返信：◎（返信）➡操作６へ

■このときは、本文の引用はできません。

3 ✉（メニュー）を押す。

4「返信」または「全員へ返信」を選び、■を押す。

●MMSで一度に送信できる宛先は、最大20人です。

●「全員へ返信」を選ぶと、すべての送信先（To／Cc）に同じ内容のメールを一度に返信できます。（メールによっては、「全員へ返信」が表示されないことがあります。）

5「返信」または「引用付き返信」を選び、■を押す。

メール作成画面が表示されます。

●「引用付き返信」を選ぶと、返信元のメールの本文を引用できます。

6 返信メールを作成／送信する。（☞P.15-8操作５以降）

補足▶「全員へ返信」を行うと、お客様の905SHにもメールが送信されることがあります。

メールを転送する

メニュー ▶ メール

1 「受信ボックス」を選び、■を押す。

■フォルダ表示時：フォルダ選択➡■

2 メールを選び、■を押す。

3 ✉（メニュー）を押す。

4 「転送」を選び、■を押す。

メール作成画面が表示されます。

5 宛先入力欄を選び、■を押す。

宛先選択画面が表示されます。

6 転送先を入力し、■を押す。

■宛先の入力方法：☞P.15-7操作4

7 ○（送信）を押す。

メールが転送されます。

- 添付ファイルがあるときは、転送するメールに自動的に添付されます。

サービスセンターに一時蓄積されているメールを転送する

■受信リスト画面に、MMS通知メール（「✉」表示）があるときに、次の操作を行います。

MMS通知メール選択➡✉（メニュー）➡「サーバーメール転送」選択➡■➡上記操作5以降

- メールによっては、転送できないことがあります。

メール内の電話番号／E-mailアドレス／URLを利用する

電話帳に登録する

メールの送信先／送信元の電話番号／E-mailアドレスを電話帳に登録します。また、メールの本文に含まれる電話番号も登録できます。

- 本文に含まれる電話番号は、◊で選んだときに文字が反転表示するものだけ利用できます。

メニュー ▶ メール

1 「受信ボックス」、「未送信ボックス」、「送信済みボックス」のいずれかを選び、■を押す。

■フォルダ表示時：フォルダ選択➡■

2 メールを選び、■を押す。

3 ***送信元／送信先の電話番号／E-mailアドレスを登録する***

1 ✉（メニュー）を押す。

2 「電話帳に登録」を選び、■を押す。

3 電話番号またはE-mailアドレスを選び、■を押す。

本文中の電話番号／E-mailアドレスを登録する

1 電話番号またはE-mailアドレスを選び、■を押す。

2 「電話帳に登録」を選び、■を押す。

4 「新規作成」を選び、■を押す。

電話番号やE-mailアドレスが、電話帳の該当する項目に入力されます。他の項目を入力し、電話帳の登録を完了してください。（☞P.4-4）

■追加登録時：電話帳選択➡■➡○（保存）

電話発信／メール送信／インターネット接続を行う

メール本文に電話番号やE-mailアドレスが含まれているときは、その画面から電話をかけたり、メールを送信できます。また、URL（「http://」／「https://」／「rtsp://」で始まるアドレス）が含まれているときは、インターネットに接続できます。

- ●で選んだときに、文字が反転表示するものだけ利用できます。

メニュー ▶ メール

1 「受信ボックス」、「未送信ボックス」、「送信済みボックス」のいずれかを選び、■を押す。

■ フォルダ表示時：フォルダ選択➡■

2 メールを選び、■を押す。

- 電話番号やE-mailアドレス、URLが含まれているメールを選んでください。

3 ***電話をかける（電話番号の利用）***

1 電話番号を選び、■を押す。

2 「発信」または「TVコール」を選び、■を押す。

メールを作成する（E-mailアドレスの利用）

1 ボーダフォン携帯電話の電話番号またはE-mailアドレスを選び、■を押す。

2 「メール作成」を選び、■を押す。

■ メールの作成／送信方法：☐➡P.15-8操作５以降

インターネットに接続する（URLの利用）

1 URLを選び、■を押す。

2 ✉（Yes）を押す。

インターネットに接続されます。

- 「rtsp://」で始まるアドレスのときは、動画／音楽がストリーミングされます。（☞P.16-11）

メールを保護する

削除したくない受信メールや送信済メールを個別に保護できます。

- 保護されているメールは、削除されません。

メニュー ▶ メール

1 「受信ボックス」、「テンプレート」、「送信済みボックス」のいずれかを選び、■を押す。

■ フォルダ表示時：フォルダ選択➡■

2 ***1件ずつ保護する***

1 メールを選び、✉（メニュー）を押す。

- 保護解除するときは、保護されているメール（「🔒」表示）を選んでください。

複数のメールを保護する

1 メールを複数選択し（☞P.15-18操作２以降）、✉（メニュー）を押す。

3 「保護」または「保護解除」を選び、■を押す。

保護されたメールには、「🔒」が表示されます。

メールを削除する

●保護されているメールは、削除されません。

メールを指定して削除する

メニュー▶ メール

1 「受信ボックス」、「下書き」、「テンプレート」、「未送信ボックス」、「送信済みボックス」のいずれかを選び、■を押す。

■フォルダ表示時：フォルダ選択➡■

2 *1件ずつ削除する*

1 メールを選び、✉（メニュー）を押す。

複数のメールを削除する

1 メールを複数選択し（☞P.15-18操作2以降）、✉（メニュー）を押す。

☞P.15-18操作2以降

3 「削除」を選び、■を押す。

4 ✉（Yes）を押す。

補足▶ メールによっては、削除に時間がかかることがあります。

サービスセンターに一時蓄積されているメールを削除する

■受信リスト画面に、MMS通知メール（「✉」表示）があるときに、次の操作を行います。

MMS通知メール選択➡✉（メニュー）➡「サーバーメール削除」選択➡■➡✉（Yes）

● メールによっては、削除できないことがあります。

メールをすべて削除する

メニュー▶ メール

1 「受信ボックス」、「下書き」、「テンプレート」、「未送信ボックス」、「送信済みボックス」のいずれかを選び、■を押す。

■フォルダ表示時：フォルダ選択➡■

2 ✉（メニュー）を押す。

●「テンプレート」、「下書き」、「未送信ボックス」を選んだときは、このあと操作4へ進みます。

3 「メール管理」を選び、■を押す。

4 「全件削除」を選び、■を押す。

■保護メールがあるとき：「全件削除」／「保護メール以外削除」選択➡■

5 操作用暗証番号（4ケタ）を入力し、■を押す。

添付ファイルをデータフォルダに保存する

メール内の添付ファイル（画像やサウンド、vファイルなど）を、データフォルダに保存できます。

メニュー ▶ メール

1 「受信ボックス」または「送信済みボックス」を選び、■を押す。

■ フォルダ表示時：フォルダ選択➡■

2 メールを選び、■を押す。

● ファイルが添付されているメールを選んでください。

3 ファイルを選び、✉（メニュー）を押す。

■ ファイルの情報確認：「**プロパティ**」選択➡■

■ 確認の終了：上記操作のあとCLEAR/BACK

4 「添付をデータフォルダへ保存」を選び、■を押す。

5 ファイル名を入力し、■を押す。

● ファイル名を変更しないときは、そのまま■を押し、操作6へ進みます。

6 「保存」を選び、■を押す。

データフォルダに保存され、メッセージ画面に戻ります。

● データフォルダのメモリが一杯のときは、確認メッセージが表示されます。不要なファイルを削除（☞P.10-10）したあと、保存し直してください。

■ メモリカードに保存：✉（**メニュー**）➡「**メモリカードへ切替**」選択➡■➡「**保存**」選択➡■

メールをフォルダで管理する（振り分けフォルダ）

送受信したメールを、相手や内容などによってフォルダに分類したり、アドレスや件名をもとに自動的に振り分けることができます。

● あらかじめ、受信ボックス表示設定（☞P.15-4）または送信ボックス表示設定（☞P.15-4）を「**フォルダ表示**」にしておいてください。

フォルダを作成する

● 振り分けフォルダは、最大20件作成できます。

● お買い上げ時には、7件（フォルダ1～フォルダ7）登録されています。

メニュー ▶ メール

1 「受信ボックス」または「送信済みボックス」を選び、■を押す。

2 ✉（メニュー）を押す。

3 「フォルダ新規作成」を選び、■を押す。

4 フォルダ名を入力し、■を押す。

● 最大10文字まで入力できます。

フォルダ名を変更する

メニュー ▶ メール

1「受信ボックス」または「送信済みボックス」を選び、■を押す。

2 振り分けフォルダを選び、✉（メニュー）を押す。

3「フォルダ名変更」を選び、■を押す。

フォルダセキュリティ設定時：操作用暗証番号（４ケタ）入力➡■

4 フォルダ名を入力し、■を押す。

- 最大10文字まで入力できます。

メールをフォルダに移動する

- 連結受信中のメールは、分類（移動）できません。

メニュー ▶ メール

1「受信ボックス」または「送信済みボックス」を選び、■を押す。

2 フォルダを選び、■を押す。

フォルダセキュリティ設定時：操作用暗証番号（４ケタ）入力➡■

3 メールを選び、✉（メニュー）を押す。

- メールを複数選択するときは、P.15-18「メールを複数選択する」操作２～３を行ったあと、操作５へ進みます。

4「メール管理」を選び、■を押す。

5「フォルダへ移動」を選び、■を押す。

6 フォルダを選び、■を押す。

指定したフォルダへメールを自動的に保存する

送受信したメールを電話番号やE-mailアドレスによって、指定したフォルダに自動的に振り分けます。
また、MMSの件名やSMSの本文に含まれる文字列によって、振り分けることもできます。

- 設定できる振り分け条件は、１つのフォルダにつき最大20件です。
- 振り分け条件は、フォルダ番号が小さい方が優先されます。

メニュー ▶ メール ➡ 設定 ➡ メール振り分け設定

1「受信メール」または「送信メール」を選び、■を押す。

2 フォルダを選び、■を押す。

- 迷惑メールフォルダは利用できません。

フォルダセキュリティ設定時：操作用暗証番号（４ケタ）入力➡■

3 設定番号を選び、■を押す。

振り分け条件の削除：設定番号選択➡✉（メニュー）➡「削除」／「設定リセット」選択➡■➡✉（Yes）

4 ***電話番号／E-mailアドレスで振り分ける***

1「送信元」または「宛先」を選び、■を押す。

2 宛先を入力し（☞P.15-7操作４）、■を押す。

宛先の変更：設定番号選択➡✉（メニュー）➡「宛先変更」選択➡■➡宛先入力（☞P.15-7操作４）

件名（MMS）／本文（SMS）に含まれる文字で振り分ける

1「件名」を選び、■を押す。

2 文字を入力し、■を押す。

- 最大全角13文字（半角カタカナ13文字、半角英数字40文字）まで入力できます。

フォルダにセキュリティを設定する

操作用暗証番号を入力しないと、フォルダ内のメールを確認できないようにすることができます。

- セキュリティはフォルダ単位で設定できます。

メニュー ▶ メール

1 「受信ボックス」または「送信済みボックス」を選び、■を押す。

2 フォルダを選び、✉（メニュー）を押す。

3 「セキュリティ設定」を選び、■を押す。

■ セキュリティの解除：「**セキュリティ解除**」選択➡■

4 操作用暗証番号（4ケタ）を入力し、■を押す。

フォルダを削除する

- フォルダ内にメールがあると、フォルダは削除できません。あらかじめ、メールを他のフォルダに移動するか、削除しておいてください。

メニュー ▶ メール

1 「受信ボックス」または「送信済みボックス」を選び、■を押す。

2 フォルダを選び、✉（メニュー）を押す。

3 「削除」を選び、■を押す。

■ メール振り分け設定時：✉（Yes）

4 操作用暗証番号（4ケタ）を入力し、■を押す。

その他の機能

簡単メール宛先を登録する

よくメールを送信する相手を簡単メール宛先に登録しておけば、待受画面から簡単にメールを送信できます。また、メール作成時に利用することもできます。

- 最大10件まで登録できます。

メニュー ▶ メール ➡ 設定 ➡ 簡単メール宛先設定

1 番号を選び、■を押す。

■ 登録済の宛先変更：番号選択➡■➡宛先修正➡■➡✉（Yes）

■ 登録済の宛先削除：番号選択➡✉（**メニュー**）➡「**削除**」／「**設定リセット**」選択➡■➡✉（Yes）

2 ***電話帳から宛先を選択する***

❶「電話帳」を選び、■を押す。

❷ 電話帳を選び、■を押す。

■ 電話帳の検索方法：☞P.4-8「電話帳から電話をかける」操作2～3

宛先を直接入力する

❶「電話番号入力」または「メールアドレス入力」を選び、■を押す。

❷ ボーダフォン携帯電話の電話番号またはE-mailアドレスを入力し、■を押す。

メール 15

メール作成時に簡単メール宛先を登録する

■簡単メール宛先を登録していないときは、P.15-7操作3のあとで次の操作を行うと、登録できます。

「簡単メール宛先」選択➡■➡未登録の番号選択➡■➡✉（Yes）➡P.15-24「簡単メール宛先を登録する」操作2

簡単にメールを送信する

簡単メール宛先に登録した相手に、待受画面から簡単にメールを作成／送信します。

●あらかじめ、簡単メール宛先を登録しておいてください。

1 簡単メール宛先に登録している番号（1～9、0）のいずれかを押す。

2 ✉（メール）を押す。

メール作成画面が表示されます。（宛先はあらかじめ入力されています。）

3 ▯を押す。

4 メールを作成／送信する。（☞P.15-8操作5以降）

メールを自動再送する

圏外などの理由で送信に失敗したメールを、自動的に再送するように設定できます。

●自動再送を「On」にすると、一定の間隔をおいて最大2回再送します。

●SMS／MMSにかかわらず、登録（作成）した順にメールが再送されます。

●お買い上げ時には、「Off」に設定されています。

1 「On」を選び、■を押す。

■ 自動再送の解除：「Off」選択➡■

■ 自動再送の解除は、再送待ちのメールがない状態で行ってください。

SMS／MMSのその他の共通設定

ホームネットワーク自動受信	MMSをサービスセンターに蓄積せず自動受信するか、手動受信するかを設定します。

お買い上げ時 電話番号のみ自動

メニュー ▶ メール ➡ 設定 ➡ 一般設定 ➡ ホームネットワーク自動受信

「自動受信」／「電話番号のみ自動」／「手動受信」選択➡■

メール

15

配信確認	送信メールの配信状況を配信レポート（☞P.15-14）として入手するかどうかを設定します。

■宛先がボーダフォン携帯電話のときに利用できます。
お買い上げ時 Off（入手しない）

メニュー ▶ メール ➡ 設定 ➡ 一般設定 ➡ 配信確認

「On」（入手する）／「Off」（入手しない）選択➡■

- 「On」にすると、ボーダフォン携帯電話へのメール送信時には常に、配信レポートが届くようになります。メール作成時に、メールごとの設定を変更することもできます。（☞P.15-12）

迷惑メール設定	電話帳に登録されていない電話番号／E-mailアドレスからのメールを、特定のフォルダに振り分けます。

お買い上げ時 Off

メニュー ▶ メール ➡ 設定 ➡ 一般設定 ➡ 迷惑メール設定

操作用暗証番号（４ケタ）入力➡■➡「On」／「Off」選択➡■

- 「On」にすると、「**迷惑メールフォルダ**」が作成され、迷惑メールがそのフォルダに保存されるようになります。
- 迷惑メールに該当するメールを受信したときは、着信音は鳴らず、インフォメーションも表示されません。
- USIMカードの電話帳だけに登録されているE-mailアドレスからのメールは、迷惑メールとして振り分けられます。

署名	名前やアドレスなど、メールの本文で使う署名を作成できます。

お買い上げ時 自動挿入：Off

メニュー ▶ メール ➡ 設定 ➡ 一般設定 ➡ 署名

署名を入力する

「編集」選択➡■➡署名入力➡■

- 署名は、最大全角33文字（半角カタカナ33文字、半角英数字100文字）まで入力できます。

自動挿入を設定する

「自動挿入」選択➡■➡「On」／「Off」選択➡■

■ 署名未入力で「On」を選んだとき：上記操作のあと、署名入力➡■

- 自動挿入を「On」にすると、メール作成時に自動的に署名が入力されます。ただし、署名の挿入により送信可能文字数やメール容量を超えるときは、署名は挿入されません。また、複数のスライドが付いたメールを転送するときも、署名は挿入されません。

受信メール自動削除	受信ボックス内のメールを、古いものから自動的に削除するかどうかを設定します。

お買い上げ時 Off（削除しない）

メニュー ▶ メール ➡ 設定 ➡ 一般設定 ➡ 受信メール自動削除

「On」（削除する）／「Off」（削除しない）選択➡■

- 自動削除されるのは、受信ボックスにメールを保存するメモリがなくなったときです。このときは、古い既読メールから自動的に削除されますので、削除したくないメールは、保護しておいてください。（☞P.15-20）
- ここでの設定にかかわらず、送信済みボックス内のメールは、自動的に削除されます。

メールお知らせ設定	待受画面以外でメールを受信したときの表示内容や通知音（固定）を設定します。

お買い上げ時 表示内容設定：名前表示、通知音設定：On

メニュー ▶ メール ➡ 設定 ➡ 一般設定 ➡ メールお知らせ設定

表示内容を設定する

「表示内容設定」選択➡■➡「名前表示」／「アドレス表示」／「名前・件名表示」／「Off」選択➡■

通知音を設定する

「通知音設定」選択➡■➡「On」／「Off」選択➡■

●「Off」にしていても、ストリーミング中にメールを受信すると、メール通知音が鳴ります。

スクロール単位	メッセージ画面のスクロールする単位を設定します。

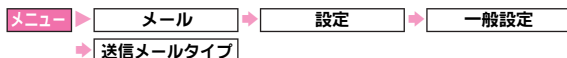
お買い上げ時 行単位

メニュー ▶ メール ➡ 設定 ➡ 一般設定 ➡ スクロール単位

「行単位」／「半画面単位」／「全画面単位」選択➡■

送信メールタイプ	送信メールタイプ（SMS／MMS）を固定したり、自動的に変更されるように設定します。

お買い上げ時 自動設定

メニュー ▶ メール ➡ 設定 ➡ 一般設定 ➡ 送信メールタイプ

「自動設定」／「SMS」／「MMS」選択➡■

SMS設定

有効期限設定	送信したメールをセンターに保存する期限を設定します。

お買い上げ時 最大

メニュー ▶ メール ➡ 設定 ➡ SMS設定 ➡ 有効期限設定

「最大」／「30分」／「1時間」／「6時間」／「1日」／「1週間」選択➡■

●「設定1（既定値）」に設定したSMSセンター番号に、有効期限が設定されます。

SMSセンター番号	SMSセンター番号を設定します。

お買い上げ時 設定1（既定値）：+819066519300

メニュー ▶ メール ➡ 設定 ➡ SMS設定 ➡ SMSセンター番号

SMSセンター番号を追加する

「設定2」／「設定3」選択➡■➡SMSセンター番号入力➡■

SMSセンター番号を変更する

「設定1（既定値）」／「設定2」／「設定3」選択➡■➡SMSセンター番号変更➡■

SMSセンター番号を消去する

「設定2」／「設定3」選択➡✉（メニュー）➡「消去」選択➡■➡✉（Yes）

SMSセンター番号を設定する

「設定2」／「設定3」選択➡✉（メニュー）➡「既定値に設定」選択➡■

●「設定2」や「設定3」をSMSセンター番号に設定すると、自動的に「設定1（既定値）」として登録されます。（それまでの番号は1つずつ下にずれます。）

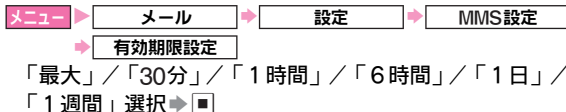
注意▶ ご契約されたボーダフォンから変更のお知らせがないときは、変更しないでください。

MMS設定

有効期限設定 送信したメールをセンターに保存する期限を設定します。

お買い上げ時 最大

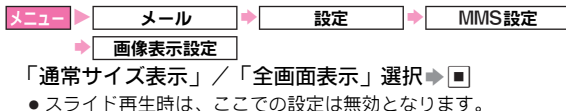
メニュー ▶ メール ➡ 設定 ➡ MMS設定 ➡ 有効期限設定

「最大」／「30分」／「1時間」／「6時間」／「1日」／「1週間」選択 ➡ ■

画像表示設定 添付されてきた画像の表示サイズを切り替えることができます。

お買い上げ時 通常サイズ表示

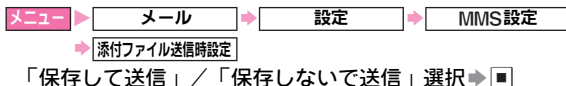
メニュー ▶ メール ➡ 設定 ➡ MMS設定 ➡ 画像表示設定

「通常サイズ表示」／「全画面表示」選択 ➡ ■

- スライド再生時は、ここでの設定は無効となります。

添付ファイル送信時設定 カメラで撮影直後の画像をメールで送信するとき、画像を保存するかどうかを設定します。

お買い上げ時 保存して送信

メニュー ▶ メール ➡ 設定 ➡ MMS設定 ➡ 添付ファイル送信時設定

「保存して送信」／「保存しないで送信」選択 ➡ ■

添付ファイル自動表示 添付されてきた画像やサウンドを自動的に表示／再生するかどうかを設定します。

お買い上げ時 画像：On（表示する）、サウンド：Off（再生しない）

メニュー ▶ メール ➡ 設定 ➡ MMS設定 ➡ 添付ファイル自動表示

画像の表示を設定する

「画像」選択 ➡ ■ ➡「On」（表示する）／「Off」（表示しない）選択 ➡ ■

サウンドの再生を設定する

「サウンド」選択 ➡ ■ ➡「On」（再生する）／「Off」（再生しない）選択 ➡ ■

- スライドメールのときは、ここでの設定にかかわらず、表示／再生されます。
- htmlメールのときは、ここでの設定は無効となります。

スライドメール設定 スライドメールの利用やスライド表示時間を設定します。

お買い上げ時 スライド作成機能：Off、スライド表示時間：3秒

メニュー ▶ メール ➡ 設定 ➡ MMS設定 ➡ スライドメール設定

スライドメールの利用を設定する

「スライド作成機能」選択 ➡ ■ ➡「On」／「Off」選択 ➡ ■

スライド表示時間を設定する

「スライド表示時間」選択 ➡ ■ ➡ 表示時間入力 ➡ ■

スライド自動再生 添付されてきたスライドを自動的に再生するかどうかを設定します。

お買い上げ時 Off（再生しない）

メニュー ▶ メール ➡ 設定 ➡ MMS設定 ➡ スライド自動再生

「On」（再生する）／「Off」（再生しない）選択 ➡ ■

ウェブ

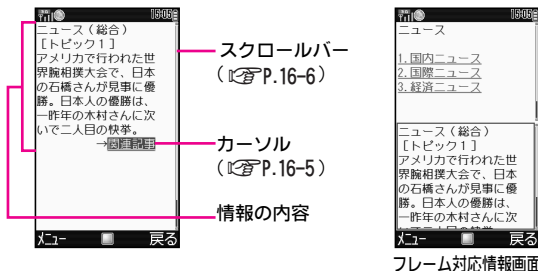
ウェブについて

ウェブとは、ボーダフォンライブ! を利用したインターネット接続サービスです。

●ボーダフォン携帯電話だけで、いろいろなコンテンツにアクセスしたり、情報検索や、画像／サウンドの取得などが行えます。
●ウェブを利用する前に、あらかじめネットワーク自動調整を行ってください。(☞P.1-20)
●情報画面の一部には、閲覧時に自動的に通信が行われるコンテンツが含まれていることがあります。
このときは、パケット通信料が発生する可能性がありますので、十分ご注意ください。(通信中は「🌐」が表示されます。)
通信を中止するときは CLEAR/BACK を押してください。

補足▶
● ウェブは、905SHでは「Vodafone live!」と表示されています。
● ウェブの利用には、別途ご契約が必要です。
● ウェブのサービス内容や通信料など詳しくは、「**3G ガイドブック**」を参照してください。

情報画面

ウェブの情報画面例は、次のとおりです。

注意▶ 通信やサーバーなどの状態によっては、情報画面を表示できないことがあります。

キャッシュメモリ(一時保存用のメモリ)について

■ウェブで入手したメニューや情報は、「**キャッシュメモリ**」に一時保存されます。キャッシュメモリの容量は、あらかじめ定められていて、メモリが一杯になると古い情報から順に自動的に消去されます。
● 一度見た情報画面を再度表示すると、サービスセンター内の情報ではなく、キャッシュメモリに一時保存されている情報が表示されることがあります。
● 有効期限が指定されている情報は、有効期限を過ぎるとキャッシュメモリから消去されます。

■SSLについて
SSL（Secure Socket Layerの略）とは、インターネット上でデータを暗号化して送受信する通信方法です。一般的に、クレジットカードの番号や個人情報など、大切な情報を送受信する際に使用されます。
905SHでは、あらかじめ認証機関から発行された電子的な証明書が登録されています。この証明書の内容を確認することもできます。（ルート証明書：☞P.16-15）

SSL利用に関するご注意

■セキュリティで保護されている情報画面を表示する場合、お客様は自己の判断と責任においてSSLを利用することに同意されたものとします。
お客様自身によるSSLの利用に際し、ボーダフォンおよび認証会社である日本ベリサイン株式会社、日本ボルチモアテクノロジーズ株式会社、エントラストジャパン株式会社、日本ジオトラスト株式会社、RSAセキュリティ株式会社、セコムトラストネット株式会社は、お客様に対しSSLの安全性などに関して何ら保証を行うものではありません。
万一、何らかの損害がお客様に発生した場合でも一切責任を負うものではありませんので、あらかじめご了承ください。

ウェブに接続する

メニューから接続する

ウェブのメインメニューから項目を選び、情報を入手します。

メニュー ▶ Vodafone live!

1 「Vodafone live!」を選び、■を押す。
ウェブのメインメニューが表示されます。
- 待受画面で ◎（●）を押しても、ウェブのメインメニューが表示されます。
- ウェブのメインメニューは、変更されることがあります。

2 項目にカーソルを移動する。

3 ■を押す。
通信が始まります。
- 通信中に905SHを閉じても、通信は中断されません。

■ 通信の中止：通信中に CLEAR/BACK

4 操作２～３をくり返し、閲覧する項目を順に選ぶ。
■ 情報画面での操作：☞P.16-5

5 ウェブを終了するときは、◎を押したあと、✉（Yes）を押す。

前／次の情報画面を表示する

■前に表示した情報画面に戻るときは、次の操作を行います。
◎（戻る）
■ 元の画面に戻る：上記操作のあと✉（メニュー）➡「進む」選択➡■

ウェブ
16

情報画面の先頭や末尾の部分を表示する

■次の操作を行います。

□（メニュー）➡「その他」選択➡■➡「先頭へジャンプ」／「文末へジャンプ」選択➡■

セキュリティで保護されている情報画面について

■セキュリティで保護されている情報画面を表示しようとすると、確認画面が表示されます。このときは、次の操作を行います。

■

- 画面に「🔒」が表示されます。
- 確認画面を表示しないように設定することもできます。（セキュリティ確認画面：☞P.16-15）

認証要求時の操作について

■情報画面によっては、接続のために認証（ユーザーIDやパスワードの入力）を要求されることがあります。このときは、次の操作を行います。

ユーザーID／パスワード入力➡■➡◎（送信）

ヘルプ機能について

■情報画面で次の操作を行うと、利用できるボタン操作が表示されます。

□（メニュー）➡「ヘルプ」選択➡■

■ 情報画面に戻る：上記操作のあと■

補足▶ ウェブのメインメニューや情報画面がキャッシュメモリ（☞P.16-2）に一時保存されているときは、サービスセンターとの通信は行わず、一時保存されている内容が表示されることがあります。

履歴を利用して接続する

これまでに表示した情報画面の履歴を利用して、情報画面を表示します。

- 履歴には、最大300件まで情報画面が記憶されます。最大件数を超えたときは、古い情報画面から順に自動的に削除されます。

メニュー ▶ Vodafone live! ➡ 履歴

1 履歴を選び、■を押す。

■ 履歴の情報確認：履歴選択➡□（メニュー）➡「プロパティ」選択➡■

■ 確認の終了：上記操作のあとCLEAR/BACK

■ URLをメールで送信：履歴選択➡□（メニュー）➡「URLをメール送信」選択➡■➡メール作成／送信（☞P.15-7操作3以降）

2 ウェブを終了するときは、⌂を押したあと、□（Yes）を押す。

履歴をドメイン順／日付順に並べ替える

■履歴のリスト画面で、次の操作を行います。

□（メニュー）➡「並べ替え」選択➡■➡「ドメイン順」／「日付順」選択➡■

履歴を削除する

■履歴のリスト画面で、次の操作を行います。

履歴選択➡□（メニュー）➡「削除」選択➡■➡□（Yes）

■ すべての履歴の削除：□（メニュー）➡「全件削除」選択➡■➡操作用暗証番号（4ケタ）入力➡■➡□（Yes）

URLを入力してインターネットに接続する

インターネットのホームページなどのURL（「http://」／「https://」／「rtsp://」で始まるアドレス）を入力して、情報画面を表示します。

●履歴を利用して接続することもできます。（☞P.16-4）

メニュー ▶ Vodafone live!

1「URL入力」を選び、■を押す。

2 URLを入力し、■を押す。

情報画面が表示されます。

■以前に入力した履歴から選択：✉（メニュー）➡「URL入力履歴」選択➡■➡URL選択➡■

■URL入力履歴は、新しいものから順に、最大10件まで表示されます。

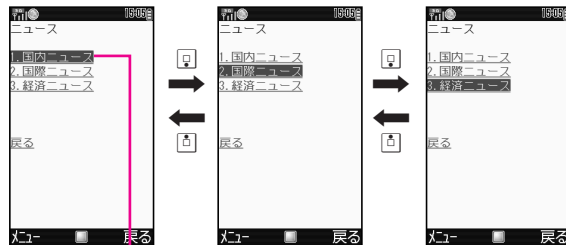
3 ウェブを終了するときは、⏻を押したあと、✉（Yes）を押す。

注意▶ インターネットのホームページによっては、画面がうまく表示されないことがあります。また、画像表示などパソコンで見る内容と異なることがあります。

情報画面での操作のしかた

カーソルを移動する

ウェブの情報画面では、カーソルを移動して項目を選びます。選べる項目にはアンダーラインが付いています。

◇を押すと、カーソルが1段ずつ下または上に移動します。

また、同じ行に複数の項目があるときは、◇を押すとカーソルが右または左に移動します。

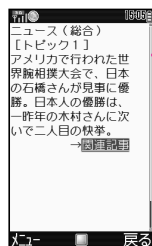
●選べる項目がないときは、カーソルは表示されません。

画面を切り替える

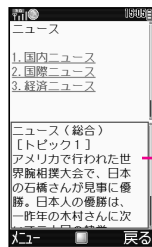
■**フレーム非対応（非表示）情報画面**

下画面や上画面があるときは、画面の右にスクロールバーが表示されます。スクロールバーの白色の部分が現在表示されている位置です。

[↕]を押すと、続きの画面が表示され、スクロールバーの白色の部分も移動します。

スクロールバー

■**フレーム対応（フレーム表示）情報画面**

[文字]を押すと、フレームを選択することができます。[↕]を押すと、選択されているフレーム内の続きの画面が表示されます。

選択されているフレーム

選択したフレームだけを表示する

■フレーム対応情報画面で、次の操作を行います。

[文字]（**フレーム選択**）➡[✉]（**メニュー**）➡「**フレームを開く**」**選択**➡[■]

■ フレーム表示に戻す：上記操作のあと[CLEAR/BACK]

情報画面内の文字入力や項目選択

入手した情報によっては、下の画面例のように、文字を入力したり、選択ボタンやメニューで項目を選択して、情報を返信できるものがあります。

15:05
お名前
性別
□ 男　□ 女
お住まい
埼玉
東京
神奈川
送信
メニュー
戻る

文字入力欄

- 文字が入力できる部分です。
- ［　　］の位置にカーソルを合わせて[■]を押すと、文字入力画面が表示されます。このあと文字を入力し、[■]を押します。

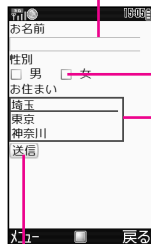
選択ボタン

- 項目を選択する部分です。
- □（チェックボックス）にカーソルを合わせて[■]を押すと、☑に変わり選択されます。
- 選択ボタンには、○（ラジオボタン）もあります。

メニュー

- メニュー項目を選択する部分です。
- メニュー項目にカーソルを合わせて[■]を押すと、項目を選択できるようになります。メニューには、連続して項目を選択することで、複数の項目を選択できるものもあります。このようなメニューで選択を終了するときは[CLEAR/BACK]を押してください。

実行ボタン

- 登録内容の送信やリセットなど、動作を選択する部分です。
- ［　　］の位置にカーソルを合わせて[■]を押すと、［　　］内に表示されている動作が行われます。

文字入力欄へ文字を入力すると（インプットメモリ）

■情報画面の文字入力欄に入力した文字は、自動的にインプットメモリに登録されます。登録されたインプットメモリは、必要なときに呼び出して利用できます。（入力した暗証番号は登録されません。）
■インプットメモリは、新しいものから最大20件まで記憶されています。20件を超えたときは、古いインプットメモリから順に消去されます。

インプットメモリを利用する

■文字入力できる状態で次の操作を行うと、選んだインプットメモリを文字入力欄に入力できます。
　✉（メニュー）➡「その他」選択➡■➡「インプットメモリ」選択➡■➡番号選択➡■

情報の利用

ブックマーク／お気に入りを利用する

よく利用するURL／情報画面を「**ブックマーク**」、「**お気に入り**」に登録しておくと、簡単な操作で表示できます。
●表示できる内容は、次のとおりです。

機能名	内容
ブックマーク	情報画面のURLが登録されます。情報は、ウェブに接続することで確認できます。 ●フォルダで管理することもできます。
お気に入り	情報画面そのものが登録されます。情報は、ウェブに接続せずに確認できます。 ●お気に入りには、気になる情報をメモ代わりに登録すると便利です。

Sharp Space Townについて

■ブックマークにあらかじめ登録されている「Sharp Space Town」は、シャープ製ボーダフォン携帯電話専用のサイトです。壁紙やゲームなど多彩なコンテンツがあります。また、辞書ファイルもダウンロードできます。

URL／情報画面を登録する

メニュー ▶ Vodafone live! ➡ Vodafone live! ➡ 情報画面を表示する

1 ✉（メニュー）を押す。

●「**ブックマーク**」または「**お気に入りへ登録**」が表示されないメニュー画面では、操作できません。

2 *ブックマークに登録する*

1「ブックマーク」を選び、■を押す。
2「ブックマークに追加」を選び、■を押す。
3 タイトルを入力し、■を押す。

お気に入りに登録する

1「お気に入りへ登録」を選び、■を押す。
2 タイトルを入力し、■を押す。

■同名のお気に入りあり（別名で登録）：⊙（No）➡タイトル変更➡■
■上書き登録：✉（Yes）

URLを入力してブックマークに登録する

■直接URLを入力してブックマークに登録するときは、次の操作を行います。
　■➡「Vodafone live!」選択➡■➡「ブックマーク」選択➡■➡✉（メニュー）➡「新規作成」選択➡■➡URL入力➡■➡タイトル入力➡■

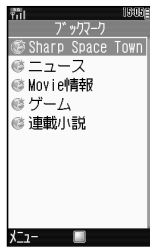
登録した情報画面を表示する

メニュー ▶ Vodafone live!

1 ***ブックマークを表示する***

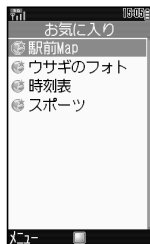
1「ブックマーク」を選び、■を押す。

- URL をメールで送信：タイトル選択➡✉（メニュー）➡「URLをメール送信」選択➡■➡メール作成／送信（☞P.15-7操作3以降）
- ブックマークの情報確認：タイトル選択➡✉（メニュー）➡「プロパティ」選択➡■
  - ■確認の終了：上記操作のあと■

ブックマーク
Sharp Space Town
ニュース
Movie情報
ゲーム
連載小説
メニュー

ブックマークのリスト画面

お気に入りを表示する

1「お気に入り」を選び、■を押す。

- お気に入りの情報確認：タイトル選択➡✉（メニュー）➡「プロパティ」選択➡■
  - ■確認の終了：上記操作のあと■

お気に入りのリスト画面

2 **タイトルを選び、■を押す。**

情報画面表示中にブックマークを表示する

■次の操作を行います。

✉（メニュー）➡「ブックマーク」選択➡■➡「開く」選択➡■➡タイトル選択➡■

ブックマーク／お気に入りの登録内容を編集する

- 以下の操作は、左記操作1のブックマーク／お気に入りのリスト画面で行います。

■ブックマークの編集

タイトル／URLの変更	タイトルやURLを変更します。

タイトルを変更する

タイトル選択➡✉（メニュー）➡「編集」選択➡■➡「タイトル：」選択➡■➡タイトル入力➡■➡◎（保存）

URLを変更する

タイトル選択➡✉（メニュー）➡「編集」選択➡■➡「URL：」選択➡■➡URL入力➡■➡◎（保存）

フォルダ管理	ブックマークをフォルダで管理します。

新規フォルダを作成する

■（メニュー）➡「フォルダ作成」選択➡■➡フォルダ名入力➡■

フォルダに移動する

タイトル選択➡■（メニュー）➡「移動」選択➡■➡■（フォルダ）➡移動先フォルダ選択➡■➡■

■ フォルダ内のブックマークをフォルダから出す：フォルダ内のタイトル選択➡■（メニュー）➡「移動」選択➡■➡■（上へ）➡■

フォルダ名を変更する

フォルダ選択➡■（メニュー）➡「タイトル変更」選択➡■➡フォルダ名入力➡■

■お気に入りの編集

タイトル変更	タイトルを変更します。

タイトル選択➡■（メニュー）➡「タイトル変更」選択➡■➡タイトル入力➡■

■ブックマーク／お気に入りの編集

並べ替え	ブックマーク／お気に入りの表示順を並べ替えます。

タイトル選択➡■（メニュー）➡「移動」選択➡■➡■（移動先選択）➡■

削除	ブックマークやお気に入りを削除します。

タイトル／フォルダ選択➡■（メニュー）➡「削除」選択➡■➡■（Yes）

■ すべてのタイトル／フォルダの削除：■（メニュー）➡「全件削除」選択➡■➡操作用暗証番号（4ケタ）入力➡■➡■（Yes）

情報内のファイルをデータフォルダに保存する

情報内の画像やサウンドなどをデータフォルダに保存します。

メニュー ▶ Vodafone live! ➡ Vodafone live! ➡ 情報画面を表示する

1 ■（メニュー）を押す。

2「ファイル操作」を選び、■を押す。

● 情報内にファイルが1つしかないときは、このあと操作4へ進みます。

3 ファイルを選び、■を押す。

■ ファイルの確認：「表示」／「再生」選択➡■
 ■確認の終了：上記操作のあと■

■ ファイルの情報確認：「プロパティ」選択➡■
 ■確認の終了：上記操作のあと■

4「保存」を選び、■を押す。

データフォルダのリスト画面が表示されます。

■ 905SH／メモリカードの切替：■（メニュー）➡「本体へ切替」／「メモリカードへ切替」選択➡■

■ 新しく作成したフォルダに保存：フォルダ選択➡■

5 ■を押す。

データフォルダに保存されます。

- 保存したファイルの内容によっては、保存後に利用できるメニューが表示されることがあります。
- データフォルダのメモリが一杯のときは、空き容量がない旨のメッセージが表示されます。不要なファイルを削除（☞P.10-10）したあと、保存し直してください。

■ フォルダ内に同名のファイルがあるとき：「**別名で保存**」／「**上書き保存**」／「**キャンセル**」選択➡■

ファイルへのリンクを選んだとき

■ファイルダウンロードの確認画面が表示されることがあります。ファイルをダウンロードするときは、次の操作を行います。
✉（Yes）

情報画面内の電話番号／E-mailアドレス／URLを利用する

情報画面に電話番号（先頭に「TEL:」が付いている番号）／E-mailアドレスが含まれているときは、その画面から電話をかけたり、MMSを送信できます。また、URL（「http://」／「https://」／「rtsp://」で始まるアドレス）が含まれているときは、インターネットに接続できます。

- アンダーラインが付いていないときは、利用できません。
- 電話番号／E-mailアドレス、URLが表示されていなくても、アンダーラインの付いた文字で利用できることがあります。

メニュー ▶ Vodafone live!

1 電話番号やE-mailアドレス、URLが含まれている情報画面を表示する。

2 *電話をかける（電話番号の利用）*

1 電話番号を選び、■を押す。

2「発信」または「TVコール」を選び、■を押す。

電話番号が発信されます。

メールを送信する（E-mailアドレスの利用）

1 電話番号またはE-mailアドレスを選び、■を押す。

2「メール作成」を選び、■を押す。

■ メールの作成／送信方法：☐➡P.15-8操作5以降

インターネットに接続する（URLの利用）

1 URLを選び、■を押す。

インターネットに接続されます。

- 「rtsp://」で始まるアドレスのときは、動画／音楽がストリーミングされます。

電話帳に登録する

■新規で登録するときは、情報画面で次の操作を行います。
電話番号／E-mailアドレス選択➡■➡「**電話帳に登録**」**選択**➡■➡「**新規作成**」**選択**➡■

- 電話帳登録の画面（☞P.4-4）が表示されます。他の項目を入力し、電話帳の登録を完了してください。

■登録済の電話帳に追加登録するときは、情報画面で次の操作を行います。
電話番号／E-mailアドレス選択➡■➡「**電話帳に登録**」**選択**➡■➡**電話帳選択**➡■➡◎（**保存**）

動画／音楽のストリーミング

動画や音楽をダウンロードしながら同時に再生します。（ストリーミング）

- ストリーミングできるのは、ストリーミング対応データだけです。
- ダウンロードしたデータは、905SHやメモリカードには保存されません。

メニュー ▶ Vodafone live! ▶ Vodafone live! ▶ 情報画面を表示する

1 再生するデータを選び、■を押す。

動画や音楽のストリーミングが始まります。（動画／音楽の再生：☞P.9-9、P.9-12）

- 一時停止：ストリーミング中に■
  - 一時停止中の再開：上記操作のあと■
  - ストリーミング一時停止中も、ウェブへは接続されています。（通信料が発生します。）

注意▶
- 動画のストリーミング中にクローズポジションにすると、ストリーミングは一時停止します。
- 一時停止中などで5分以上そのままにしていると、ストリーミングは終了し、再接続の確認画面が表示されます。

補足▶ ストリーミング時に接続したURLは、905SHに最大10件まで記憶されます。（履歴）
10件を超えたときは、古い履歴から順に自動的に削除されます。

表示サイズを変更する

■表示サイズを一時的に変更するときは、ストリーミング中に次の操作を行います。

2
- 押すたびに、「**拡大**」→「**全画面（マークなし）**」→「**全画面（マークあり）**」→「**等倍**」の順に切り替わります。
- 一時停止中は、表示サイズは切り替わりません。

- データや再生状態によっては、表示サイズが変更できないことがあります。

■ストリーミング開始時の表示サイズを設定するときは、ストリーミング中に次の操作を行います。

✉（**メニュー**）▶「**設定**」選択▶■▶「**表示サイズ**」選択▶■▶「**等倍**」／「**拡大**」／「**全画面**」選択▶■

バックライトを設定する

■ストリーミング中のバックライトの点灯方法を設定するときは、ストリーミング中に次の操作を行います。

✉（**メニュー**）▶「**設定**」選択▶■▶「**バックライト**」選択▶■▶「**常にOn**」／「**常にOff**」／「**通常設定に従う**」選択▶■

- 「**通常設定に従う**」にすると、バックライト（☞P.11-8）の設定内容に従って動作します。

ストリーミング中に着信があると

■ストリーミング中に電話着信があると、ストリーミングは終了します。このときは、■を押すと通話できます。
通話を拒否するときは、次の操作を行います。

✉（**メニュー**）▶「**通話拒否**」選択▶■

- 通話後は、再接続確認画面が表示されます。

■ストリーミング中にメールを受信すると、メールお知らせ設定の通知音設定（☞P.15-27）の設定にかかわらずメール通知音が鳴ります。

メディアプレイヤーからのストリーミング	あらかじめメディアプレイヤーを起動してから、ウェブに接続して、ストリーミングします。

メニュー ▶ メディアプレイヤー ▶ ストリーミング

続きから再生する

「続き再生」選択➡■

● ダウンロードした続きからストリーミングします。

URLを入力してストリーミングを開始する

「URL入力」選択➡■➡URL入力➡■

● 最大半角英数字1024文字まで入力できます。

ブックマークを利用してストリーミングを開始する

「ブックマーク」選択➡■➡ブックマーク選択➡■

履歴を利用してストリーミングを開始する

「履歴」選択➡■➡履歴選択➡■

■ 履歴の詳細確認：「**履歴**」選択➡■➡履歴選択➡✉（メニュー）➡「**プロパティ**」選択➡■

■ 確認の終了：上記操作のあと■

■ 履歴のURLを編集して接続：「**履歴**」選択➡■➡履歴選択➡✉（**メニュー**）➡「**URL編集**」選択➡■➡URL編集➡■

補足▶ 「URL入力」などの選択時に、「**設定**」を選び■を押すと、バックライトや表示サイズの設定ができます。（☞P.16-11）

その他の機能

情報表示中の各種操作

● 以下の操作は、情報画面（☞P.16-2）で行います。

表示切替	情報画面のサイズを切り替えることができます。

✉（メニュー）➡「表示切替」選択➡■➡「画面幅に合わせる」／「オリジナル」選択➡■

テキストコピー	情報画面内の文字をコピーします。

✉（メニュー）➡「テキストコピー」選択➡■➡P.3-13「コピー／カット（切り取り）／ペースト（貼り付け）を行う」操作3以降

情報の更新	情報を最新の内容に更新します。

✉（メニュー）➡「更新」選択➡■

● お気に入りに登録している情報画面で操作したときは、お気に入りの内容も更新されます。

URLを入力して接続	情報画面表示中にURLを入力して接続します。

✉（メニュー）➡「URL入力」選択➡■➡P.16-5「URLを入力してインターネットに接続する」操作2以降

ホーム	情報画面表示中にウェブのメインメニューに移動します。

✉（メニュー）➡「ホーム」選択➡■

履歴を表示して接続	情報画面表示中に履歴を表示して接続します。

✉（メニュー）➡「履歴」選択➡■➡P.16-4「履歴を利用して接続する」操作1以降

URLをメールで送信	情報画面のURLをメールで送信します。

☒（メニュー）➡「その他」選択➡■➡「URLをメール送信」選択➡■➡メール作成／送信（☞P.15-7操作3以降）

プロパティ	情報の詳細を確認します。

☒（メニュー）➡「その他」選択➡■➡「プロパティ」選択➡■

■ 情報画面に戻る：上記操作のあと■

キャッシュ/Cookie/履歴/認証情報の削除	キャッシュ／Cookie／履歴／認証情報を削除します。

☒（メニュー）➡「その他」選択➡■➡「保存情報削除」選択➡■➡「キャッシュ削除」／「Cookie削除」／「履歴削除」／「認証情報削除」選択➡■➡☒（Yes）

■「認証情報削除」選択時：操作用暗証番号（4ケタ）入力➡■

- 削除される内容は、次のとおりです。

キャッシュ	キャッシュメモリに一時保存された情報です。
Cookie	サーバー側でお客様を識別するための情報です。
履歴	これまでに接続した情報画面のうちで、905SHに記憶されている情報画面のURLです。
認証情報	以前の認証要求時に入力したユーザーID／パスワードです。

テキスト検索	情報画面内の文字列を検索します。

☒（メニュー）➡「その他」選択➡■➡「テキスト検索」選択➡■➡検索文字列入力➡■

- 該当する検索結果が複数あるときは、先頭の検索結果が赤色表示されます。このあと■を押すと、次の検索結果が表示されます。

■ 検索の終了：上記操作のあと◎（キャンセル）

カレント証明書	現在表示中の、セキュリティで保護されている情報画面の証明書を確認します。

☒（メニュー）➡「ブラウザ設定」選択➡■➡「セキュリティ」選択➡■➡「カレント証明書」選択➡■

■ 証明書の詳細：上記操作のあと、証明書選択➡■

■ 確認の終了：上記操作のあとCLEAR/BACK

画像などのアップロード	データフォルダ内の画像など各種ファイルを、サービスセンターへアップロード（送信）します。

■画像などをアップロードできる情報画面で利用できます。

「参照」選択➡■➡ファイル選択➡■➡「送信」選択➡■

- 上記の操作は、あくまでも一例です。詳しくは、情報画面の操作説明を参照してください。
- コンテンツによっては、アップロードに対応していないものがあります。

ウェブ関連の設定

文字サイズ	情報画面の文字サイズを設定します。

お買い上げ時 中

メニュー ▶ Vodafone live! ➡ ブラウザ設定 ➡ 文字サイズ
文字サイズ選択 ➡ ■

スクロール単位	情報画面のスクロールする単位を設定します。

お買い上げ時 行単位

メニュー ▶ Vodafone live! ➡ ブラウザ設定 ➡ スクロール単位
スクロール単位選択 ➡ ■

文字コード変換	情報画面の文字コードを設定します。

お買い上げ時 自動

メニュー ▶ Vodafone live! ➡ ブラウザ設定 ➡ 文字コード変換
文字コード選択 ➡ ■

- 通常は「自動」でお使いください。「自動」で正しく表示されないときに、文字コードを変更してください。

リンク元の参照	リンク元の参照を許可するかどうかを設定します。

お買い上げ時 許可する

メニュー ▶ Vodafone live! ➡ ブラウザ設定 ➡ リンク元の参照
「許可する」／「許可しない」選択 ➡ ■

Cookie	Cookie（☞P.16-13）を許可するかどうかを設定します。

お買い上げ時 許可する

メニュー ▶ Vodafone live! ➡ ブラウザ設定 ➡ Cookie
「許可する」／「許可しない」／「毎回確認」選択 ➡ ■

テキストブラウズ	情報内の画像やサウンドを取得せずに、文字情報だけを表示するかどうかを設定します。

お買い上げ時 画像：取得する、サウンド：再生する

メニュー ▶ Vodafone live! ➡ ブラウザ設定 ➡ テキストブラウズ

画像を取得する

「画像取得」選択 ➡ ■ ➡ 「取得する」／「取得しない」選択 ➡ ■

サウンドを再生する

「サウンド取得」選択 ➡ ■ ➡ 「再生する」／「再生しない」選択 ➡ ■

製造番号通知	905SHの製造番号（接続認証のための情報）を自動的に送信するかどうかを設定します。

お買い上げ時 Off（送信しない）

メニュー ▶ Vodafone live! ➡ ブラウザ設定 ➡ 製造番号通知
「On」（送信する）／「Off」（送信しない）選択 ➡ ■

位置情報設定	位置情報を自動的に送信するかどうかを設定します。

お買い上げ時 毎回確認

メニュー ▶ Vodafone live! ➡ ブラウザ設定 ➡ 位置情報設定
操作用暗証番号（4ケタ）入力 ➡ ■ ➡ 「毎回確認」／「送信する」／「送信しない」選択 ➡ ■

- 「測位On／Off設定」（☞P.12-15）を「Off」にしているときは、ここでの設定にかかわらず、位置情報は送信されません。

ファイル保存先	ダウンロードファイルの保存先として、905SHとメモリカードのどちらを優先するかを設定します。

お買い上げ時 本体メモリ優先

メニュー ▶ Vodafone live! ➡ ブラウザ設定 ➡ ファイル保存先

「本体メモリ優先」／「メモリカード優先」選択 ➡ ■

● 優先設定された保存先のメモリ容量が不足しているときは、ファイルを保存できません。優先設定している保存先から、不要なファイルを削除してください。
● ファイルによっては、メモリカードへの保存が禁止されているものがあります。このときは、ここでの設定にかかわらず905SHに保存されます。

セキュリティ設定

セキュリティ確認画面	セキュリティで保護されている情報画面（☞P.16-2）と通常の情報画面の間を移動するとき、確認画面を表示するかどうかを設定します。

お買い上げ時 表示する

メニュー ▶ Vodafone live! ➡ ブラウザ設定 ➡ セキュリティ ➡ セキュリティ確認画面

「表示する」／「表示しない」選択 ➡ ■

ルート証明書／カレント証明書	905SHに登録されている、認証機関が発行した電子的な証明書を確認します。

メニュー ▶ Vodafone live! ➡ ブラウザ設定 ➡ セキュリティ

「ルート証明書」（あらかじめ登録されている証明書）／「カレント証明書」（情報画面から入手した証明書）選択 ➡ ■

- 証明書の詳細：上記操作のあと、証明書選択 ➡ ■
- 確認の終了：上記操作のあと ■

認証	認証要求時に、以前に入力したユーザーID／パスワードで自動的に認証するかどうかを設定します。

お買い上げ時 ブラウズ中保持

メニュー ▶ Vodafone live! ➡ ブラウザ設定 ➡ セキュリティ ➡ 認証

「ブラウズ中保持」／「On」（認証する）／「Off」（認証しない）選択 ➡ ■

●「ブラウズ中保持」を選ぶと、ブラウザ終了まで認証情報を保存して、自動的に認証します。ブラウザを終了すると、認証情報は消去されます。

補足 ▶ ここで保存される情報は、HTTP通信のBasic認証、Digest認証で使用される認証情報です。サイトによっては、別の認証方式を採用しているところもあります。

Vアプリについて

905SHに、ゲームなどいろいろなアプリケーション（Vアプリ）をウェブからダウンロードして楽しめます。

- 905SHでは、ボーダフォン携帯電話専用のVアプリだけ利用できます。
- 905SH はサイクロイドポジションに対応した横画面専用アプリが利用できます。
- 905SHには、あらかじめ次のVアプリが登録されています。
  2006 Real Soccer Demo※、**リアルテニスLIVE**※、**頭文字D3 体験版**※、**NINJA WARRIORS**※、**コミック サーフィン**、**対戦パックマン／試**、**Superボンバーマン BT体験版**、**EX野球ミラクル対戦無料版**、**最強!エアホッケー体験**、**対戦！ゲームパック**、**Asphalt2Demo**、**メテオス モバイル**、**Arkanoid -LINK-**、**ちかチャット**、**TVNano番組表**、**V-Kara Player 2**
  ※横画面専用アプリです。
  ■V-Kara player 2ではあらかじめデータフォルダ（着うた･メロディ）に登録されている「**青春アミーゴ**」を利用できます。

許諾番号：T-0640119 JASRAC

補足▶
- Vアプリの利用には、別途ご契約が必要です。（お買い上げ時に登録されているVアプリは、そのまま利用できます。）
- 通信料などについて詳しくは、「**3G ガイドブック**」を参照してください。
- お買い上げ時に登録されているＶアプリは、削除することができます。（☞P.17-6）
  削除後、お買い上げ時の状態に戻すときは、Vアプリオールリセット（☞P.17-10）を行います。

ICアプリについて

■905SHには、ボーダフォンライブ! FeliCa 対応のVアプリ「**ICアプリ**」（☞P.19-2）が登録されています。「**ICアプリ**」も他のVアプリと同様、各種設定や管理を行うことができます。

ネットワーク接続型Vアプリについて

■利用時にネットワーク（ウェブ）への接続が必要なVアプリを「**ネットワーク接続型Vアプリ**」といいます。
- ネットワーク接続型Vアプリを利用するときは、ネットワーク接続の確認画面が表示されます。この確認画面は表示しないようにすることもできます。（☞P.17-8）

Vアプリライブラリを表示する

905SHに保存されているVアプリは、Vアプリライブラリで確認できます。

メニュー ▶ **Vアプリ**

1 「Vアプリ」を選び、■を押す。

905SHのVアプリライブラリが表示されます。
- 905SH／メモリカードの切替：✉（**メニュー**）➡「**本体へ切替**」／「**メモリカードへ切替**」選択➡■
- Java™のライセンスに関する情報を表示：「**インフォメーション**」選択➡■

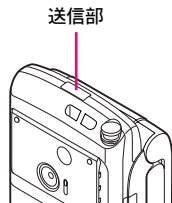
補足▶ 一時停止中のVアプリがあるときは、待受画面で■を押すと確認画面が表示されます。「**終了**」を選び■を押し、一時停止中のVアプリを終了したあと、操作してください。

Vアプリライブラリのメモリ使用状況を確認する

■次の操作を行います。
■➡「**データフォルダ**」選択➡■➡「**メモリ確認**」選択➡■➡「**本体**」／「**メモリカード**」選択➡■

リモコン操作

905SHは、赤外線を利用して、テレビやビデオなどの家電製品をリモコン操作できます。(リモコン機能に対応したVアプリが必要です。)

- 送信部をテレビ/ビデオなどの家電製品の赤外線受信部の正面に向けて操作してください。
- 操作できる距離は、電池パックを完全に充電した状態で、約5mです。
- 利用される環境(まわりの明るさ、障害物など)によっては、リモコン操作ができないこともあります。

メモリカード内のVアプリ情報を更新する(メモリカードシンクロ)

メモリカードを別のボーダフォン携帯電話やパソコンなどで利用(データの編集や追加、消去など)したときは、Vアプリライブラリの情報を更新する必要があります。

- あらかじめネットワーク自動調整を行ってください。(☞P.1-20)

メニュー ▶ Vアプリ ➡ Vアプリ設定 ➡ メモリカードシンクロ

1 **✉(Yes)を押す。**

補足▶ Vアプリライブラリのファイル数やデータ量によっては、情報更新が完了するまで時間がかかることがあります。

Vアプリを外部機器に表示する(外部出力)

905SHは、オプション品のL型ビデオ出力ケーブルを利用して、テレビやビデオなどの他の機器でVアプリを表示できます。

- 外部出力の利用には、外部出力対応のVアプリが必要です。外部出力に対応しているかどうかは、プロパティの「TV出力」欄で確認できます。(☞P.17-6)
- あらかじめL型ビデオ出力ケーブルで、テレビやビデオなどの他の機器と接続しておいてください。(☞P.11-10)

メニュー ▶ Vアプリ ➡ Vアプリ

1 **Vアプリを選び、■を押す。**

2 **[文字]を押す。**

Vアプリがテレビやビデオなどで表示されます。

- [文字]を押すたびに出力先や表示サイズが切り替わります。

注意▶
- Vアプリを外部出力でご利用になるときは、視力の低下を防ぐため、長時間の利用は控えるようにしてください。
- Vアプリ待受設定から起動したVアプリは、外部出力できません。

Vアプリをダウンロードする

- あらかじめネットワーク自動調整を行ってください。（☞P.1-20）
- Vアプリによっては、メモリカードに保存できるものもあります。
- 電波状態のよい所で操作してください。

メニュー ▶ Vアプリ ➡ Vアプリ ➡ Vアプリダウンロード

1 Vアプリを提供しているウェブの情報画面を表示する。

2 Vアプリを選び、■を押す。

データ解析中の確認メッセージが表示されたあと、Vアプリ情報が受信され、情報表示画面が表示されます。

■ Vアプリ一時停止中［「♨」（グレー）点灯］：✉（Yes）

3 ■を押す。

Vアプリ本体のダウンロードが始まります。

- ダウンロードに、多少時間がかかることがあります。

■ ダウンロードの中止：CLEAR/BACK

4 ダウンロードが終われば、自動的に保存され、確認画面が表示される。

- Vアプリ待受（☞P.17-7）に設定しているVアプリの新しいバージョンをダウンロードしたときは、Vアプリ待受設定が解除されることがあります。

5 ✉（Yes）を押す。

ウェブが終了し、Vアプリライブラリが表示されます。

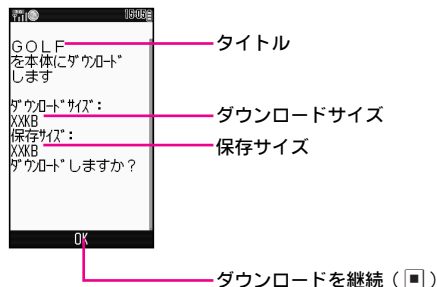
■ ウェブの情報画面に戻る：◎（No）

■ Vアプリの起動：☞P.17-5

補足▶ Vアプリによっては、交換機用暗証番号の入力や、セキュリティレベルの設定など、操作が必要なものもあります。

情報表示画面

Vアプリのダウンロードでは、Vアプリ本体をダウンロードする前に、タイトルやサイズなどのVアプリ情報が表示されます。（情報表示画面）

この情報表示画面で確認したあと、Vアプリ本体をダウンロードできます。

Vアプリの利用

Vアプリを起動する

メニュー ▶ Vアプリ

1 「Vアプリ」を選び、■を押す。

Vアプリライブラリ（☞P.17-2）が表示されます。

2 Vアプリを選び、■を押す。

Vアプリが起動します。［「♨」点灯］

- Vアプリの操作方法については、ダウンロードしたウェブの情報画面などを参照してください。
- 利用できないVアプリを選んだときは、Vアプリライブラリに戻ります。

補足▶ Vアプリ起動中に電話などの着信があると、Vアプリが一時停止し、着信画面が表示されます。Vアプリを起動させたまま着信通知を表示させることもできます。（☞P.17-9）

ネットワーク接続型Vアプリを起動する

■ ネットワーク接続型Vアプリを起動するときは、上記操作2のあと、ネットワーク接続の確認画面で次の操作を行います。

「Yes」／「No」選択➡■➡**Vアプリ起動**

- 確認画面を表示しないようにも設定できます。（ネットワークアクセス：☞P.17-8）

■Vアプリの種類によっては、ネットワーク接続型Vアプリを起動するとき、セキュリティレベル（☞P.17-8）の設定画面が表示されることがあります。

Vアプリを終了／一時停止／再開する

Vアプリを終了／一時停止する

1 Vアプリ利用中に、☎を押す。

2 *終了する*

1「終了」を選び、■を押す。

「♨」（グレー）が消え、Vアプリライブラリに戻ります。

一時停止する

1「一時停止」を選び、■を押す。

待受画面に戻ります。

- 再度同じVアプリを起動すると、一時停止している状態から続きを行うことができます。

一時停止中のVアプリを再開する

1 Vアプリが一時停止している状態の待受画面で、■を押す。

- Vアプリ一時停止中は、「♨」（グレー）が点灯しています。

2 「再開」を選び、■を押す。

- Vアプリを終了：「**終了**」選択➡■
- 一時停止のままメインメニューを表示：「**キャンセル**」選択➡■

Vアプリの管理／設定

Vアプリの詳細情報を確認する（プロパティ）

メニュー ▶ Vアプリ ➡ Vアプリ

1 **Vアプリを選び、✉（メニュー）を押す。**

2 **「プロパティ」を選び、■を押す。**

Vアプリの詳細情報が表示されます。

●表示される情報は、次のとおりです。

名前	Vアプリの名称
ベンダ名	Vアプリの開発元や販売元など、提供者の名称
バージョン	Vアプリのバージョン
説明	Vアプリの説明
アプリケーションサイズ	Vアプリのデータサイズ
レコードサイズ	ゲームのスコアなどを保存できるデータサイズ
Vアプリ待受設定	Vアプリ待受設定の可／不可
プロファイル	VSCL（海外）／JSCL（国内）バージョン
関連リンク	リンク先のウェブ情報
TV出力	テレビやビデオなどへの外部出力の可／不可
認証	認証の有無
認証サブジェクト	名称、国名、組織
自動接続	自動接続対応の有無
IC対応	ICアプリ対応の可／不可
カラオケ対応	カラオケ機能対応の可／不可
コミック対応	コミック機能対応の可／不可

■ 情報の続きを確認：上記操作のあと 🔲

■ 確認の終了：上記操作のあと CLEAR/BACK

905SH内のVアプリをメモリカードに移動する

●Vアプリ待受に設定しているVアプリを移動するときは、設定を解除してから操作してください。

メニュー ▶ Vアプリ ➡ Vアプリ

1 **Vアプリを選び、✉（メニュー）を押す。**

2 **「メモリカードへ移動」を選び、■を押す。**

■ メモリカード内に古いバージョンのVアプリあり：
✉（Yes）／◎（No）

■ ✉（Yes）を押すと、メモリカード内のVアプリが新しいバージョンに上書きされます。

注意▶ ●メモリカード内に同じVアプリがあるときや、メモリカード内に十分な空き容量がないときは、移動できません。
●Vアプリによっては、メモリカードに移動できないものがあります。

Vアプリを削除する

●Vアプリ待受に設定しているVアプリを削除するときは、設定を解除してから操作してください。

メニュー ▶ Vアプリ ➡ Vアプリ

1 **Vアプリを選び、✉（メニュー）を押す。**

2 **「削除」を選び、■を押す。**

3 **✉（Yes）を押す。**

●削除時に、操作用暗証番号の入力が必要なこともあります。

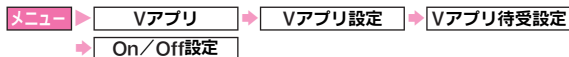
補足▶ お買い上げ時に登録されているVアプリも削除できます。削除後は、Vアプリオールリセット（☞P.17-10）を行うと、お買い上げ時の状態に戻すことができます。

Vアプリを常時起動する（Vアプリ待受）

待受画面で、常にVアプリを起動させておくことができます。

Vアプリ待受のOn／Offを設定する

●お買い上げ時には、「Off」に設定されています。

メニュー ▶ Vアプリ ➡ Vアプリ設定 ➡ Vアプリ待受設定 ➡ On／Off設定

1 「On」を選び、■を押す。

Vアプリ待受の解除：「Off」選択➡■

Vアプリ待受に設定する

●Vアプリ待受に設定できるVアプリは、1件です。
●Vアプリによっては、Vアプリ待受に設定できないものがあります。
●一時停止中のVアプリがあるとき［「」（グレー）点灯時］は、設定できません。
●ICアプリやメモリカード内のVアプリは、設定できません。

メニュー ▶ Vアプリ ➡ Vアプリ

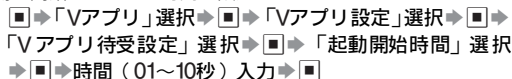
1 Vアプリ待受に設定できるVアプリを選び、✉（メニュー）を押す。

2 「Vアプリ待受に設定」を選び、■を押す。

●「Vアプリ待受に設定」が表示されないVアプリでは、利用できません。

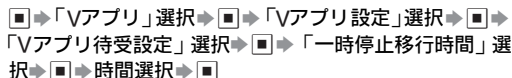
起動開始時間を設定する

■Vアプリ待受に設定したVアプリが待受画面に戻ったあと、起動を開始するまでの時間を設定します。

■➡「Vアプリ」選択➡■➡「Vアプリ設定」選択➡■➡「Vアプリ待受設定」選択➡■➡「起動開始時間」選択➡■➡時間（01〜10秒）入力➡■

●お買い上げ時には、「3秒」に設定されています。

一時停止移行時間を設定する

■何も操作しない状態で、Vアプリが一時停止するまでの時間を設定します。

■➡「Vアプリ」選択➡■➡「Vアプリ設定」選択➡■➡「Vアプリ待受設定」選択➡■➡「一時停止移行時間」選択➡■➡時間選択➡■

●お買い上げ時には、「Off」（一時停止しない）に設定されています。

注意▶
●TVアンテナ付きステレオイヤホンマイクを接続しているときは、Vアプリ待受を設定していても起動しません。
●メモリカードを取り付けた状態で、Vアプリ待受に設定したVアプリが起動しているとき、TVアンテナ付きステレオイヤホンマイクを接続すると、Vアプリが終了します。
●ハンズフリーキットなどの外部機器を接続しているときは、Vアプリが起動しないことがあります。
●着信と連動するタイプのVアプリをVアプリ待受に設定しているときは、Vアプリで設定されている着信パターンで動作することがあります。

セキュリティレベルを設定する

Vアプリの各種動作について、確認画面の表示方法や動作の可／不可を設定します。

●設定できる項目は、次のとおりです。

電話発信	音声通話の発信
ネットワークアクセス	ネットワークへの接続
メール送受信	メールの利用
オートラン	オートランファイルの実行
Bluetooth接続	Bluetooth®との接続
外部機器接続	外部機器との接続
ユーザーデータ読込み	電話帳やカレンダーなどの読み込み
ユーザーデータ書込み	電話帳やカレンダーなどへの書き込み
マルチメディア	メディアプレイヤーの利用
位置情報	位置情報の送出

●メモリカード内のVアプリにも設定できます。
●Vアプリによっては、セキュリティレベルを設定できないことがあります。

メニュー ▶ Vアプリ ➡ Vアプリ

1 **Vアプリを選び、✉（メニュー）を押す。**

2 **「セキュリティレベル」を選び、■を押す。**

3 **項目を選び、■を押す。**

4 **内容を選び、■を押す。**

●設定の内容は、次のとおりです。（設定項目や状況によっては、表示されない内容もあります。）

Vアプリ起動時表示	起動時に確認画面を表示します。
毎回表示する	該当動作の前に確認画面を表示します。
表示しない	確認画面を表示しません。
許可しない	該当動作を許可しません。

セキュリティレベルをお買い上げ時の状態に戻す（設定リセット）

■左記操作3で、次の操作を行います。
「**設定リセット**」**選択**➡■➡✉（Yes）

Vアプリ関連の設定

音量 Vアプリ起動中の効果音などの音量を設定します。

お買い上げ時 音量3

メニュー ▶ Vアプリ ➡ Vアプリ設定 ➡ 音量

✥（音量調節）➡■

●マナーモード設定中は、マナーモードの設定内容が優先されます。

バックライトOn／Off設定 Vアプリ起動中の画面の点灯方法を設定します。

お買い上げ時 通常設定に従う

メニュー ▶ Vアプリ ➡ Vアプリ設定 ➡ バックライト ➡ On／Off設定

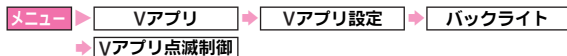
「**常にOn**」／「**常にOff**」／「**通常設定に従う**」**選択**➡■

●設定できる点灯方法は、次のとおりです。

常にOn	Vアプリ起動中は、常に点灯します。
常にOff	Vアプリ起動中は、ボタンを押しても点灯しません。
通常設定に従う	ディスプレイ設定のバックライト（☞P.11-8）の設定内容に従って動作します。

注意▶ ディスプレイ設定のバックライト（☞P.11-8）の「**明るさ調整**」を「**自動**」にしている場合に、「**通常設定に従う**」にしたときは、「**明るさ：3**」の明るさとなります。（自動的に画面の明るさは調整されません。）

Vアプリ点滅制御	Vアプリ内のパネル照明点滅設定を、有効にするかどうかを設定します。

お買い上げ時On（有効にする）

メニュー▶Vアプリ➡Vアプリ設定➡バックライト➡Vアプリ点滅制御
「On」（有効にする）／「Off」（無効にする）選択➡■

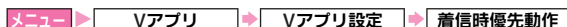
バイブ	Vアプリ内のバイブレータ動作設定を、有効にするかどうかを設定します。

お買い上げ時On（有効にする）

メニュー▶Vアプリ➡Vアプリ設定➡バイブ
「On」（有効にする）／「Off」（無効にする）選択➡■

- マナーモード設定中は、マナーモードの設定内容が優先されます。

着信時優先動作	Vアプリ起動中に着信などがあったときの動作を設定します。

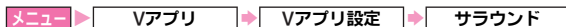
お買い上げ時着信優先動作／アラーム動作／着信優先

メニュー▶Vアプリ➡Vアプリ設定➡着信時優先動作
「音声着信」～「Vアプリ開始要求」選択➡■➡動作選択➡■

- 設定できる動作は、次のとおりです。

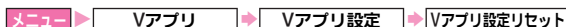
着信優先動作／アラーム動作／着信優先	Vアプリは自動的に一時停止し、着信などが受けられるようになります。
着信通知表示／アラーム通知／着信通知	Vアプリは継続し、着信通知（「090392XXXX1」など）が画面に表示されます。を押すと、Vアプリは一時停止し、着信などが受けられるようになります。

- Vアプリ待受に設定したVアプリが起動しているときは、ここでの設定にかかわらず着信通知が表示されます。

サラウンド	Vアプリ起動中のサラウンドを設定します。

お買い上げ時On（サラウンドあり）

メニュー▶Vアプリ➡Vアプリ設定➡サラウンド
「On」（サラウンドあり）／「Off」（サラウンドなし）選択➡■

Vアプリを初期化する

Vアプリ設定リセット	Vアプリ設定を初期化します。

メニュー▶Vアプリ➡Vアプリ設定➡Vアプリ設定リセット
操作用暗証番号（4ケタ）入力➡■➡（Yes）

- 初期化される内容は、次のとおりです。

項目		初期値
音量		音量3
バックライト	On／Off設定	通常設定に従う
	Vアプリ点滅制御	On
バイブ		On
着信時優先動作	音声着信	着信優先動作
	TVコール着信	着信優先動作
	メール着信	着信優先動作
	アラーム	アラーム動作
	Vアプリ開始要求	着信優先
Vアプリ待受設定	On／Off設定	Off
	起動開始時間	3秒
	一時停止移行時間	Off
サラウンド		On

Vアプリオールリセット	Vアプリをすべて削除し、お買い上げ時の状態に戻します。

メニュー ▶ Vアプリ ➡ Vアプリ設定 ➡ Vアプリオールリセット

操作用暗証番号（4ケタ）入力➡■➡✉（Yes）

注意▶

- Vアプリオールリセットを行うと、お買い上げ時の状態に戻ります。お客様がダウンロードされたVアプリ、ICアプリは削除されますので、あらかじめご了承ください。ただし、ICカード内にデータがあるときは、Vアプリオールリセットは行えません。ICカード内のデータを消去してから、操作してください。（☞P.19-2）
- Vアプリオールリセットを行うと、ちかチャットの利用制限機能で設定している暗証番号もリセットされるため、ちかチャットの利用制限は解除されます。ご注意ください。
- あらかじめ登録されているVアプリを削除していたときは、お買い上げ時の状態に戻ります。

エンタテイメント

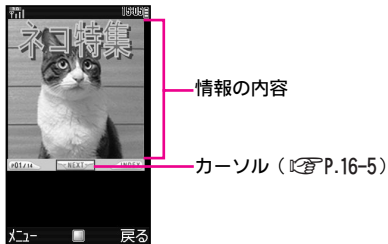
ボーダフォンライブ! キャスト

ボーダフォンライブ! キャストについて

ボーダフォンライブ! キャストとは、905SHでいろいろな情報を自動的に受信できる、情報配信サービスです。

- ボーダフォンライブ! キャストの利用には、お申し込みおよびサービス登録が必要です。(有料:定額)
- ボーダフォンライブ! キャストを利用する前に、あらかじめネットワーク自動調整を行ってください。(☞P.1-20)

情報画面

ボーダフォンライブ! キャストの情報画面例は、次のとおりです。

サービス登録を行う

ボーダフォンライブ! キャストを利用するための、サービス登録を行います。

- サービス登録にはウェブを利用します。電波状態のよい所で操作してください。(通信料がかかります。)

メニュー ▶ エンタテイメント ▶ キャスト

1 「サービス登録・解除」を選び、■を押す。

ウェブに接続され、ボーダフォンライブ! キャストのサービス登録ページが表示されます。

- 以降は、画面の指示に従って操作してください。

情報を確認する

最新情報を確認する

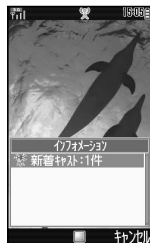
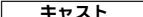
1 最新情報を受信すると、受信画面のあとインフォメーションが表示される。(「📡」点灯)

- 905SHがクローズポジションのときは、受信中にオープンポジションにすると、受信画面のあと、インフォメーションが表示されます。

インフォメーション

2 「新着キャスト」を選び、■を押す。

情報が表示されます。

- 以降は、画面の指示に従って操作してください。
- 情報画面での操作方法は、ウェブと同様です。
  - ■カーソル移動:☞P.16-5
  - ■ファイル保存:☞P.16-9
  - ■電話番号/E-mailアドレス/URLの利用:☞P.16-10

3 **確認を終了するときは、[終話]を押す。**

情報の再配信を要求する

■情報が正常に受信できなかったときなどは、次の操作を行うと最新情報の再配信を要求できます。（電波状態のよい所で操作してください。電波の届きにくい所では、再配信を要求しても、受信できないことがあります。）

[■]➡「エンタテイメント」選択➡[■]➡「キャスト」選択➡[■]➡「再配信要求」選択➡[■]➡[✉]（Yes）

バックナンバーを確認する

メニュー ▶ エンタテイメント ➡ キャスト

1 ***最新の情報を確認する***

1「最新情報」を選び、[■]を押す。

情報が表示されます。

過去の情報を確認する

1「バックナンバー」を選び、[■]を押す。

2 日付を選び、[■]を押す。

情報が表示されます。

2 **項目を選び、[■]を押す。**

情報の内容が表示されます。

3 **確認を終了するときは、[終話]を押す。**

情報を利用する

情報画面では、次の操作が行えます。

サウンド／着うた®の保存	「保存」選択➡[■]
文字サイズの設定	[✉]（メニュー）➡「文字サイズ」選択➡[■]➡文字サイズ選択➡[■]
スクロール単位の設定	[✉]（メニュー）➡「スクロール単位」選択➡[■]➡スクロール単位選択➡[■]
文字のコピー	[✉]（メニュー）➡「コピー」選択➡[■]➡P.3-12「コピー／カット（切り取り）／ペースト（貼り付け）を行う」操作3以降
詳細情報の確認	[✉]（メニュー）➡「プロパティ」選択➡[■] ■確認の終了：上記操作のあと[■]

ちかチャット

- 本アプリには、18歳未満のお子さまによる本アプリの利用を保護者の方が制限することができる「**利用制限機能**」を搭載しております。
  なお、「**操作用暗証番号**」を用いて「**Vアプリオールリセット**」（☞P.17-10）を行うと、利用制限機能で設定している暗証番号もリセットされ、利用制限機能が解除されますので、「**操作用暗証番号**」の管理はくれぐれもご注意ください。
- 本アプリは、Bluetooth®の特性上、意図しない相手から接続を要求されることがありますが、拒否することもできます。［（☞P.18-5操作2で◎（No）を押します。］

ちかチャットについて

近く（半径10m程度の範囲）にあるちかチャット対応端末どうしで、リアルタイムに文字メッセージをやりとりできます。

- ちかチャットはBluetooth®を利用します。このため、通信料はかかりません。
- ちかチャットの利用には、ちかチャット専用Vアプリが必要です。905SHには、あらかじめVアプリ「**ちかチャット**」が登録されています。

注意▶
- 通信可能範囲は、周囲の環境により変動することがあります。
- あらかじめ登録されているVアプリ「**ちかチャット**」は削除できません。

ちかチャットを利用する

ちかチャットの準備をする

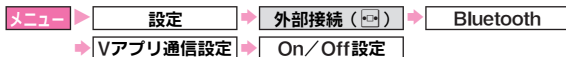
ちかチャットを利用するには、あらかじめ次の各機能を「On」にしておく必要があります。

Bluetooth® On／Off設定	☞P.12-2（お買い上げ時「Off」）
Bluetooth®デバイスの公開	☞P.12-4（お買い上げ時「On」）
Vアプリ通信設定	☞P.18-5（お買い上げ時「On」）

注意▶
- Bluetooth® On／Off設定を「**Off**」にすると、Vアプリ「**ちかチャット**」は利用できません。
- Bluetooth® On／Off設定およびBluetooth®デバイスの公開を「**On**」にすると、周りのBluetooth®対応機器に905SHのデバイス名称を公開します。他の機器から接続要求されることがありますので、ご注意ください。
- Bluetooth®デバイスの公開およびVアプリ通信設定を「**Off**」にすると、相手からの開始要求でちかチャットを開始することはできません。

■Vアプリ通信設定

●お買い上げ時には、「On」に設定されています。

メニュー ▶ 設定 ➡ 外部接続（▣）➡ Bluetooth ➡ Vアプリ通信設定 ➡ On／Off設定

1 「On」または「Off」を選び、■を押す。

■「On」選択時（Bluetooth®機能Off時）：✉（Yes）

905SHの操作でちかチャットを開始する

メニュー ▶ エンタテイメント

1 「ちかチャット」を選び、■を押す。

■Bluetooth®機能Off時：✉（Yes）

2 Vアプリの操作でちかチャットを開始する。

●相手がちかチャットの接続要求に応じれば、ちかチャットが利用できる状態になります。

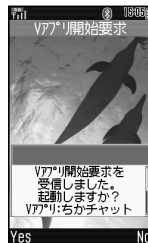
●ちかチャットの操作方法について詳しくは、Vアプリ「**ちかチャット**」の「**使い方**」を参照してください。

3 ちかチャットを終了するときは、Vアプリを終了させる。（☞P.17-5）

相手からの開始要求でちかチャットを開始する

1 相手から、ちかチャットの開始要求があると、Vアプリ開始要求の受信音が鳴り、確認画面が表示される。

●受信音停止後、約30秒間何も操作しないでおくと、再びVアプリ開始要求の受信音が鳴り、確認画面のあと、インフォメーションが表示されます。

●最新の開始要求受信の履歴は、「**最新受信情報**」（☞下記）で確認することができます。

2 ✉（Yes）を押す。

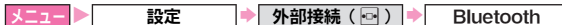
Vアプリ「**ちかチャット**」が起動し、ちかチャットが利用できる状態になります。

●ちかチャットの操作方法について詳しくは、Vアプリ「**ちかチャット**」の「**使い方**」を参照してください。

■開始しない：⊙（No）

3 ちかチャットを終了するときは、Vアプリを終了させる。（☞P.17-5）

最新受信情報 最新のちかチャットの通信状況を確認します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 外部接続（▣）➡ Bluetooth

「Vアプリ通信設定」選択➡■➡「最新受信情報」選択➡■

■確認の終了：上記操作のあと■

コミックサーフィン

コミックサーフィンを利用すると、ブックフォルダに保存されている電子コミックや電子写真集など（CCFファイル）を閲覧することができます。

- コンテンツキーをダウンロードしたCCFファイルを閲覧することができます。
- コミックサーフィンは、Vアプリです。

メニュー ▶ エンタテイメント

1「コミックサーフィン」を選び、■を押す。

コミックサーフィンが起動します。

- 以降の操作方法については、コミックサーフィンのヘルプを参照してください。
- 一時停止中のVアプリがあるときは、Vアプリを終了するかどうかの確認画面が表示されます。「Yes」を選び■を押すと、一時停止中のVアプリは終了し、コミックサーフィンが起動します。

注意▶ 機種変更をしたときなどは、メモリカードを経由してCCFファイルを移動することができます。このときは、コンテンツキーを再ダウンロードすれば、閲覧できるようになります。ただし、コンテンツによってはCCFファイルの再ダウンロードが必要になることもあります。

補足▶ ブックフォルダは、905SH（本体）とメモリカードの両方にあります。

ボーダフォンライブ! FeliCa

ボーダフォンライブ! FeliCaについて

「ボーダフォンライブ! FeliCa」とは、ボーダフォンライブ! FeliCa対応端末で利用できる、ICカード機能サービスです。905SHはボーダフォンライブ! FeliCaに対応しており、店舗などに設置されたリーダー/ライター(読み取り装置)に905SHをかざすだけで、電子マネーを使って買い物の支払をしたり、ポイントカードや交通チケットなどとして利用できるようになります。

「FeliCa」とは

■かざすだけでデータの読み書きができる、非接触ICカード技術方式の1つです。

「ICカード」とは

■ボーダフォンライブ! FeliCa対応端末に搭載されているFeliCaチップのことです。
■ICカード内には、ボーダフォンライブ! FeliCaを利用するための情報が保存されます。

「ICアプリ」とは

■ボーダフォンライブ! FeliCaを利用するためのVアプリです。
- 905SHには、あらかじめ電子マネー用ICアプリ「Edy」が登録されています。
  ▪「Edy(エディ)」は、ビットワレット株式会社が管理するプリペイド型電子マネーサービスのブランドです。

注意▶ ICカード内には、サービスの内容やご利用状況に応じて各種データが保存されます。ICカード内のデータの消去方法は、ICアプリによって異なります。
詳細については、ボーダフォンライブ! FeliCa対応サービス提供者にお問い合わせください。

ボーダフォンライブ! FeliCa利用の流れ

ICアプリのダウンロード

ウェブの情報画面から、ICアプリをダウンロードします。
- ICアプリは、ICアプリフォルダに保存されます。

サービスの加入登録/各種設定

ICアプリを起動して、利用するボーダフォンライブ! FeliCa対応サービス(以下「サービス」と記載)の加入登録や各種設定を行います。
- ICアプリを利用して、電子マネーの入金(チャージ)をしたり、支払確認/残高照会などを行うこともできます。

サービスの利用

店舗などに設置されたリーダー/ライターに、905SHの マークが付近をかざして、サービスを利用します。
- 電子マネーを使って買い物の支払をしたり、ポイントカードや交通チケットなどに利用できます。

注意▶
- ICアプリのお申し込みやご利用方法は、ICアプリによって異なります。詳細については、ボーダフォンライブ! FeliCa対応サービス提供者にお問い合わせください。
- 故障または修理の際にICカード内のデータや設定した内容が消失/変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 各サービスの暗証番号やお問い合わせ先などはメモをとるなどして、お忘れにならないようご注意ください。

ICアプリを起動する

ボーダフォンライブ! FeliCa を利用するには、あらかじめ利用するサービスに対応したICアプリを起動して、サービスの加入登録／各種設定、入金（チャージ）／残高照会などを行う必要があります。

メニュー ▶ ICアプリ

1 「ICアプリ」を選び、■を押す。

■ ICアプリのダウンロード：「**ICアプリダウンロード**」選択 ➡ ■

2 起動するICアプリを選び、■を押す。

ICアプリが起動します。

■ ICアプリの終了：

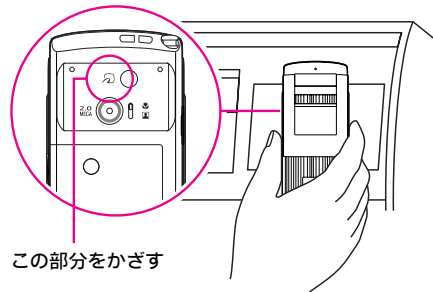
注意▶ 通話中やVアプリ起動中は、ICアプリを起動できません。

補足▶ ICアプリは、他のVアプリと同様、各種設定や管理を行うことができます。(☞P.17-6～P.17-9)
ただし、Vアプリ待受に設定することはできません。

ボーダフォンライブ! FeliCa の利用

ここでは、電子マネーの利用方法を例に、ICカード内のデータをリーダー／ライターで読み取る方法を説明します。

- あらかじめ、サービスの登録／設定、入金（チャージ）を行っておいてください。
- ICアプリを起動する必要はありません。

1 マーク付近を、リーダー／ライターにかざす。

- 読み取りが完了したことを、リーダー／ライターのディスプレイなどで確認してください。
- 認識されにくいときは、905SHを前後左右にずらしてみてください。

注意▶
- 905SHは、リーダー／ライターに対して平行にかざしてください。
- マークのある面に金属などがあると、読み取れないことがあります。

補足▶

- リーダー／ライターにかざしたとき、サービスによってはメッセージが表示されたり、バイブレータが動作することがあります。また、自動的にVアプリ／メール／ウェブが起動することもあります。動作／起動しないように設定することもできます。（☞P.19-7）
- 通話中やボーダフォンライブ！接続中でも、読み取れます。（ただし、読み取りに時間がかかることがあります。）

電源を切っているとき

■ボーダフォンライブ！FeliCa を利用できます。ただし、ICアプリは起動しません。

- 電池パックを取り外し、取り付け直したときは、必ずいったん電源を入れてください。電池パックを取り付けただけの状態（電源を切った状態）では、ボーダフォンライブ！FeliCa は利用できません。

電池残量が不足しているとき

■ボーダフォンライブ！FeliCa は利用できません。充電したあとで、利用してください。

ボーダフォンライブ! FeliCa の設定

ICカードの情報を確認する

メニュー ▶ ICアプリ ➡ ICカード設定

1 「ICカードステータス」を選び、■を押す。

■ ICカードロック時：✉（Yes）➡操作用暗証番号（４ケタ）入力➡■

■ 確認の終了：■

ボーダフォンライブ! FeliCa を利用禁止にする（ICカードロック）

905SHの操作で、ボーダフォンライブ! FeliCa を利用禁止にします。

- 遠隔地から、メールを送信したり、他の電話機から電話をかけて使用禁止にすることもできます。（☞P.19-5）
- お買い上げ時には、「Off」に設定されています。

メニュー ▶ ICアプリ ➡ ICカード設定 ➡ ICカードロック

1 操作用暗証番号（４ケタ）を入力し、■を押す。

2 「On」を選び、■を押す。

■ ICカードロック解除：「Off」選択➡■（操作完了）

3 ✉（Yes）を押す。

遠隔地から ボーダフォンライブ! FeliCa を利用禁止にする(リモートロック)

あらかじめ指定した件名のメールを送ったり(メールリモートロック)、他の電話機から電話をかける(電話リモートロック)ことで、遠隔地にある905SHのICカードロックを設定し、ボーダフォンライブ! FeliCa を利用禁止にすることができます。

リモートロックの準備をする(905SHでの操作)

■メールを送りICカードロックを設定するとき

リモートロック用のパスワードと、ICカードロック通知用メールアドレスを登録します。

メニュー ▶ ICアプリ ➡ ICカード設定 ➡ リモートロック

1 **操作用暗証番号(4ケタ)を入力し、■を押す。**

2 **「メールリモートロック」を選び、■を押す。**

3 **「リモートロックパスワード」を選び、■を押す。**

4 **リモートロック用のパスワードを入力し、■を押す。**

- 任意の5～16文字の半角英数字を入力してください。

5 **「ロック通知アドレス」を選び、■を押す。**

6 **「電話帳」、「電話番号入力」、「メールアドレス入力」のいずれかを選び、■を押す。**

7 **ICカードロック通知用のメールアドレスまたはボーダフォン携帯電話番号を選択/入力し、■を押す。**

- メールリモートロックを利用可能にするときは、このあとP.19-6「リモートロックを設定する」操作3以降を行い、メールリモートロックを「On」にしてください。

8 **登録だけを行うときは、◎(保存)を押す。**

■他の電話機から電話をかけてICカードロックを設定するとき

リモートロック操作を行う電話機の電話番号と、905SHのICカードロックを設定するための着信回数を登録します。

- 公衆電話からのリモートロック操作を許可するかどうかも、設定できます。
- リモートロック操作を行う電話機の電話番号は、2件まで登録できます。

メニュー ▶ ICアプリ ➡ ICカード設定 ➡ リモートロック

1 **操作用暗証番号(4ケタ)を入力し、■を押す。**

2 **「電話リモートロック」を選び、■を押す。**

3 **「ロック用電話番号1」を選び、■を押す。**

■ 公衆電話からのリモートロック操作を設定:「**公衆電話設定**」選択➡■➡「On」(許可する)/「Off」(許可しない)選択➡■

4 **「電話帳」または「電話番号入力」を選び、■を押す。**

5 **リモートロック用として登録する電話機の電話番号を選択/入力し、■を押す。**

■ 2件目の電話番号を登録:「**ロック用電話番号2**」選択➡■➡操作4～5をくり返す

6 **「着信回数」を選び、■を押す。**

- お買い上げ時には、「3回」に設定されています。

7 **ICカードロックが設定されるまでの着信回数(03～10回)を入力し、■を押す。**

- 電話リモートロックを利用可能にするときは、このあとP.19-6「リモートロックを設定する」操作3以降を行い、電話リモートロックを「On」にしてください。

8 **登録だけを行うときは、◎(保存)を押す。**

リモートロックを設定する（905SHでの操作）

メールリモートロック／電話リモートロックを利用可能にします。
●お買い上げ時には、どちらも「Off」に設定されています。

メニュー ▶ ICアプリ ➡ ICカード設定 ➡ リモートロック

1 操作用暗証番号（４ケタ）を入力し、■を押す。

2「メールリモートロック」または「電話リモートロック」を選び、■を押す。

3「On／Off設定」を選び、■を押す。

4「On」を選び、■を押す。

■ リモートロックの解除：「Off」選択➡■
■ 登録したメールアドレスや電話番号は消去されません。再度「On」にすると、同じ内容でリモートロックが利用できます。

5 ○（保存）を押す。

リモートロックを利用してICカードロックを設定する（遠隔地での操作）

■メールを送りICカードロックを設定する

1 リモートロックパスワード（☞P.19-5）を入力したメールを、905SHに送信する。

●件名には、あらかじめ登録したリモートロックパスワードを入力し、その他の項目は何も入力しないでください。
●ICカードロック設定を確認するために、ロック通知アドレス（☞P.19-5）を持った電話機やパソコンなどから、操作することをおすすめします。

905SHがメールを受信すると

■905SHのICカードロックが設定されます。また、905SHからICカードロックを設定した旨の通知メールが、ロック通知アドレスに送られてきます。

注意▶ 905SHがメール受信できないときは、メールを送っても、ICカードロックは設定できません。

■他の電話機から電話をかけてICカードロックを設定する

1 ロック用電話番号に設定している電話機から、番号を通知して905SHに電話をかける。

2 電話を切る。

905SHに不在着信として記憶されます。
●このあと、３分以内に、あらかじめ設定した着信（不在着信）回数になるまで操作１～２をくり返します。
●公衆電話からの操作を許可しているときは、公衆電話からでも操作できます。
●ロック用電話番号に設定している電話機から番号を通知して電話をかけたとき、または公衆電話からかけたときだけ、ICカードロックを設定できます。

指定した着信回数目（お買い上げ時は３回目）の電話をかけると

■905SHが自動的に着信し、ICカードロックが設定されます。また、ICカードロックを設定した旨のアナウンスが流れます。

注意▶ ●あらかじめ設定した着信回数になる前に他の電話機から着信があったときは、それまでの回数はクリアされます。１回目からやり直してください。
●転送電話サービスを開始しているときは、着信回数としてカウントされないことがあります。

データ読み取り利用時の動作を設定する

905SHをリーダー／ライターにかざしたとき、取得したデータからの指示に従って動作（メッセージ表示、バイブ動作、Vアプリ／メール／ウェブの起動）させるかどうかを設定します。

- お買い上げ時には、すべて「On」に設定されています。

メニュー ▶ ICアプリ ➡ ICカード設定 ➡ 外部起動設定

1 **操作用暗証番号（4ケタ）を入力し、■を押す。**

2 **「Vアプリ」～「ポップアップ」のいずれかを選び、■を押す。**

3 **「On」または「Off」を選び、■を押す。**

ボーダフォンライブ! FeliCa の設定を初期化する

ボーダフォンライブ! FeliCa の設定（ICカードロック、リモートロック、外部起動設定）を、お買い上げ時の状態に戻します。

メニュー ▶ ICアプリ ➡ ICカード設定 ➡ 設定リセット

1 **操作用暗証番号（4ケタ）を入力し、■を押す。**

2 **✉（Yes）を押す。**

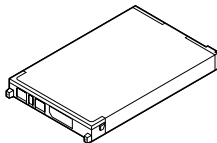
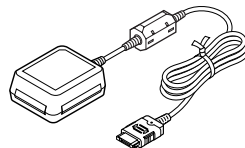
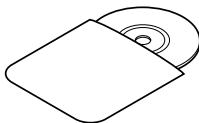
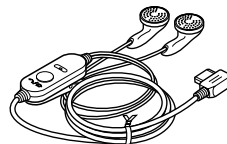
注意▶
- 上記の設定リセットを行っても、ICアプリは削除されません。
- オールリセット（☞P.11-22）／Vアプリオールリセット（☞P.17-10）を行うと、お客様がダウンロードされたICアプリは削除されますので、あらかじめご了承ください。ただし、ICカード内にデータがあるときは、オールリセット／Vアプリオールリセットは行えません。

Abridged English Manual

For more information about handset operations and functions, please go to the Vodafone K.K. Website (www.vodafone.jp) for the full manual* or dial 157 from a Vodafone handset for Customer Service.

* Please note that the full manual may not be available in English at time of purchase. In this case, call Customer Service or check Vodafone Website again at a later date.

Accessories

■ **Lithium-ion Battery (Type 1) (SHBAK1)**

■ **AC Charger (SHCAK1)**

■ **Utility Software (CD-ROM)*★**

■ **Headphones (with Built-in TV Antenna) (SHLV01)**

* Upgrades or updates of included Utility Software may become available on the Vodafone Website (http://www.vodafone.jp) without prior notification. Please check for the newest versions of utility applications and download as required.

★Complimentary sample not available for purchase

Note ▶ Supplied Utility Software is designed exclusively for 905SH/705SH.

Tip ▶
- For accessory-related information, please contact Vodafone Customer Centre, General Information (see P.20-51).
- 905SH is compatible with miniSD™ Memory Card; miniSD™ Memory Card is not included in this package. Purchase miniSD™ Memory Card to use Memory Card-related handset functions.
- In this manual, miniSD™ Memory Card is referred to as "Memory Card".

Safety Precautions

- Read safety precautions before using handset.
- Observe precautions to avoid injury to self or others, or damage to property.
- Vodafone is not liable for any damages resulting from use of this product.

Before Using Handset

Symbols

Make sure you thoroughly understand these symbols before reading on. Symbols and their meanings are described below:

Symbol	Meaning
⚠DANGER	Great risk of death or serious injury from improper use
⚠WARNING	Risk of death or serious injury from improper use
⚠CAUTION	Risk of injury or damage to property from improper use

Symbols	Meaning
(prohibition symbols)	Prohibited Actions
(compulsory symbols)	Compulsory Actions
⚠	Attention Required

⚠DANGER

Handset, Battery & Charger

Use specified battery, Charger and Desktop Holder.

Using non-specified equipment may cause malfunctions, electric shock or fire due to battery leakage, overheating or bursting.

Do not short-circuit Charger terminals.

Keep metal objects away from Charger terminals. Keep handset away from jewellery. Battery may leak, overheat, burst or ignite causing injury. Use a case to carry handset.

Battery

Prevent injury from battery leakage, breakage or fire. Do not:

- Heat or dispose of battery in fire
- Open/modify/disassemble battery
- Damage or solder battery
- Use a damaged or deformed battery
- Use non-specified charger
- Force battery into handset
- Charge battery near fire or sources of heat; or expose it to extreme heat
- Use battery for other equipment

If battery fluid contacts eyes, do not rub them. Rinse with clean water and consult a doctor immediately.

Eyes may be severely damaged.

⚠WARNING

Handset, Battery & Charger

Do not insert foreign objects into the handset, Charger or Desktop Holder.
Do not insert metal or flammable objects into handset, Charger or Desktop Holder; may cause fire or electric shock. Keep out of children's reach.

Keep handset out of rain or extreme humidity.
Fire or electric shock may result.

Keep handset away from liquid-filled containers.
Keep the handset, Charger and Desktop Holder away from chemicals or liquids; fire or electric shock may result.

Keep battery, handset, Charger or Desktop Holder away from microwave ovens.
Battery, handset, Charger or Desktop Holder may leak, burst, overheat or ignite, leading to accidents or injury.

Do not disassemble or modify handset or related hardware.

- Do not open handset, Charger or Desktop Holder; may cause electric shock or injury. Contact Vodafone Customer Centre, Customer Assistance for repairs.
- Do not modify handset, Charger or Desktop Holder; fire or electric shock may result.

Do not use Mobile Light near people's faces.
Eyesight may be temporarily affected leading to accidents.

CAUTION:
Use of controls, adjustments or performance of procedure other than those specified herein may result in hazardous radiation exposure. As the emission level from Mobile Light LED used in this product is harmful to the eyes, do not attempt to disassemble the cabinet. Servicing is limited to qualified servicing station only.

If water or foreign matter is inside handset:
Discontinue handset use to prevent fire/electric shock. Turn off handset, remove battery and unplug Charger, then contact Vodafone Customer Centre, Customer Assistance.

Avoid sources of fire.
Prevent fire or explosion. Do not use handset in the presence of gas or fine particles (coal, dust, metal, etc.).

Do not subject handset to strong shocks or impacts.
Strong shocks or impacts to handset, Charger or Desktop Holder may cause malfunction or injury. Should handset be damaged, remove battery then contact Vodafone Customer Centre, Customer Assistance. Discontinue handset use; fire or electric shock may occur.

If an abnormality occurs:
If a handset emits an unusual sound, smoke or odour, discontinue use; may cause fire or electric shock. Turn off handset, remove battery and unplug Charger; contact Vodafone Customer Centre, Customer Assistance.

Handset

Take measures to prevent accidents.

- For safety, never use handset while driving. Pull over beforehand. Mobile phone use while driving is prohibited by the revised Road Traffic Law (effective 1 November 2004).
- Do not use headphones while driving or riding a bicycle. Accidents may result.
- Moderate volume outside, especially at level/road crossings to avoid accidents.

Do not swing handset by Headphones or handstrap.

May result in injury or breakage.

Turn handset power off before boarding aircraft.

Using wireless devices aboard aircraft may cause electronic malfunctions or endanger aircraft operation.

Adjusting vibration and Ringtone settings:

Users with a heart condition/pacemaker/defibrillator should adjust handset settings accordingly.

During thunderstorms, turn power off; find cover.

There is a risk of lightning strike or electric shock.

Charger

Use only the specified voltage.

Non-specified voltages may cause fire or electric shock.

- **AC Charger: AC 100V-240V Input**
- **In-Car Charger: DC 12V-24V Input**

Do not use In-Car Charger if vehicle has a positive earth.

Fire may result. Use In-Car Charger only inside vehicles with a negative earth.

Charger care

- Do not touch blades with wet hands. Electric shock may occur.
- Do not use multiple cords in one outlet; may cause excess heat/fire.
- Do not bend, twist, pull or set objects on cord. Exposed wire may cause fire or electric shock.

Do not short-circuit Charger terminals.

May cause overheating, fire or electric shock. Keep metal away from terminals.

Do not use Desktop Holder inside vehicles.
Extreme temperature or vibration may cause fire or damage handset, etc.

Take measures to prevent accidents.
Secure In-Car Charger to avoid injury or accidents.

Damaged AC Charger/In-Car Charger cord:
May cause fire or electric shock; contact Vodafone Customer Centre, Customer Assistance to replace.

During thunderstorms:
Unplug Charger to avoid damage, fire or electric shock.

Charger/Desktop Holder use and children:
May cause electric shock/injury; keep out of reach.

Battery

- If battery does not charge properly, stop charging. Battery may overheat, burst or ignite.
- If there is leakage or abnormal odour, avoid fire sources. It may catch fire or burst.

If there is abnormal odour, excessive heat, discolouration or distortion, remove battery from handset. It may leak, overheat or explode.

Handset Use & Electronic Medical Equipment

This section is based on "Guidelines on the Use of Radio Communications Equipment such as Cellular Telephones and Safeguards for Electronic Medical Equipment" (Electromagnetic Compatibility Conference, April 1997) and "Report of Investigation of the Effects of Radio Waves on Medical Equipment, etc." (Association of Radio Industries and Businesses, March 2001).

Persons with implanted pacemaker/defibrillator should keep handset more than 22 cm away.
Radio waves can interfere with implanted pacemakers or defibrillators causing such devices to malfunction.

Turn handset off in crowds or trains where persons with implanted pacemaker/defibrillator may be near.
Radio waves can interfere with implanted pacemakers or defibrillators causing such devices to malfunction.

Observe these rules inside medical facilities:

- Do not enter an operating room or an Intensive or Coronary Care Unit while carrying a mobile handset.
- Keep handset off in hospitals.
- Keep handset off in hospital lobbies. Electronic equipment may be near.
- Obey rules regarding mobile phone use in medical facilities.

Consult manufacturer for radio wave effects on electronic medical equipment.

CAUTION

Handset, Battery & Charger

Handset care

- Place handset on stable surfaces to avoid malfunction or injury.
- Keep handset away from oily smoke or steam. Fire or accidents may result.
- Cold air from air conditioners may condense, resulting in leakage or burnout.
- Keep handset away from direct sunlight (inside vehicles, etc.) or heat sources. Distortion, discolouration or fire may occur. Battery shape may be affected.
- Keep handset out of extremely cold places to avoid malfunction or accidents.
- Keep handset away from fire sources to avoid malfunction or accidents.

Usage environment

- Excessive dust may prevent heat release and cause burnout or fire.
- Avoid using handset on the beach. Sand may cause malfunction or accidents.
- Keep handset away from credit cards, telephone cards, etc. to avoid data loss.

Handset

Handset temperature

Handset may become hot while in use. Avoid prolonged contact with skin especially at high temperature. May cause burn injuries.

Avoid leaving handset in extreme heat (inside vehicles, etc.).

Handset may become hot to the touch, leading to burn injuries.

Volume settings

Moderate handset volume; excessive volume may damage ears or hearing.

Headphones (with Built-in TV Antenna)

- Do not force plugs or pull on cord; may damage plugs or cord.
- Keep plugs clean to avoid noise and malfunction.

Inside vehicles

Handset use may cause electronic equipment to malfunction.

If you experience any skin irritation associated with handset use, discontinue handset use and consult a doctor.

Some materials may cause skin irritation, rashes, or itchiness depending on your physical condition.

Charger

Charger & In-Car Charger

- Grasp plug (not cord) to disconnect Charger. May cause fire/electric shock.
- Keep cord away from heaters. Exposed wire may cause fire or electric shock.

- Stop use if plug is hot or improperly connected. May cause fire/electric shock.
- Keep In-Car Charger socket clean. May overheat and cause injury.

Do not touch Desktop Holder while in use.
May cause burn injuries.

Use only the specified fuse.
1 A fuse for In-Car Charger. Or may cause damage/fire.

Always charge handset in a well-ventilated area.
Avoid covering/wrapping Charger and Desktop Holder. May cause damage/fire.

Do not use In-Car Charger when engine is off.
To avoid weakening the car battery, always start engine before charging the handset using In-Car Charger.

During periods of disuse
Always unplug AC Charger or In-Car Charger after use.

Handset maintenance
Always disconnect AC Charger or In-Car Charger when cleaning handset, to prevent shock/injury.

Installing In-Car Charger
Properly position the cable for safe driving to avoid injury or accidents.

Battery

Do not throw or abuse battery. Battery may overheat, burst or ignite.

Do not leave battery in direct sunlight or inside a closed vehicle; may reduce battery performance or overheat. An overheated battery may cause fire.

Do not expose battery to liquids. Performance may deteriorate.

If battery fluid contacts skin or clothes, rinse with clean water immediately.

Do not dispose of an exhausted battery with ordinary refuse; always tape over battery terminals before disposal. Take exhausted battery to a Vodafone shop, or follow the local disposal regulations.

Keep battery out of children's reach.

- Charge battery in ambient temperatures between 5℃ and 35℃; outside this range, battery may leak/overheat and performance may deteriorate.
- If your child is using handset, explain all instructions and supervise usage.
- If there is abnormal odour or excessive heat, stop using battery and call Vodafone Customer Centre, Customer Assistance.
- Charge battery at least once every six months; an uncharged battery may become unusable.

General Notes

General Use

- Vodafone is not liable for any damages resulting from accidental loss/alteration of handset or Memory Card data. Keep a copy of Phone Book entries, etc. in a separate place.
- Handset transmissions may be disrupted inside buildings, tunnels or underground, or when moving into/out of such places.
- Use handset without disturbing others.
- Handsets are radios as stipulated by the Radio Law. Under the Radio Law, handsets must be submitted for inspection upon request.
- Handset use near landlines, TVs or radios may cause interference.
- **Beware of eavesdropping.**
  Because this service is completely digital, the possibility of signal interception is greatly reduced. However, some transmissions may be overheard.
  Eavesdropping
  Deliberate/accidental interception of communications constitutes eavesdropping.

Inside Vehicles

- Never use handset while driving.
- Do not park illegally to use handset.
- Handset use may affect a vehicle's electronic equipment.

Aboard Aircraft

Never use handset aboard aircraft (keep power off). Handset use may impair aircraft operation.

Handset Care

- If handset is left with no battery or an exhausted one, data may be altered/lost. Vodafone is not liable for any resulting damages.
- Use handset within temperatures of 5℃ to 35℃ and humidity 35% to 85%. Avoid extreme temperatures/direct sunlight.
- Exposing lens to direct sunlight may damage colour filter and affect image colour.
- Do not drop or subject handset to shocks.
- Clean handset with dry, soft cloth. Using alcohol, thinner, etc. may damage it.
- Do not expose handset to rain, snow or high humidity.
- Never disassemble or modify handset.
- Avoid scratching handset Display.
- When closing handset, keep straps, etc. outside to avoid damaging the Display.
- When using headphones, moderate volume to avoid sound bleed.
- Handset is not water-proof. Avoid exposure to liquids and high humidity.
  - Keep handset away from precipitation.
  - Cold air from air conditioning, etc. may condense causing corrosion.
  - Avoid dropping handset in damp places (toilet, bathroom, etc.).
  - On the beach, keep handset away from water and direct sunlight.
  - Perspiration may seep inside handset causing malfunction.
- Avoid heavy objects or excessive pressure. May cause malfunction or injury.
  - Do not sit down with handset in a back pocket.
  - Do not place heavy objects on handset in a bag.
- Connect only the specified products to Headphone Connector. Non-specified devices may malfunction or cause damage.
- Always turn off handset before removing battery. If battery is removed while saving data or sending mail, data may be lost, changed or destroyed.

Copyrights

Copyright laws protect sounds, images, computer programmes, databases, other materials and copyright holders. Duplicated material is limited to private use only. Use of materials beyond this limit or without permission of copyright holders may constitute copyright infringement, and be subject to criminal punishment. Comply with copyright laws when using images captured with handset camera.

Minding Mobile Manners

Please use your handset responsibly. Use these basic tips as a guide. Inappropriate handset use can be both dangerous and bothersome. Please take care not to disturb others when using your handset. Adjust handset use according to your surroundings.

- Turn it off in theatres, museums and other places where silence is the norm.
- Refrain from using it in restaurants, hotel lobbies, lifts, etc.
- Observe signs and instructions regarding handset use aboard trains, etc.
- Refrain from use that interrupts the flow of pedestrian or vehicle traffic.

Manner-Related Features

Take advantage of built-in features to help you use your handset in public places without disturbing or endangering others.

■ Manner Mode

Press Manner Key to automatically mute all Ringtones and activate Vibration mode for incoming calls, mail, etc.

■ Vibration Mode

Activate Vibration mode to use handset vibration to alert you to incoming calls, mail, etc. in public places.

■ Volume Settings

Decrease or mute Ringtone volume for incoming calls, mail, etc. as well as tones for Web or V-applications when carrying handset in public places.

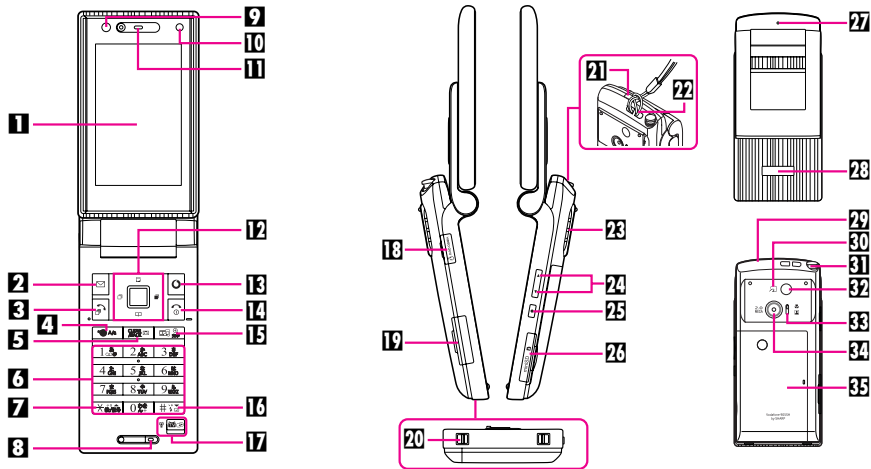
■ Offline Mode

Use Offline Mode to temporarily suspend all handset transmissions. In Offline Mode, incoming/outgoing calls and Vodafone live! transmissions are blocked.

■ Answer Phone

Use Answer Phone to handle incoming calls when it is inappropriate or unsafe to answer.

Handset Parts & Functions

Handset

1 Display

2 Mail Key

Open Messaging menu or execute Soft Key functions.

3 Start Key

Initiate/answer calls. Open records of all calls.

4 Shortcuts & A/a Key

In Standby, open Shortcuts menu. In text entry windows, toggle upper/lower case roman letters or standard/small hiragana/katakana.

5 Clear/Back Key

Delete entries, escape/return to previous window.

6 Keypad

7 ✱ Key

In text entry windows, open Symbol/Pictograph Lists.

8 Microphone

9 Internal Camera

Use during Video Call.

10 Light Sensor
Detects ambient light level to adjust Display Brightness automatically. Do not place labels or stickers.
11 Earpiece
12 Multi Selector & Keypad Lock Key
Select menu items, move cursor, scroll, etc. In Standby, press for 1+ seconds to toggle Keypad Lock.
13 Vodafone Web Key
Open Vodafone Web menu or execute Soft Key functions.
14 Power On/Off Key
Press and hold to turn handset power on/off.
15 Multimedia/Text Key
Start Media Player or toggle between character entry modes. In Standby, press for 1+ seconds to activate/cancel Large Font Mode.
16 # Key
In text entry windows, enter comma, full stop, line break, space, etc.
17 TV/Multi Job/Manner Key
Activate TV in Standby or toggle multiple active function windows. Press for 1+ seconds to activate/cancel Manner mode.
18 Video Out/Headphone/Optical Digital Line In Connector
Connect Headphones, Video Cable, etc.
19 External Device Connector
Connect Charger here.
20 Charger Terminal
21 Infrared Port
Use for infrared data transmissions.
22 Strap Eyelet
Attach straps as shown.
23 Speaker
24 Volume/Zoom Key
Adjust volume while watching TV or zoom in/out while mobile camera is active.
25 Record/Shutter Key
Start/stop TV recording or capture images with mobile camera. In Standby, press for 1+ seconds to activate mobile camera (905SH open) or Pen Light (905SH closed).
26 Memory Card Slot
Insert Memory Card here.
27 Small Light
28 External Display
29 Internal Antenna Location
30 Logo
Vodafone live! FeliCa contactless IC Card embedded (see P.20-39).
31 Antenna
Extend for TV/FM radio reception.
32 Mobile Light
Flashes for calls/new mail; use as strobe/Pen Light.
33 Portrait ( )/Macro ( ) Selector
34 External Camera (lens cover)
35 Battery Cover

Note
- Antenna is for TV and FM reception and does not affect voice quality.

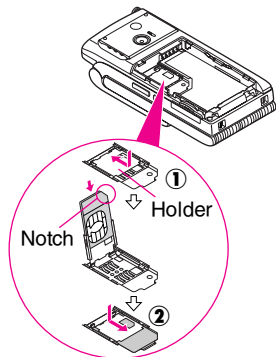
Internal Antenna
- Do not cover or place stickers, etc. over the area containing Internal Antenna.
- Voice quality varies with handset usage/location.
- For better reception in Standby, close handset.
- Avoid attaching metallic straps. Antenna sensitivity will be affected.

USIM Card

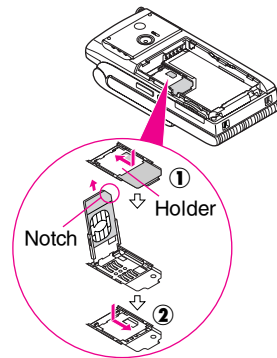
Universal Subscriber Identity Module (USIM) Card is an IC card containing customer and authentication information, including the handset number, and limited storage for Phone Book entries and SMS messages. USIM Card must be inserted to use this handset. Turn 905SH off before inserting/removing USIM Card.

- Do not force USIM Card into or out of handset; damage may result.
- Avoid touching USIM Card IC chip or terminals; doing so may hinder performance.

Inserting

1. Press down and slide the holder as shown in ①, then lift it
2. Slide USIM Card into the holder (with IC chip facing upward) until it stops
3. Set down and slide the holder back in as shown in ②
4. Insert battery

Removing

- Take care not to lose removed USIM Card.

1. Press down and slide the holder as shown in ①, then lift it
2. Slide out USIM Card
3. Set down and slide the holder back in as shown in ②
4. Insert battery

Note ▶
- Some handset files may be inaccessible after handset repair/upgrade or USIM Card replacement.
- If USIM Card/905SH (USIM Card inserted) is lost/stolen contact Customer Service immediately to prevent misuse.

Battery & Charger

Charge battery before first use/after period of disuse.

Battery Life

- Do not use/store battery at extreme temperatures; this may shorten battery life. Ideally, use/store between 5°C - 35°C.
- Use specified Charger only; others may damage handset/battery or overheat or ignite battery.
- Replace battery if operating time shortens noticeably.

Charging

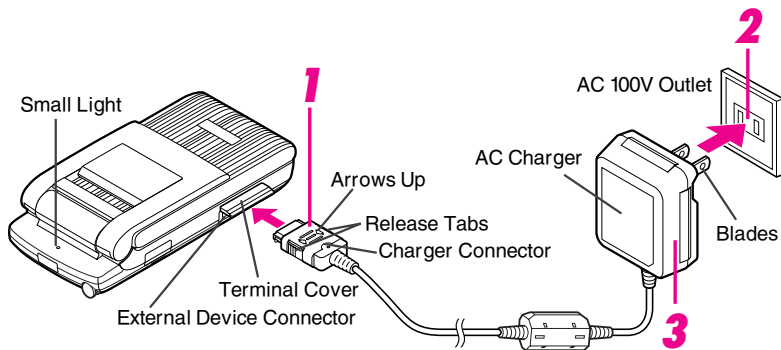
- Do not use Charger for other purposes.
- Contact with metal may short, overheat or burst battery.
- Small Light illuminates red while charging. (It may take longer for the light to illuminate when handset is off.)
- 905SH and Charger may warm during charging.
- Separate Charger from TV/radio if interference occurs.

Precautions

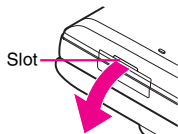
- Clean device charging terminals with a dry cotton swab.
- Avoid:
  - Extreme temperatures
  - Humidity, dust and vibration
  - Direct sunlight
- Charge battery at least once every six months; an uncharged battery may become unusable.
- Use a case when carrying battery separately.

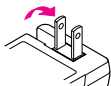
Battery Disposal

Do not dispose of an exhausted battery with ordinary refuse; always tape over battery terminals before disposal. Take exhausted battery to a Vodafone shop, or follow the local disposal regulations.

Charging (Use Specified Charger Only)

1 Open Terminal Cover to connect Charger

- Insert connector until it clicks.
- Use slot to gently pull Terminal Cover down and out as shown.

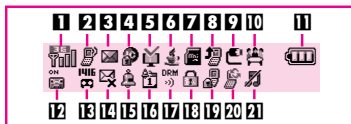
Slot

2 Plug Charger into AC outlet

- Charging starts and Small Light illuminates red. (Charging takes approximately 140 minutes.)
- Charging is complete when Small Light goes out.
- Extend Charger blades. (Fold back when not in use.)

3 Unplug Charger from AC outlet, then 905SH

- Squeeze release tabs to remove connector.
- Replace Terminal Cover to protect External Device Connector.

Note ▶
- Do not pull, bend or twist AC Charger cord.
- AC Charger is compatible with household currents between AC 100V and 240V.

Display Indicators

The following indicators appear at the top of Display.

1 Signal Strength
:Within Range
(: Strong, : Moderate, : Low, : Weak)
out: Out-of-Range

2 : Incoming Voice Call, : Voice Call in Progress
: Video Call in Progress, : Offline Mode
: Packet Transmission Ready
: Packet Transmission in Progress, : SSL

3 Mail
: Unread Mail, : Unread Delivery Report
(red): Memory Low
: Receiving Mail, : Sending Mail

4 IC Card Lock Active

5 TV Timer/TV Recording Timer Set

6 : Active V-application, (grey): Paused V-application
: Music Player Active, : TV Recording in Progress
: FM Radio Active

7 Memory Card Status
: Inserted, : In Use, : Formatting, : Unusable
: Auto Delivery Info, : CAST Info
: Software Update, : Software Update Result

8 : Call Forwarding or Voice Mail Active
Appears when ***Always*** (forwarding condition) is set for Voice Calls.
: Multiple Functions (Multi Job) Active

9 External Transmission
: USB Transmission Ready
: USB Transmission in Progress
: Infrared Connection in Progress
: Infrared Transmission in Progress
: Bluetooth® Transmission Ready
Appears in grey when Visibility is set to ***Hide My Phone***.
: Bluetooth® Transmission in Progress
: Bluetooth® Talk in Progress

10 Mode
: Meeting, : Activity, : Car, : Headset, : Manner
: Loudspeaker Active, : Microphone Muted
: Loudspeaker Active & Microphone Muted

11 Battery Strength
: Strong, : Moderate, : Low, : Empty
Indicator may appear vertically (e.g.).

12 : Answer Phone Active
: Answer Phone Active & Message Recorded
: Answer Phone Cancelled & Message Recorded

13 New Voice Mail

14 Message Delivery Failure

15 Alarm Set

16 : Schedule (Reminder Set)
: Schedule (Reminder Unset)

17 Copyright Information
: Content Key Received
When Content Key memory is low, (below 10 %) or (below 5 %) appears.

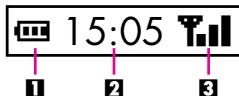
18 Secret Mode Active

19 : Function Lock Active, : Keypad Lock Active

20 (grey): Infrared Transmission Ready

21 Ringtone/Vibration
: Silent, : Increasing Volume, : Vibration Active
: Silent & Vibration Active

External Display Indicators

See major External Display indicators below.

1 / : Battery Strength
: IC Card Lock Active
2 Time
3 : Signal Strength

Additional Indicators

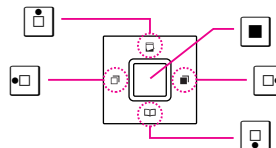
Indicator and number of calls/messages, etc. appear for missed calls, new mail/information, etc.

Missed Calls		Alarm	
Answer Phone Message		Schedule Reminder	
New Messages		Task Reminder	
New Delivery Report		Auto Delivery Info	
Message Delivery Failure		Bluetooth® Notification	
CAST Info		CAST Info Reception Failure	
Content Key		TV Recording Timer Time	
TV Timer Time			

Up to two indicators appear at the same time. Press ◄ or ► to view more.

Symbols

Multi Selector

Use Multi Selector to select menu items, move cursor, scroll, etc. In this manual, Multi Selector operations are indicated as follows:

Basic Multi Selector Operations

- : Press or
- : Press or
- : Press , , or

Menu Items

Use or to select menu items. (Example: Select ***Text*** and press ■.)

USIM PINs

PIN1 & PIN2

PIN1	Prevent unauthorised use of Vodafone handset
PIN2	Required to clear Call Costs and to set Max Cost

- PIN1 and PIN2 are ***9999*** by default; change as needed.
- Activate PIN Entry to require PIN1 (4-8 digits) entry each time handset (USIM Card inserted) is turned on.

PIN Lock & Cancellation (PUK Code*)

PIN1 Lock or PIN2 Lock is activated if PIN1 or PIN2 is incorrectly entered three times consecutively. PUK Code is required to cancel PIN Lock. For details, contact Vodafone Customer Centre, General Information (see P.20-51).

* USIM Personal Unblocking Key (PUK Code) unblocks a USIM Card blocked after the wrong PIN has been entered three consecutive times. Each USIM Card has a unique PUK Code. Do not disclose it to unauthorised persons.

Note ▶
- If PUK Code is incorrectly entered ten times, USIM Card is locked and handset is disabled. Write down PUK Code.
- For USIM Card unlocking procedures, call Vodafone Customer Centre, General Information (see P.20-51).

Security Codes

Handset Code, Centre Access Code and Network Password are needed for handset use.

Handset Code

9999 or the 4-digit number selected at initial subscription; required to use/change some handset functions. ﾒ appears when Handset Code is entered. If incorrect, ***Handset code is incorrect!*** appears; re-enter code.

Centre Access Code

The 4-digit number in the contract; required to access Voice Mail via landlines or subscribe to fee-based information.

Network Password

The 4-digit number selected at initial subscription, required to restrict handset services. If Network Password is incorrectly entered three times consecutively, Call Barring settings are locked. To resolve, Network Password and Centre Access Code must be changed. For details, contact Vodafone Customer Centre, General Information (see P.20-51).

Note ▶
- Write down Handset Code, Centre Access Code and Network Password. If lost, contact Vodafone Customer Centre, General Information (see P.20-51)
- Do not reveal Handset Code, Centre Access Code and Network Password. Vodafone is not liable for misuse or damages.

Tip ▶
- Handset Code/Network Password are changeable.
- Do not attempt to change Centre Access Code. Contact Vodafone Customer Centre, General Information (see P.20-51) for details.

Basic Handset Operations

Handset Power On/Off

Turning On

1. Open handset
2. Press and hold [power key]

Turning Off

1. Open handset
2. Press [power key] for 2+ seconds

English Display

1. Press ■, select ***設定*** and press ■
2. Select ***Language*** and press ■
3. Select ***English*** and press ■

Your Phone Number

1. Press ■ [0わをん+]
2. Press [power key] to exit

Setting Clock

1. Press ■, select ***Settings*** and press ■
2. Select ***Date & Time*** and press ■
3. Select ***Set Date/Time*** and press ■
4. Enter date and time (24-hour format) and press ■

Initiating a Voice Call

Calling within Japan

1. Enter a phone number
2. Press ☏

Answering a Voice Call

1. When a call arrives, open handset
2. Press ☏

Placing an International Call

Service requires an additional contract, but no basic monthly charges or application fees.

1. Enter a phone number
2. Press ✉ Options
3. Select ***Int'l Call*** and press ■
4. Select a country and press ■
5. Press ☏

Note ▶
- Omit the first 0 of the dialling code except when calling Italy or Russia.
- For details on placing international calls, contact Vodafone Customer Centre, General Information (see P.20-51).

Redial

1 Press □ (□)
2 Select a record and press ■
3 Press □

Calling from Received Calls

1 Press □ (■)
2 Select a record and press ■
3 Press □

Initiating a Video Call

1 Enter a phone number
2 Press □ Options
3 Select *Video Call* and press ■

Answering a Video Call

1 When a call arrives, open handset
2 Press □ to answer with voice and video image
To answer with voice only, press □ Options, select *Hide Picture* and press ■

Total Charges & Call Time

Total Charges

1 Press ■, select ***Call Log*** and press ■
2 Select ***Call Costs*** and press ■
3 Select ***All Calls*** and press ■

Total Call Time

1 Press ■, select ***Call Log*** and press ■
2 Select ***Call Timers*** and press ■
3 Select ***Dialled Calls*** or ***Received Calls*** and press ■

Muting Microphone

Even when handset microphone is muted, other party's voice can be heard through Earpiece.

1 During a call, press □ Mute
2 Press □ Unmute to cancel

Answer Phone & Voice Mail

Activate Answer Phone or transfer incoming calls to Voice Mail Centre to record caller messages.

	Answer Phone	Voice Mail
Message Recorded	Handset	Voice Mail Centre
Setting	Press ■ ➡ Select ***Tools*** ➡ Press ■ ➡ Select ***Answer Phone*** ➡ Press ■ ➡ Select ***Settings*** ➡ Press ■ ➡ Select ***Switch On/Off*** ➡ Press ■ ➡ Choose ***On*** ➡ Press ■	Press ■ ➡ Select ***Settings*** ➡ Press ■ ➡ Select ***Call/Video Call*** ➡ Select ***Call Settings*** ➡ Press ■ ➡ Select ***Voicemail/Diverts*** ➡ Press ■ ➡ Select ***Voicemail*** ➡ Press ■ ➡ Select ***Activate*** ➡ Press ■ ➡ Select ***Always*** or ***No Answer*** ➡ Press ■ ➡ Select ring time (for ***No Answer***) ➡ Press ■
Additional Contract	Not Required	Not Required
Message Indicator	[icon]/[icon]	[icon]
Play	Press ■ ➡ Select ***Tools*** ➡ Press ■ ➡ Select ***Answer Phone*** ➡ Press ■ ➡ Select ***Play Ans. Phone*** ➡ Press ■	Press 1 for 1+ seconds ➡ Follow the voice guidance after handset connects to Voice Mail Centre
Delete	During playback, press ✉ ➡ Press ✉ Yes	After playback, press 7
When Handset is Off	Not Available	Available
When Handset is Out-of-Range	Not Available	Available

Tip ▶ Activating Voice Mail cancels Call Forwarding for Voice Calls.

Forwarding a Call

Transfer incoming calls to a specified phone number.

Activating Call Forwarding

1. Press ▣, select ***Settings*** and press ▣
2. Select ***Call/Video Call***
3. Select ***Call Settings*** and press ▣
4. Select ***Voicemail/Diverts*** and press ▣
5. Select ***Diverts*** and press ▣
6. Select call type and press ▣
7. Select ***Always*** or ***No Answer*** and press ▣
8. Select ***Enter Phone Number*** and press ▣
9. Enter a forwarding number and press ▣
10. Select ring time and press ▣ (for ***No Answer***)

Note ▶ Activating Call Forwarding for Voice Calls cancels Voice Mail.

Manner Mode

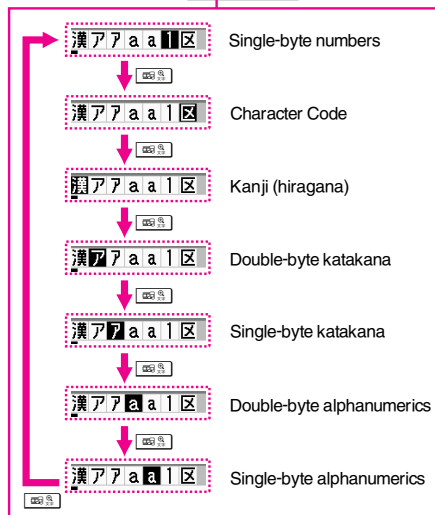
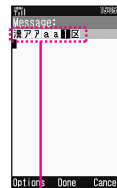
Activate Manner mode for proper handset etiquette.

1. Press [TV] for 1+ seconds
   Default Manner Mode Settings:
   ① Mutes Keypad Tones, Power On/Off sounds and error tones.
   ② Simultaneously silences incoming and general volumes and activates vibration (customisable).

Tip ▶ Cancelling Manner Mode
Press [TV] for 1+ seconds.

Entering Characters

Entry Modes

Press [文字] to toggle between character entry modes.

Key Assignments

Key	Single-byte Alphanumerics		Single-byte Numbers	Character Codes
	Upper/Lower Case	Lower Case		
1	@./_-1 (Space)	@./_-1 (Space)	1	1
2	ABCabc2	abc2	2	2
3	DEFdef3	def3	3	3
4	GHIghi4	ghi4	4	4
5	JKLjkl5	jkl5	5	5
6	MNOmno6	mno6	6	6
7	PQRSpqrs7	pqrs7	7	7
8	TUVtuv8	tuv8	8	8
9	WXYZwxyz9	wxyz9	9	9
0	0	0	0 +[1]	0
*	Log List, Pictograph List, Single-byte Symbol List		* P (Pause) ? -[2] Log List, Single-byte Symbol List, Pictograph List	
#	, . ↵ (Line Break) ? ! (Space)		#	
Up	Cursor Up			
Down	Cursor Down ↵ (Line Break)			
Left	Cursor Left			
Right	Cursor Right			
Mode key	Change Character Entry Mode			
A/a	Toggle Case + Toggle Mode (upper/lower and lower case)			
CLEAR/BACK (Press)	Delete One Character			Delete Code/One Character
CLEAR/BACK (Long Press)	Delete before or after cursor			
Recover key	Recover up to 64 deleted characters[3]			
■	OK			

[1]Press 0 for 1+ seconds to enter + (available for phone number entry).
[2]**P** (Pause), **?** and **-** are for phone number entry.
[3]Press [key] once for each character to recover immediately after deleting. (Not available after deleting text with CLEAR/BACK (Long Press).)

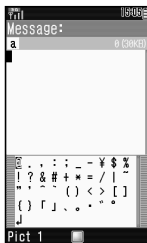
Tip ▶ Entering Consecutive Characters Assigned to the Same Key
Press [→] to advance cursor; enter next character.
Editing Characters
Use [✣] to select a character. Press [CLEAR/BACK] to delete it and then enter another.

Symbols, Pictographs & Emoticons

Symbols & Pictographs

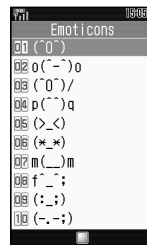
1 In a text entry window, press [＊] to open Symbol List
- Press [✉] to toggle the list as follows: Symbol List → Pictograph Lists → Log List
  Press [o] to return to Symbol List.

2 Use [✣] to select one and press [■]

3 Press a key ([0] - [9]) to exit list and enter the assigned character

Tip ▶
- Single-byte Symbols do not appear in Log List.
- Symbols are double or single-byte according to the entry mode. (Pictographs are all double-byte.)

Emoticons

1 In a text entry window, press [✉] Options

2 Select *Emoticons* and press [■]

3 Select an emoticon and press [■]

Saving to Phone Book

Save names with phone numbers, mail addresses, etc. to Phone Book.

Phone Book Entry Items

Item	Description
Last Name: First Name:	Enter up to 32 characters. (Select ***Name:*** when saving to USIM Card.)
Reading:	Enter up to 64 characters
Add Phone Number:	Enter up to three numbers on handset/two on USIM Card (32 digits each)
Add Email Address:	Enter up to three addresses on handset/one on USIM Card (128 single-byte alphanumerics each)
Category:	Sort entries into 16 Categories (11 Categories on some USIM Cards). Category names can be changed. Set Ringtone by Category (handset only).
Address:*	Enter postal code (20 characters), country name (32 characters), state/province (64 characters), city name (64 characters) and street name/number (64 characters)
Homepage:*	Save URLs. Enter up to 1024 bytes.

Item	Description
Note:*	Add personal details. Enter up to 256 characters.
Birthday:*	Enter birth date
Picture:*	Set an image to appear for incoming calls/mail
Tone/Video for Voice Call:*	Customise handset response to calls/mail
Tone/Video for Video Call:*	
Tone/Video for New Message:*	
Light for Voice Call:*	
Light for Video Call:*	
Light for New Message:*	
Vibration for Incoming Call:*	
Vibration for New Message:*	
Secret:*	Restrict access to Phone Book entries by saving them as Secret Mode entries

* Not supported on USIM Card.

■Save up to 750 entries in 905SH Phone Book; USIM Card Phone Book entry limit varies according to card specifications. Depending on the USIM Card in use, some items may not be supported, and character entry limits or number of Categories may be lower. Also, the number of phone numbers or mail addresses per entry may be lower.

Note ▶ Back-up Important Information
When battery is exhausted/removed for long periods, Phone Book entries may be lost; handset damage may also affect handset information recovery. Vodafone is not liable for damages from lost/altered data.

New Phone Book Entries

Enter a name, reading, phone number and mail address.

1 Press ■, select *Phone Book* and press ■

2 Select *Add New Entry* and press ■

3 Select *Last Name:* and press ■

4 Enter last name and press ■

5 Select *First Name:* and press ■

6 Enter first name and press ■
Characters entered for names appear under *Reading:*.

Tip ▶ Correcting Reading
Select *Reading:* and press ■.
Make corrections and press ■.

7 Select *Add Phone Number:* and press ■

8 Enter a phone number and press ■

9 Select an icon and press ■

10 Select *Add Email Address:* and press ■

11 Enter a mail address and press ■

12 Select an icon and press ■

13 Press ⊙ Save

Note ▶ Enter a name, phone number or mail address to create a Phone Book entry.

Tip ▶ Setting Storage Media
Press ■ ➡ Select *Phone Book* ➡ Press ■ ➡ Select *Settings* ➡ Press ■ ➡ Select *Save New Entry* ➡ Press ■ ➡ Select *Phone*, *USIM Memory* or *Ask Each Time* ➡ Press ■
- For *Ask Each Time*, select storage media for each new entry.

Editing Phone Book Entries

1 Press ⍌ and select an entry

2 Press ✉ Options

3 Select *Edit* and press ■

4 Select an item and press ■

5 Edit contents and press ■
After numbers/mail addresses, select an icon and press ■.

6 Press ⊙ Save

Abridged English Manual

20

Saving from Received Calls

1. Select a record (see P.20-22 "Calling from Received Calls")
2. Press ✉ Options, select *Save Number* and press ■
3. *New Entry*
   1. Select *As New Entry* and press ■
   2. Perform Steps 3 - 13 on P.20-28

   Add to Existing Entry
   1. Select a Phone Book entry and press ■
   2. Press ○ Save

Dialling from Phone Book

Changing Search Method

By Reading	Shows entries that start with specified Reading
By Category	Opens entries in the specified Category
By a-ka-sa-ta-na	Shows entries with Readings that start with katakana in the specified row

1. Press ■, select *Phone Book* and press ■
2. Select *Settings* and press ■
3. Select *Sort Entries* and press ■
4. Select *By Reading*, *By Category* or *By a-ka-sa-ta-na* and press ■

Tip ▶ Opening USIM Card Phone Book Entries
Press ▯ ➡ Press ✉ Options ➡ Select *Settings* ➡ Press ■ ➡ Select *Select Phone Book* ➡ Press ■ ➡ Select *USIM Memory* ➡ Press ■

Search by Reading

1. Set search method to *By Reading*
2. In Standby, press ▯
3. Enter reading
4. Select a name and press ■

   Tip ▶ Multiple Numbers
   Use ↕ to select other numbers.

5. Press ☎

Vodafone Address Book (VAB)

Back up Phone Book via server; refresh VAB or Phone Book to reflect changes; add to/update VAB online via PC; restore lost/altered Phone Book entries via VAB. VAB requires a separate contract. For details, contact Vodafone Customer Centre, General Information (see P.20-51) or access the Vodafone K.K. Website via PC: http://www.vodafone.jp/en/VAB/

Mobile Camera

Before Using Camera

Select from two different shooting modes. Use ***Photo Camera*** for still images and ***Video Camera*** for video.

■Photo Camera

Image Size	(Clamshell Open) W 1224 × H 1632 dots W 960 × H 1280 dots W 768 × H 1024 dots W 480 × H 640 dots W 240 × H 400 dots W 240 × H 320 dots W 120 × H 160 dots
Save Location	Handset* or Memory Card
File Format	JPEG (.jpg)

■Video Camera

Image Size	W 240 × H 176 dots W 176 × H 144 dots W 128 × H 96 dots	W 480 × H 640 dots W 240 × H 320 dots
Save Location	Handset* or Memory Card	Memory Card
File Format	MPEG-4 or H263* (.3gp)	MPEG-4 (.3gp or .ASF)

*Not available for W 240 x H 176 dots.

Camera Shake
Handset movement may blur images; hold 905SH firmly or place it on a stable surface and use Self-timer.

Note ▶ Lens Cover
Clean dust/smudges from lens cover (see P.20-13 34) with a soft cloth before use.

Mobile Camera
- Mobile camera is a precision instrument, however, some pixels may appear brighter/darker.
- Shooting/saving images while handset is hot may affect the image quality.
- Subjecting the lens to direct sunlight will damage the camera's colour filter.

Capturing Still Images

1 Press ■, select ***Camera*** and press ■

2 Frame image on Display
- In Video Camera mode, press ⊙ [→📷] to switch to Photo Camera.

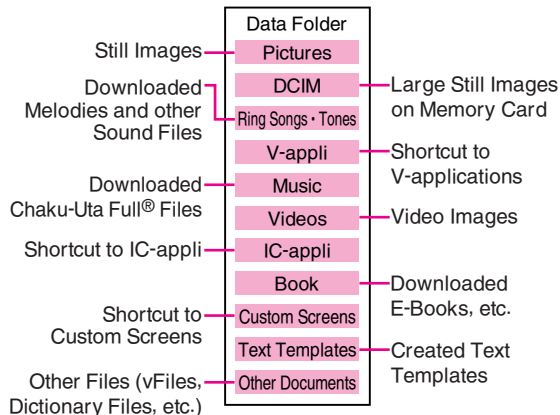
3 Press ■

4 Press ■ to save

5 Press ⌂ to exit

Data Folder

Contents

905SH files are organised in folders by file format.

Opening Data Folder

1. Press ■, select ***Data Folder*** and press ■
2. Select a folder and press ■
   - To switch between handset and Memory Card, press ✉ Options, select ***Change to Phone*** or ***Change to Memory Card***, then press ■.
3. Select a file and press ■
4. Press CLEAR/BACK to return to file list

MMS Mail Attachments

Example: Attaching an image from Pictures folder to MMS Mail

1. Press ■, select ***Data Folder*** and press ■
2. Select ***Pictures*** and press ■
3. Select a file and press ✉ Options
4. Select ***Send*** and press ■
5. Select ***As Message*** and press ■
6. Complete other fields and send MMS Mail (perform from Step 3 on P.20-35)

Vodafone live!

Retrieving Network Information

To use Vodafone live! services, first retrieve Network information. Handset initiates information retrieval when ✉, ◉ or ■ is pressed for the first time. If handset is in Japanese mode, press ◉ No, then change to English mode (see P.20-20).

1. Press ✉, ◉ or ■
2. Press ✉ Yes
   - 905SH connects to the Network and retrieves required information.

Web

Access the Mobile Internet via Vodafone Web. Browse for image or sound files as well as information.

Vodafone Web Main Menu

Access Vodafone live!-compatible Mobile Internet sites via Vodafone Web Main Menu; download news/ info as well as files for use on handset.

Auto Delivery Service

Use this Vodafone live! service (when available) to request automatic information updates from compatible Mobile Internet sites.

Opening Vodafone Web Menu

1. Press ■, select ***Vodafone live!*** and press ■
2. Select ***Vodafone live!*** and press ■
3. Select ***English*** and press ■
4. Highlight a menu item and press ■
5. Repeat Step 4 to open additional links
6. Press ☎ to exit Web
7. Press ✉ Yes

Note ▶ Vodafone Web Main Menu is subject to change.

Web Options Menu

Access a Mobile Internet site and press ✉ Options to use the following functions.

Item	Description
Bookmark	Save links to Mobile Internet sites; access the site (905SH connects to the Network) or edit the list
Save This Page	Save page content; 905SH opens saved pages without connecting to the Network
Change View	Change page size
Copy Text	Copy text
Reload	Update page content
Enter URL	Enter URL directly to open a Mobile Website
Home	Return to Vodafone Web Main Menu
Handle File(s)	Save images, sounds, etc. to Data Folder
Advanced	Send URL via SMS/MMS, open properties, search within site, customise settings, etc.
Access History	Previously visited Mobile Internet site links
Browser Settings	Set font size, scroll unit, download parameters, select cookie acceptance or customise other Web-related settings
Help	View a summary of key assignments
Exit	Exit Web

Messaging

Use Vodafone text communication services in Japan. Exchange text/multimedia messages with compatible handsets, PCs and other devices.

SMS

Use this basic Vodafone live! messaging service to exchange short text messages of up to 160 alphanumerics with Vodafone handsets. This service is the ideal solution for fast and short text messaging!

MMS

Exchange text messages of up to 30,000 alphanumerics with MMS-compatible Vodafone handsets, email-compatible mobiles, PCs and other like devices. Attach images/sounds for multimedia messages.

Note ▶ 905SH is incompatible with Greeting, Coordinator, Relay Mail, Hotline and Polling service messages.

Tip ▶
- An additional contract is required to use MMS and receive e-mail from PCs, etc.
- The Centre resends undeliverable messages at regular intervals until delivered. Messages not received by specified expiry are deleted.

Opening Messages

1. Press ■, select *Messaging* and press ■
2. Select *Received Msg.*, *Drafts*, *Templates*, *Unsent Messages* or *Sent Messages* and press ■
3. Select a message and press ■

Editing Messages

1. Select a sent/unsent message and press ✉ Options
2. Select *Edit & Send* or *Edit* and press ■
3. Edit the message

Customising Handset Address

Change alphanumerics before @ of the default handset mail address. Customising handset mail address helps reduce spam.

1. Press ■, select *Vodafone live!* and press ■
2. Select *Vodafone live!* and press ■
   905SH connects to the Network and Vodafone Web Main Menu opens.
3. Select *English* and press ■
4. Select *User Support* and press ■
5. Select *Messaging Setting* and press ■
6. Read through instructions, then select *Go to setup* and press ■
7. Select *English* and press ■
8. Select the text entry field below *Input your PIN number.* and press ■
9. Enter Centre Access Code and press ■
10. Select *OK* and press ■
11. Select *1. Messaging settings* and press ■
12. Select *1. Email address* and press ■
13. Select the text entry field below *Input email address you want to change.* and press ■
14. Enter an address and press ■
    Enter between 3 and 30 single-byte alphanumerics.
15. Select *OK* and press ■

Note ▶ This procedure may change without prior notice. For further information, contact Vodafone Customer Centre, General Information (see P.20-51).

Messaging Menu

Press ■, select ***Messaging*** and press ■ to open Messaging menu.

Item	Description
Received Msg.	List of received messages
Create Message	Create and send new message
Drafts	List of incomplete/unsent messages
Templates	Saved message templates
Unsent Messages	Undelivered/cancelled/failed mail
Sent Messages	List of sent messages
Server Mail Box	Request Centre message list and then select messages to retrieve
Settings	Customise SMS/MMS settings, sort messages into folders or save frequently used numbers/addresses to Speed Mail List to send from Standby
Memory Status	Received and Sent memory usage

Sending Text Messages

1 Press ■, select ***Messaging*** and press ■

2 Select ***Create Message*** and press ■

3 Select recipient field and press ■

4 Enter a recipient

Mail Composition Window

Phone Book

1. Select ***Phone Book*** and press ■
2. Select an entry and press ■
3. Select recipient's Vodafone handset number or mail address and press ■

Sending to Group

1. Select ***Select Group*** and press ■
2. Select a Group and press ■
3. Press CLEAR/BACK to return

Sent Mail Record

1. Select a recipient and press ■

Speed Mail List

1. Select ***Speed Mail List*** and press ■
2. Select a recipient and press ■

Direct Entry

1. Select ***Enter Number*** or ***Enter Address*** and press ■
2. Enter recipient's Vodafone handset number or mail address and press ■

5 Enter subject (MMS only)
1 Select subject field and press ■
2 Enter subject and press ■

6 Select message text field and press ■, then enter a message and press ■

7 Attach files (MMS only)
Press ✉ Options, select ***Insert Item*** and press ■

Image Files
1 Select ***Picture*** and press ■
2 Select a folder and press ■
3 Select a file and press ■

Melody Files
1 Select ***Sound*** and press ■
2 Select a folder and press ■
3 Select a file and press ■

Video Files
1 Select ***Video*** and press ■
2 Select ***Saved Videos*** and press ■
3 Select a file and press ■

8 When finished, press ⊙ Send to send

Incoming Text Messages

Receiving MMS & SMS Messages

Delivery Notice appears and Information window opens (✉ appears) for new mail. Press ■ to open Received Messages.

Opening Received Text Messages

1 Press ■, select ***Messaging*** and press ■
2 Select ***Received Msg.*** and press ■
3 Select a message and press ■

Retrieving Complete MMS Messages

Centre sends initial portion of MMS message when:
- The message was sent to multiple recipients
- Files are attached to the message

Download complete message and any attachments:

1 Perform Steps 1 - 2 above
2 Select an MMS message with ✉ (MMS Notice) and press ■
3 Press ⊙ More

Replying & Forwarding

Replying to Messages

1. Open a received message (see P.20-36)
2. Press ✉ Options
3. Select *Reply* or *Reply All* and press ▣
4. Select *Reply* or *Reply with History* and press ▣
5. Complete and send (see P.20-35 - 20-36)

Forwarding Messages

1. Open a received message (see P.20-36)
2. Press ✉ Options
3. Select *Forward* and press ▣
4. Enter a recipient (see P.20-35) and press ▣
5. Press ⊙ Send

V-applications

Enjoy a variety of 905SH-compatible V-applications.

- Download V-applications via Vodafone Web.
- Enjoy network gaming or access real-time news/info.
- Set a V-application that activates in Standby.

V-appli Menu

Press ▣, select *V-appli* and press ▣ to open V-appli menu.

Item	Description
V-appli	Download, activate or delete V-applications
Settings	Adjust V-application settings
Information	Open Java™ and JBlend™ licence information

Downloading V-applications

1. Press ▣, select *V-appli* and press ▣
2. Select *V-appli* and press ▣
3. Select *Download* and press ▣
4. Open a Mobile Internet site offering V-applications
5. Select a V-application and press ▣
6. Press ▣
   Downloaded V-application is automatically saved and a confirmation appears.
7. Press ✉ Yes

Vodafone live! FeliCa

Basics

Vodafone live! FeliCa encompasses a range of IC Card-based services available via FeliCa-compatible Vodafone handsets. 905SH supports Vodafone live! FeliCa. To use services such as e-money, e-ticketing and reward point systems, simply hold handset over a compatible reader/writer at a shop or restaurant, etc.

FeliCa

■A contactless IC card technology enabling wireless data transmissions with compatible reader/writer terminals

IC Card

■The FeliCa chip embedded in FeliCa-compatible handsets
■Holds information required to use Vodafone live! FeliCa

IC-appli

■V-applications required to use Vodafone live! FeliCa
- Edy e-money IC-appli is preloaded on 905SH.
  - Edy is a prepaid e-money service run by bitWallet Inc.

Note ▶ IC Card data content varies by service and usage history. Procedures to delete IC Card data vary by IC-appli; contact the service provider for details.

Service Usage Outline

Download IC-appli

Download IC-appli via Mobile Internet site.
- IC-appli is saved to IC-appli folder.

Complete Registration/Set Up

Activate IC-appli, complete registration/customise settings.
- Charge accounts, check balance or payment records, etc.

Use Service

To use Vodafone live! FeliCa at shops, restaurants, and locations, place logo over reader/writer.
- Use e-money/e-tickets to shop/travel and earn reward points.

Note ▶
- IC-appli registration and usage vary; contact the service provider for details.
- Vodafone is not liable for damages resulting from accidental loss/alteration of IC Card data/settings.
- Keep service passwords/customer service contact information, etc. in a separate place.

Starting IC-appli

To use Vodafone live! FeliCa, activate a service IC-appli and complete service registration, setup, charge, balance check, etc.

Main Menu ▶ IC-appli

1 Select ***IC-appli*** and press ■

■ To download an IC-appli, select ***Download*** ➡ Press ■

2 Select an application and press ■

IC-appli starts.

■ To end the IC-appli, press ⌂.

Note ▶ IC-appli cannot be started during calls or when another V-application is active.

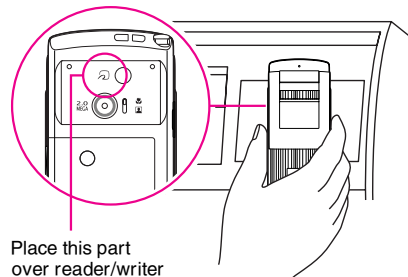
Tip ▶ IC-appli settings and usage patterns resemble those of other V-applications (see P.20-37).
However, IC-appli cannot be set as Screensaver.

Using Vodafone live! FeliCa

Follow these steps to conduct a transaction.
Example: making an electronic payment:

- Complete registration, setup and charge in advance.
- Complete transactions without activating an IC-appli.

1 Place ⌒ logo over reader/writer

Place this part
over reader/writer

- Confirm scan results on reader/writer display.
- If recognition is slow, move handset around slightly.

Note ▶
- Align handset parallel to reader/writer.
- Foreign articles can block/hamper recognition.

Tip ▶
- When placed over sensor, 905SH may display a message, vibrate or activate Mail, Web or a V-application for some services. To disable response, see P.20-42 "Interface Settings".
- Reader/writer will scan FeliCa IC Card even during calls or Vodafone live! transmissions. (It may take some time.)

When Handset Power is Off

■Transactions possible; IC-appli do not start automatically.
- After installing/reinstalling battery, always turn on handset power to use Vodafone live! FeliCa.

When Battery is Low

■Vodafone live! FeliCa is not available. Charge it beforehand.

Vodafone live! FeliCa Settings

IC Card Status

Main Menu ▶ IC-appli ➡ IC Card Settings

1 Select ***IC Card Status*** and press ▣
- If IC Card Lock is set, press ✉ Yes ➡ Enter Handset Code ➡ Press ▣
- Press ▣ to exit.

IC Card Lock

Use this function to restrict access to/prevent unauthorised use of Vodafone live! FeliCa on 905SH.
- Activate IC Card Lock remotely (see "Remote Lock").
- IC Card Lock is ***Off*** by default.

Main Menu ▶ IC-appli ➡ IC Card Settings ➡ IC Card Lock

1 Enter Handset Code and press ▣

2 Choose ***On*** and press ▣
- To cancel, choose ***Off*** ➡ Press ▣ (Omit the next step.)

3 Press ✉ Yes

Remote Lock

Send mail with specified subject (Mail Remote Lock) or call from a specified phone (Call Remote Lock).

Preparation on Handset

■Mail Remote Lock Password/Address

Save a password for Mail Remote Lock, and set mail address to send IC Card Lock notice to.

Main Menu ▶ IC-appli ➡ IC Card Settings ➡ Remote Lock

1 Enter Handset Code and press ▣

2 Select ***Mail Remote Lock*** and press ▣

3 Select ***Remote Lock PW*** and press ▣

4 Enter a password and press ▣
- Enter between 5 and 16 alphanumerics.

5 Select ***Email Lock Notice*** and press ▣

6 Select ***Phone Book***, ***Enter Number*** or ***Email Address*** and press ▣

7 Select/enter mail address or Vodafone handset number and press ▣
- To enable Mail Remote Lock, perform from Step 3 in "Remote Lock Setup" on P.20-41 and choose On in Step 4.

8 To save settings without enabling Mail Remote Lock, press ⊙ Save

■ Call Remote Lock Number/Count for Lock

Save up to two phone numbers from which to call handset, and set Missed Call count required to activate IC Card Lock (default count is 3 times).

- Enable Remote Lock activation via public phones.

Main Menu ▶ IC-appli ➡ IC Card Settings ➡ Remote Lock

1. Enter Handset Code and press ▣
2. Select ***Call Remote Lock*** and press ▣
3. Select ***Phone No. to Lck 1*** and press ▣
   - To enable activation via public phone, select ***Set Public Phone*** ➡ Press ▣ ➡ Choose ***On*** ➡ Press ▣
   - To disable activation via public phone, choose ***Off***.
4. Select ***Phone Book*** or ***Enter Number*** and press ▣
5. Select/enter a phone number and press ▣
   - To save second phone number, select ***Phone No. to Lck 2*** ➡ Press ▣ ➡ Repeat Steps 4 - 5
6. Select ***Count for Lock*** and press ▣
   - ***3 times*** is set by default.
7. Enter Missed Call count (3 - 10 consecutive times) required to activate IC Card Lock and press ▣
   - To enable Call Remote Lock, perform from Step 3 in "Remote Lock Setup" (right) and choose ***On*** in Step 4.
8. To save settings without enabling Call Remote Lock, press ⊙ Save

Remote Lock Setup

Activate or cancel Mail Remote Lock/Call Remote Lock.

- Both Remote Locks are ***Off*** by default.

Main Menu ▶ IC-appli ➡ IC Card Settings ➡ Remote Lock

1. Enter Handset Code and press ▣
2. Select ***Mail Remote Lock*** or ***Call Remote Lock*** and press ▣
3. Select ***Switch On/Off*** and press ▣
4. Choose ***On*** and press ▣
   - To cancel, choose ***Off*** ➡ Press ▣
     - ■ Saved mail address and phone numbers remain. Reactivate Remote Lock to use the same setting.
5. Press ⊙ Save

Activating Remote Lock

■ Via Mail

1. Use MMS/e-mail to send password to handset
   - Enter password as subject; leave other fields blank.
   - To confirm IC Card Lock status, send a message via phone or PC with specified mail address (see P.20-40 "Mail Remote Lock Password/Address").

After Handset Receives Message

■ IC Card Lock is set and notice is sent from handset to specified mail address.

Note ▶ If 905SH cannot receive mail IC Card Lock is not set.

■ Via Phone

1 Using one of the specified phones, call handset

2 End the call

The call is recorded as a Missed Call on your handset.
- Within three minutes, repeat Steps 1 - 2 until the specified number of Missed Calls are recorded.
- Payphones can be used for this function if Set Public Phone is activated beforehand.
- Send Caller ID when placing calls from specified phone. (Caller ID is not required for payphones.)

After Specified Number of Missed Calls

■IC Card Lock is set; a message announces Remote Lock activation.

Note ▶
- Missed Call count is reset by incoming calls from numbers not saved for this function. If series is interrupted, start over from the beginning.
- When Call Forwarding is active, Missed Calls may not be recorded.

Interface Settings

Set 905SH response to reader/writer commands: Choose ***On*** for ***V-appli*** to activate V-application, ***Browser*** to access the Mobile Internet, ***Messaging*** to activate mail, ***Vibration*** to vibrate handset, and ***Pop-up Message*** to open pop-up message. Interface Settings is ***On*** for all items by default.

Main Menu ▶ IC-appli ➡ IC Card Settings ➡ Interface Settings

1 Enter Handset Code and press ▣

2 Select from ***V-appli*** to ***Pop-up Message*** and press ▣

3 Choose ***On*** or ***Off*** and press ▣

Resetting Defaults

Cancel custom settings and return Vodafone live! FeliCa settings to their defaults.

Main Menu ▶ IC-appli ➡ IC Card Settings ➡ Set to Default

1 Enter Handset Code and press ▣

2 Press ✉ Yes

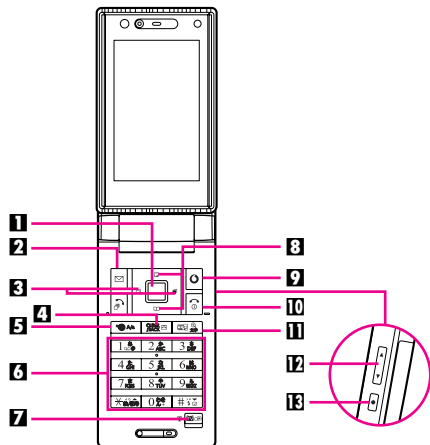
Note ▶
- Set to Default does not affect downloaded IC-appli.
- Memory All Clear (V-application Settings)/Reset All (Master Reset) return IC-appli settings to defaults and delete downloaded IC-appli. Memory All Clear and Reset All are disabled if IC Card data remains.

Digital TV

905SH supports One Seg terrestrial digital TV broadcast service designed for mobile devices.

- One Seg service began on 1 April 2006.

Tip ▶ 905SH is compatible with analogue/digital broadcasting in Japan.

Key Assignments

1 Execute Data Broadcast Item

2 Toggle Menu

3 Channel Advance

Press (reverse) or (forward).

Press for 1+ seconds to search for channels automatically.

4 Return to Previous Data Broadcast Window

5 Open Shortcuts Menu (Multi Job)

6 Direct Channel Access

With Display in normal position, press a key for 1+ seconds to reassign the current channel to that key.

7 Activate TV (TV Key)

In Standby, press to activate TV; last used mode appears. While watching TV, toggle active function windows. Press for 1+ seconds to activate/cancel Manner mode.

8 Select Data Broadcast Item

9 Toggle Panel On/Off

Press for 1+ seconds to open TV programme guide.

10 Exit TV

11 Toggle Channel List

Press for 1+ seconds to toggle between digital and analogue broadcasts.

12 Volume Control

Press (up) or (down).

13 Record

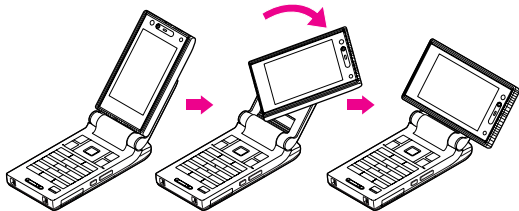
Press for 1+ seconds to record TV programmes.

Window Description

Subtitles On　Subtitles Off　Panel Off

1 TV Image
2 Subtitle Text
3 Programme/Station Name (Panel On)
4 Signal Conditions
5 Channel
6 Data Broadcast
7 Volume

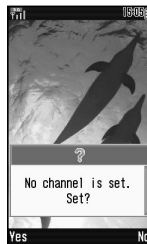
Cycloid Position

Open 905SH and rotate Display 90 degrees clockwise to Cycloid position to watch TV in wide view.
Default: Cycloid position activates Digital TV.
When Digital TV is not available Analogue TV appears.

Note ▶ Do not carry 905SH with Display in Cycloid position. Display may be damaged.

Channel Setup

905SH contains channel information for each area. Before watching TV for the first time, set up an area-based channel list. Retrieve Network information (see P.20-32) and follow these steps.

1. Press [TV]
2. When confirmation appears, press [✉] **Yes**
3. Select an area and press ■
4. Select a prefecture and press ■
5. Select a district and press ■
   - After setup (approx. 60 seconds), digital TV channel list appears.

   ■ To complete setup without specifying a district, select ***Other region*** ➡ Press ■
6. Press ■
   Analogue TV channel list appears.
7. Press ■
   To watch TV, select ***Digital TV*** or ***Analogue TV*** and press ■.

Watching Digital TV

Main Menu ▶ TV

1. Select *Digital TV* and press ■
2. Select a channel with Keypad
3. To exit, press ⍰ then ✉ Yes

Tip ▶ By default, placing 905SH in Cycloid position activates Digital TV automatically. When Digital TV is not available, Analogue TV appears. Alternatively, in Standby, press TV Key to activate TV. Last used service appears.

Display Subtitle	Show or hide subtitles

Press ✉ Options ➡ Select *Display Subtitle* ➡ Press ■ ➡ Choose *On*, *On (In-Call/Manner)* or *Off* ➡ Press ■

- Choose *On (In-Call/Manner)* to see subtitles in Manner mode/during calls only.

Subtitle Position	Change subtitle position (top or bottom)

■Available in Cycloid position only

Press ✉ Options ➡ Select *Subtitle Position* ➡ Press ■ ➡ Select *Upper* or *Bottom* ➡ Press ■

Subtitle Language	Select subtitle language

■Available when multiple languages are supported.

Press ✉ Options ➡ Select *Subtitle Language* ➡ Press ■ ➡ Select *Language 1* or *Language 2* ➡ Press ■

Sound Type	Select sound type option (for bilingual broadcasts, etc.)

Press ✉ Options ➡ Select *Sound Type* ➡ Press ■ ➡ Select *Main*, *Sub* or *Main + Sub* ➡ Press ■

Data Broadcast (Japanese Only)

In addition to high-quality audiovisual content, enjoy text/data-based broadcasts, including programme-related information, interactive services and more by following onscreen instructions.

- While data broadcast viewing is free, use of data links and related services will incur network connection fees. (Confirmation for network connection may appear.)
- Available information appears at the bottom of Display only when 905SH is in standard position.

TV Link

Some programmes offer links to information via the Mobile Internet. Save your favourite links to TV Link. Link navigation varies by programme. Follow onscreen instructions to access links.

- Connection fees may apply.

Recording TV Programmes

Record clips on Memory Card while watching TV.

1. Press ● for 1+ seconds
   Recording starts.
2. To stop, press ● for 1+ seconds

Vodafone live! CAST (Japanese Only)

Subscribe to Japanese mobile periodical content automatically downloaded to 905SH overnight.

- Requires a separate subscription and registration
- All currently available content limited to Japanese

Service Registration & Content Subscription

1. Press ■, select ***Entertainment*** and press ■
2. Select ***Cast*** and press ■
3. Select ***Join/Cancel Service*** and press ■
   905SH connects to the Network and service registration page opens. Follow onscreen instructions.

Note ▶ Registration and subscription require Mobile Internet use (connection fees apply). Confirm signal strength beforehand.

Newly Arrived Information

1. Delivery Notice appears and Information window opens (📡 appears) for new information
2. Select ***Cast*** and press ■
   Follow onscreen instructions.
3. Press ☎ to exit

Near chat

Exchange text messages with other 905SH or other compatible devices within ten metres.

- Connection fees do not apply.
- Near chat requires a Near chat-compatible V-application.
  ちかチャット (Near chat) application is preloaded on 905SH.

Note ▶
- Near chat range may vary by ambient conditions.
- ***ちかチャット*** (Near chat) application cannot be deleted.

Software Update

Check for 905SH firmware updates and download as required.

- Choose to begin update or schedule update.
- 905SH is disabled until update is complete. Update may take up to approximately 30 minutes.
- Connection fees do not apply to updates (including checking for updates, downloading and rewriting).
- Keep 905SH in a place where signal is strong and stable.
- Charge battery (▯ appears) beforehand; a low battery may cause update to fail.
- Do not remove battery during update; update may fail.
- To reduce risk of failure, disconnect USB Cable from 905SH beforehand.

Main Menu ▶ Settings ➡ Phone Settings ➡ Software update

1 Select ***Software update*** and press ▣

Confirmation appears.

- Follow onscreen instructions. (appears during update.)
- Update may take up to approximately 30 minutes.
- Confirmation appears and Information window opens (appears) for successful update.

■ While confirmation appears, press ▣ OK to acknowledge update completion and cancel Information window.

Note ▶ Update failure may disable 905SH. Contact Vodafone Customer Centre, Customer Assistance (see P.20-51).

Update Result

■While Information window appears, select *Update result* ➡ Press ▣

■ Press ▣ again to exit.

■In Standby, press ▣ ➡ Select *Settings* ➡ Press ▣ ➡ Use ▣ to select *Phone Settings* ➡ Select *Software update* ➡ Press ▣ ➡ Select *Update result* ➡ Press ▣

■ Press ▣ again to exit.

Scheduled Update

■Confirmation appears at scheduled update time. Press ▣ or wait approximately ten seconds for update to start.

- Update will not start while 905SH is in use. When the current operation ends, confirmation appears. After ten minutes, scheduled update is automatically cancelled.
- Update automatically cancels Keypad Lock.

Note ▶

- 905SH Phone Book entries, media files, and other content are not affected by firmware updates, but users should always back-up important information (note that some files cannot be copied). Vodafone is not liable for damages from lost information, etc.
- If 905SH does not return to Standby after update, turn power off and restart 905SH.

Function Menu

Main Menu	Sub Menu
Entertainment	Cast
	Near chat
	ComicSurfing
Vodafone live!	Vodafone live!
	Bookmarks
	Saved Pages
	Enter URL
	Access History
	Browser Settings
Media Player	Music
	Videos
	Streaming
Messaging	Received Msg.
	Create Message
	Drafts
	Templates
	Unsent Messages
	Sent Messages
	Server Mail Box
	Settings
	Memory Status
Camera	—
Data Folder	Pictures
	DCIM
	Ring Songs • Tones
	V-appli
	Music
	Videos
	IC-appli
	Book
	Custom Screens
	Text Templates
	Other Documents
	Memory Status

Main Menu	Sub Menu
Tools	Calendar
	Alarms
	Auto Power On
	Calculator
	Answer Phone
	Voice Recorder
	Barcode
	E-Book
	Stopwatch
	Tasks
	World Clock
	Countdown Timer
	Expenses Memo
	Phone Help
V-appli	V-appli
	Settings
	Information
Call Log	All Calls
	Dialled Numbers
	Received Calls
	Call Timers
	Data Counter
	Call Costs
IC-appli	IC-appli
	IC Card Settings
Phone Book	Phone Book List
	Add New Entry
	Call Voicemail
	Category Control
	My Details
	Speed Dial List
	Contact Groups
	VF Address Book
	Settings
	Manage Entries
	Service Dial No.

Main Menu		Sub Menu
Settings	Phone Settings	Mode Settings
		Custom Screens
		Display
		Sounds & Alerts
		Date & Time
		言語選択 (Language)
		User Dictionary
		Turning Settings
		Ringer Output
		Earpiece Volume
		Locks
		Software update
		Master Reset
	Connectivity	Bluetooth
		Infrared
		Mass Storage
		Memory Card
	Call/Video Call	Call Settings
		Video Call
	Network Settings	Offline Mode
		Internet Setting
		Location Info
		Network Info
FM Radio		—
TV Player		—
TV		Digital TV
		Analogue TV
		TV Link
		TV Listing
		Reservation List
		Setting

Specifications

905SH

Weight	Approximately 140 g (with battery)
Continuous Talk Time	Approximately 180 minutes
Continuous Standby Time (clamshell closed)	Approximately 360 hours
Video Call Continuous Talk Time	Approximately 90 minutes (with Internal Camera in use) Approximately 70 minutes (with External Camera in use)
Charging Time (Power off)	AC Charger: Approximately 140 minutes In-Car Charger: Approximately 145 minutes
Dimensions (W × H × D)	Approximately 49 × 105 × 27 mm (clamshell closed, 27mm at thickest point)
Maximum Output	0.25 W

- Values left were calculated with battery installed.
- Continuous Talk Time is an average measured with a new, fully charged battery, with stable signals. Continuous Talk Time may be less than half this value if signal is weak.
- Continuous Standby Time is an average measured with a new, fully charged battery, with clamshell closed without calls or operations, in Standby with stable signals. Standby Time may be less than half this value if 905SH is out-of-range/signal is weak. Standby Time may vary by environment (battery status, ambient temperature, etc.).
- Talk Time/Standby Time decrease with frequent use of Display/Keypad Backlights.
- Talk Time/Standby Time may decrease when a V-application is active.
- Talk Time/Standby Time decrease with handset use in poor signal conditions.
- Display employs precision technology, however, some pixels may appear brighter/darker.

AC Charger

Power Source	AC 100V-240V, 50/60 Hz
Power Consumption	12VA
Output Voltage/Current	DC 5.2V/650 mA
Charging Temperature	5℃ - 35℃
Dimensions (W × H × D)	Approximately 55 × 45 × 22 mm (without protruding parts, cord)
Cord Length	Approximately 1.5 m

Battery

Voltage	3.7 V
Battery Type	Lithium-ion
Capacity	910 mAh
Dimensions (W × H × D)	Approximately 35.8 × 4.5 × 55 mm (without protruding parts)

Headphones (with Built-in TV Antenna)

Weight	Approximately 23 g
Cord Length	Approximately 1.6 m

Customer Service

If you have questions about Vodafone handsets or services, please call General Information.
For repairs, please call Customer Assistance.

Vodafone Customer Centres

From a Vodafone handset, dial toll free at
157 for General Information or
113 for Customer Assistance

Call these numbers toll free from landlines.

Subscription Area	Service Centre	Phone Number
Hokkaido, Aomori, Akita, Iwate, Yamagata, Miyagi, Fukushima, Niigata, Tokyo, Kanagawa, Chiba, Saitama, Ibaraki, Tochigi, Gunma, Yamanashi, Nagano, Toyama, Ishikawa, Fukui	General Information	0088-240-157
	Customer Assistance	0088-240-113
Aichi, Gifu, Mie, Shizuoka	General Information	0088-241-157
	Customer Assistance	0088-241-113
Osaka, Hyogo, Kyoto, Nara, Shiga, Wakayama	General Information	0088-242-157
	Customer Assistance	0088-242-113
Hiroshima, Okayama, Yamaguchi, Tottori, Shimane	General Information	0088-259-157
	Customer Assistance	0088-259-113
Tokushima, Kagawa, Ehime, Kochi	General Information	0088-247-157
	Customer Assistance	0088-247-113
Fukuoka, Saga, Nagasaki, Oita, Kumamoto, Miyazaki, Kagoshima, Okinawa	General Information	0088-250-157
	Customer Assistance	0088-250-113

付録

機能一覧

メインメニュー	サブメニュー	参照先
エンタテイメント	キャスト	☞P.18-2
	ちかチャット	☞P.18-4
	コミックサーフィン	☞P.18-6
Vodafone live!	Vodafone live!	☞P.16-3
	ブックマーク	☞P.16-7
	お気に入り	☞P.16-7
	URL入力	☞P.16-5
	履歴	☞P.16-4
	ブラウザ設定	☞P.16-14
メディアプレイヤー	ミュージック	☞P.9-10
	ムービー	☞P.9-13
	ストリーミング	☞P.16-11
メール	受信ボックス	☞P.15-16
	新規作成	☞P.15-7
	下書き	☞P.15-12
	テンプレート	☞P.15-13
	未送信ボックス	☞P.15-16
	送信済みボックス	☞P.15-16
	サーバーメール操作	☞P.15-15
	設定	☞P.15-24
	メモリ容量確認	☞P.15-2
カメラ	—	☞P.8-2

メインメニュー	サブメニュー	参照先
データフォルダ	ピクチャー	☞P.10-2
	デジタルカメラ	☞P.10-2
	着うた・メロディ	☞P.10-2
	Vアプリ	☞P.17-2
	ミュージック	☞P.10-2
	ムービー	☞P.10-2
	ICアプリ	☞P.19-3
	ブック	☞P.10-2
	カスタムスクリーン	☞P.11-5
	テキストメモ	☞P.10-17
	その他ファイル	☞P.10-2
	メモリ確認	☞P.10-2
ツール	カレンダー	☞P.13-2
	アラーム	☞P.13-11
	自動電源On	☞P.13-14
	簡易電卓	☞P.13-16
	簡易留守録	☞P.2-9
	ボイスレコーダー	☞P.13-17
	バーコード／OCR	☞P.13-19
	電子ブック	☞P.13-27
	ストップウォッチ	☞P.13-25
	予定リスト	☞P.13-8
	世界時計	☞P.13-15
	キッチンタイマー	☞P.13-25
	マネー積算メモ	☞P.13-26
	ガイド機能	☞P.13-30

メインメニュー	サブメニュー	参照先
Vアプリ	Vアプリ	☞P.17-2
	Vアプリ設定	☞P.17-3
	インフォメーション	☞P.17-2
通話履歴	全通話履歴	☞P.2-13
	発信履歴	☞P.2-13
	着信履歴	☞P.2-13
	通話時間	☞P.2-14
	データ通信	☞P.2-14
	通話料金	☞P.2-15
ICアプリ	ICアプリ	☞P.19-2
	ICカード設定	☞P.19-4
電話帳	電話帳	☞P.4-2
	電話帳新規作成	☞P.4-4
	留守番電話再生	☞P.14-4
	グループ設定	☞P.4-11
	オーナー情報	☞P.4-18
	スピードダイヤル設定	☞P.4-14
	メールグループ登録	☞P.4-12
	VFアドレスブック	☞P.4-15
	設定	☞P.4-9
	電話帳管理	☞P.4-8
	サービスダイヤル	☞P.4-2

メインメニュー		サブメニュー	参照先
設定	本体設定	モード設定	☞P.11-2
		カスタムスクリーン	☞P.11-5
		ディスプレイ設定	☞P.11-3
		サウンド設定	☞P.11-11
		日時設定	☞P.11-14
		Language	☞P.11-5
		ユーザー辞書	☞P.11-16
		画面回転動作設定	☞P.6-21
		着信音出力切替	☞P.11-14
		受話音量調節	☞P.11-14
		セキュリティ設定	☞P.11-17
		ソフトウェア更新	☞P.21-9
		初期化	☞P.11-22
	外部接続	Bluetooth	☞P.12-2
		赤外線通信	☞P.12-9
		カードリーダモード	☞P.12-14
		メモリカード	☞P.10-18
	通話／TVコール設定	通話設定	☞P.11-23
		TVコール設定	☞P.5-7
	ネットワーク設定	オフラインモード	☞P.2-18
		インターネット設定	☞P.12-14
		位置情報設定	☞P.12-15
		ネットワーク状態表示	☞P.12-14
FMラジオ		ー	☞P.7-2
TVプレイヤー		ー	☞P.6-15
TV		デジタルTV	☞P.6-9
		アナログTV	☞P.6-21
		TVリンク	☞P.6-12
		番組表	☞P.6-10
		視聴／録画予約リスト	☞P.6-16
		設定	☞P.6-19

故障かな？と思ったら

症状	確認すること	処　置
電源が入らない	●ⓞを長く（２秒以上）押していますか？ ●電池切れになっていませんか？ ●電池パックが905SHに装着されていますか？	●ⓞを長く（２秒以上）押してください。 ●電池パックを充電するか、充電されている予備の電池パックと交換してください。 ●正しく装着してください。
電源を入れたのに操作できない	●PIN On／Off設定を「**On**」にしていませんか？	●PIN On／Off設定を「**On**」にしているときは、PIN1コードの入力が必要です。（☞P.11-20） 画面の指示に従って入力してください。
電源を入れたときや機能の操作時に「USIMカード未挿入」と表示される	●USIMカードを正しく取り付けていますか？ ●違ったUSIMカードをお使いではありませんか？ ●USIMカードのIC部に指紋などの汚れがついていませんか？	●USIMカードが正しく取り付けられていることを確認してください。正しく取り付けられていても「**USIMカード未挿入**」と表示されるときは、USIMカードが破損している可能性があります。 ●正しいUSIMカードであることを確認してください。使用できないカードが取り付けられている可能性があります。 ●乾いたきれいな布で汚れを落として、正しく取り付けてください。
ボタン操作ができない	●誤動作防止が設定されていませんか？（「▦」表示） ●ダイヤル操作禁止が設定されていませんか？（「▦」表示）	●誤動作防止を解除してください。（☞P.1-21） ●ダイヤル操作禁止を解除してください。（☞P.11-21）
ダイヤルを押しても電話がかけられない	●誤動作防止が設定されていませんか？（「▦」表示） ●ダイヤル操作禁止が設定されていませんか？（「▦」表示）	●誤動作防止を解除してください。（☞P.1-21） ●ダイヤル操作禁止を解除してください。（☞P.11-21）
電話帳を使って電話がかけられない	●かけたい電話帳をシークレットデータに登録していませんか？ ●電話帳使用禁止が設定されていませんか？	●シークレットモードに設定してください。（☞P.11-21） ●電話帳使用禁止を解除してください。（☞P.11-21）
「圏外」が表示され、電話がかけられない	●サービスエリア外か電波の届きにくい場所にいるのでは？	●電波の届く場所に移動してかけ直してください。

症状	確認すること	処　置
ダイヤルしても通話終了音（プープー…）が出る	●市外局番など「0」から始まる相手の電話番号をダイヤルしていますか？ ●「圏外」が表示されていませんか？ ●オフラインモードが設定されていませんか？（「▨」表示）	●市外局番など「0」から始まる相手の電話番号をダイヤルしてください。 ●電波の届く場所に移動してかけ直してください。 ●オフラインモードを解除してください。（☞P.2-18）
通話がとぎれたり、切れる	●電波の届きにくい場所にいるのでは？ ●電池切れになっていませんか？	●電波の届く場所に移動してかけ直してください。 ●電池パックを充電するか、充電されている予備の電池パックと交換してください。
通話中に「プチッ」と音が入る	●電波が弱くなって別のエリアに切り替わるときに発生することがあります。	―
充電ができない	●急速充電器の接続コネクターが905SHまたは卓上ホルダーに確実に差し込まれていますか？ ●急速充電器のプラグがしっかりとコンセントに差し込まれていますか？ ●電池パックが905SHに装着されていますか？ ●905SHが卓上ホルダーに確実に装着されていますか？ ●905SH、電池パック、卓上ホルダーの充電端子や急速充電器の接続コネクター、905SHの外部機器端子、卓上ホルダーの接続端子が汚れていませんか？ ●周囲温度5℃～35℃以外になると、充電できないことがあります。 ●電池パックの寿命、または電池パックが異常です。	●もう一度、確実に差し込んでください。 ●もう一度、確実に差し込んでください。 ●正しく装着してください。 ●もう一度、確実に装着し直してください。 ●端子部を綿棒などで清掃してください。 ●周囲温度5℃～35℃の場所でご使用ください。 ●新しい電池パックと交換してください。
充電時間が短い	●電池残量がある状態で充電すると、充電時間が短くなります。	―
熱くなる	●充電中に、急速充電器や卓上ホルダーが発熱することがあります。また、長時間利用すると、905SHが熱くなることがあります。	●手で触れることのできる温度であれば異常ではありません。ただし、905SHを長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどになる恐れがあります。（☞P.xxv）
電池パックの消耗が早い	●使用環境（気温／充電状況／電波状態）、操作や設定状態によっては、電池パックの消耗が早くなります。	●「**完全に充電したときの利用可能時間**」、「**電池パックの持ちについて**」、「**電池パックの消耗を軽減するには**」を参照してください。（☞P.1-13～P.1-14）

症状	確認すること	処置
画面の表示がちらつく	●蛍光灯の下では、画面の表示がちらつくことがあります。	—
着うた®や音楽／動画を再生中に音が途切れる	●「**サラウンド**」を「On」にしている場合、着うた®やメディアプレイヤーで音楽／動画を再生しているときにクローズポジションからオープンポジションにすると、瞬間的に音が途切れることがありますが、故障ではありません。	—
バックライトを消灯したとき画面の表示が暗い	●画面の特性によるもので、故障ではありません。	—
テレビが視聴できない	●905SHでしばらく通信を行っていない。	●ネットワーク自動調整を行ってください。（☞P.12-14）
	●USIMカードが取り付けられていない、またはボーダフォンのご契約を解約されているときは、テレビを視聴することはできません。	—

補足▶ 故障の際の連絡先やアフターサービスについては、お問い合わせ先（☞P.21-26）までご連絡ください。

こんなときはご利用になれません

■「圏外」表示が出ているとき

サービスエリア外か電波の届かない場所にいるためです。「圏外」表示が消え、受信電波の強さを示すバーが1本以上表示される場所へ移動してください。

■「充電して下さい」のメッセージが出て、電池アラーム音が鳴っているとき

電池残量がなくなっています。（☞P.1-15）

電池パックを充電するか、充電されている予備の電池パックと交換してください。

■「」表示が出ているとき

誤動作防止が設定されています。（☞P.1-21）

設定を解除しないとボタン操作はできません。ただし、電話がかかってきたときは、エニーキーアンサーの各ボタン（☞P.2-6）を押して電話に出ることができます。

■「」表示が出ているとき

ダイヤル操作禁止が設定されています。（☞P.11-21）

ダイヤル操作禁止を解除しないと電話はかけられません。ただし、電話がかかってきたときは、エニーキーアンサーの各ボタン（☞P.2-6）を押して電話に出ることができます。

付録 21

Vアプリに関する画面表示

画面	原因／処置
一時停止中の Vｱﾌﾟﾘがあります 終了しますか? 一時停止中の Vｱﾌﾟﾘがあります 再開しますか?	●一時停止中のVアプリがあります。 ↓ ●一時停止中のVアプリを終了したあと、やり直してください。
○○ を本体にﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞします ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞｻｲｽﾞ: XXKB 保存ｻｲｽﾞ: XXKB ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞしますか? 電池残量が足りないため正常終了しない可能性があります	●電池残量が少ないので、ダウンロードが正常に終了しない可能性があります。 ↓ ●電池パックを充電してから、ダウンロードすることをおすすめします。
○○ をﾒﾓﾘｶｰﾄﾞにﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞします。本体の空き容量が不足しているためです。 ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞｻｲｽﾞ: XXKB 保存ｻｲｽﾞ: XXKB ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞしますか?	●メモリが一杯です。 ↓ ●■を押すと、ダウンロードを継続します。 CLEAR/BACKを押すと、ダウンロードを中止します。

画面	原因／処置
本体の登録可能件数を超えているため保存できません	●すでに905SHにVアプリが100件登録されています。（左記のメッセージは、表示後自動的に消えます。） ↓ ●不要なVアプリを削除してから、やり直してください。（☞P.17-6）
すでに登録されているｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝと同じﾊﾞｰｼﾞｮﾝです。ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞを続けますか？	●ダウンロードしようとしているVアプリと同じバージョンが、905SHに登録されています。 ↓ ●✉（Yes）または⦿（No）を押して、ダウンロードしてください。
すでに登録されているｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝより新しいﾊﾞｰｼﾞｮﾝです。ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞを続けますか？	●ダウンロードしようとしているVアプリの古いバージョンが、905SHに登録されています。 ↓ ●✉（Yes）を押すと、ダウンロードを継続します。 ⦿（No）を押すと、ダウンロードを中止します。

補足▶ 次のような内容が表示されたときはダウンロードできません。
- 「不正なデータのためダウンロードできません」
- 「サイズが大きいため受信できません」

こんなときは（メール）

■写メールがうまく送信できないとき

次のような原因が考えられます。詳しくは、「**3Gガイドブック**」を参照してください。

- **相手がMMS／スーパーメール／ロングメールなどの契約をしていないとき**
- **相手がMMSに対応していないとき**
  - ■相手がスーパーメール対応機やロングメール対応機などのときは、受信できるデータ容量が異なります。
- **相手がJPEG形式に対応していないとき**
  - ■相手がPNG形式に対応しているときは、JPEG形式の画像をPNG形式に変換して送信できます。（☞P.10-15）

■受信メールを保存する容量がないとき

新しいメールを受信することはできません。このときは「✉」が赤色で表示されます。受信できなかったメールは、サービスセンターに蓄積されます。

- 不要な受信メールを削除してください。（☞P.15-21）
  新しいメールを保存するメモリができると、自動的にサービスセンターに蓄積されたメールを受信します。
- 受信メールを保存するメモリがない場合に新しいメールが送られてきたときは、保護されていないメールを自動削除することができます。（☞P.15-26）
- 各サービスの使用メモリの合計が100%未満のときでも、新しいメールを受信できないことがあります。このときも不要な受信メールを削除してください。（☞P.15-21）

ソフトウェアを更新する

ネットワークを利用して、905SHのソフトウェア更新が必要かどうかを確認し、必要なときには更新することができます。

- ソフトウェアの更新方法には、すぐに更新する方法「**今すぐ更新**」と、予約して更新する方法「**予約更新**」があります。
- ソフトウェアの更新には、約30分程度かかることがあります。更新が完了するまで、905SHは使用できません。
- 確認／更新には、通信料はかかりません。
- 電波状態のよい所で、移動せずに操作してください。
- 905SHが十分充電されている状態（「■」表示）で操作してください。更新中に電池残量が不足すると、更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新中は絶対に電池パックを取り外さないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新中は、他の機能は操作できません。
- 905SHとパソコンをUSBケーブルで接続しているときは、ソフトウェア更新前にUSBケーブルを取り外してください。USBケーブルを取り付けたままソフトウェア更新を実行すると、正しく完了できないことがあります。

メニュー▶ 設定 ➡ 本体設定（■）➡ ソフトウェア更新

1 「ソフトウェア更新」を選び、■を押す。

ソフトウェア更新の確認画面が表示されます。

- 以降は、画面の指示に従って操作してください。（ソフトウェア更新中は「■」が表示されます。）
- 更新完了までには時間がかかることがあります。
- 更新完了後は、完了メッセージが表示されたあと、インフォメーションが表示されます。（「■」表示）
  - ■完了メッセージ表示時に■を押したときは、インフォメーションは表示されません。

注意▶ ソフトウェア更新に失敗すると、905SHが使用できなくなることがあります。このときは、ご契約いただいたボーダフォンの故障受付（☞P.21-26）にご相談ください。

更新結果を確認する

■インフォメーションが表示されているときは、次の操作を行うと、更新結果が表示されます。

「ソフトウェア更新結果」選択➡■

■確認の終了：上記操作のあと■

■待受画面からは、次の操作で表示できます。

■➡「設定」選択➡■➡■（「本体設定」選択）➡「ソフトウェア更新」選択➡■➡「更新結果表示」選択➡■

■確認の終了：上記操作のあと■

予約更新を利用すると

■予約時刻になると、ソフトウェア更新の確認画面が表示されます。このあと、■を押すか、約10秒間そのままにしておくと、自動的にソフトウェア更新が実行されます。

- 他の機能を操作しているときは、ソフトウェア更新は実行されません。他の機能を終了すると、ソフトウェア更新の確認画面が表示されます。（10分以上他の機能を使用していると、ソフトウェア更新の予約が解除されます。）
- 予約更新前に誤動作防止が設定されていたときは、ソフトウェア更新後、誤動作防止は解除されます。

注意▶
- ソフトウェアの更新は、905SHに登録されたデータ（電話帳／画像／サウンドなど）を残したまま行うことができますが、905SHの状況（故障・破損・水漏れなど）によっては、データの保護ができないことがあります。必要なデータは、ソフトウェア更新前にバックアップを取っておかれることをおすすめします。（ダウンロードしたデータなど、バックアップが取れないデータがあります。）なお、データが消失した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ソフトウェア書き換え後に再起動しなかったときは、電源を入れ直してください。

補足▶ ソフトウェアの更新については、ボーダフォンホームページ「http://www.vodafone.jp」でもご案内しています。

区点コード一覧

区点1～3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							0	1	2	3
032	4	5	6	7	8	9				
033				A	B	C	D	E	F	G
034	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
035	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
036						a	b	c	d	e
037	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
038	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y
039	z									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ

区点1～3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰
083	┥	┸	╂							
	あ									
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢

区点1～3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
	い									
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
	う									
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
	え									
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
	お									
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
	か									
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕

区点1～3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
207	贋	雁	頑	顔	願					
	き									
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興

区点1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
く										
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
け										
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
こ										
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫

区点1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
さ										
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
し										
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十

区点1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
す										
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
せ										
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎

区点1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
そ										
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
た										
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
ち										
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
——つ——										
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
——て——										
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
——と——										
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
——な——										
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
——に——										
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
——ぬ～の——										
390									濡	禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
392	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					
——は——										
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
——ひ——										
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
——ふ——										
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
——へ——										
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
——ほ——										
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						
——ま——										
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
——み——										
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
——む——										
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
——め——										
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
——も——										
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
——や——										
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
449	鑓									

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
——ゆ——										
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
——よ——										
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
——ら——										
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
——り——										
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
——る～れ——										
466	瑠	塁	涙	累	類	令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
——ろ——										
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
——わ——										
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
476										

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
477										
478										
479										
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
637	熙	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻

区点1～3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			

絵文字一覧

注意▶ 絵文字非対応のボーダフォン携帯電話や、E-mailでは表示されません。

補足▶ ▭部の絵文字は動画です。

主な仕様

仕様変更などにより、図や内容が一部異なることがあります。

■905SH

質量	約140g（電池パック装着時）
連続通話時間	約180分
連続待受時間（クローズポジション時）	約360時間
TVコール連続通話時間	約90分（インカメラ使用時） 約70分（アウトカメラ使用時）
充電時間（905SHの電源を切って充電した場合）	急速充電器　：約140分 シガーライター充電器：約145分
サイズ（幅×高さ×奥行）	約49×105×27mm （クローズポジション時、奥行はカメラ部分）
最大出力	0.25W

- 上記は、電池パック装着時の数値です。

- 連続通話時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。
- 連続待受時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、905SHをクローズポジションにした状態で通話や操作をせず、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。電波の届きにくい場所（ビル内、車内、カバンの中など）や、圏外表示状態の待受では、ご利用時間が約半分以下になることがあります。また、使用環境（充電状態、気温など）によっては、ご利用可能時間が変動することがあります。
- 電池パックの利用可能時間は、電波が安定した状態で算出した当社計算値です。電波の弱い場所での通話や圏外表示での待受は電池パックの消耗が多いため、ご利用時間が半分以下になることがあります。
- パネル照明が点灯している状態での利用（ボーダフォンライブ!ご利用時など）が多いときは、連続通話時間および連続待受時間は短くなります。
- Vアプリを起動させた状態では、通話時間および待受時間が短くなる場合があります。
- 操作や設定状態によっては、通話時間および待受時間が短くなることがあります。（☞P.1-13）
- 液晶ディスプレイは非常に精密度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯する画素がありますので、あらかじめご了承ください。

■急速充電器

電源	AC 100V-240V、50／60Hz共用
消費電力	12VA
出力電圧／出力電流	DC 5.2V／650mA
充電温度範囲	5℃～35℃
サイズ（幅×高さ×奥行）	約55×45×22mm（突起部、コード除く）
コードの長さ	約1.5m

■電池パック

電圧	3.7V
使用電池	リチウムイオン電池
容量	910mAh
外形サイズ（幅×高さ×奥行）	約35.8×4.5×55mm（突起部 除く）

■TVアンテナ付きステレオイヤホンマイク

質量	約23g
コードの長さ	約1.6m

メモリ容量一覧

メール	
受信ボックス	最大４Mバイト
下書き	最大２Mバイト※
送信済みボックス	最大２Mバイト※
未送信ボックス	最大２Mバイト※
テンプレート	最大２Mバイト※

※下書き、送信済みボックス、未送信ボックス、テンプレートはメモリを共有しています。

Vアプリ	
Vアプリ	最大20Mバイト、100件（本体）※

※データフォルダ（☞P.10-2）とメモリを共有しています。

データフォルダ	
データフォルダ	最大20Mバイト※

※Vアプリ（☞P.10-2）とメモリを共有しています。

索引

英数字

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

保証書とアフターサービス

■**保証書**

905SH本体をお買い上げいただいた場合は、保証書がついています。

- **お買い上げ店名、お買い上げ日をご確認ください。**
- **内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。**
- **保証期間は、保証書に記載しております。**

■**アフターサービスについて**

修理をご依頼になる前に、「**故障かな？と思ったら**」に掲載されている項目をもう一度ご確認ください。（☞P.21-4）

該当する症状がないときや、異常を解決できないときは、ご契約いただいたボーダフォンの故障受付（☞P.21-26）にご相談ください。

その際、できるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。

- **保証期間中は保証書の記載内容に基づいて修理いたします。**
- **保証期間後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。**

その他アフターサービスの詳細については、お買い上げいただいた「**取扱店**」、最寄りの「**ボーダフォンショップ**」または「**お問い合わせ先**」（☞P.21-26）までご連絡ください。

なお、補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の最低保有期間は、生産打ち切り後6年です。

注意▶

- 本製品の故障、誤作動または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 故障または修理により、お客様が登録／設定した内容が消失／変化する場合がありますので、大切な電話帳などは控えをとっておかれることをおすすめします。

  なお、故障または修理の際に905SHに登録したデータ（電話帳／画像／サウンドなど）や設定した内容が消失／変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品を分解／改造すると、電波法にふれることがあります。また、改造された場合は修理をお引き受けできませんので、ご注意ください。

お問い合わせ先一覧

お困りのときや、ご不明な点などがございましたら、お気軽に下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。
電話番号はお間違いのないようおかけください。

ボーダフォンお客さまセンター

総合案内　ボーダフォン携帯電話から157（無料）
紛失・故障受付 ボーダフォン携帯電話から113（無料）

■一般電話からおかけの場合

ご契約地域	お問い合わせ内容	電話番号
北海道・青森県・秋田県・岩手県・山形県・宮城県・福島県・新潟県・東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県・栃木県・群馬県・山梨県・長野県・富山県・石川県・福井県	総合案内	0088-240-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-240-113（無料）
愛知県・岐阜県・三重県・静岡県	総合案内	0088-241-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-241-113（無料）
大阪府・兵庫県・京都府・奈良県・滋賀県・和歌山県	総合案内	0088-242-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-242-113（無料）
広島県・岡山県・山口県・鳥取県・島根県	総合案内	0088-259-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-259-113（無料）
徳島県・香川県・愛媛県・高知県	総合案内	0088-247-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-247-113（無料）
福岡県・佐賀県・長崎県・大分県・熊本県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県	総合案内	0088-250-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-250-113（無料）